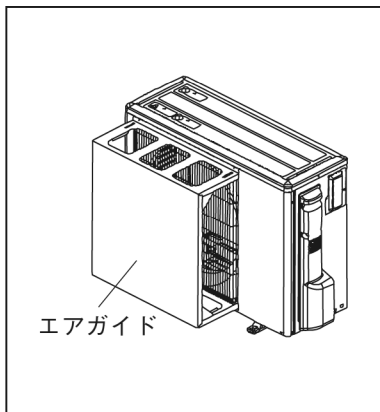


エアガイド

● PAC-SJ06AG

使用目的 / 用途



- “エアガイド” は、室外ユニットの送風機がファンコントローラ作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付ける場所での送風機の保護等にご使用ください。
- 外気温-5℃以下（-15℃まで）で冷房運転を行う場合には、本品の取り付けが必要です。

注意

- ・ 室外ユニットの両側面及び上方に障害物がある設置場所では、本品のご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。
- ・ ユニットの背面に直接風が当たる向き・場所には絶対に設置しないでください。
- ・ 本品取り付けにより、能力ダウン(2～3%)及び室外ユニットの騒音アップ(1～2dB程度)があります。

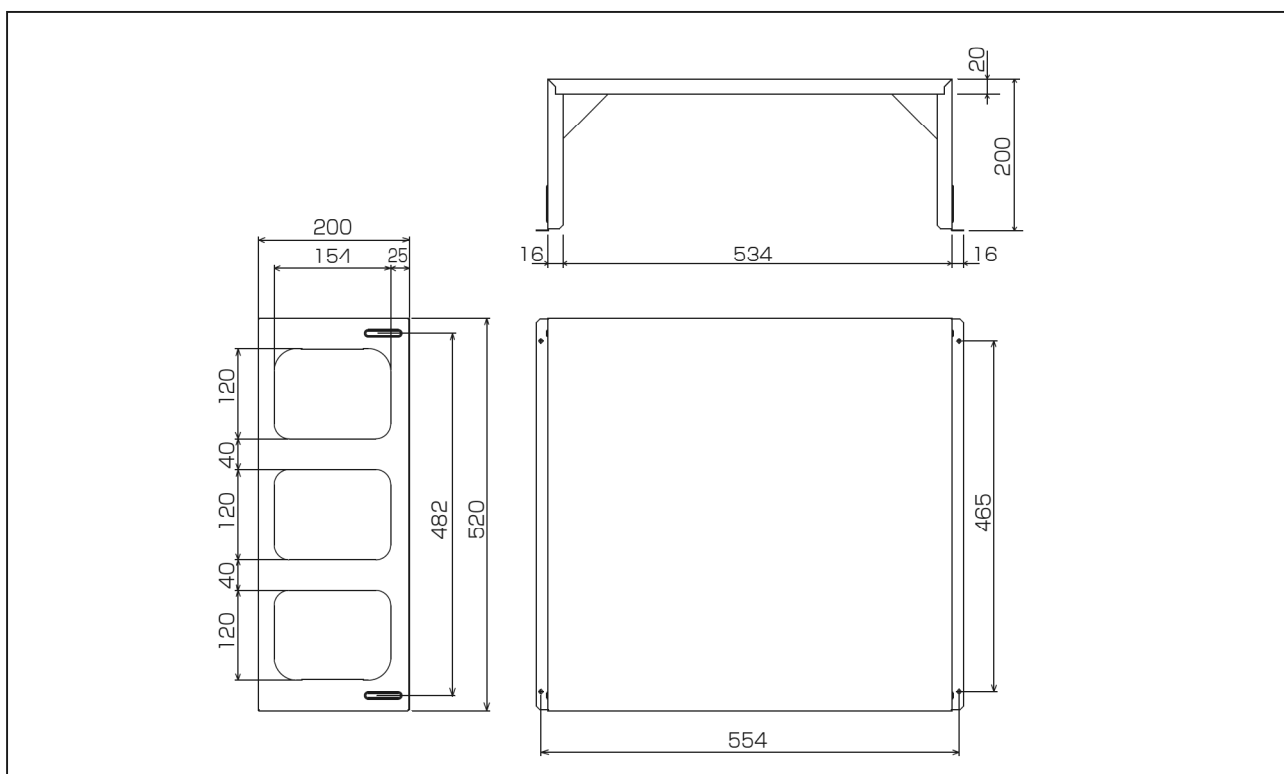
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40～63(S)KA10, PUZ-ERMP40～63(S)KA10

仕様

形名	PAC SJ06AG		
外装	色	アイボリー	
	マンセルNo	3.0 Y 7.8/1.1	
	材質	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板	
	表面処理	アクリル樹脂塗装	
質量	2.7kg		
付属部品	取付用座付ネジ (M4 × 16) × 4 (鉄 / 亜鉛ニッケル合金メッキ) スプリングワッシャー × 4 (SUS304 / 無) ワッシャー × 4 (SUS304 / 無)		

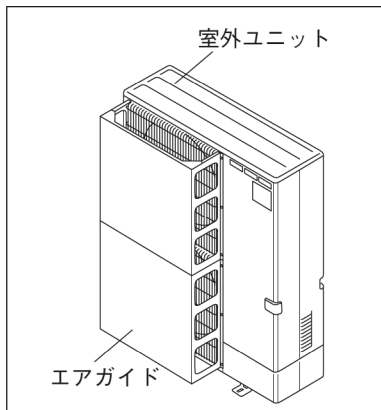
外形図 (組立図) (単位: mm)



エアガイド

● PAC-SH95AG

使用目的 / 用途



- “エアガイド” は、室外ユニットの送風機がファンコントローラ作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風などの強風が吹出口に直接吹き付ける場所での送風機の保護などにご使用ください。
- 外気温-5℃以下（-15℃まで）で冷房運転を行う場合には、本品の取り付けが必要です。

注意

- ・ 室外ユニットの両側面及び上方に障害物がある設置場所では、本品のご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。
- ・ ユニットの背面に直接風が当たる向き・場所には絶対に設置しないでください。
- ・ 本品取り付けにより、能力ダウン(2～3%)及び室外ユニットの騒音アップ(1～2dB程度)があります。

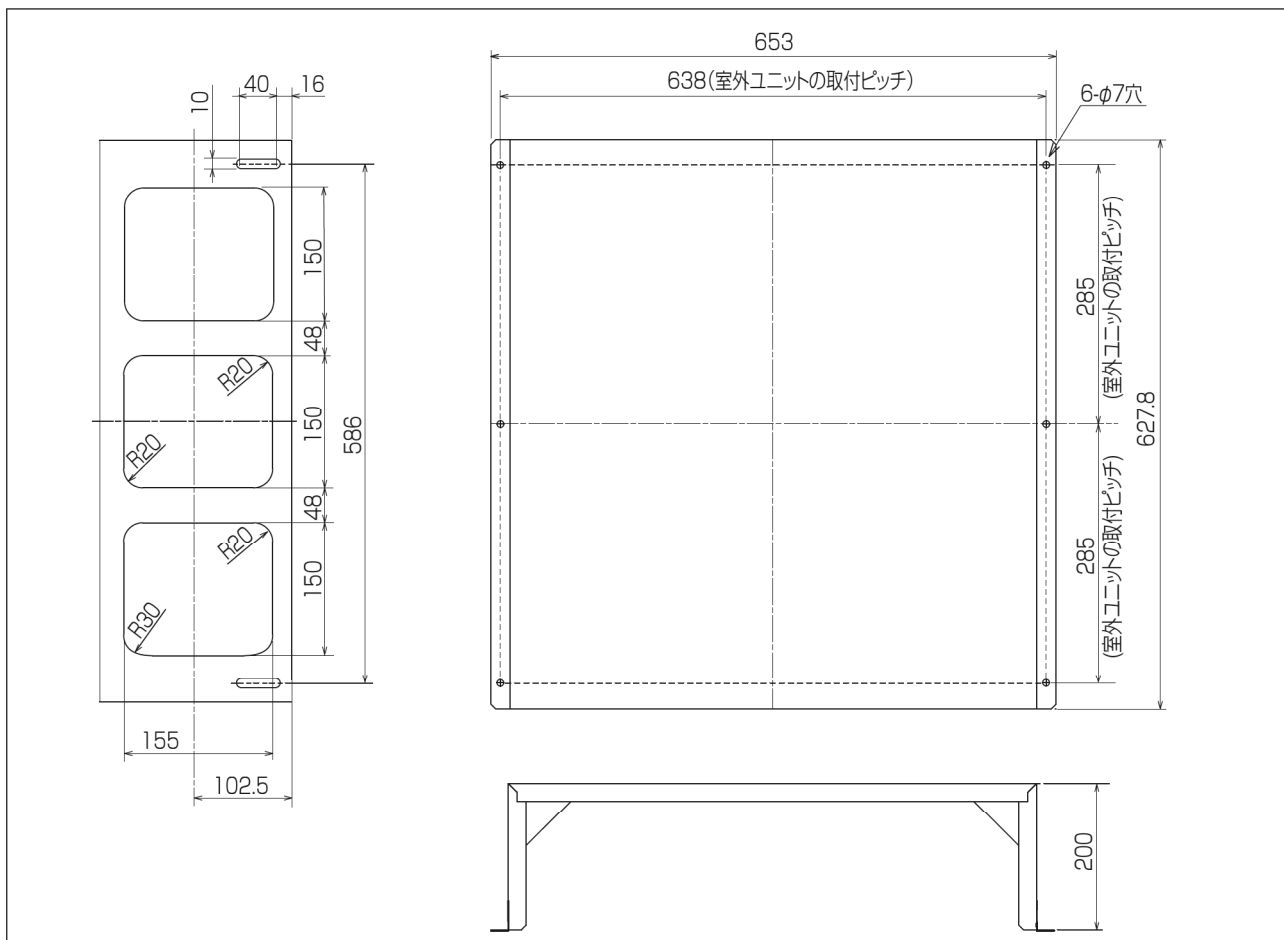
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112～160KA10 (2個使い)
- PUZ-ZRP224・280KA13 (2個使い)
- PUZ-ERMP112～160LA10 (1個使い)
- PUZ-ERP224・280KA13/KAPF3 (2個使い)
- PUZ-HRMP80～160KA4 (2個使い)

仕様

形名	PAC-SH95AG	
色	アイボリー	
外装	マンセルNo	3.0Y7.8/1.1
	表面処理	アクリル樹脂塗装
	材質	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板
質量	3.5kg	
付属部品 (材質 / 表面処理)	取付用ネジ (5×15) × 4 〈鉄線 (SWCH18A) / 亜鉛ニッケル合金メッキ〉	

外形図 (単位: mm)



MITSUBISHI ELECTRIC
三菱電機 パッケージエアコン別売部品
エアガイド取付工事説明書

PAC-SH95AG
室外ユニットK/Lシリーズ用
PAC-SJ06AG
室外ユニットKシリーズ用

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この安全のために必ず守ることをよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、死にや重傷などに結びつく可能性のあるもの。

注意
誤った取扱いをしたときに、軽傷または衣服・家財などの損害に結びつくもの。

- 取付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この取付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わられる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくようお願いしています。

警告

- 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で取付工事を行なうと、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 取付けは、この取付工事説明書に従って確実に行う。
- 取付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

取付け(移設)・電気工事をする前

注意

- 爪は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 冷媒配管の断熱は剥離しないようには確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管等が凝露して、露タレ等を発生し、天井・床その他の大切なものを濡らす原因になります。

- 電源配線は、電流量に合った種別品を使用すること。
- 雷電や発熱・火災の原因になります。
- トレン配管は、取付工事説明書に従って確実に排水するように設置すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

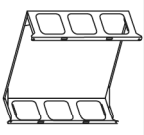



このエアガイドは、室外ユニットの送風機がファンコンローラー作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付けられる場所での送風機の保護などにご使用ください。また、外気温-5℃以下(-15℃まで)で冷房運転を行う場合には本品の取付けが必要 です。

- 1) 外風の影響を避けるため、ユニットの背面を必ず壁面に向けて設置してください。
- 2) ユニットの背面に直接風が当たる向き、場所には絶対に設置しないでください。
- 3) 本品取付けにより、能力ダウン(2~3%)および室外ユニットの騒音アップ(1~2dB程度)があります。
- 4) 室外ユニットの両側面および上方に障害物がある吹出し空気が障害物に当たるような設置場所では、本品のご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。

2) ファンタイプの室外ユニットにご使用の場合、本品は2セット必要となりますので、ご注意ください。

1 部品の確認

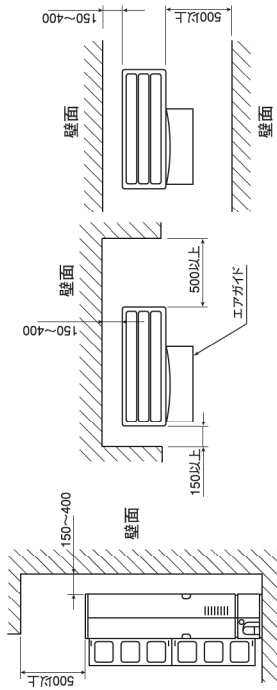
この様の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

①本体	1台	②取付ネジ	③ワッシャー	④スプリングワッシャー
	PAC-SH95AGの場合 5X15...6本 PAC-SJ06AGの場合 4X16...4本			
				PAC-SH95AGの場合 ...6個 PAC-SJ06AGの場合 ...4本

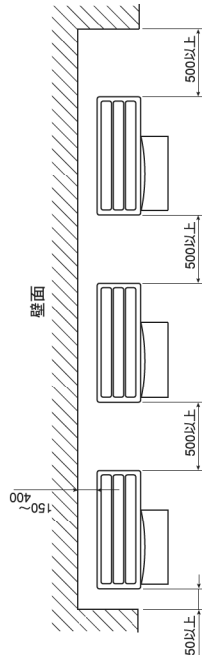
2 設置スペースの確認

(単位: mm)

(1) 単独設置時

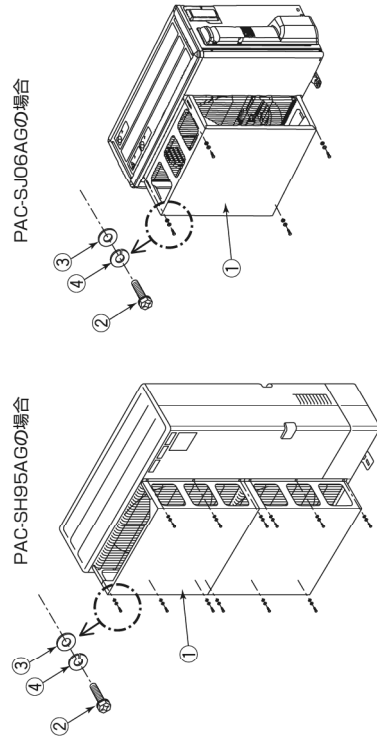


(2) 複数台設置時 ※連続設置は5台以内としてください。



3 取付方法

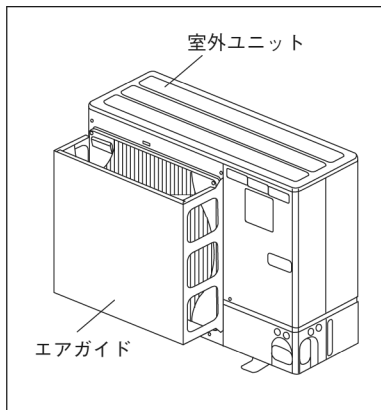
- (1) 本体①をワッシャー③とスプリングワッシャー④と取付ネジ②で室外ユニット②に取付けてください。



エアガイド

● PAC-SJ03AG

使用目的 / 用途



- “エアガイド” は、室外ユニットの送風機がファンコントローラ作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風などの強風が吹出口に直接吹き付ける場所での送風機の保護などにご使用ください。
- 外気温 -5°C 以下 (-15°C まで) で冷房運転を行う場合には、本品の取り付けが必要です。

注意

- ・ 室外ユニットの両側面及び上方に障害物がある設置場所では、本品のご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。
- ・ ユニットの背面に直接風が当たる向き・場所には絶対に設置しないでください。
- ・ 本品取り付けにより、能力ダウン(2～3%)及び室外ユニットの騒音アップ(1～2dB程度)があります。

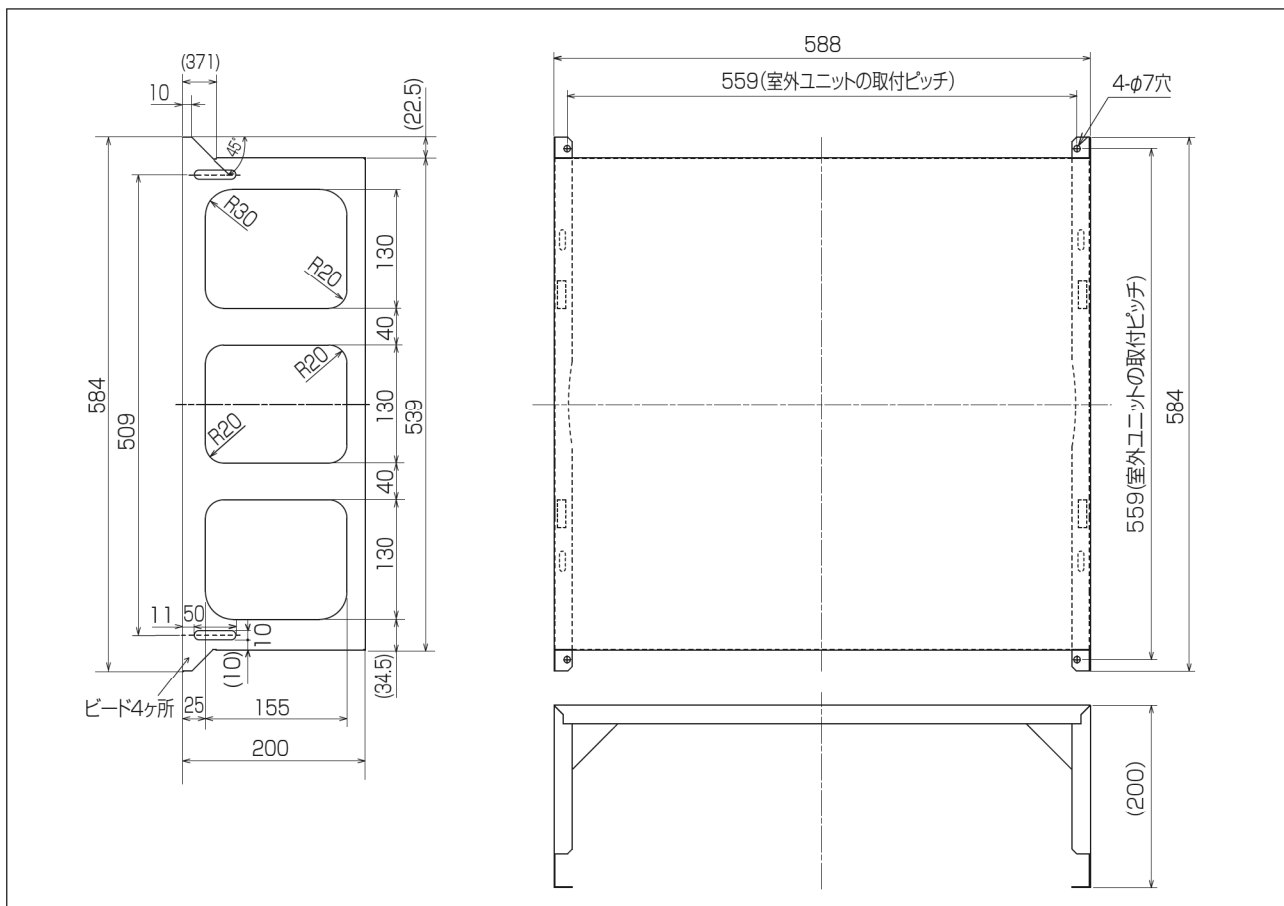
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA10 (1個使い)
- PUZ-ERMP80(S)HA10 (1個使い)

仕様

形名	PAC-SJ03AG
色	アイボリー
マンセルNo	3.0Y7.8/1.1
表面処理	アクリル樹脂塗装
材質	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板
質量	3.3kg
付属部品 (材質 / 表面処理)	取付用ネジ (5 × 15) × 4 (鉄線 (SWCH18A) / 亜鉛ニッケル合金メッキ)

外形図 (単位: mm)





三菱電機パッケージエアコン別売部品 エアガイド 据付工事説明書

PAC-SJ03AG
室外ユニット用

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。



注意
誤った取扱いをしたときに、設備または家屋・家財などの損傷に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認することともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。



警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事を行わず、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に



注意

- ボリ塗は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかかるとときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 電源線は、電流容量に合った絶縁管を使用すること。
- 濡電や発熱・火災の原因になります。
- 製品の運搬は十分注意して行う。
- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPV(パット)など所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
- 素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護膜をご使用ください。

- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。

この「エアガイド」は、室外ユニットの送風機がファンコンローラー作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付けられる場所での送風機の保護などに使用してください。また、外気温-5℃以下(-15℃まで)で冷房運転を行う場合には本品の取付けが必要で、なお、本品の取付けの際には、次の点にご留意ください。

- 1) 外風の影響を避けるため、ユニットの背面を必ず壁面に向けて設置してください。
- 2) ユニットの背面に直接風が当たる向き、場所には絶対に設置しないでください。
- 3) 本品取付けは、能力ダウン(2~3%)および室外ユニットの騒音アップ(1~2dB程度)があります。
- 4) 室外ユニットの側面および上方に障害物がある(吹出し空気が障害物に当たる)ような設置場所では、本品のご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。

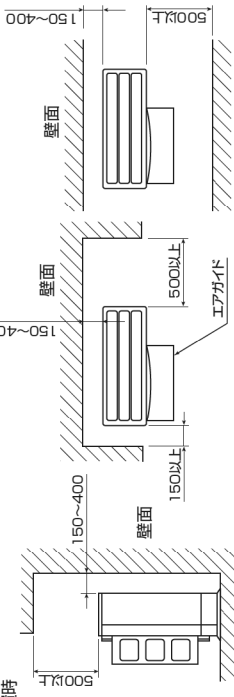
2) ファンタイプの室外ユニットにご使用の場合、本品は2セット必要となりますので、ご注意ください。

1) 部品の確認 この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

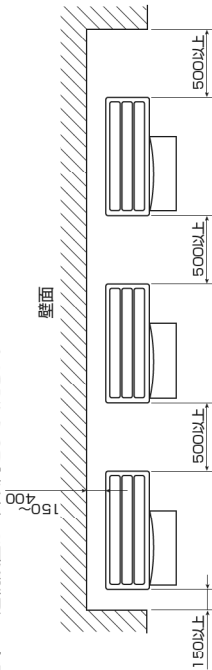
①本体	1台	②取付ネジ5×15	4本	③ワッシャー	4個	④スプリングワッシャー	4個

2 設置スペースの確認

(1) 単独設置時



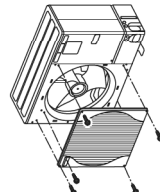
(2) 複数台設置時 ※連続設置は5台以内とさせていただきます。



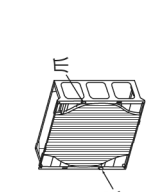
3 取付方法

(1) ファンガードの仕様により、取付方法が異なりますので、図示を参照してください。

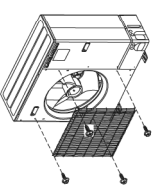
- (1) ファンガード固定ネジ(外周5本)を取外し、ファンガードを外してください。



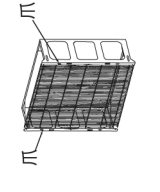
- (2) ファンガードの爪をエアガイドの角穴に押しこんでください。



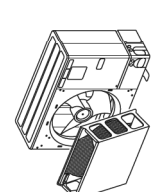
- (1) ファンガード固定ネジ(外周4本)を取外し、ファンガードを外してください。



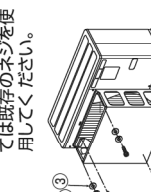
- (2) ファンガードの爪をエアガイドの長穴に押しこんでください。



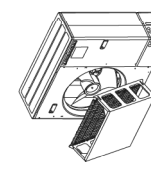
- (3) ファンガードの爪(4ヶ所)を室外ユニット本体に設けてある取付穴に押しこんでください。



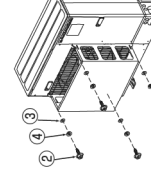
- (4) ワッシャー③とスプリングワッシャー④とネジ②で室外ユニットに取り付けてください。
※ハンドル部分については既存のネジを使用してください。



- (3) ファンガードの爪(2ヶ所)を室外ユニット本体に設けてある取付穴に押しこんでください。



- (4) ワッシャー③とスプリングワッシャー④とネジ②で室外ユニットに取り付けてください。

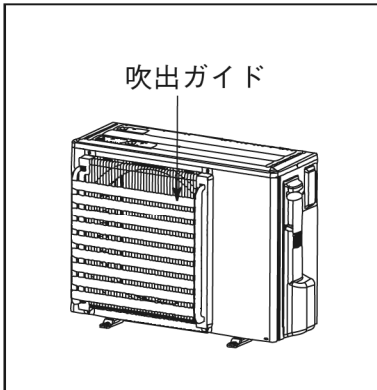


BH79G740H03

吹出ガイド

● PAC-SJ07SG

使用目的 / 用途



- “吹出ガイド”は、室外ユニットを店先や通路等に据え付けた際、室外ユニットの熱風（冷房運転時）または冷風（暖房運転時）の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。
- 路地に設置した室外ユニットから出る風が直接通行人に当たらないようにします。
- 室外ユニットの正面に建物がある場合、スマッジングによる外壁の汚れを防止できます。
- ショートサイクルの対策にも利用ができ、室外ユニット前方に障害物がある場合や室外ユニットの集中設置時に効果的です。

注意

- ・積雪が予想される場所では“上向き”での使用は絶対におやめください。
- ・本品取付により、能力ダウン(2～3%)及び室外ユニットの騒音アップ(1～2dB)があります。
- ・室外ユニットの背面と両側面に障害物があるような場所では“上向き”での使用はおやめください。

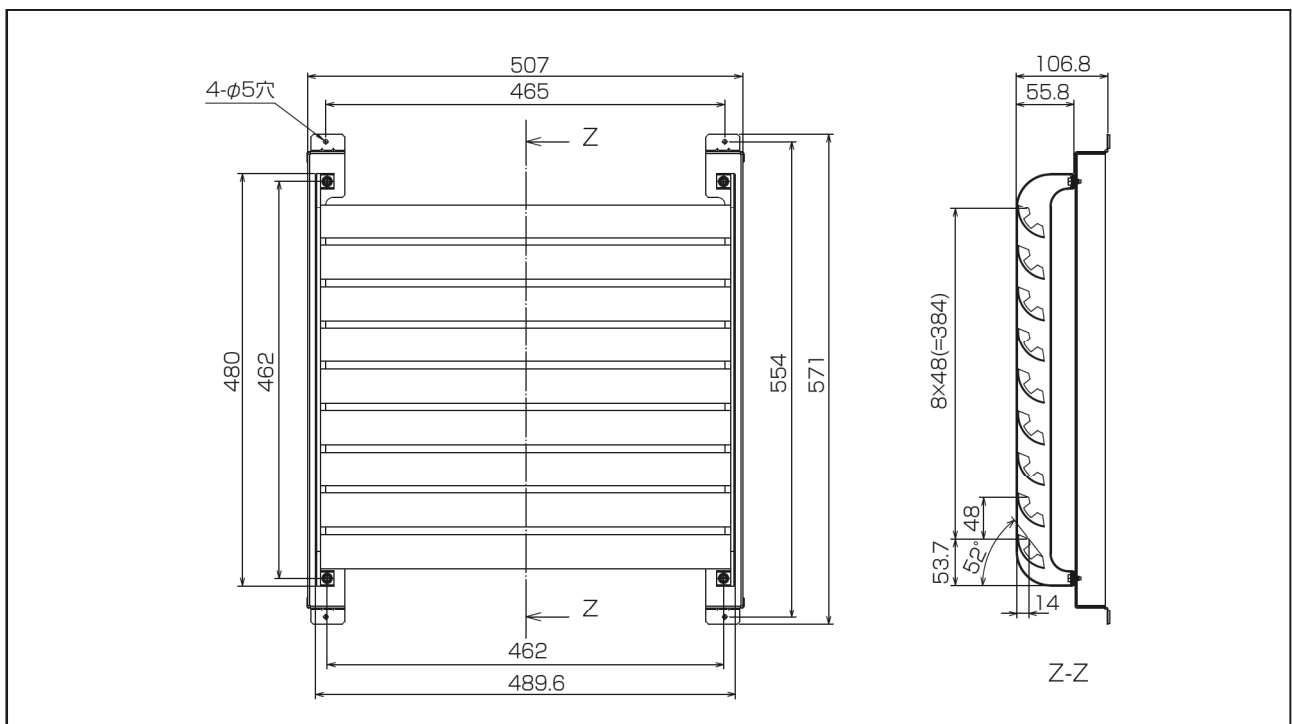
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40～63(S)KA10 (1個使い)
- PUZ-ERMP40～63(S)KA10 (1個使い)

仕様

形名	PAC-SJ07SG	
外装	色(マンセル)	アイボリー(3.0 Y 7.8/1.1)
	材質	吹出ガイド本体: 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板
	表面処理	アクリル樹脂塗装
質量	2.8kg	
吹出方向	上向き、下向き、横向きの何れかに変更	
付属部品×数量 <材質/表面処理>	ネジ(M5×10)×4(鉄/亜鉛ニッケル合金メッキ) ネジ(M4×12)×4(鉄/亜鉛ニッケル合金メッキ)	

外形図(単位: mm)





三菱電機パッケージエアコン別売部品 吹出ガイド据付工事説明書

PAC-SJ07SG
室外ユニット Kシリーズ用

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じうる危険とその程度を次の表で区分して示しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

注意
誤った取扱いをしたときに、軽傷または家具・家財などの損害に結びつくもの。

● 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するにも、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お読挙で保管していただくように依頼させていただきます。また、お使いになる方が代わられる場合は、新しくお使いいただくように依頼させていただきます。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事を行なうと、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- 氷ノコは初層の手の届くところには置かない。
- 頭からかぶるなどしたとき口や鼻をふさぐ窒息の原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

- 漏電配線は、電流容量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- トレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないように保つこと。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

この「吹出ガイド」は、室外ユニットを店先や通路等に据付けた場合、室外ユニットの熱風(冷房運転時)または冷風(暖房運転時)の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。

- 1) 横向きに雪が溜まり、ファン等が破損することがあります。
- 2) 本品取付けにより、能力ダウン(2~3%)および室外ユニットの騒音アップ(1~2dB程度)があります。
- 3) 室外ユニットの背面と、両側面に障害物がある(吸込み空気をユニット上方から取入れる)ような設置場所では、上吹きでご使用はおめやください。ジョイントパイプの理由になります。
- 4) 設置スペースについては代表図について記載してあります。

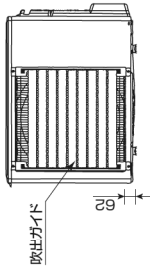
1 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

① 吹出ガイド	② サポート	③ 取付ネジ 5×10	④ 取付ネジ 4×12	⑤ 取付ネジ 4×12	⑥ 取付ネジ 4×12
---------	--------	-------------	-------------	-------------	-------------

2 取付完成図

幅809×高さ630×奥行300mmの
室外ユニット



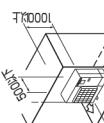
3 設置スペースの確認

● ジョイントサイクルをおこなさないよう以下の周囲必要空間を確保のうえ、可能な限り障害物のない場所をお選びください。

1) 単独設置時の周囲必要空間

● 下図(3)、(5)のような場合は本品の「上吹き」でご使用はおめください。

(1) 正面に障害物がある場合 (2) 背面と正面に障害物がある場合 (3) 背面と上方に障害物がある場合 (4) 背面と側面に障害物がある場合 (5) 背面と側面および上方に障害物がある場合 (正面は開放)

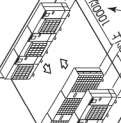
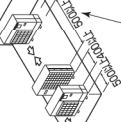
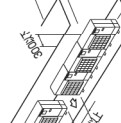
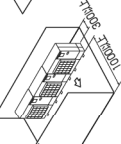
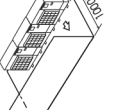
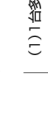
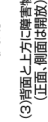
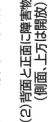


2) 複数台設置時の周囲必要空間

● 横連続設置の場合、ユニット間は350以上確保してください。

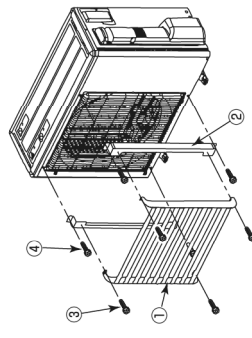
● 下図(3)のような場合は本品の「上吹き」でご使用はおめください。

(1) 正面に障害物がある場合 (2) 背面と正面に障害物がある場合 (3) 背面と上方に障害物がある場合 (正面、側面は開放)



4 取付方法

- 1) サポート②(2個)をネジ④(4本)で室外ユニットに固定し、枠を作成してください。
 - 2) 組み立てたサポートに、吹出ガイド①をネジ③(4本)で取付けてください。
- 吹出方向は4方向選択できますので、吹出ペーンの向きをご確認のうえ、現地に合った方向で取付けてください。



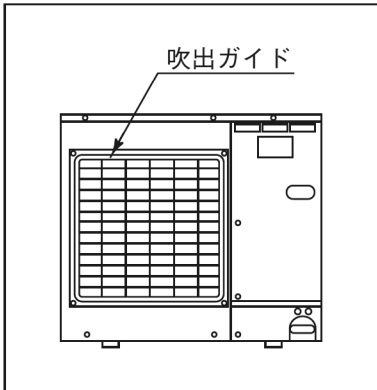
吹出方向の設置

上向き	下向き	左向き	右向き

吹出ガイド

● PAC-SJ04SG

使用目的 / 用途



- “吹出ガイド” は、室外ユニットを店先や通路等に据え付けた際、室外ユニットの熱風（冷房運転時）または冷風（暖房運転時）の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。
- 路地に設置した室外ユニットから出る風が直接通行人に当たらないようにします。
- 室外ユニットの正面に建物がある場合、スマッジングによる外壁の汚れを防止できます。
- ショートサイクルの対策にも利用ができ、室外ユニット前方に障害物がある場合や室外ユニットの集中設置時に効果的です。

注意

- ・積雪が予想される場所では“上向き”での使用は絶対におやめください。
- ・本品取付により、能力ダウン(2～3%)及び室外ユニットの騒音アップ(1～2dB)があります。
- ・室外ユニットの背面と両側面に障害物があるような場所では“上向き”での使用はおやめください。

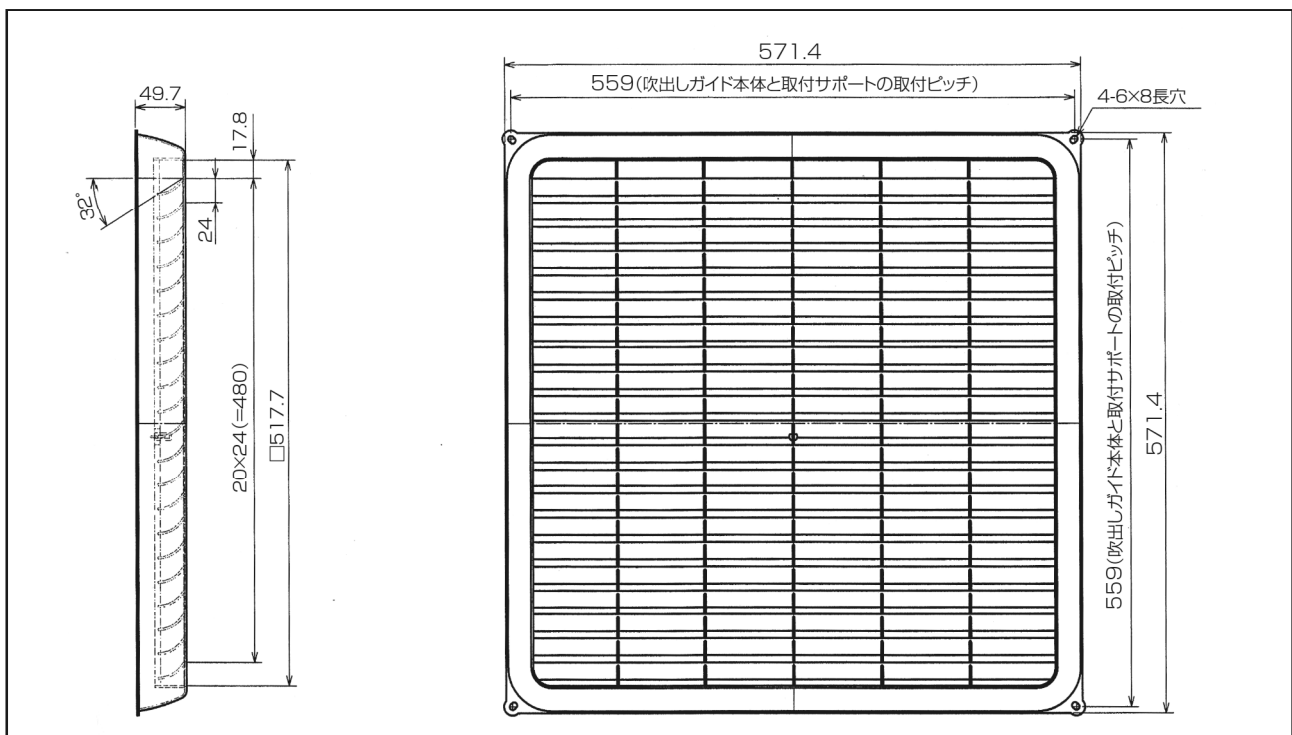
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA10 (1個使い)
- PUZ-ERMP80(S)HA10 (1個使い)

仕様

形名	PAC-SJ04SG	
外装	色	アイボリー
	マンセル	3.0 Y 7.8/1.1
	材質	吹出ガイド本体：PP樹脂
質量	1.2kg	
吹出方向	上向き、下向き、横向きの何れかに変更	
付属部品	取付用座付きネジ(M5×40)×4<鉄線(SWCH18A) / 垂鉛メッキ> スペーサー×4	

外形図 (単位：mm)





三菱電機 パッケージエアコン別売部品 吹出ガイド 据付工事説明書

PAC-SJ04SG
室外ユニット用

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に保つておくために記載されていますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または物損、財産などの損害に結びつくもの。

警告

据付後、試運転を行わずに電源を入れたままにしておくことは、火災の原因となります。必ず、試運転を行ってください。

警告

据付後、試運転を行わずに電源を入れたままにしておくことは、火災の原因となります。必ず、試運転を行ってください。

注意

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
● お客様自身で据付工事を行わずに、水漏れや感電・火災等の原因になります。

注意

据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
● 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

注意

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
● お客様自身で据付工事を行わずに、水漏れや感電・火災等の原因になります。

注意

据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
● 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

注意

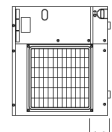
据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
● お客様自身で据付工事を行わずに、水漏れや感電・火災等の原因になります。

注意

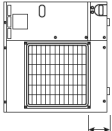
据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
● 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

2 取付完成図

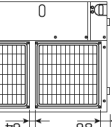
Aタイプの場合
幅950×高さ740×奥行330mm
の室外ユニット



Bタイプの場合
幅950×高さ943×奥行330mm
の室外ユニット



Cタイプの場合
幅950×高さ1,350
×奥行330mmの
室外ユニット

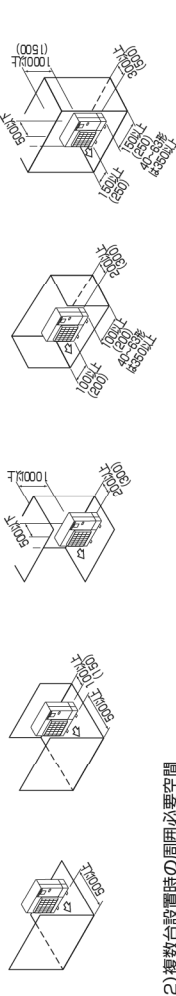


3 設置スペースの確認

〔下図において()内寸法はCタイプの場合を示します。なお、()の併記がない寸法はシリーズ共通です。単位:mm〕

- ショートサイクルをおこなう場合は、可能な限り障害物のない場所をお選びください。
- 1) 単独設置時の周囲必要空間
- 2) 下図(3)、(5)のような場合は本品の「上吹き」での使用はおやめください。

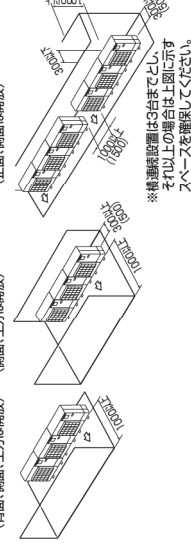
- 3) 正面に障害物がある場合 (正面、上方は開放)
- 4) 背面と側面に障害物がある場合 (正面、上方は開放)
- 5) 背面と側面および上方に障害物がある場合 (正面は開放)



2) 複数台設置時の周囲必要空間

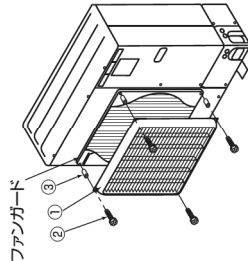
- 横連続設置の場合、ユニット間は10以上確保してください。
- 下図(3)のような場合は本品の「上吹き」での使用はおやめください。

- 1) 正面に障害物がある場合 (正面、上方は開放)
- 2) 背面と正面に障害物がある場合 (正面、側面は開放)
- 3) 背面と上方に障害物がある場合 (正面、側面は開放)

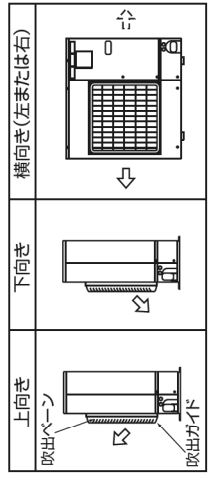


4 取付方法

- 1) 既存のファンガードを固定しているネジ(4本)を外してください。
- 2) スペースサ③(4個)をファンガードのネジ固定箇所にて、吹出ガイド①をファンガードの上からネジ②で室外ユニット本体に取付けてください。
- 吹出方向は4方向選択できますので、吹出ペーンの向きをご確認のうえ、現地に合った方向で取付けてください。



吹出方向の設置



吹出ガイド: PAC-SJ04SG

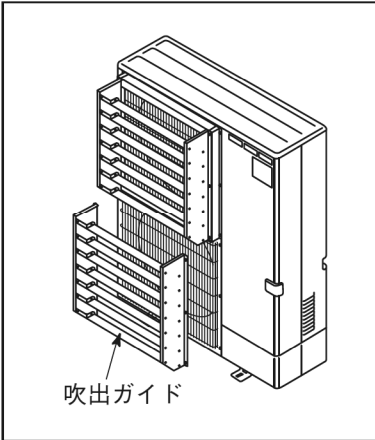
(本マニュアル用に変更・修正しています)

BH79G7566H05

吹出ガイド

● PAC-SH96SG

使用目的 / 用途



- “吹出ガイド” は、室外ユニットを店先や通路等に据え付けた際、室外ユニットの熱風（冷房運転時）または冷風（暖房運転時）の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。
- 路地に設置した室外ユニットから出る風が直接通行人に当たらないようにします。
- 室外ユニットの正面に建物がある場合、スマッジングによる外壁の汚れを防止できます。
- ショートサイクルの対策にも利用ができ、室外ユニット前方に障害物がある場合や室外ユニットの集中設置時に効果的です。

注意

- ・ 積雪が予想される場所では“上向き”での使用は絶対におやめください。
- ・ 本品取付により、能力ダウン(2～3%)及び室外ユニットの騒音アップ(1～2dB)があります。
- ・ 室外ユニットの背面と両側面に障害物があるような場所では“上向き”での使用はおやめください。

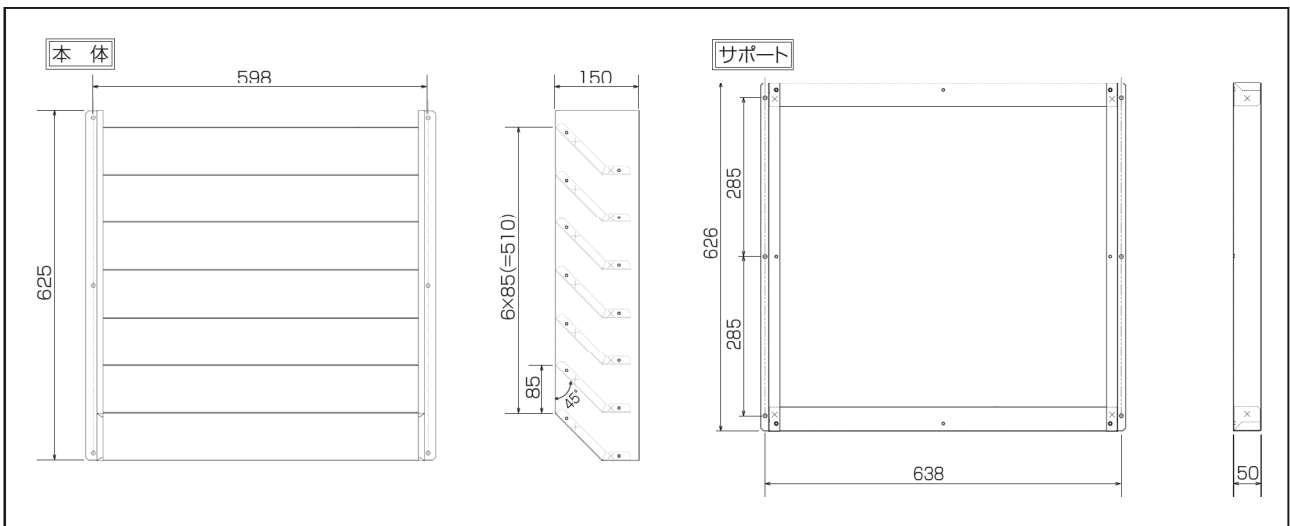
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112～160KA10, PUZ-ZRP224・280KA13 (2個使い)
- PUZ-ERP224・280KA13/KAPF3 (2個使い)
- PUZ-ERMP112～160LA10 (1個使い)
- PUZ-HRMP80～160KA4 (2個使い)

仕様

形名	PAC-SH96SG	
外装	色	アイボリー
	マンセル	3.0 Y 7.8/1.1
	材質	吹出ガイド本体：合金化溶融亜鉛メッキ鋼板
質量	7kg	
吹出方向	上向き、下向き、横向きの何れかに変更	
付属部品	取付用座付きネジ(M5×15)×12<鉄線(SWCH18A) / 亜鉛メッキ> ワッシャー×12, スプリングワッシャー×12	

外形図 (単位：mm)

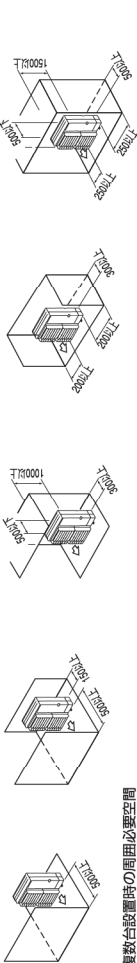


2 設置スペースの確認 (単位: mm)

● ショートサイクルをおこなさないよう以下の周囲必要空間を確保のうえ、可能な限り障害物のない場所をお選びください。

1) 単独設置時の周囲必要空間

- 下図(3)のような場合は本品の“上吹き”での使用はおやめください。
- (1)正面に障害物がある場合 (側面、側面、上方は開放)
- (2)背面と正面に障害物がある場合 (正面、側面は開放)
- (3)背面と上方に障害物がある場合 (正面、上方は開放)
- (4)背面と側面に障害物がある場合 (正面、上方は開放)
- (5)背面と側面および上方に障害物がある場合(正面は開放)

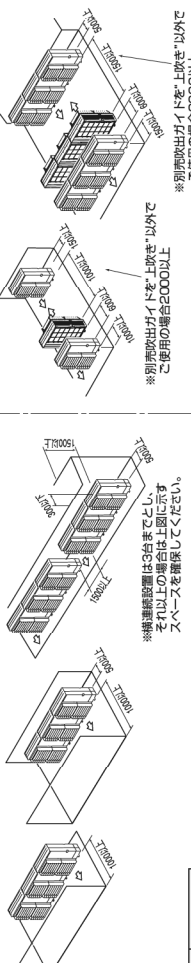


2) 複数設置時の周囲必要空間

● 棟間設置の場合、ユニット間は25以上確保してください。

● 下図(3)のような場合は本品の“上吹き”での使用はおやめください。

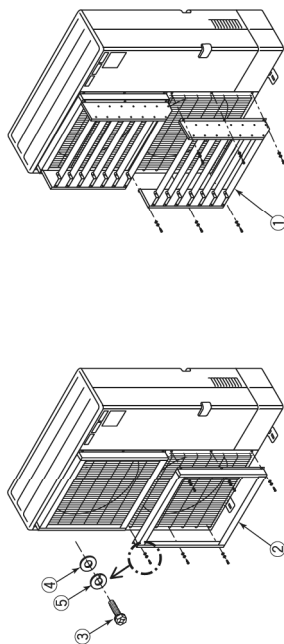
- (1)正面に障害物がある場合 (側面、側面、上方は開放)
- (2)背面と正面に障害物がある場合 (側面、側面は開放)
- (3)背面と上方に障害物がある場合 (正面、側面は開放)



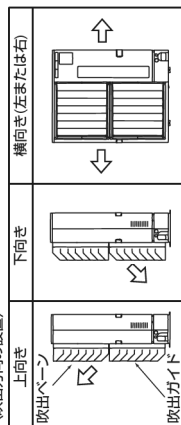
3 取付方法

● 吹出方向は4方向選択できますので、吹出ベーン向きをご確認のうえ、現地に合った方向で取付けてください。

- (1)既存のグリルの上からサポート④をワッシャー①とスプリングワッシャー⑤と取付ネジ③(6ヶ所)で、室外ユニットに取付けてください。
- (2)本体①の吹出ベーンを任意の方向に合わせ、ワッシャー④とスプリングワッシャー⑤と取付ネジ③(6ヶ所)で、(6ヶ所)で室外ユニットに取付けてください。



《吹出方向の設置》



三菱電機/パッケージエアコン別売部品

吹出ガイド 据付工事説明書

PAC-SH96SG

室外ユニットK/Lシリーズ

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家庭・家財などの損害に結びつくもの。



警告

据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お使いになる方にお渡しいただくようお願いいたします。また、お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくようお願いいたします。



警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。



注意

● お気休めの原因になります。

● 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。



注意

● 不完全な断熱工事を行うと配管等が凍結して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。



注意

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。



注意

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。



注意

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。



注意

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。



注意

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。



注意

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。



注意

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。



注意

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。



注意

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。



注意

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。



注意

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。



注意

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。



注意

● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

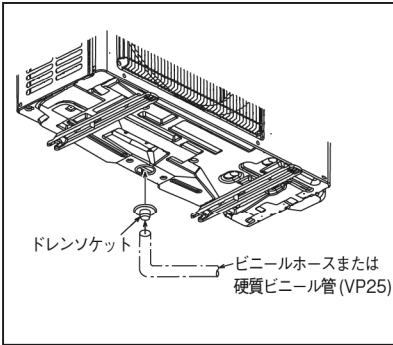
● 配管配管の断熱は結露しないように確実に行う。

1 部品の確認	
この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。	
①本体	1台
②サポート	1台
③取付ネジ	12本
④ワッシャー	12個
⑤スプリングワッシャー	12個

ドレンソケット

● PAC-SJ08DS

使用目的 / 用途



- 室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴があけてあります。“ドレンソケット”は、設置場所によりドレンホースで排水する場合に余分な穴を塞ぎ、1箇所より集中排水するための部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した場合や設置面を濡らしたくない場合に使用します。

注意

寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。

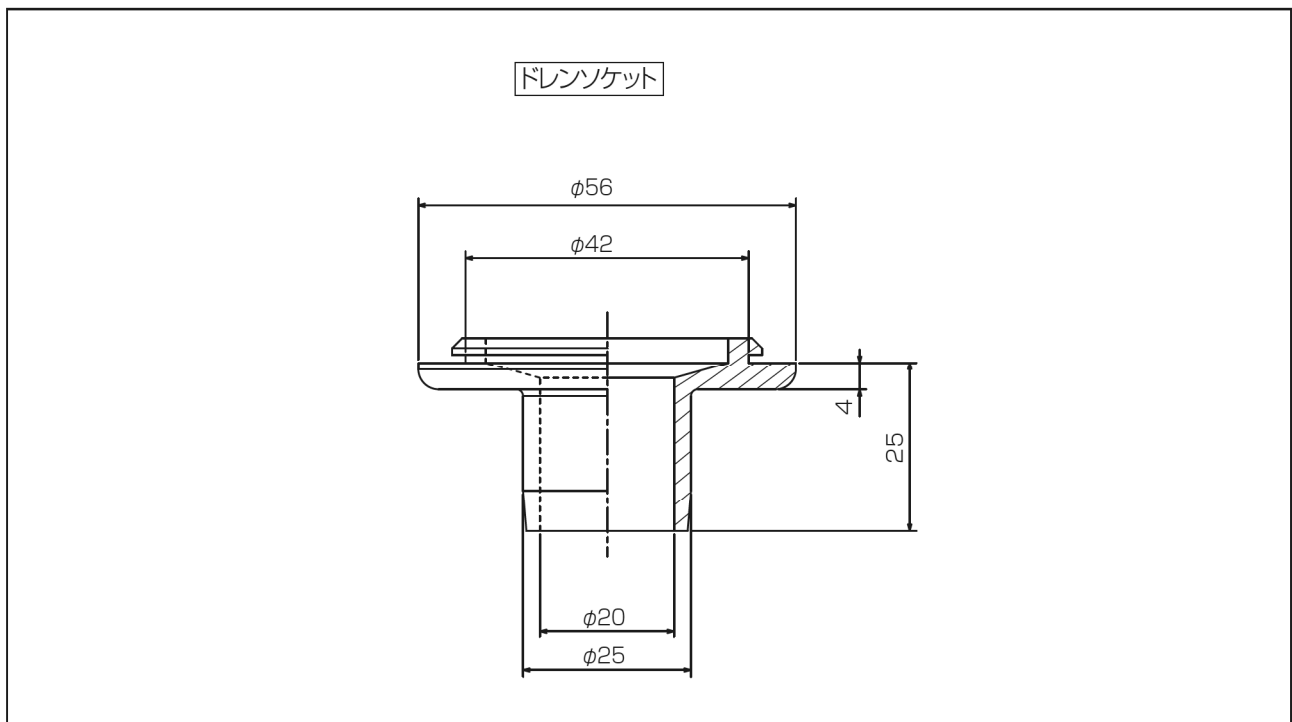
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA10
- PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA10

仕様

形名	PAC-SJ08DS
接続ドレン配管	PVC管 VP-25または内径25mmのビニールホース
使用環境条件	凍結なきこと（寒冷地での使用はしないでください）
材質	EPTゴム
構成部品	ドレンソケット：1個

外形図 (単位：mm)



RG79T558L02



形名 PAC-SJ08DS
形名コード **7D2J08**

**三菱電機パッケージエアコン別売部品
ドレンソケット据付工事説明書**

適用機種
(**室外ユニット用**)
・Kシリーズ

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。



警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に



注意

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。

- 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

電源配線は、電流容量に合った規格品を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。

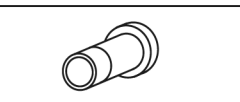
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴をあけてあります。この目的は排水を容易にするためです。ドレンソケットは、設置場所によりドレンホースで排水する場合に、1ヶ所より集中排水するための部品です。なお、寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。

※室外ユニットの底面には部品取付穴等が設けられており、それらの穴より結露水が滴下する場合があります。結露水の滴下を完全に防止するためには、集中排水ドレンパンをご使用ください。

1 部品の確認 この袋の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

①ドレンソケット 1個



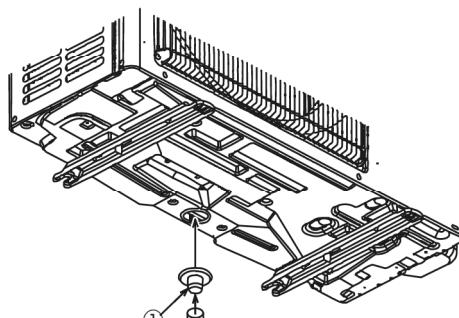
2 ドレンソケット取付方法 ☆接着剤は現地手配願います。

(1) ユニット底部にあるドレン排水穴に、ドレンソケット①を接着剤(現地手配)をつけて取付ける。

〈注〉接着剤は水漏れを防ぐシールを兼ねるので確実に塗布してください。

〈注〉接着剤はゴム-金属用接着剤をご使用ください。
推奨品:セメダイン社、スーパーX

(2) ドレンソケット①に市販の内径25mmのビニールホース、または硬質ビニール管VP25を取付けドレン配管工事を行ってください。

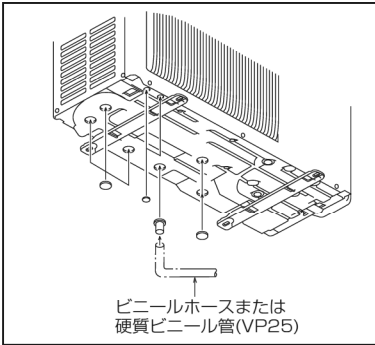


ビニールホースまたは硬質ビニール管(VP25)

ドレンソケット

● PAC-SJ73DS

使用目的 / 用途



- 室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴があけてあります。“ドレンソケット”は、設置場所によりドレンホースで排水する場合に余分な穴を塞ぎ、1箇所より集中排水するための部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した場合や設置面を濡らしたくない場合に使用します。

注意

・寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。

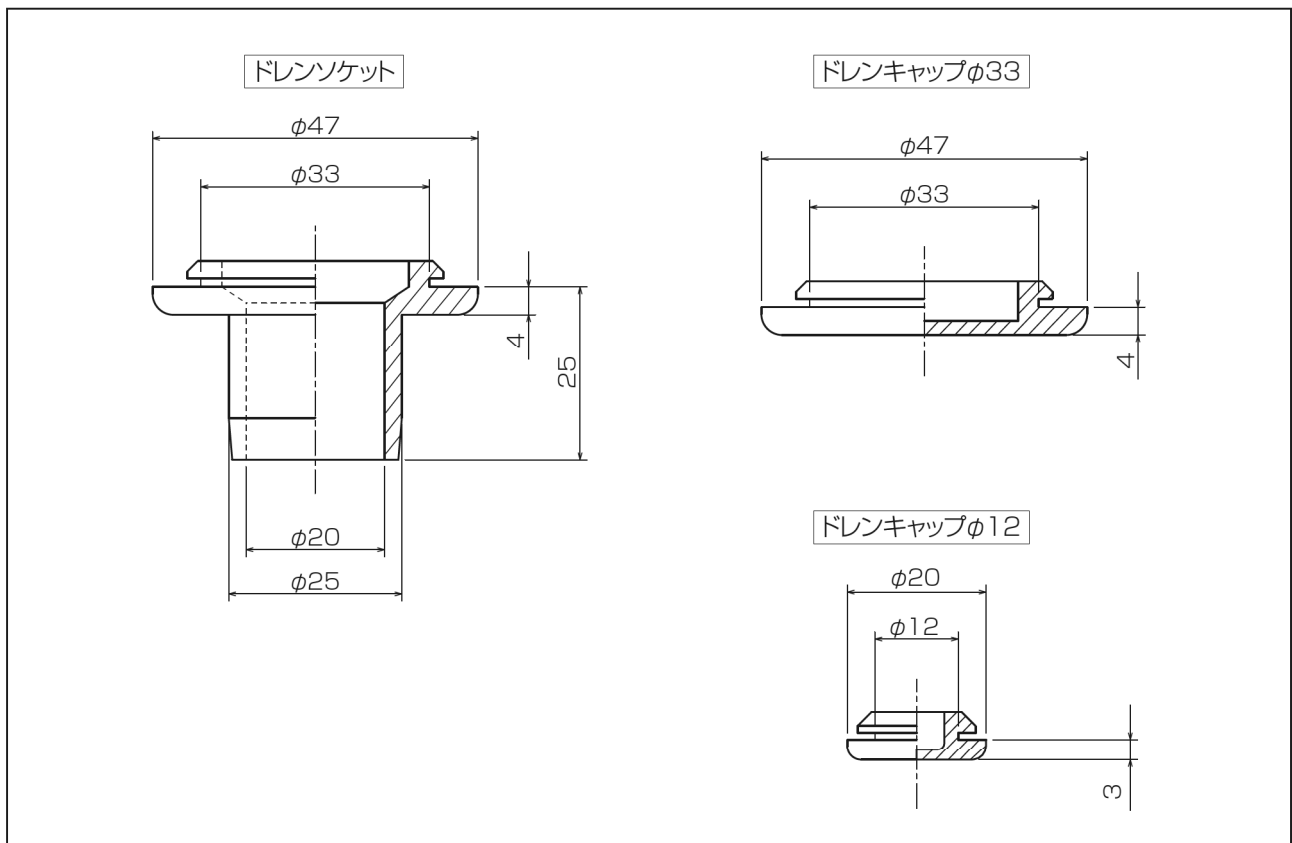
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA10, PUZ-ZRMP112 ~ 160KA10, PUZ-ZRP224・280KA13
- PUZ-ERMP80(S)HA10, PUZ-ERMP112 ~ 160LA10, PUZ-ERP224・280KA13/KAPF3

仕様

形名	PAC-SJ73DS
接続ドレン配管	PVC管 VP-25または内径25mmのビニールホース
使用環境条件	凍結なきこと（寒冷地での使用はしないでください）
材質	EPTゴム
構成部品	ドレンソケット：1個、ドレンキャップφ33：5個、ドレンキャップφ12：2個、断熱材：2枚（液管用1枚、ガス管用1枚）、バンド：8本

外形図 (単位：mm)



(本マニュアル用に変更・修正しています)

RG79T558N01

1 部品の確認

この袋の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

①ドレンソケット	②ドレンキャップ	③断熱材(液管側)	④断熱材(ガス管側)	⑤バンド
1個	大5個 小2個	1枚	1枚	8枚
	※機種により使用数が異なります。	サイズ小	サイズ大	

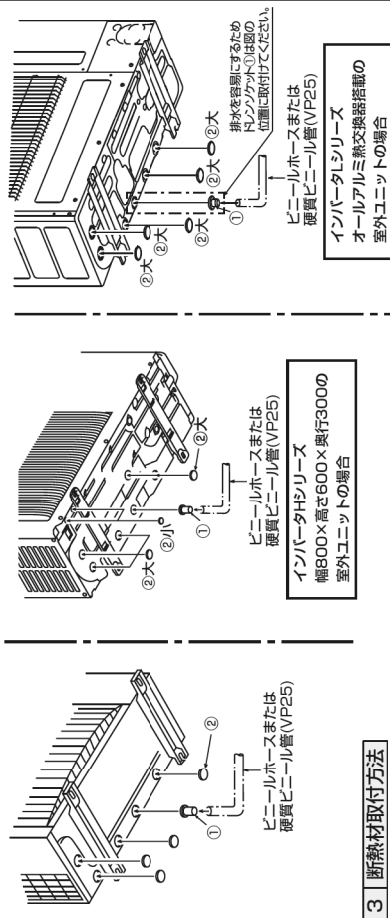
2 ドレンソケット取付方法

☆接着剤は現地手配願います。

- ユニット底部にある数ヶ所の穴のうち、ドレン排水に使用する穴にドレンソケット①を接着剤(現地手配)をつけて取付ける。
- ドレンキャップ②に接着剤(現地手配)をつけて残りの穴をふさぐ。……機種により穴の数が異なります。
 〈注〉接着剤は水漏れを防ぐシーラーを兼ねるので確実に塗布してください。
 〈注〉接着剤はゴム金属用接着剤をご使用ください。

- ドレンソケット①に市販の内径25mmのビニールホース、または硬質ビニール管VP25を取付けドレン配管工事を行ってください。

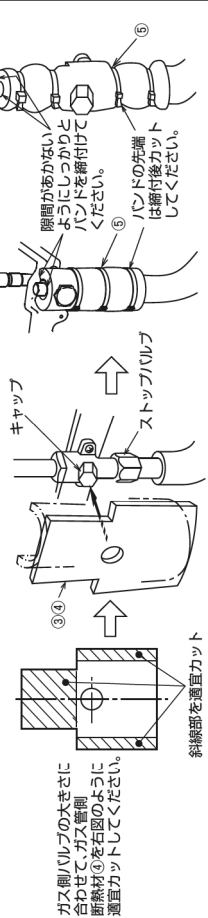
推奨品：セメタイン社、スーパーク



3 断熱材取付方法

- 室外ユニットのストップバルブに断熱材を取付けてください。
- ※断熱材は配管接続後に取付けてください。
 - ※機種によりストップバルブ近傍にチェックバルブがありますので、その時は断熱材③④に適宜迷し穴を設けて取付けてください。

- 断熱材③を液管側に、断熱材④をガス管側に取付けます。穴をバルブのキャップに合わせて、配管接続部全体を覆うように取付けてください。
- バンド⑤で断熱材③④を固定してください。



形名コード PAC-SJ73DS
7D2 J73

三菱電機パッケージエアコン別売部品
ドレンソケット据付工事説明書

適用機種

- 室外ユニット用
 ・Gシリーズ
 ・Hシリーズ
 ・Kシリーズ
 ・Lシリーズ

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、慎重に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に關する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに陥りつく可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に陥りつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様が保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされれば、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- ホリ穴は刃の手の届くところに置かない。
- 壁からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように慎重に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

- 電源配線は、電源容量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

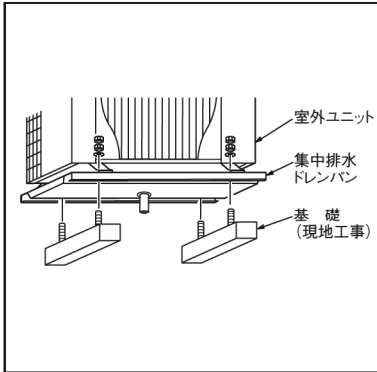
室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴を数ヶ所あけてあります。この目的は排水を容易にするためです。ドレンソケットは、設置場所によりドレンホースで排水する場合は、余分な穴をふさぎ、1ヶ所より集中排水するための部品です。

なお、寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
 ※室外ユニットの底面には部品取付穴、配管取出し用ロックアウト穴(スリット)等が設けられており、それらの穴より結露水が滴下する場合があります。結露水の滴下を完全に防止するためには、集中排水ドレンパンをご使用ください。

集中排水ドレンパン

● PAC-SG63DP

使用目的 / 用途



- “集中排水ドレンパン” は、室外ユニットを通路の上等の架台に据え付けた際のドレン処理を行う部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した時、設置下面を濡らしたくない時に使用します。
- 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが 30mm 高くなります。
- 凍結防止ヒーターとドレンソケットとの併用はできません。

注意

- ・ 寒冷地では使用しないでください。
- ・ 本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
- ・ 本品の前側に水が溜まらないように、若干後下がりにして施工してください。

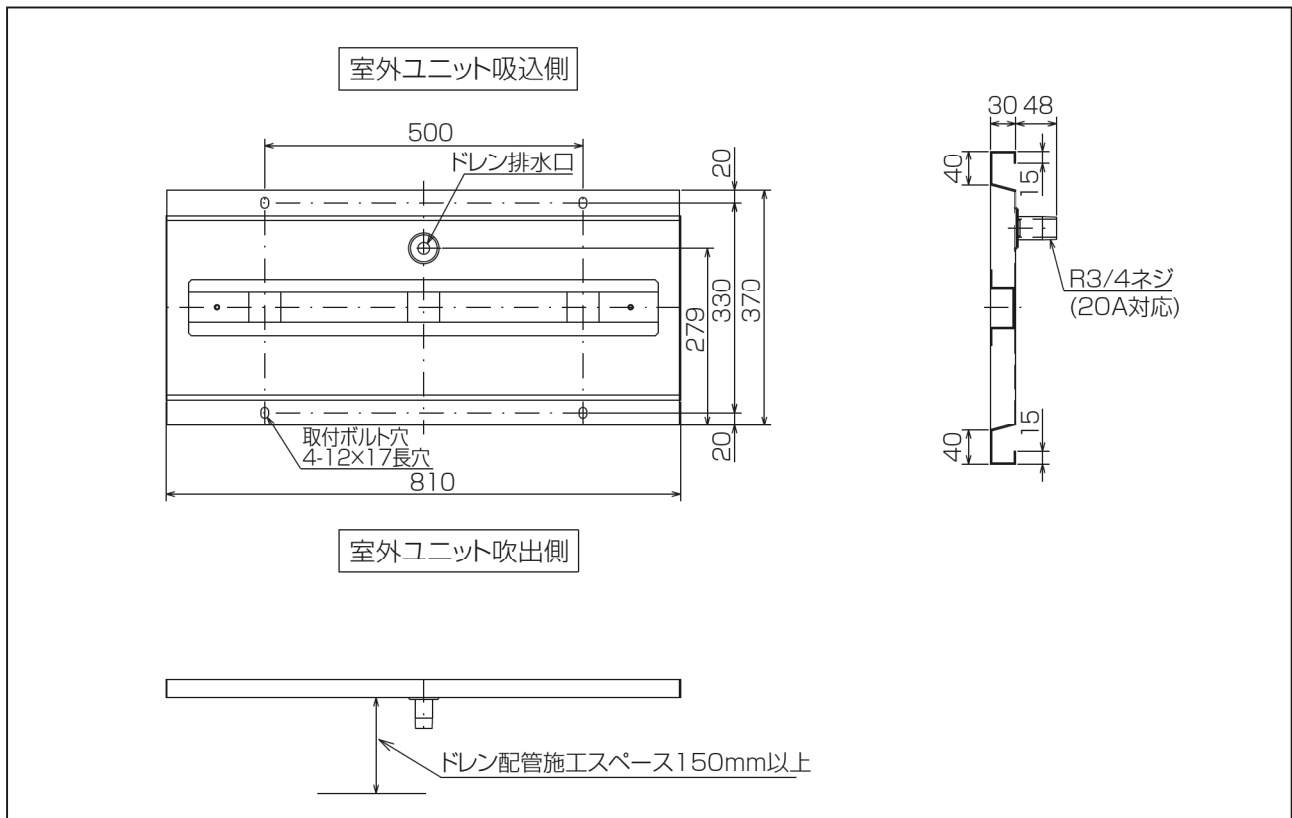
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA10
- PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA10

仕様

形名	PAC-SG63DP	
ドレン排水口サイズ	R3/4ネジ (20A)	
外装	色	アイボリー
	マンセルNo	3.0Y7.8/1.1
	材質	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 t1.6
	表面処理	アクリル樹脂塗装
質量	6.3kg	
取付ボルト (現地手配)	M10 (または W3/8) 長さ: ドレンパン下面より突出 48mm 以内	

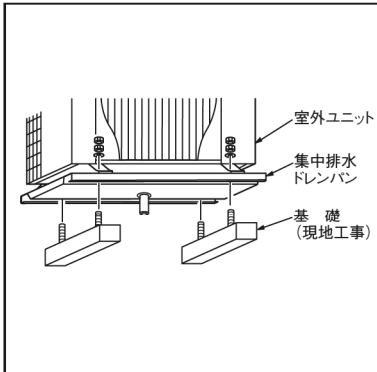
外形図 (単位: mm)



集中排水ドレンパン

● PAC-SG64DP

使用目的 / 用途



- “集中排水ドレンパン” は、室外ユニットを通路の上などの架台に据え付けた際のドレン処理を行う部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した時、設置下面を濡らしたくない時に使用します。
- 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが 30mm 高くなります。
- 凍結防止ヒーターとドレンソケットとの併用はできません。

注意

- ・ 寒冷地では使用しないでください。
- ・ 本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
- ・ 本品の前側に水が溜まらないように、若干後下がりにして施工してください。

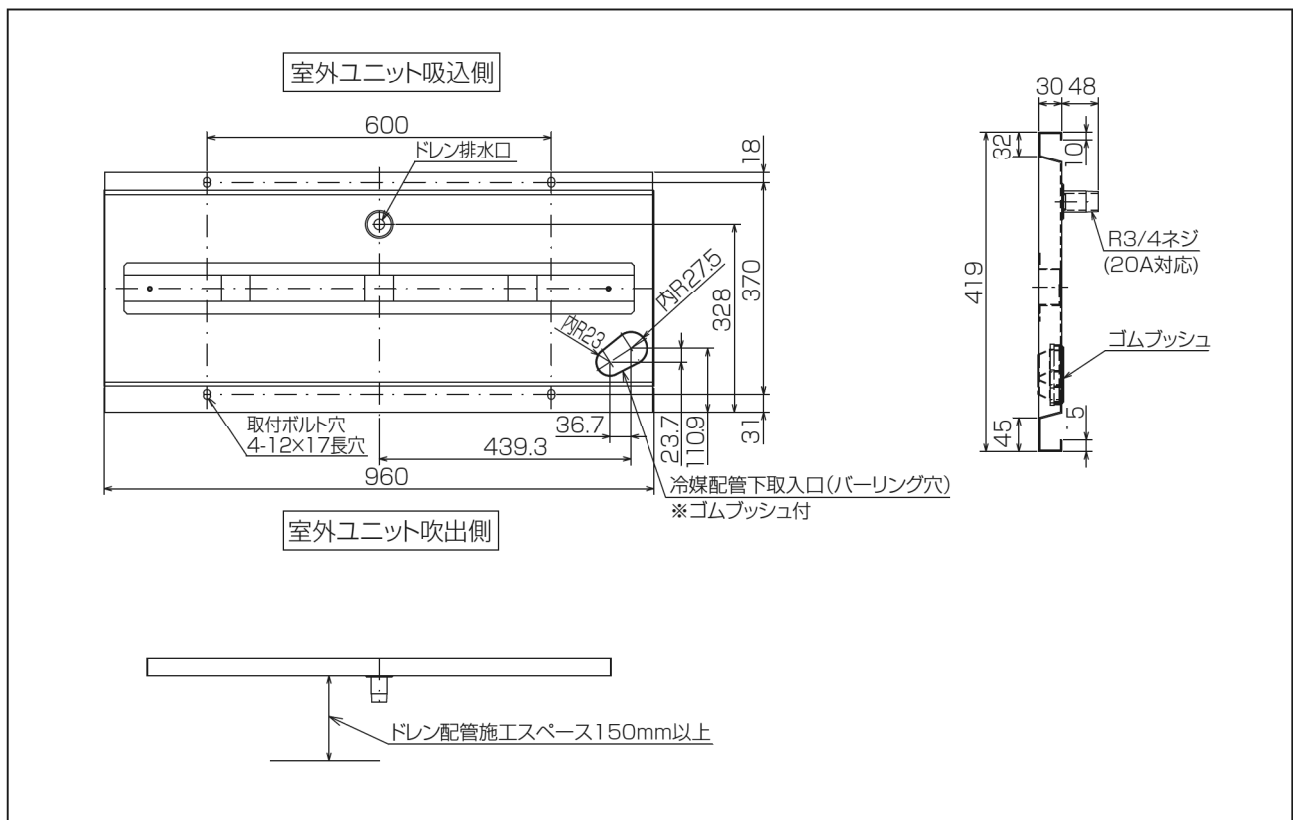
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA10
- PUZ-ERMP80(S)HA10, PUZ-ERMP112 ~ 160LA10

仕様

形名	PAC-SG64DP	
ドレン排水口サイズ	R3/4 ネジ (20A)	
外装	色	アイボリー
	マンセルNo	3.0Y7.8/1.1
	材質	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 t1.6
	表面処理	アクリル樹脂塗装
質量	7.8kg	
取付ボルト (現地手配)	M10 (または W3/8) 長さ: ドレンパン下面より突出 60mm 以内	

外形図 (単位: mm)





三菱電機 パッケージエアコン別売部品 集中排水ドレンパン据付工事説明書

PAC-SG63DP
室外ユニット H/Kシリーズ
PAC-SG64DP
室外ユニット H/Lシリーズ

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、
死亡や重傷などにつながる
可能性のあるものを、

警告
誤った取扱いをしたときに、
感傷または衰弱、発熱など
の損害に結びつくものを、

注意
取付け後、試験運転を行い異常がないことを確認するとともに、お客様で保管いただく
ように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

警告

警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされず、水漏れや感傷・
火災等の原因にはなりません。

据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●据付けに不備があると、水漏れや感傷・火災等の原因に
なります。

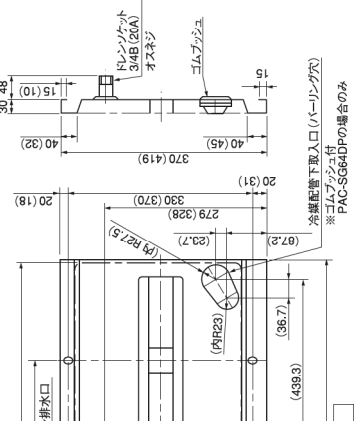
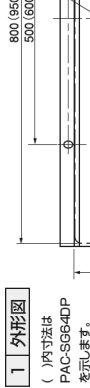
据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

注意

- 水は袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因に
なります。
- 電源配線は、電流量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱、火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう
施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他の家財等を
濡らす原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管表面が結露して、露ダレ等を
発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

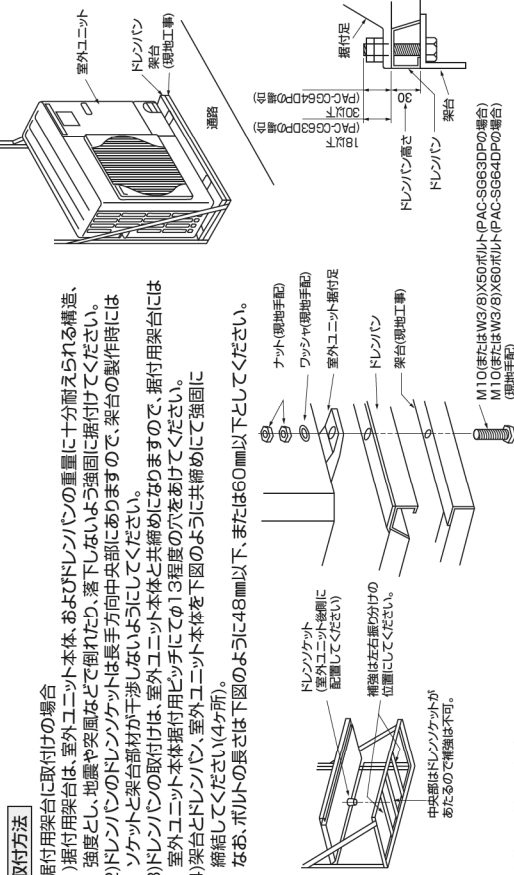
- このドレンパンは、室外ユニットを通路の上などの架台に据付けた場合のドレン処理を行うためのものです。
なお、本品の取付けの際には、次の点にご留意ください。
- 1) 寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
- 2) 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが30mm高くなります。
- 3) 本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側と合わせるようにしてください。
- 4) 本品の前面に水が溜まらないように、若干、後ろ下がりにして施工してください。



2 取付方法

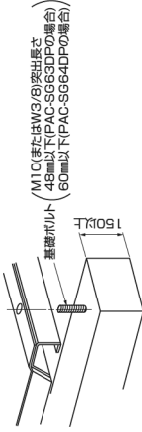
(1) 据付用架台に取付けの場合

- 1) 据付用架台は、室外ユニット本体、およびドレンパンの重量に十分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり、落下しないよう強固に据付けてください。
- 2) ドレンパンのドレンケツは長手方向中央部にありますので、架台の製作時にはケツと架台部材が干渉しないようにしてください。
- 3) ドレンパンの取付けは、室外ユニット本体と共締めになりますので、据付用架台には室外ユニット本体据付用ビスにてφ13程度の穴をあけてください。
- 4) 架台とドレンパン、室外ユニット本体を下図のように共締めにて強固に締結してください(4ヶ所)。
なお、ボルトの長さは下図のように48mm以下、または60mm以下としてください。



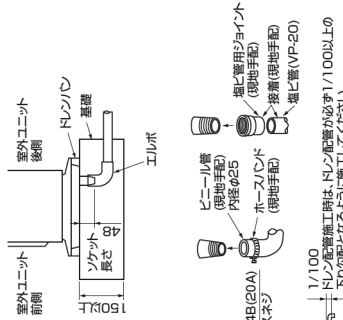
(2) 基礎に取付けの場合

- 基礎に据付けが必要で、基礎に据付ける場合、基礎の地上部高さは下図のように150mm以上としてください。これ以下ですとドレン排水用ケツの突出長さ48mmです。ドレン配管施工ができなくなります。



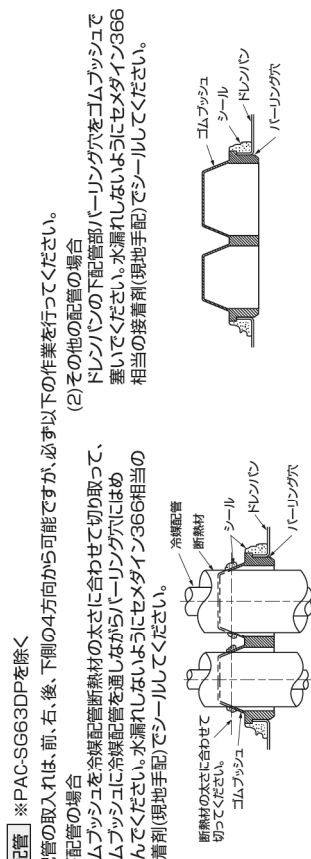
3 ドレン配管

- 1) 細管接続の場合
3/4Bメネジ加工にて接続してください。
- 2) ビニール管 (軟質) 接続の場合
内径の25mmを使用し、接続部はホースバンド等で確実に固定してください。
- 3) 塩ビ管 (硬質) 接続の場合
VP-20を使用し、塩ビ管用ジョイントにて接続してください。シールテープで確実にシールしてください。
※いずれの場合でも、ケツ側のネジ部はシールテープ等でシールしてください。確実にシールを行い、水漏れがないことを確認してください。



4 冷媒配管

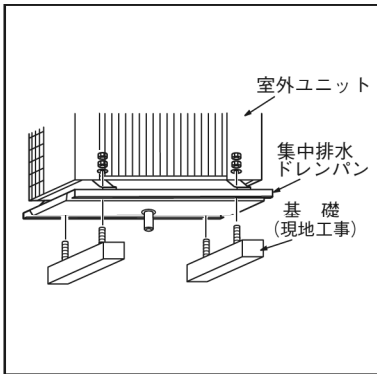
- 冷媒配管の取入れは、前、右、後、下側の4方向から可能ですが、必ず以下の作業を行ってください。
- (1) 下配管の場合
ゴムブッシュを冷媒配管断熱材の太さに合わせて切り取り、ゴムブッシュに冷媒配管を通しながらバーリング穴にはめ込んでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤(現地手配)でシールしてください。
- (2) その他の配管の場合
ドレンパンの下配管部/バーリング穴をゴムブッシュで塞いでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤(現地手配)でシールしてください。



集中排水ドレンパン

● PAC-SH97DP

使用目的 / 用途



- “集中排水ドレンパン” は、室外ユニットを通路の上などの架台に据え付けた際のドレン処理を行う部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した時、設置下面を濡らしたくない時に使用します。
- 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが 30mm 高くなります。
- 凍結防止ヒーターとドレンソケットとの併用はできません。

注意

- ・寒冷地では使用しないでください。
- ・本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
- ・本品の前側に水が溜まらないように、若干後下がりにして施工してください。

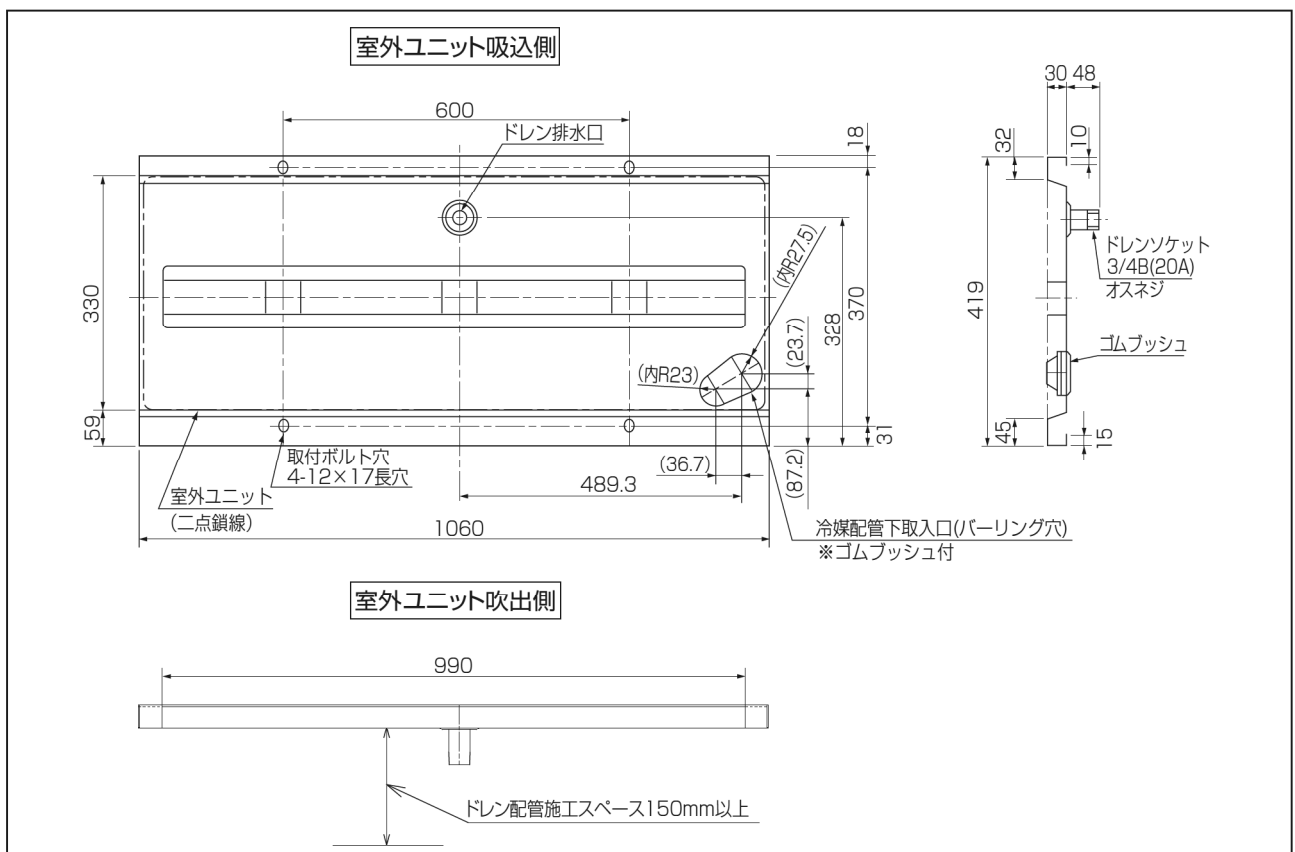
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112 ~ 160KA10, PUZ-ZRP224・280KA13
- PUZ-ERP224・280KA13/KAPF3

仕様

形名	PAC-SH97DP	
ドレン排水口サイズ	R3/4 ネジ (20A)	
外装	色	アイボリー
	マンセルNo	3.0Y7.8/1.1
	材質	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 t1.6
	表面処理	アクリル樹脂塗装
質量	8.8kg	
取付ボルト (現地手配)	M10 (または W3/8) 長さ: ドレンパン下面より突出 60mm 以内	

外形図 (単位: mm)



室外ユニット



三菱電機 パッケージエアコン別売部品 PAC-SH97DP 集中排水ドレンパン据付工事説明書

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この安全のために必ず守ることをよくお読みの上、慎重に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じた危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、
死にや重傷などに結びつく
可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、
軽傷または家庭・家財など
の損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくようお願いいたします。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事を行わずに不備があること、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って慎重に行う。
- 据付けに不備があること、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

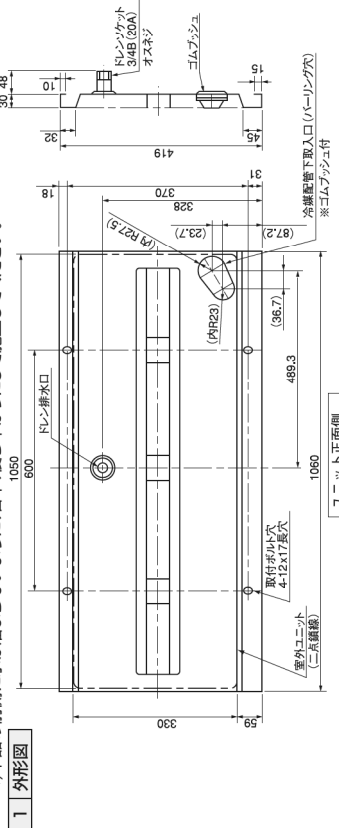
注意

- ボリ扱は初月の手の届くところに置かない。
- 電源配線は、電流量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように慎重に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

- 配管配線は、電流量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように慎重に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

このドレンパンは、室外ユニットを通路の上などの架台に据付けた場合のドレン処理を行うものです。

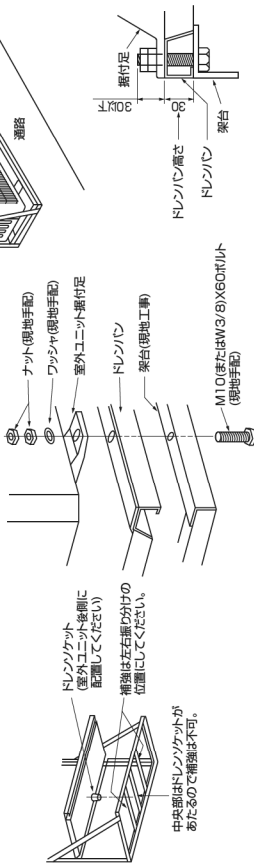
- なお、本品の取付けの際には、次の点に留意ください。
- 1)寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
- 2)本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが300mm高くなります。
- 3)本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
- 4)本品の前面に水が溜まらばいよいよ、若干、後ろの下向きに施工してください。



2 取付方法

(1) 据付用架台に取付けの場合

- 据付用架台は、室外ユニット本体、およびドレンパンの重量に十分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり、落下しないよう強固に据付けてください。
 - ドレンパンのドレンパンは長手方向中央部にありますので、架台の製作時にはソケットと架台部材が干渉しないようにしてください。
 - ドレンパンの取付けは、室外ユニット本体と共締めになりますので、据付用架台には室外ユニット本体据付用ソケットにφ13程度の穴をあけてください。
 - 架台とドレンパン、室外ユニット本体を下の図のように共締めにて強固に締結してください(4ヶ所)。
- なお、ボルトの長さは下の図のように60mm以下としてください。



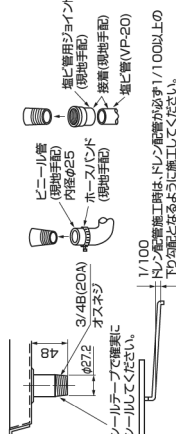
(2) 基礎に取付けの場合

- 基礎に据付けの場合、基礎の地上部高さは下の図のように150mm以上としてください。これ以下ですとドレン排水ソケットの突出長さが48mmですので、ドレン配管施工ができなくなります。



3 ドレン配管

- 銅管接続の場合
3/4Bメネジ加工にて接続してください。
- ビニール管(硬質)系統の場合
内径の25mmを使用し、接続部はホースバンド等で確実に固定してください。
- 塩ビ管(硬質)接続の場合
VP-20を使用し、塩ビ管用ジョイントにて接続してください。
※いずれの場合でも、ソケットのネジ部はシールドテープ等で確実にシールドを行い、水漏れがないことを確認してください。

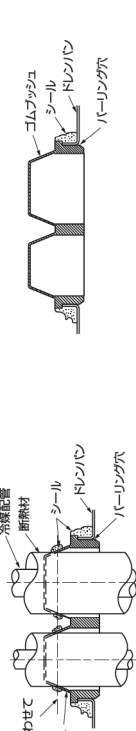


4 冷媒配管

- 冷媒配管の取入れは、前、右、後、下側の4方向から可能ですが、必ず以下の作業を行ってください。

(1) 下配管の場合

- 冷媒配管の下配管部は、ゴムのフックを冷媒配管断熱材の穴に合わせ、切り取って、ゴムのフックを冷媒配管を通し、パーリング穴にめ込んでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤(現地手配)でシールドしてください。



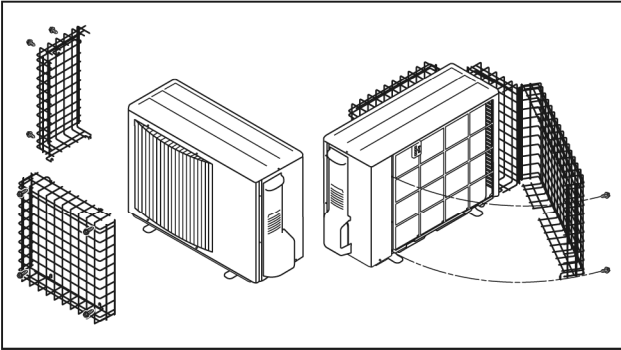
(2) その他の配管の場合

- 冷媒配管の下配管部は、ゴムのフックを冷媒配管断熱材の穴に合わせ、切り取って、ゴムのフックを冷媒配管を通し、パーリング穴にめ込んでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤(現地手配)でシールドしてください。

安全ネット

● PAC-SJ09AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット”は、室外ユニットの吹出部・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

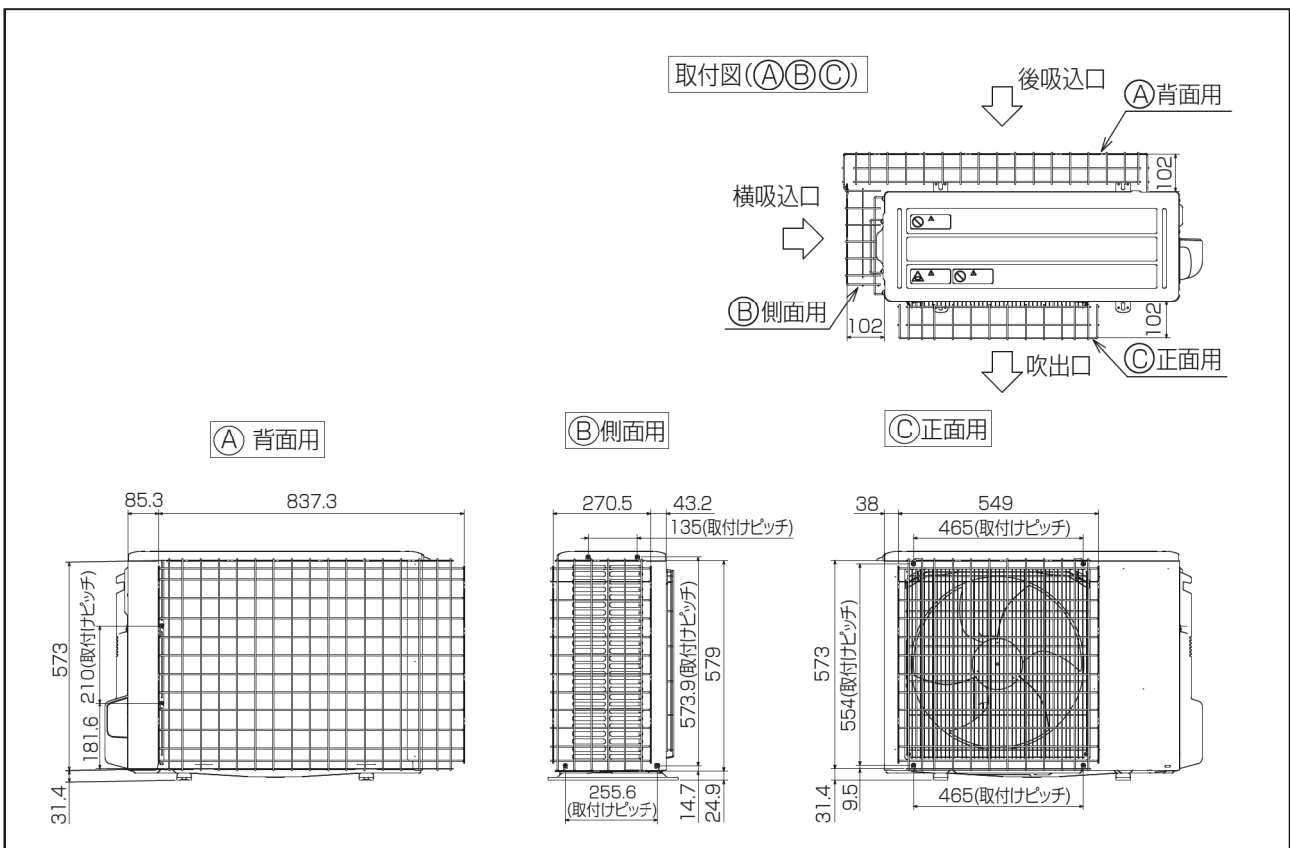
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA10
- PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA10

仕様

形名	PAC-SJ09AN	質量	5.2kg	
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 50 × 50mm
	マンセルNo	1Y8.5/0.5	部品名	取付用座付ネジ (M4 × 16) 10本
	材質	鉄線 (SWM) φ3.5	材質	SUS410
	表面処理	ポリエチレンコーティング	表面処理	パシベート

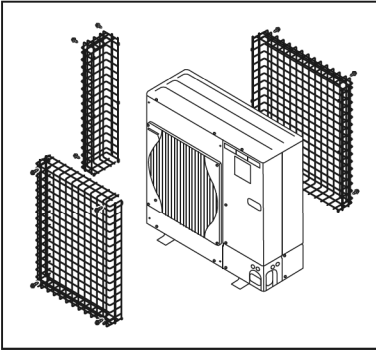
外形図 (取付図) (単位: mm)



安全ネット

● PAC-SG66AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット” は、室外ユニットの吹出部・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

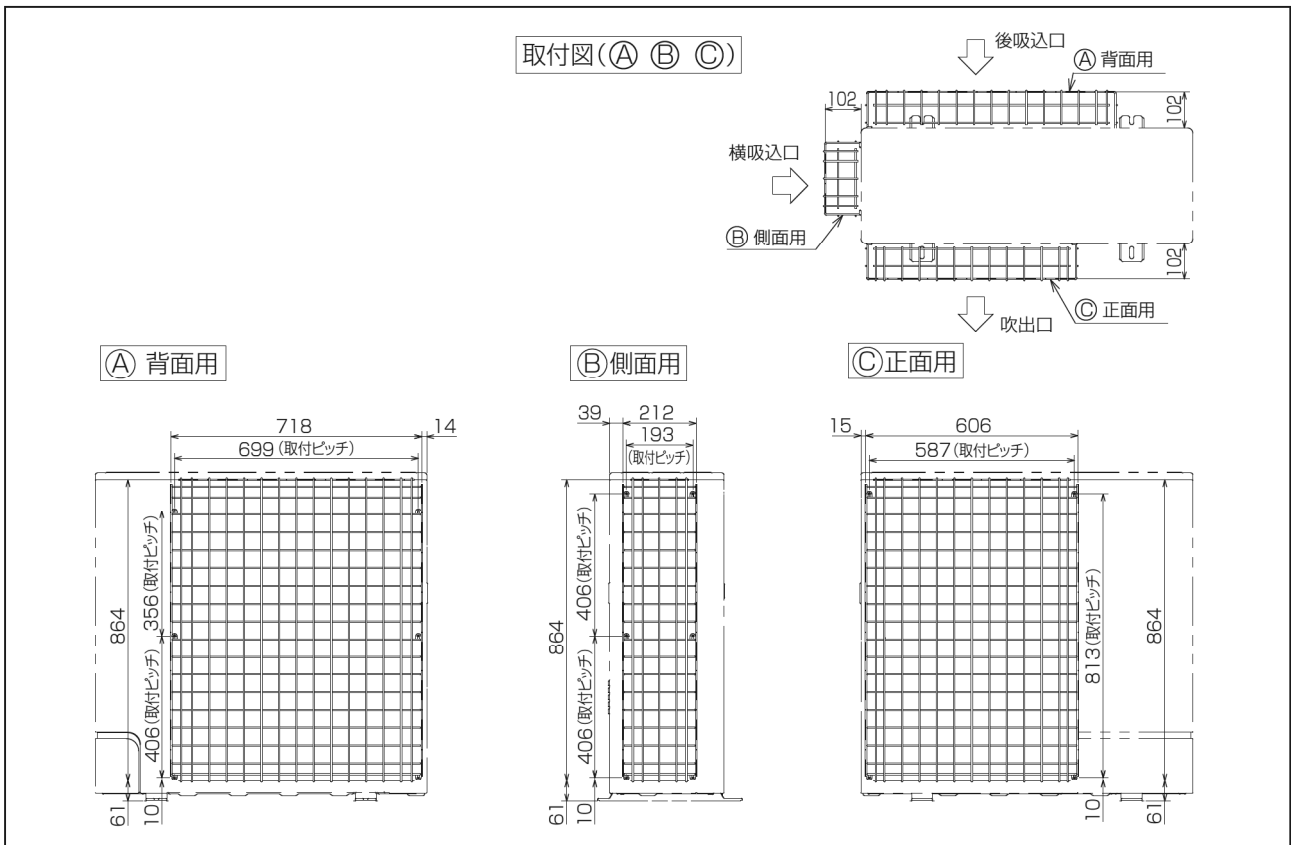
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA10

仕様

形名	PAC-SG66AN		質量	9kg
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 50 × 50mm
	マンセルNo	5Y8/1	付属品	取付用座付ネジ (M5 × 15) 16本
	材質	鉄線 (SWM) φ4	材質	鉄線 (SWCH18A)
	表面処理	ポリエチレンコーティング	表面処理	亜鉛ニッケルメッキ

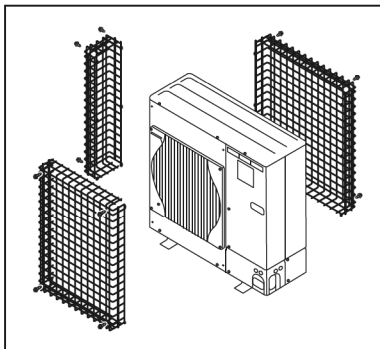
外形図 (取付図) (単位: mm)



安全ネット

● PAC-SH30AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット” は、室外ユニットの吹出部・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

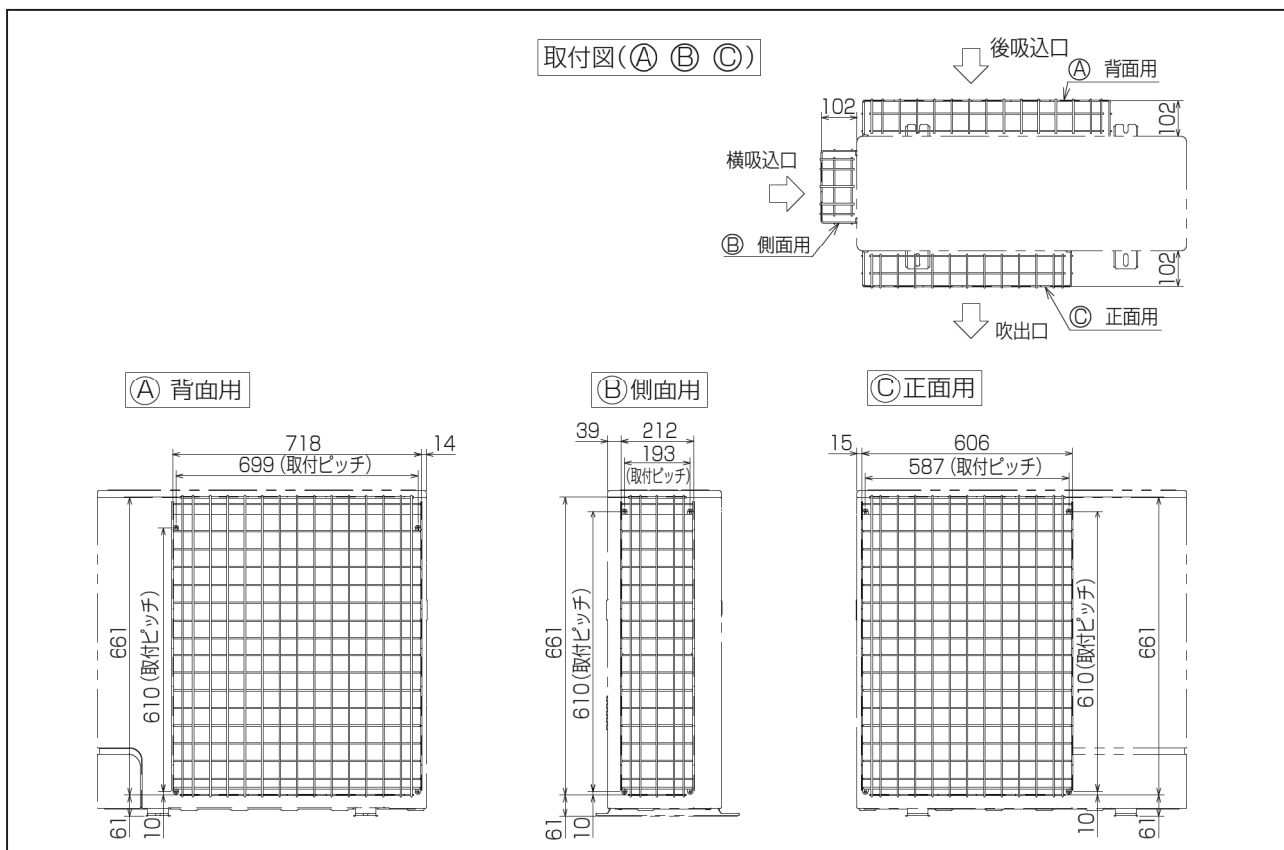
対象ユニット

- PUZ-ERMP80(S)HA10

仕様

形名	PAC-SH30AN		質量	7.4kg
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 50 × 50mm
	マンセルNo	5Y8/1	付属品	取付用座付ネジ (M5 × 15) 12本
	材質	鉄線 (SWM) φ4	材質	鉄線 (SWCH18A)
	表面処理	ポリエチレンコーティング	表面処理	亜鉛ニッケルメッキ

外形図 (取付図) (単位: mm)





三菱電機 パッケージエアコン別売部品

安全ネット据付工事説明書

PAC-S**AN
(室外ユニットH・Kシリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性が あるもの。

警告

誤った取扱いをしたときに、軽傷または燃焼、腐敗などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わられる場合は、新しくお住まいになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実にを行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- ホリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事をすると配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

- 電源配線は、電流容量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- ドリル配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

1 部品の確認

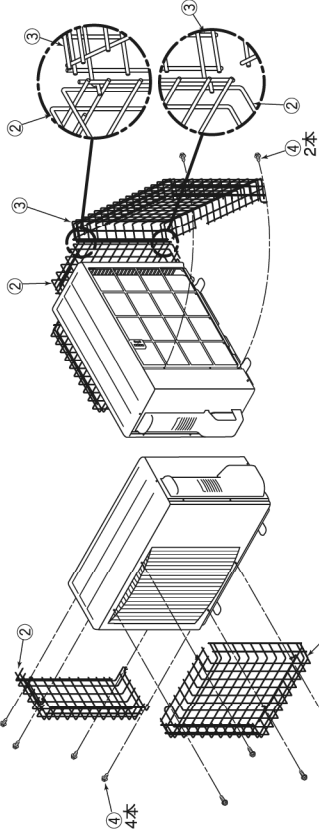
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

①正面用安全ネット(中)・・・1個	②側面用安全ネット(小)・・・1個	③背面用安全ネット(大)・・・1個	④ネジ
			SG66AN...4×16 10本 SG66AN...5×15 16本 SG67AN...5×15 18本 SH69AN...5×15 18本 SH73AN...5×15 16本 SHJ09AN...4×16 10本

※機種によっては、本体の固定用ネジを取外す箇所がありますので、各ネット取付前に固定箇所の確認をしてください。

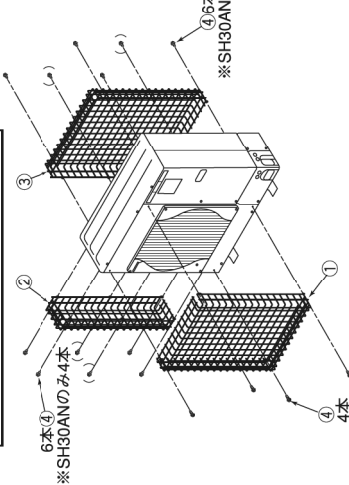
2 取付方法

SG66AN・SJ09ANの場合



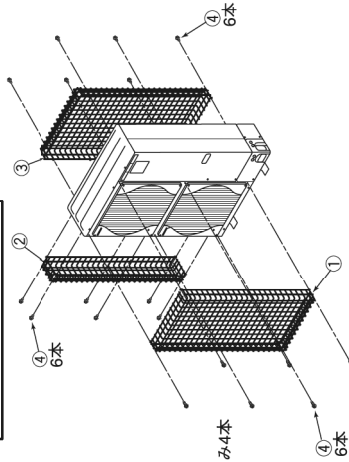
- 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は据付足上に開口部が位置するように取付けてください。
- 側面の既存固定ネジ(4本)を取外し、側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニット④にて室外ユニット④にて室外ユニット④に取付けてください。
※上下方向はネジ穴を合わせることとなります。
- 背面上下の既存固定ネジ(2本)を取外し、背面用安全ネット③を図に示すように側面安全ネット②に差込み、ネジ④にて室外ユニット④に取付けてください。
※上下方向は据付足上に開口部が位置するように取付けてください。

SG66AN・SH30AN,SH73ANの場合



- 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと正面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 背面用安全ネット③をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
※機種によってはリヤガード固定の既存ネジ(1本)を取外してから安全ネットを取付けてください。

SG67AN・SH69ANの場合

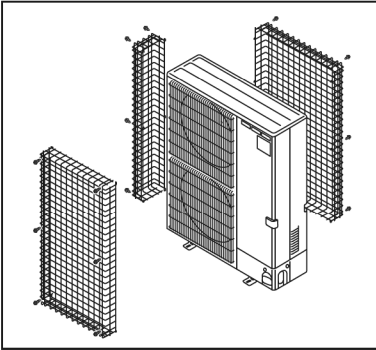


- 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと正面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 背面用安全ネット③をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
※機種によってはリヤガード固定の既存ネジ(1本)を取外してから安全ネットを取付けてください。

安全ネット

● PAC-SH98AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット” は、室外ユニットの吹出部・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

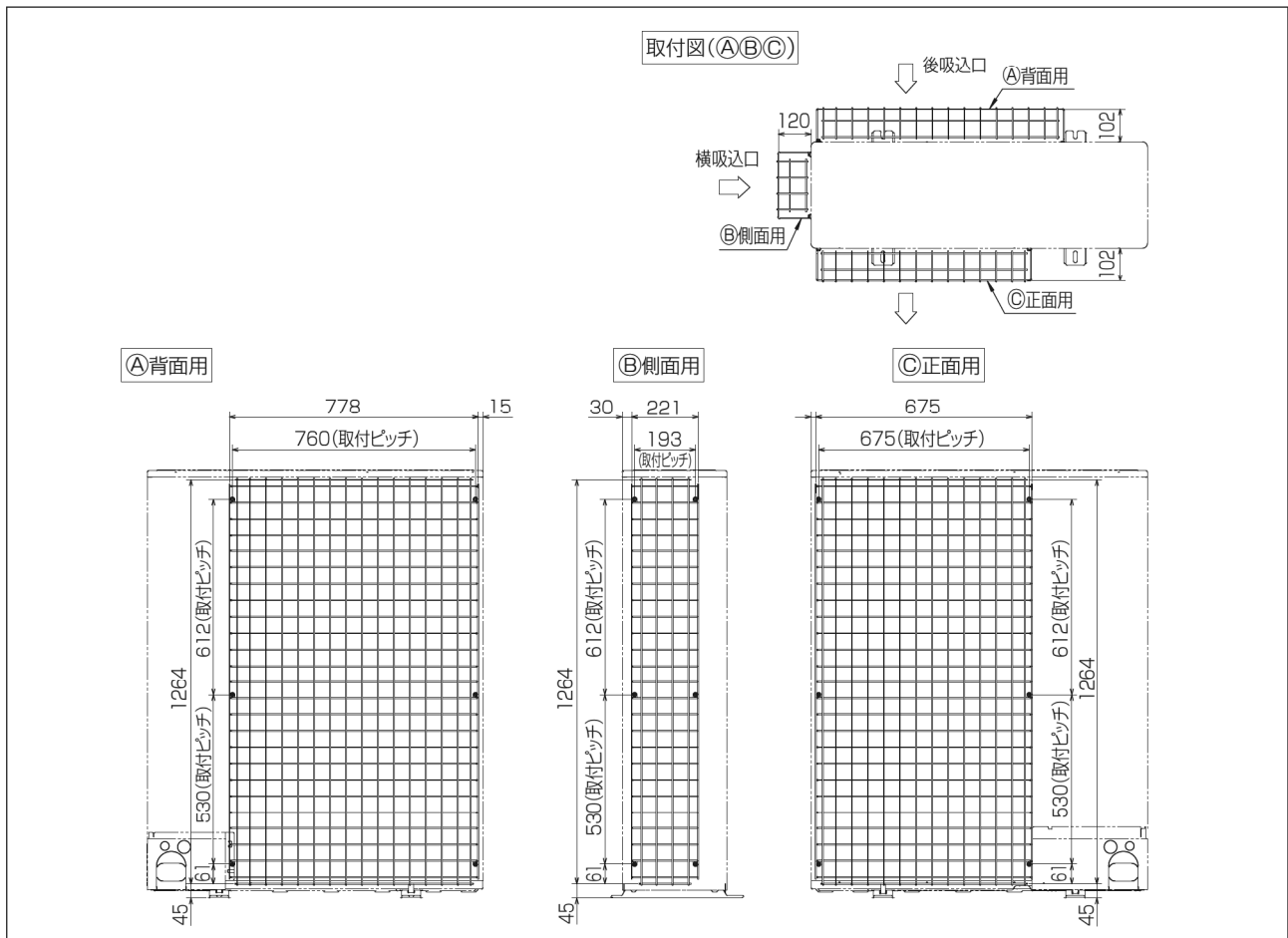
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112 ~ 160KA10, PUZ-ZRP224・280KA13
- PUZ-ERP224・280KA13/KAPF3
- PUZ-HRMP80 ~ 160KA4

仕様

形名	PAC-SH98AN		質量	10.6kg
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最人 50 × 51mm
	マンセルNo.	1Y8.5/0.5	付部品名	取付用座付ネジ (M5 × 15) 18本
	材質	鉄線 (SWM) φ3.5	材質	鉄線 (SWCH18A)
	表面処理	ポリエチレンコーティング	表面処理	亜鉛ニッケルメッキ

外形図 (取付図) (単位: mm)





三菱電機パッケージエアコン別売部品 安全ネット据付工事説明書

PAC-SH98AN
(室外ユニット<シリウス用>)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

警告

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損傷に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事を行えば、水漏れや感電・火災等の原因になります。

警告

据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

ホリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をかきざせ窒息する原因になります。

- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

- 電源配線は、電流量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。

- ドレン配管は、据付工事説明書に記して確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

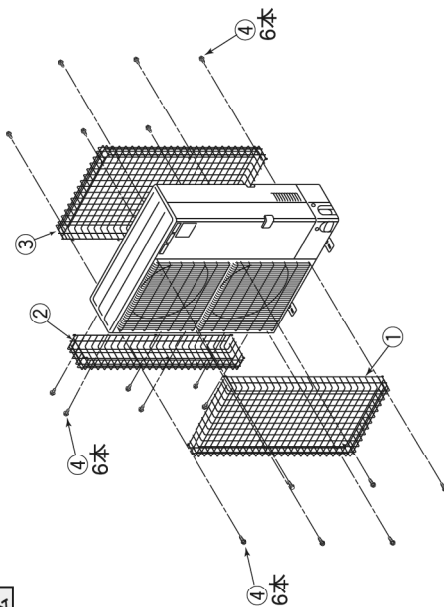
(本マニュアル用に変更・修正しています)

1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

①正面用安全ネット(中)・・・1個	②側面用安全ネット(小)・・・1個	③背面用安全ネット(大)・・・1個	④ネジ 5×15 18本

2 取付方法

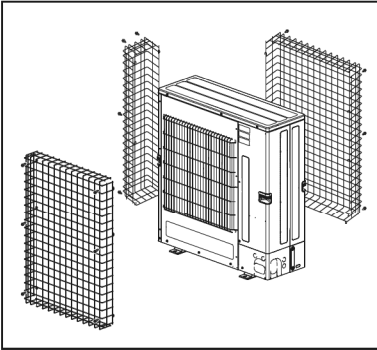


- 1) 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※ 上下方向は安全ネットが上面パネルと正面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 2) 側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※ 上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 3) 背面用安全ネット③をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※ 上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。

安全ネット

● PAC-SJ74AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット” は、室外ユニットの吹出部・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

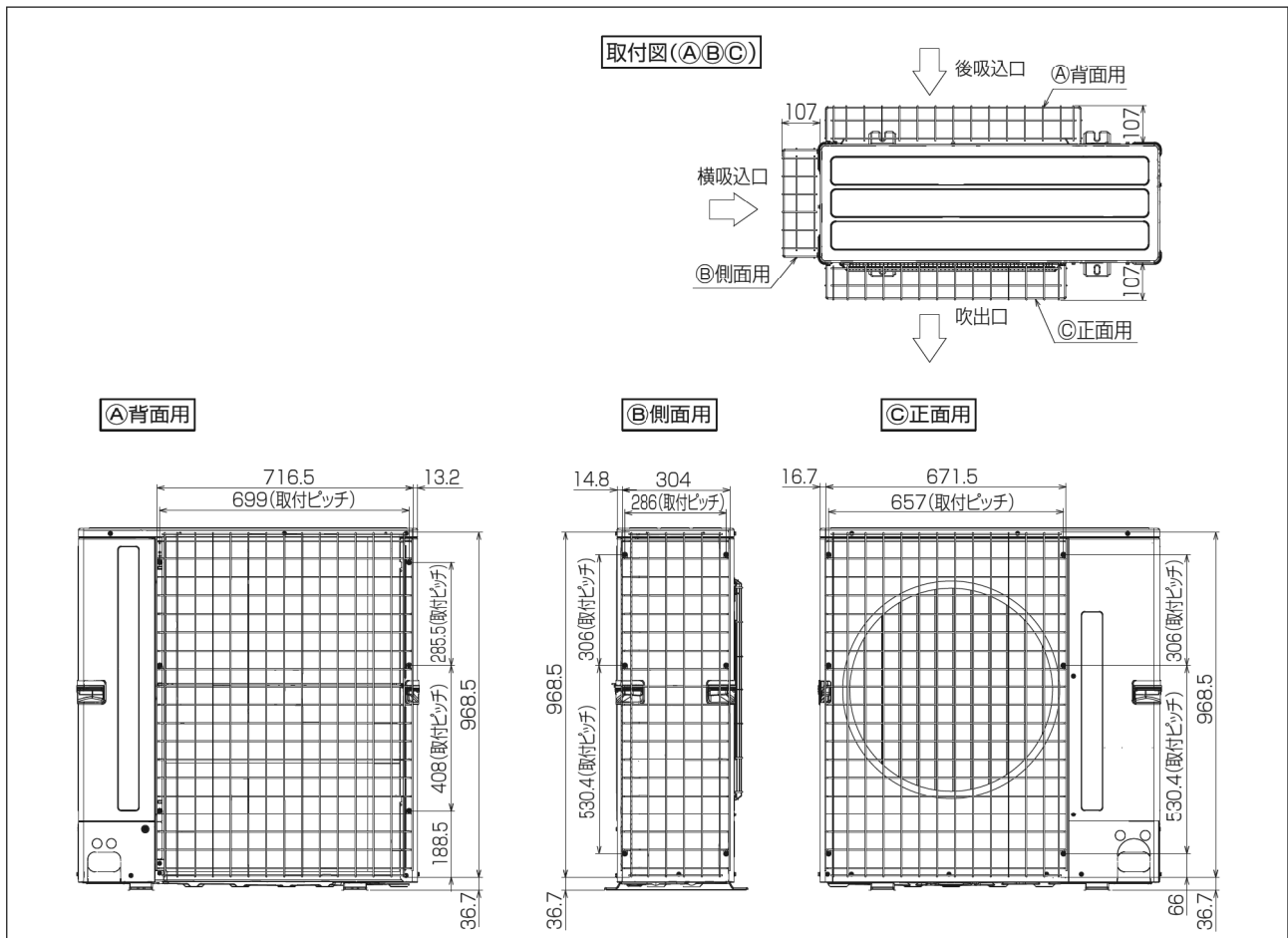
対象ユニット

- PUZ-ERMP112 ~ 160LA10

仕様

形名	PAC-SJ74AN		質量	8.3kg
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 50 × 51mm
	マンセルNo	1Y8.5/0.5	付部品名	取付用座付ネジ (M5 × 12) 18本
	材質	鉄線 (SWM) φ3.5	属材質	鉄線 (SWCH18A)
	表面処理	ポリエチレンコーティング	品表面処理	亜鉛アルミ複合被膜

外形図 (取付図) (単位: mm)

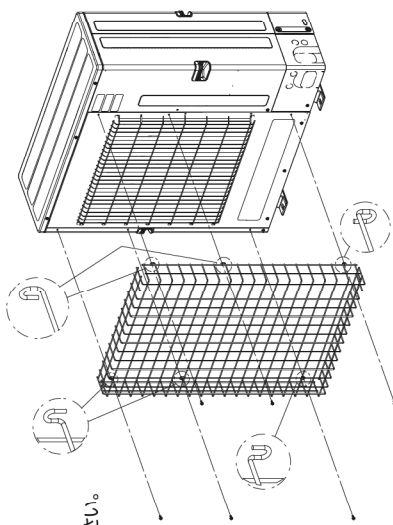


(本マニュアル用に変更・修正しています)

BH79G709N02

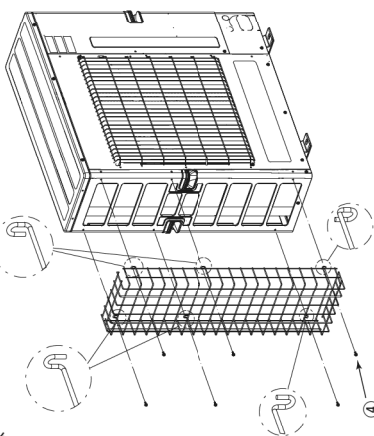
2 取付方法

1) 正面用安全ネット①
ネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。



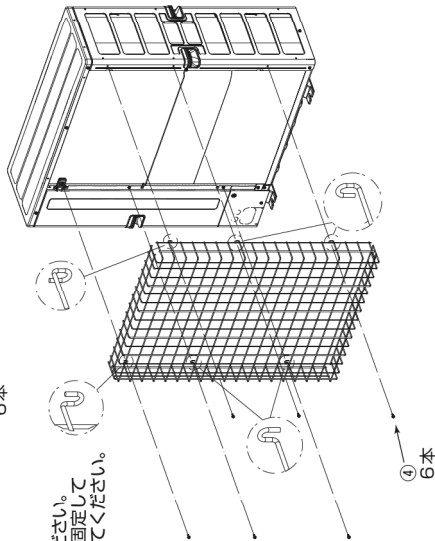
④ 6本

2) 側面用安全ネット②
ネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。



④ 6本

3) 背面用安全ネット③
ネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※右図の左側のネジ3ヶ所は、外郭パネルを固定して
いる既存のネジを取外し、ネジ④を使用してください。



④ 6本



三菱電機パッケージエアコン別売部品
安全ネット据付工事説明書

PAC-SJ74AN
(室外ユニットLシリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、
死亡や重傷などに結びつく
可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、
怪傷または家屋・家具など
の損傷に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
- また、お使いになる方がかわる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

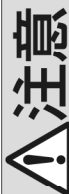


警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に



注意

- ホリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかかぶるなどしたときに口や鼻をかきまじりやすくなる原因になります。

- 電涌記録は、電流量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。

- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

- トレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他の家財等を濡らす原因になります。

1 部品の確認

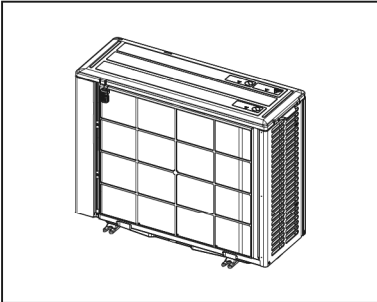
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

①正面用安全ネット(中)…1個	②側面用安全ネット(小)…1個	③背面用安全ネット(大)…1個	④ネジ 5×12 18本

背面用網

● PAC-SJ51RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

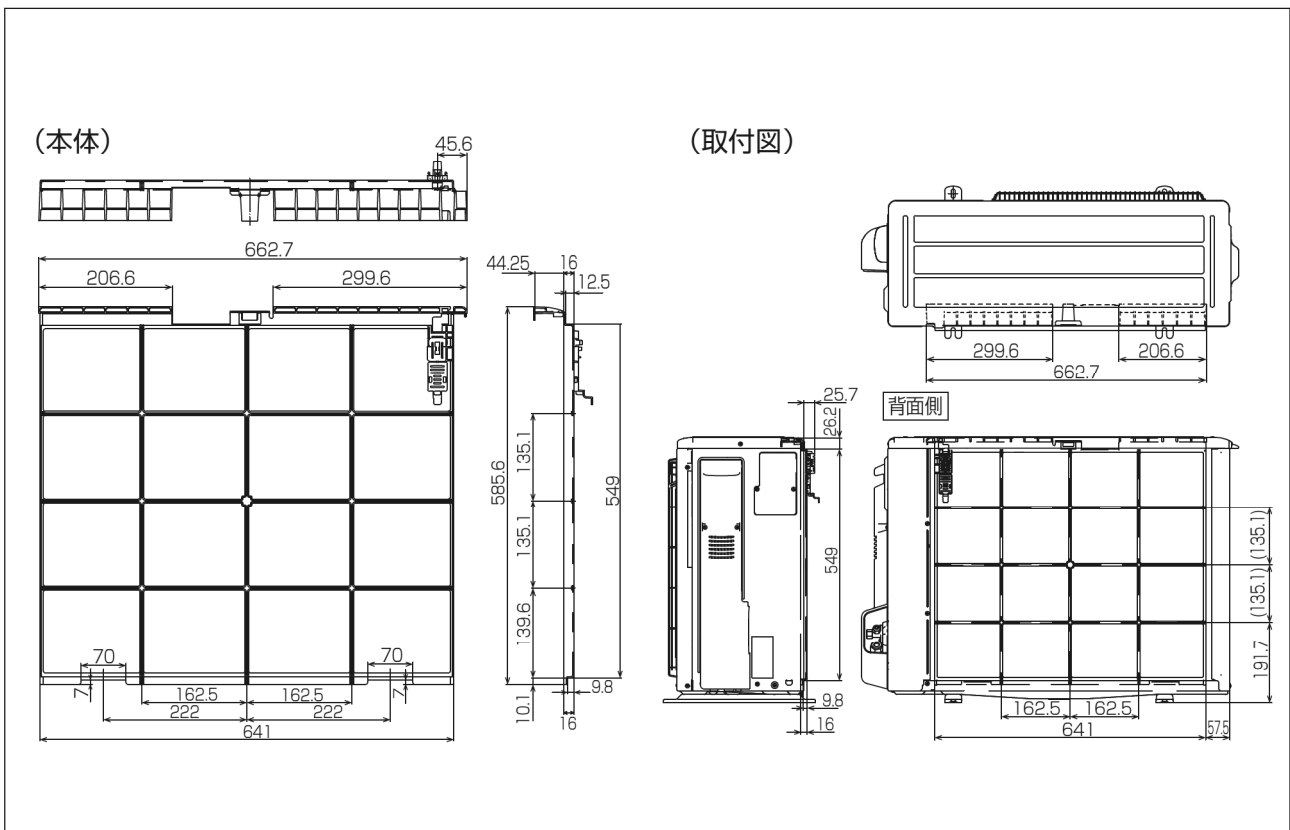
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA10
- PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA10

仕様

形名	PAC-SJ51RG		質量	0.26kg
外色	黒		鉄線ピッチ	最大 135 × 163mm
装材質	PP	付属品	部品名	断熱材 (t10 × 25 × 15) 1個

外形図 (取付図) (単位: mm)



BH79T669H06



三菱電機パッケージエアコン別売部品 背面用網据付工事説明書

PAC-SJ51RG
(室外ユニットシリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。

注意

誤った取扱いをしたときに、感傷または軽傷・割傷などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事を行なうと、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- ポリ袋は短時間の居くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

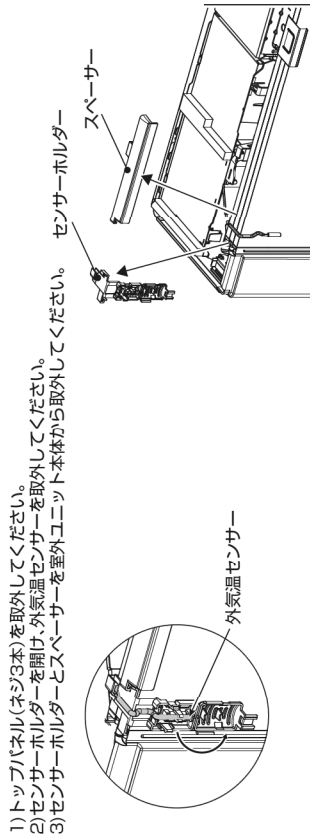
- 電源配線は、電流容量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- トレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他の他家財等を濡らす原因になります。

1 部品の確認

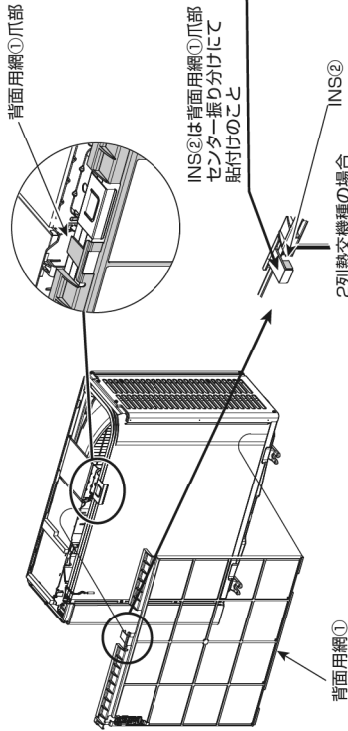
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

①背面用網.....1個	②INS(10×25×15).....1個
--------------	-----------------------

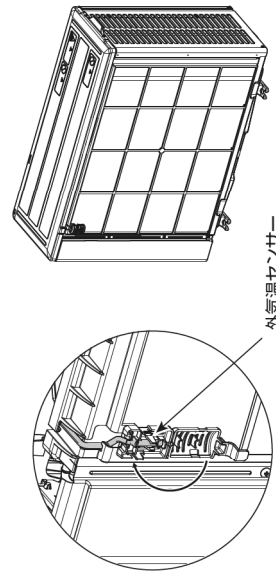
2 取付方法



- 4) 背面用網①を室外ユニット本体に取付けてください。上側の爪を熱交換フィンに引っ掛け、下側は熱交換フィンとベースの間に差し込んでください。2列熱交換機の場合は、上側爪部にINS②を貼付けてから本体へ取付けてください。



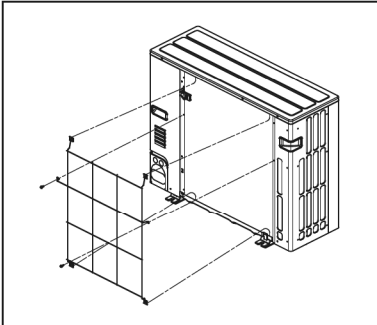
- 5) 外気温センサーを図のように配線し、背面用網①のホルダーにセンサーを取付け閉じてください。
6) トップパネル(ネジ3本)を取付けてください。



背面用網

● PAC-SJ32RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

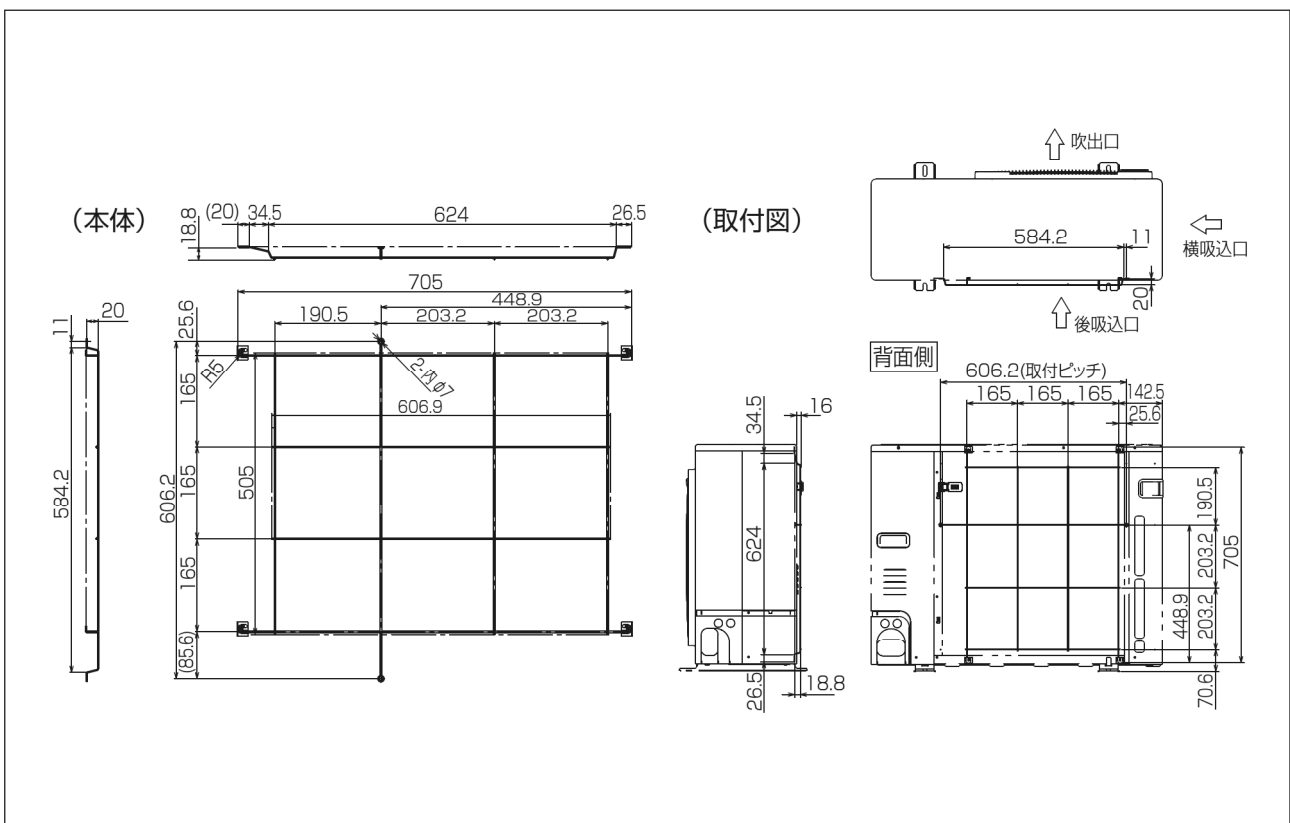
対象ユニット

● PUZ-ERMP80HA10

仕様

形名	PAC-SJ32RG		質量	0.25kg
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 165 × 203mm
	マンセルNo	1Y8.5/0.5	部品名	取付用座付ネジ (M5 × 12) 2本
	材質	鉄線 (SWM) φ2.5	材質	鉄線 (SWCH18A)
	表面処理	ポリエチレンコーティング	表面処理	亜鉛ニッケルメッキ

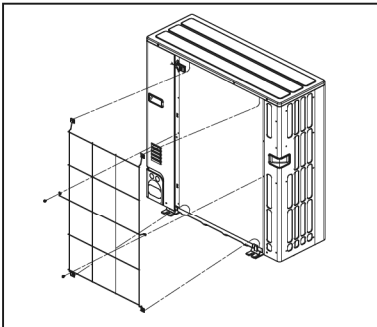
外形図 (取付図) (単位: mm)



背面用網

● PAC-SJ33RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

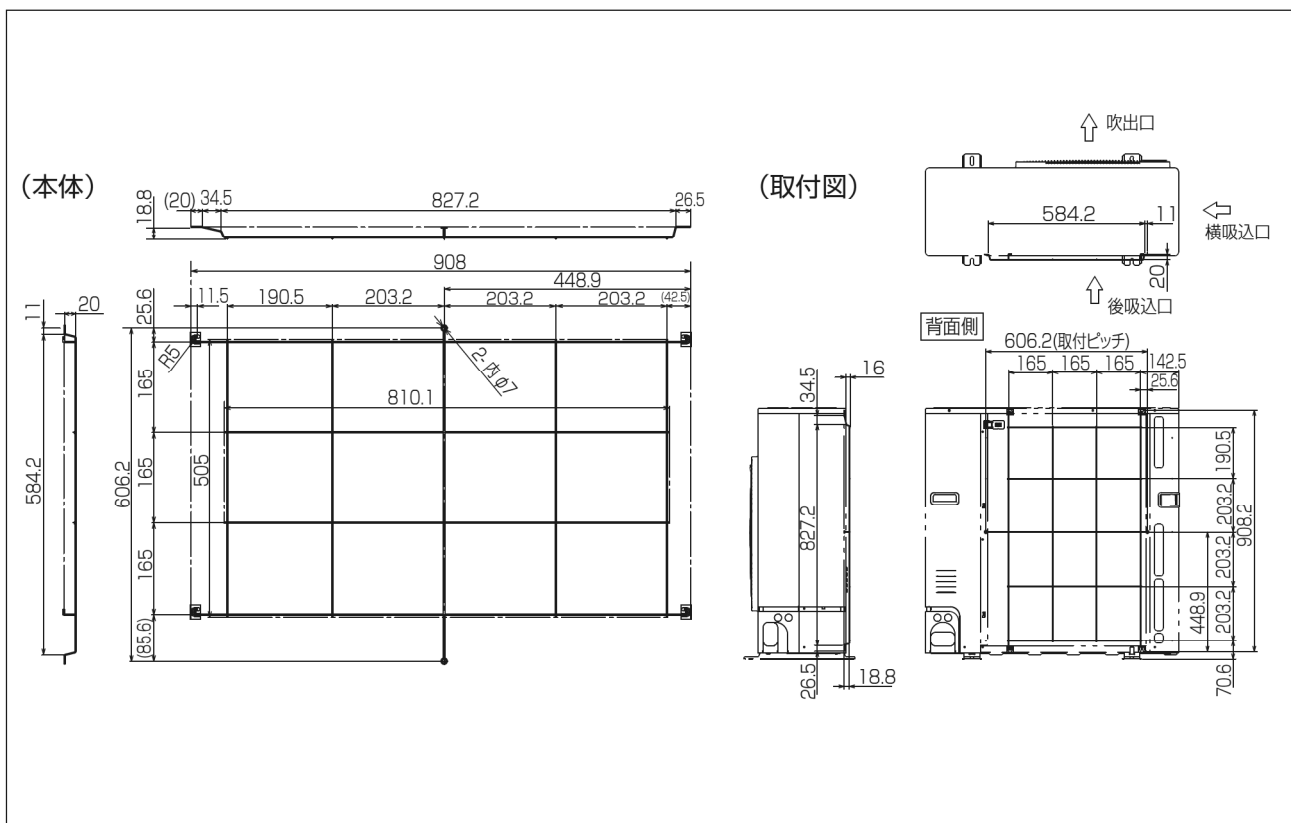
対象ユニット

● PUZ-ZRMP80HA10

仕様

形名	PAC-SJ33RG		質量	0.30kg		
外装	色	アイボリー	付属品	鉄線ピッチ	最大 165 × 203mm	
	マンセルNo	1Y8.5/0.5		部品名	取付用座付ネジ (M5 × 12) 2本	
	材質	鉄線 (SWM) φ2.5		材質	鉄線 (SWCH18A)	
	表面処理	ポリエチレンコーティング		表面処理	亜鉛ニッケルメッキ	

外形図 (取付図) (単位: mm)



(本マニュアル用に変更・修正しています)

BH79T669H05



三菱電機パッケージエアコン別売部品
背面用網据付工事説明書

PAC-SJ* * RG
(室外ユニットHシリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷など結びつく可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家庭・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水濡れや感電、火災等の原因になります。

警告

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水濡れや感電・火災等の原因になります。

据付け (移設) ・電気工事をする前に

注意

- ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 冷線配線の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事をすると配管表面が結露して、露タリ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密部確保に行ってください。

- 電源配線は、電流容量に合った断熱品を使用すること。
- 漏電や発熱は、電流容量に合った断熱品を使用すること。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保つこと。
- 配管工事に不備があると水濡れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

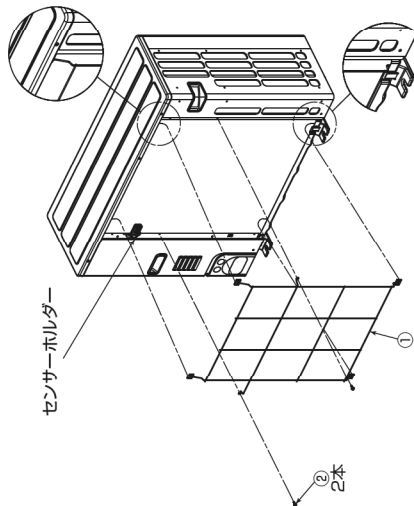
1 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

①背面用網.....1個	②ネジ(5x12).....2本
--------------	------------------

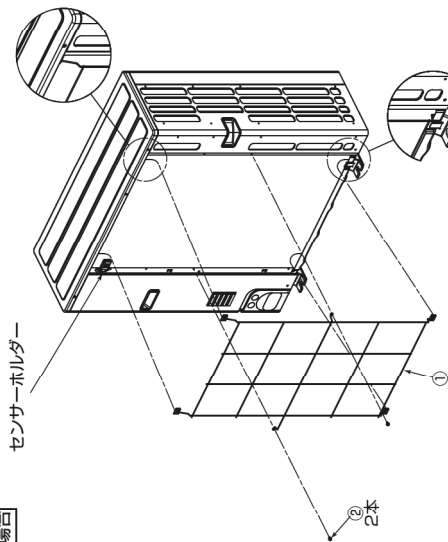
2 取付方法

SJ32RGの場合



- 1) 背面用網①をネジ②にて室外ユニット下穴に取付けてください。その際、下側は熱交フィンとベースの隙間、上側は熱交フィンとトップパネルの隙間にそれぞれ差し込んでください。
- ※ 上下方向は背面用網がセンサーホルダーと干渉しない向きにネジ穴を合わせることです。

SJ33RGの場合

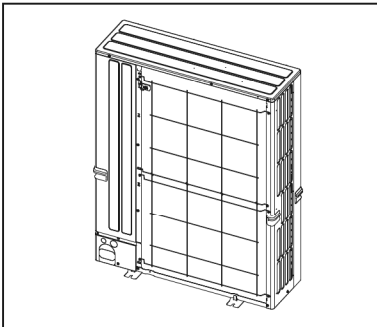


- 1) 背面用網①をネジ②にて室外ユニット下穴に取付けてください。その際、下側は熱交フィンとベースの隙間、上側は熱交フィンとトップパネルの隙間にそれぞれ差し込んでください。
- ※ 上下方向は背面用網がセンサーホルダーと干渉しない向きにネジ穴を合わせることです。

背面用網

● PAC-SJ90RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

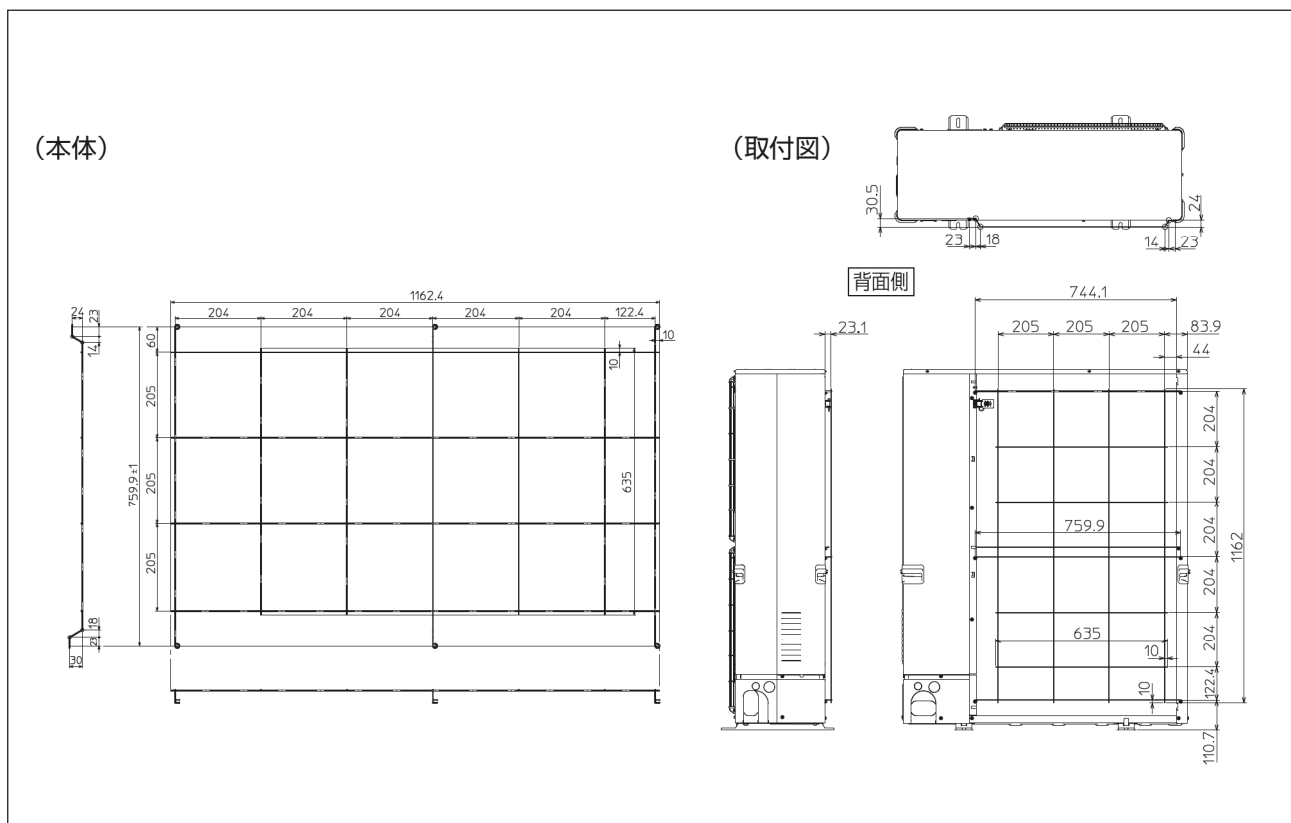
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112 ~ 160KA10, PUZ-ZRP224・280KA13
- PUZ-ERP224・280KA13/KAPF3

仕様

形名	PAC-SJ90RG		質量	0.40kg
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 204 × 205mm
	マンセルNo	1Y8.5/0.5	部品名	取付用座付ネジ (M5 × 12) 6本
	材質	鉄線 (SWM) φ2.5	材質	鉄線 (SWCH18A)
	表面処理	ポリエチレンコーティング	表面処理	高耐食被膜処理

外形図 (取付図) (単位: mm)



(本体)

(取付図)

背面側

(本マニュアル用に変更・修正しています)

BH79T669H10

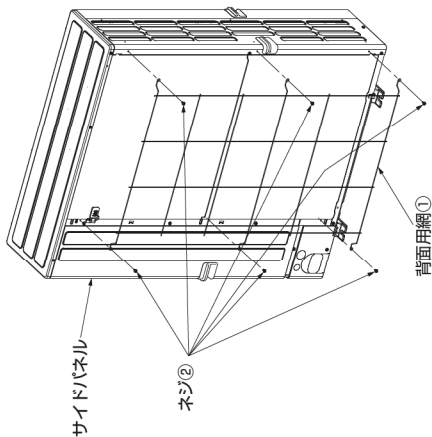


三菱電機パッケージエアコン別売部品
背面用網据付工事説明書

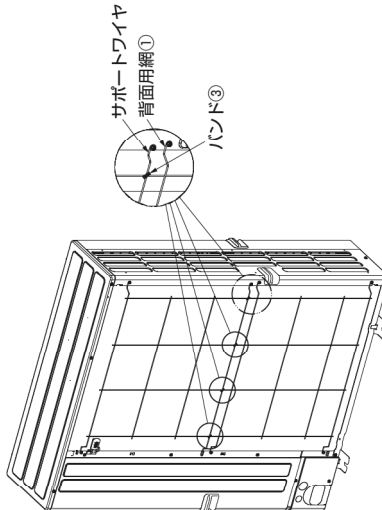
PAC-SJ90RG
(室外ユニットKシリーズ用)

2 取付方法

1) 背面用網①をネジ②にて室外ユニットに取付けてください。



2) サポートワイヤと背面用網①をバンド③にて4ヶ所結束してください。



安全のために必ず守ること

- 据付けは、この安全のために必ず守ること(※)をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は安全に關する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたとき生じる危険とその程度を、次の表で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、
死亡や重傷などに結びつく
可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、
軽傷または家庭・家財など
の損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
- また、お使いになる方がかわる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされず、水漏れや感電・火災等の原因になります。

注意

据付けは、この据付工事説明書に従って順業に行う。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- ホリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭がはかばかなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように順業に行う。
- 不完全な断熱工を行うと配管等表面が凝露して、腐食や発生し、天井・床その他の、木切材等を濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

- 電源配線は、電流容量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って順業に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

1 部品の確認

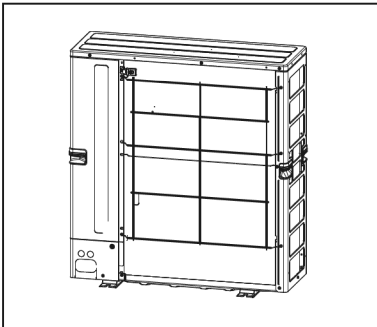
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

①背面用網.....1個	②ネジ(5X12).....6本	③バンド.....4本

背面用網

● PAC-SJ76RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

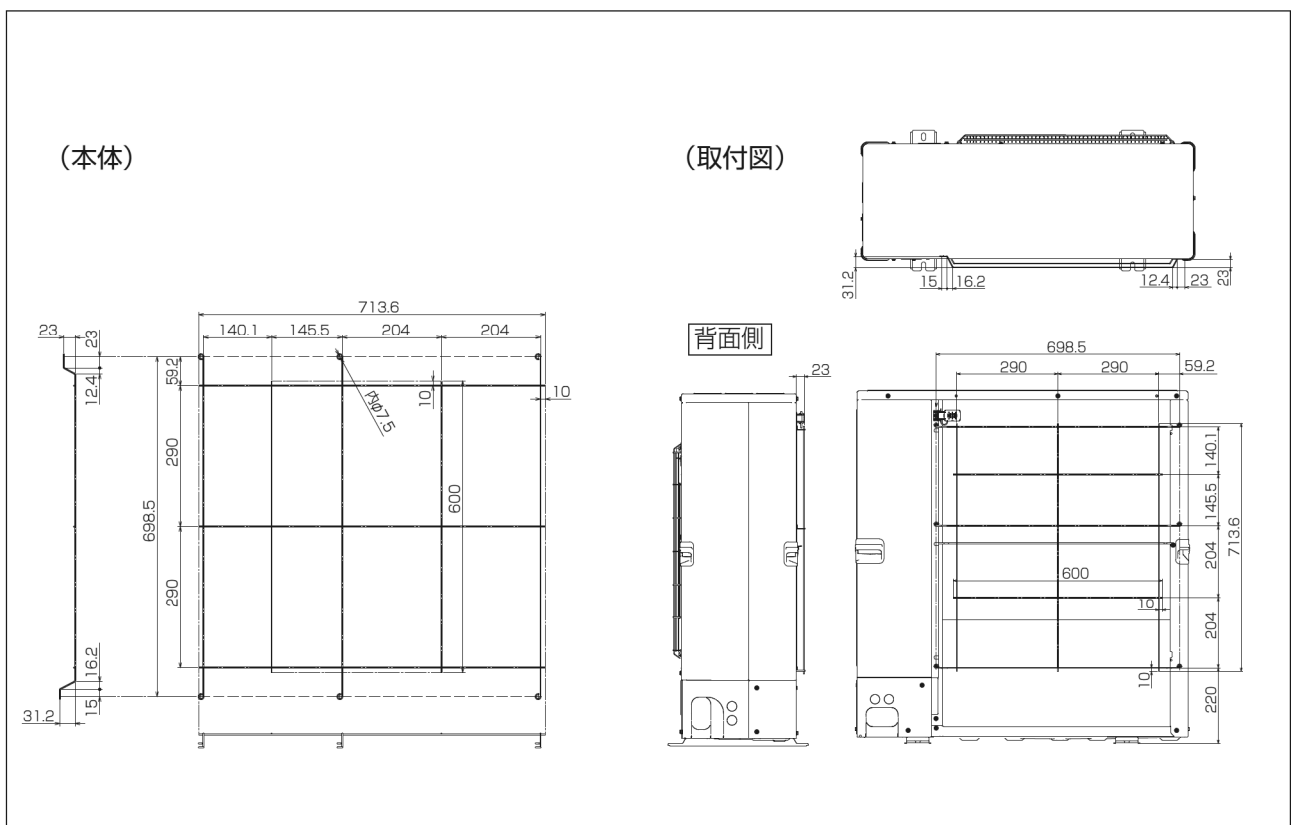
対象ユニット

● PUZ-ERMP112 ~ 160LA10

仕様

形名	PAC-SJ76RG		質量	0.30kg
外装	色	アイボリー	鉄線ピッチ	最大 204 × 290mm
	マンセルNo	1Y8.5/0.5	部品名	取付用座付ネジ (M5 × 12) 3本
	材質	鉄線 (SWM) φ2.5	材質	鉄線 (SWCH18A)
	表面処理	ポリエチレンコーティング	表面処理	亜鉛アルミ複合被膜

外形図 (取付図) (単位: mm)



BH79T669H12



三菱電機パッケージエアコン別売部品
背面用網据付工事説明書

PAC-SJ76RG
(室外ユニットLシリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、壁紙または壁紙・装材などの損傷に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- 裸り筋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 冷凍配管の断熱は剥離しないように確実に行う。
- 不安全な断熱工事をすると配管等表面が凝露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、木材等のを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

- 電源配線は、電流容量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱、火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

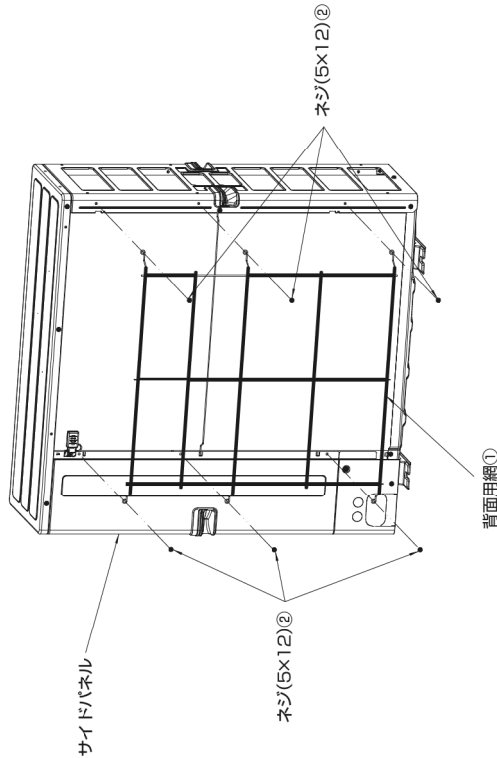
1 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

① 背面用網.....1個	② ネジ(5×12).....6本
---------------	-------------------

2 取付方法

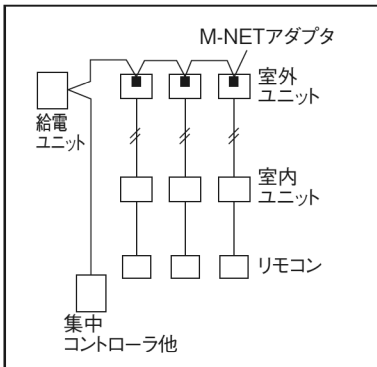
- 1) サイドパネル固定ネジ3本を取外してください。
- 2) 付属のネジ②を使用し、背面用網①を取付けてください。
※ネジは締付トルク1.5N・mで確実に締付けてください。



M-NET 接続用アダプタ

● PAC-SK15MA

使用目的 / 用途



- “M-NET 接続用アダプタ”は、ビル内に分散した空調関連機器をネットワークし、より効率的にきめ細かく監視・制御する『MELANS』とスリムエアコン(A制御)を接続する際に使用します。
- 『MELANS』による集中制御で空調管理の効率化ができます。

注意

- ・M-NET 伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか1箇所限りアースを接続してください。

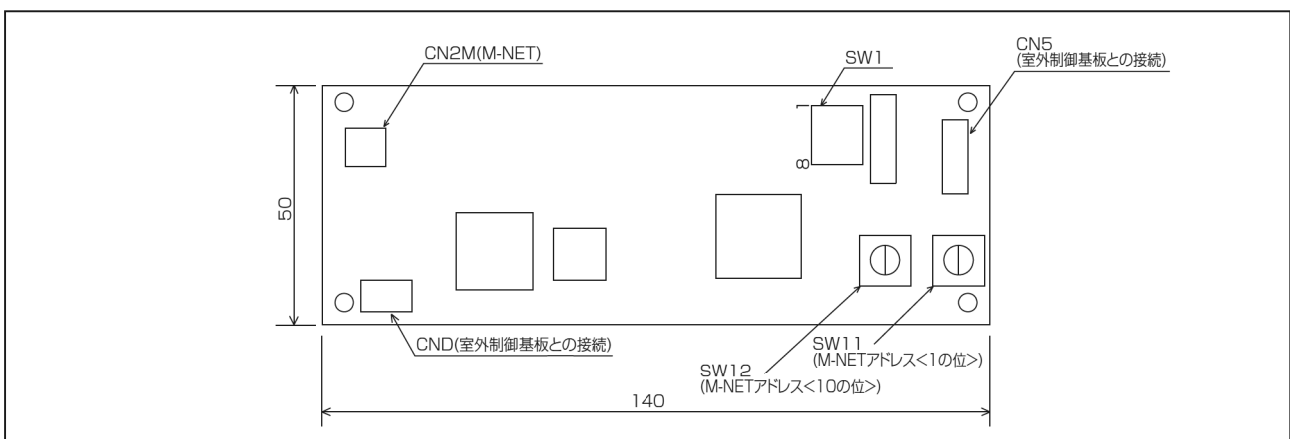
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40(S) ~ 63KA10
- PUZ-ERMP40(S) ~ 63KA10

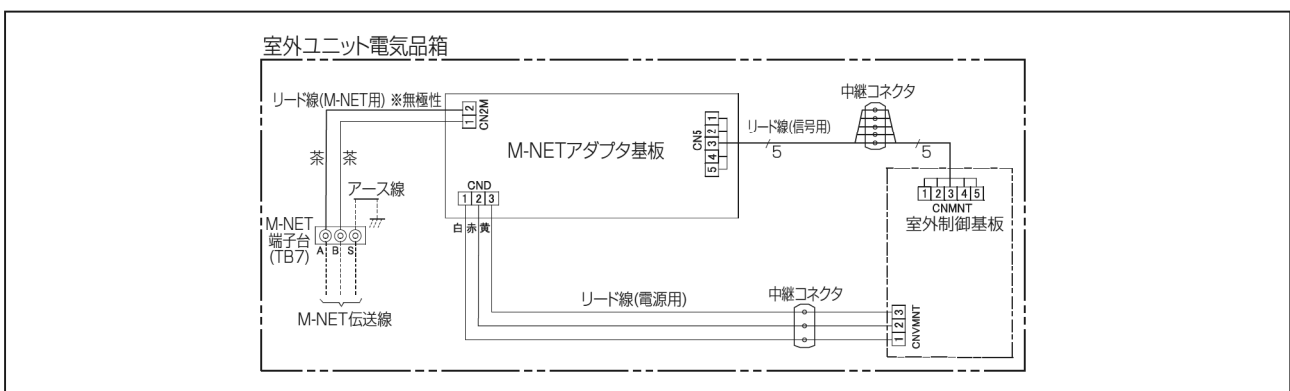
仕様

形名	PAC-SK15MA
電源	室外制御基板より給電
消費電力	0.6W (at 5Vdc, 12Vdc)
使用環境条件	室外ユニット電気品箱内に取付 (温度 -20 ~ 60℃、湿度 90%以下 <結露なきこと>)
主要構成部品	M-NET アダプタ基板 (絶縁シート、サポート付) × 1、M-NET 端子台 (TB7) × 1、アース線 × 1 リード線 3種 (信号用・電源用・M-NET 用)
質量	0.3kg

外形図 (単位: mm)



電気配線図



M-NET接続用アダプタ据付工事説明書

PAC-SK15MA

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。確実に、確実に、必ず守ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性が有るもの。

- 据付工完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、本体据付工事説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お取り扱いの仕方などを説明してください。
- また、この据付工事説明書は、本体据付工事説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わられる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 改造は絶対にしない。
- 修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 改定すると水漏れや感電・火災などの原因になります。
- お客様自身で移動・再据付けはしないでください。
- 据付けに不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。
- お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。
- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされれば不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
- 据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

電気工事をする前に

- 電源には必ず漏電遮断器を取付ける。
- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。
- 電源回線は、電流量に合った規格品の電線を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。

試運転をする前に

- パネルやカードを外した状態で運転をしない。
- 機器の回転物・高温部・高温部・高温部に触れない。巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
- エアフィルターを外したまま運転をしない。
- 内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。
- 運転停止後、すぐに電源を切り抜く。
- 必ず5分以上待ってから電源を入れる。
- 水漏れや故障の原因になります。

注意

誤った取扱いをしたときに、設備または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外気が伝わりないように固定する。
- また、途中接続は絶対に行わない。
- 接続や固定が不完全な場合や途中接続の場合は、発熱・火災などの原因になります。
- 室内外ユニットの端子端子カバー(パネル)を確実に取付ける。
- 端子端子カバー(パネル)取付けに不備があると、ほこり・水などにより、火災・感電の原因になります。
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」(内閣府)およびこの据付工事説明書に従って施工してください。
- 電気回路容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。

注意

- アース工事は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
- アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
- 断線したり、発熱・火災の原因になります。

注意

- 濡れた手でスイッチを操作しない。
- 感電の原因になります。
- 運転中の冷媒配管に素手で触れない。
- 運転中の冷媒配管は冷媒の状態により低温・高温になります。
- 素手で触れると凍傷ややけどになるおそれがあります。
- 運転を開始する12時間以上前に電源を入れる。
- 電源を入れてすぐ運転を開始すると、故障の原因になります。
- シーズン中は電源を切り抜かないでください。

1

取付説明書

M-NET 接続用アダプタ : PAC-SK15MA

(本マニュアル用に変更・修正しています)

2

M-NET伝送線の配線について

注意

- シールド線のシールド部分は絶縁処理を必ず行ってください。
- ショート・感電・故障の原因になります。

注意

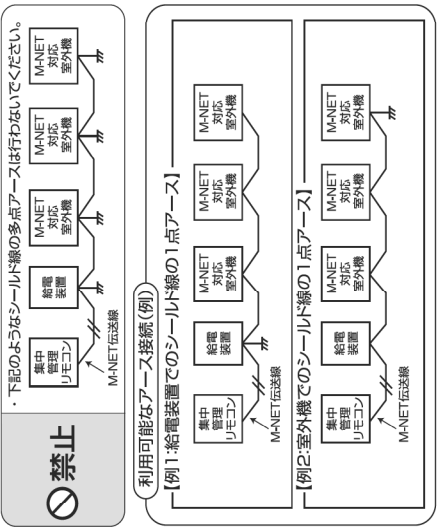
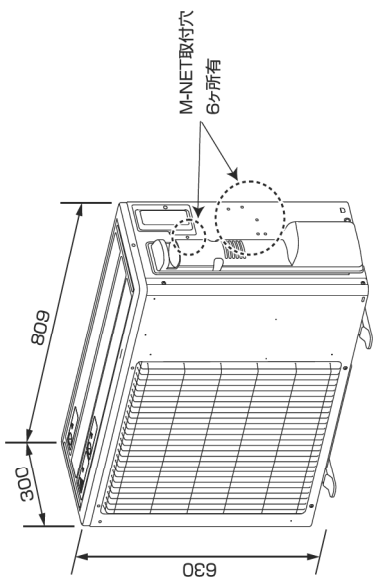
- M-NET伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか1ヶ所に限りアース線を接続してください。
- ノイズに弱くはなり通信異常になることがあります。室外機デジタル表示LED[Ed]エラー集中管理リモコンに「0403」エラー

シールド線のアースが2点以上ある場合、アースとシールド線間に回路が形成され、アース間のインピーダンス差により電位差が生じ、シールド線にノイズが侵入することがあります。1点のみでアースした場合は、回路が形成されないためにノイズが侵入しません。

ノイズによる通信異常を防止するためにも、1点アースを守るようにお願いいたします。

対象機種(外観図)

このM-NET接続用アダプタは、下図の対象機種に対応しています。



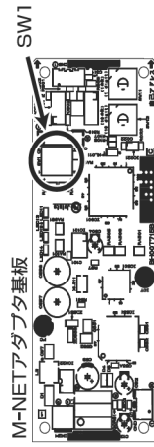
3. M-NET基板のSW1-8設定方法

室内機に、MAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されているシステムの場合、SW1-8はONのままでください。
集中コントローラダウン時、集中コントローラとの通信異常を検知しても、運転を継続します。

室内機に、MAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されていないシステムの場合、現地にSW1-8をOFFに設定してください。
接続されている全ての集中コントローラダウン時、集中コントローラとの通信異常を検知すると異常停止します。

SW1-8 設定	機能	機能詳細	工場 出荷時	スイッチ 読み込み
ON ON 1 2 3 4 5 6 7 8 SW1	室内機にMAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されている場合、スイッチをONにしてください。	(機能) 室内機にMAリモコンまたはワイヤレスリモコンが接続されているが、設定しず。ON接続時D(工場出荷)OFF:接続無し (注意) スイッチがONの場合、M-NETアダプタからM-NET系リモコン(集中コントローラ)との通信異常を検知せず、M-NETアダプタ(スリム型外)は運転を継続します。	ON	電源投入時
OFF OFF 1 2 3 4 5 6 7 8 SW1	室内機にMAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されていない場合、スイッチをOFFにしてください。			

※SW1-3はONのままでください。



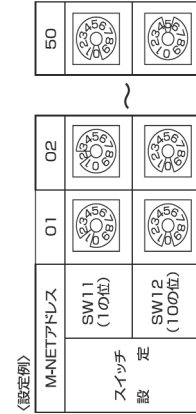
No	品名	形状	数量
①	M-NETケース(下) (M-NET基板、M-NET端子台、ケーブルブッシュ付き)		1
②	M-NETケース(上)		1
③	M-NETカバー		1
④	取付ネジ(M4x10) (セレネーション無)		2
⑤	取付ネジ(M4x10) (セレネーション有)		4
⑥	ケーブルストラップ		1

2. M-NET基板のアドレス設定

M-NETアドレス設定を、M-NET基板のロータリスイッチSW11(1の位)、SW12(10の位)で行ってください。
M-NETアドレスは、01～50の範囲で設定してください。
※工場出荷時は全て0(M-NETアドレス=00)となっています。

注意

M-NETアドレスは必ず01～50の範囲で設定してください。
※アドレスを重複して設定した場合はエラーとなります。
また01～50以外に設定した場合はエラーとなります。
(例えばM-NET基板に「アドレス=51」を誤って設定し、同一系統のM-NETシステム内に「アドレス=51」の室外ユニットが接続されている場合には、アドレスが重複することからエラーとなります)



3

4

5. 作業手順

(1) 室外機のトップパネル、サービスパネル、サービスプレートを取外してください。
※ サービスプレートを取外したネジ(2本)は(13)で使用します。
※ 取外したサービスプレートは使用しません。

(2) M-NETケース(下)①のツム(2ヶ所)をサービス用小窓へ引っ掛けてください。

(3) M-NETケース(下)①をバックパネルへ取付ネジ④(2ヶ所)で固定してください。

(4) 電気品背面に固定されている⑦⑧接続用中継配線にリード線番号用(5種)⑦とリード線電源用(3種)⑧を接続してください。
※ 配線取付時にコネクタの色が同じになるように接続してください。

(5) (4)で接続したリード線番号用(5種)⑦をM-NETケース(下)①のツム(中)を通してM-NET基板のCN5へ接続してください。

(6) (4)で接続したリード線電源用(3種)⑧をM-NETケース(下)①のツム(中・下)を通してM-NET基板のCNDへ接続してください。
(7) リード線MNET用(2種)⑨をM-NET基板のCN2Mへ接続し、M-NETケース(下)①のツム(中・下)を通してM-NET端子台のA、B端子へ接続してください。
※ リード線MNET用(2種)⑨の黒チューブ部分がツム(中)とツム(下)の間に配置するように配線を引き回してください。

(注1) 必要に応じてアース線・ネジ⑩でM-NET伝送線のシールドを室外機端子台板に接続してください。
※ 「M-NET伝送線の配線について」(2ページ)参照

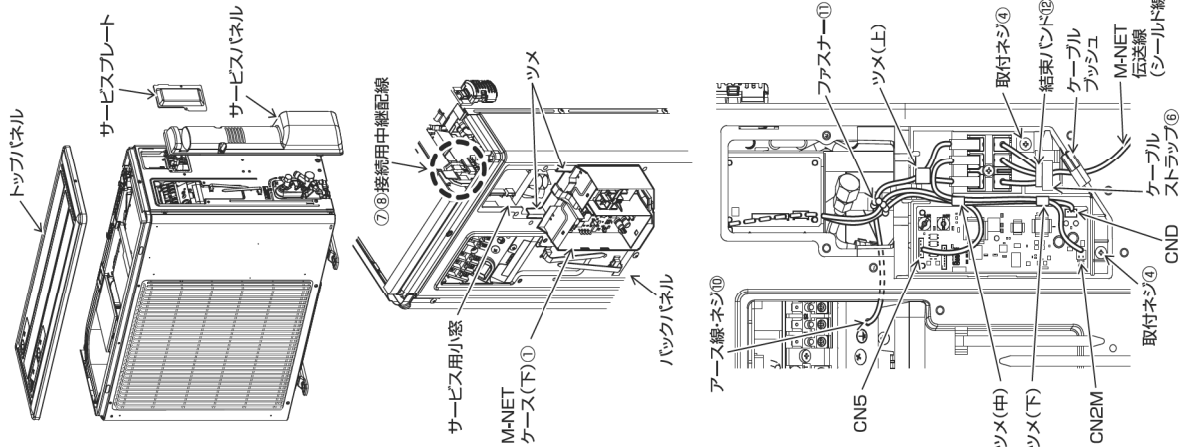
(8) (5)(6)(注1)で引き回した配線をフラスナー⑪で結束してください。

(9) M-NET伝送線(シールド線)にケーブルストラップ⑥を取付後、ケーブルストラップ⑥をM-NETケース(下)①へ取付けてください。

(10) 端子接続部にケーブルの外力が伝わらないようにするため、ケーブルストラップ⑥上側に結束バンド⑫を取付けてください。
※ 結束バンド⑫の余分はカットしてください。

(11) (9)で取付けたM-NET伝送線(シールド線)をM-NETケース(下)①のケーブルプッシュに通してください。
M-NET伝送線(シールド線)の取入れ部は、お手持ちのバラ、シールド材などを使用し隙間の多いようにシールしてください。(音漏れ、または昆虫などの小動物、雨水、粉塵などの侵入により故障の原因になります)

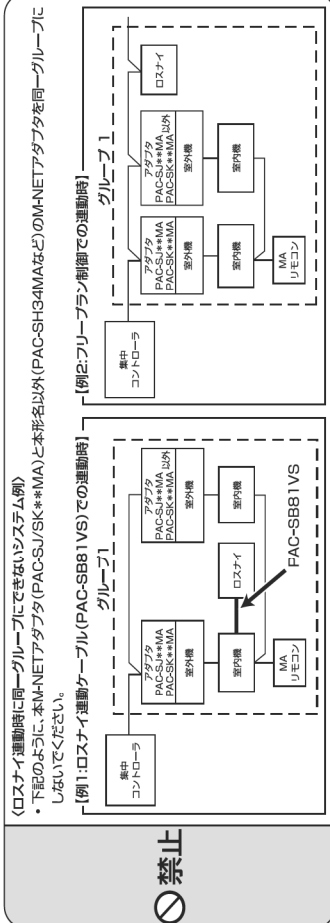
(注2) 各種配線の引き直しは左図のようにお願いします。



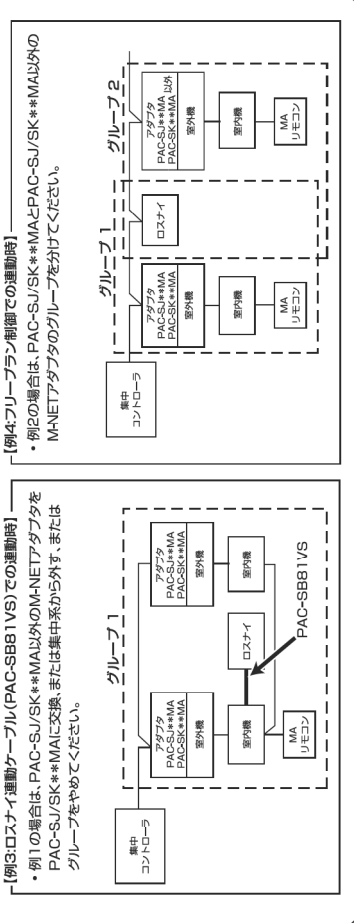
4. ロスナイ運動時の注意事項

ロスナイとシステムを運動して使用する場合は、本M-NETアダプタ(PAC-SJ/SK**MA)と本形名以外(PAC-SH34MAなどのM-NETアダプタ)を同一グループにしないでください。
この場合、グループを分けるか、本M-NETアダプタ(PAC-SJ/SK**MA)に交換してください。

- ・本M-NETアダプタ(PAC-SJ/SK**MA)
- ・ロスナイ運動時に同一グループにできないアダプタ PAC-SH34MA、-SG68MA、-SH08MA、-SG40MA、-SG98MA



利用可能なグループの設定



PAC-SK15MA 機種一覧表

サービス形名
PUZ-ZRMP40 ~ 63 (S)KA8 (-BS(G))
PUZ-ERMP40 ~ 63 (S)KA8 (-BS(G))
PU-CRMP40 ~ 63 (S)KA8

8

(12) M-NETケース(上)②をM-NETケース(下)①のツマ(3ヶ所)にはめて取付けてください。

※ リード線信号用(5極)⑦、リード線電源用(3極)⑧、アース線⑩に取付けられている黒色緩衝材(インスレーション)をM-NETケース(下)①とM-NETケース(上)②で挟み込むこと。
(雨水・油などの浸入により故障の原因になります)

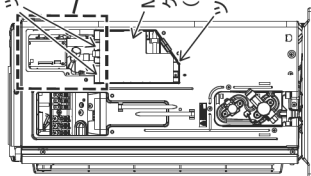
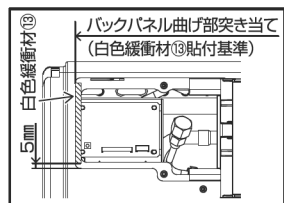
(13) 白色緩衝材⑬をバックパネルへ貼り付けてください。
(雨水・油などの浸入により故障の原因になります)

(14) M-NETカバー③をバックパネルへ(1)で取外したネジ(2ヶ所)と取付ネジ⑤(4ヶ所)で固定してください。

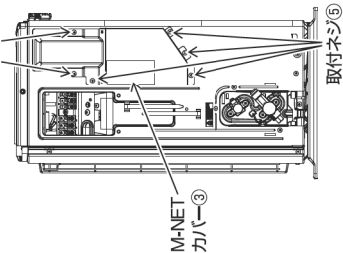
※ リード線を挟み込まないようご注意ください。

(15) トップパネル、サービスパネルをもとどおり取付けてください。

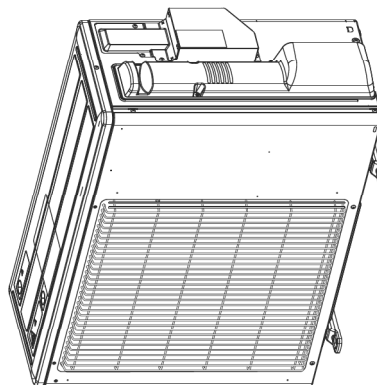
7



(1)で取外したネジ



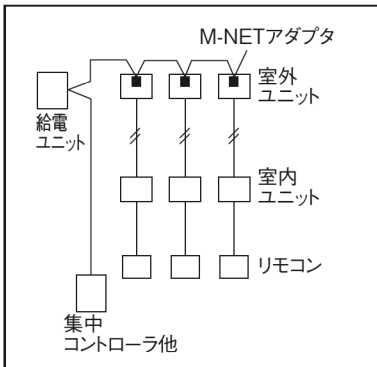
取付ネジ⑤



M-NET 接続用アダプタ

● PAC-SJ98MA

使用目的 / 用途



- “M-NET 接続用アダプタ”は、ビル内に分散した空調関連機器をネットワークし、より効率的にきめ細かく監視・制御する『MELANS』とスリムエアコン(A制御)を接続する際に使用します。
- 『MELANS』による集中制御で空調管理の効率化ができます。

注意

- ・M-NET 伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか1箇所限りアースを接続してください。

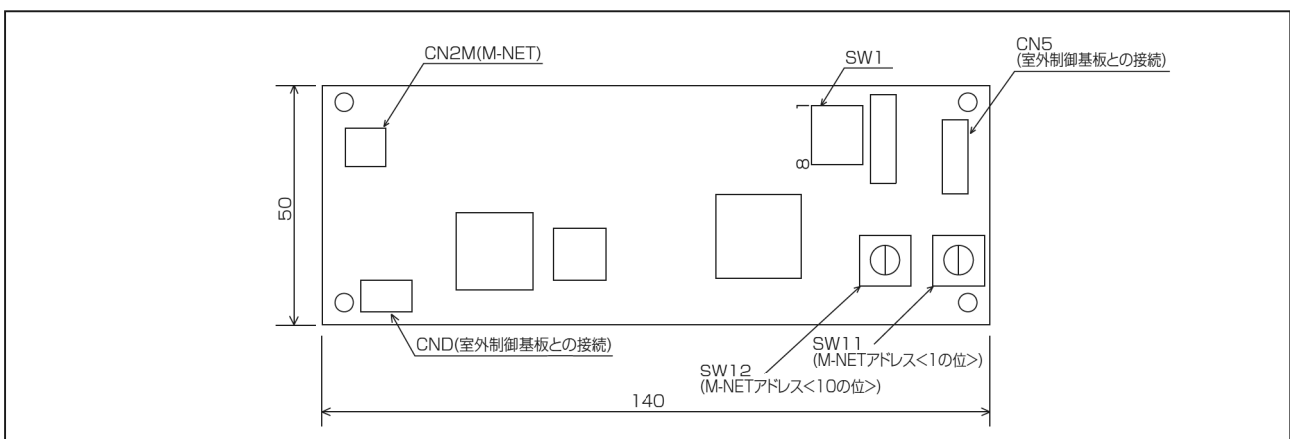
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA10, PUZ-ZRMP112 ~ 160KA10, PUZ-ZRP224・280KA13
- PUZ-ERMP80(S)HA10, PUZ-ERMP112 ~ 160LA10, PUZ-ERP224・280KA13/KAPF3
- PUZ-HRMP80 ~ 160KA4

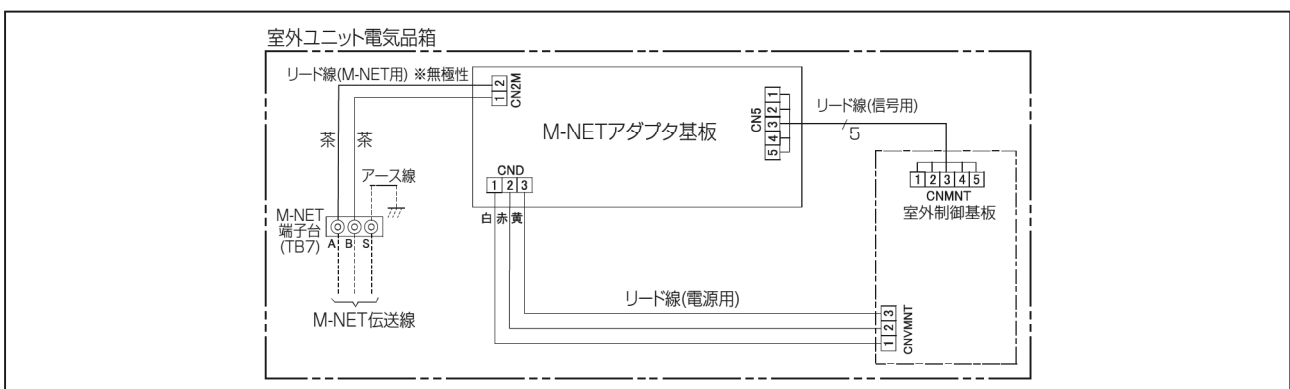
仕様

形名	PAC-SJ98MA
電源	室外制御基板より給電
消費電力	0.6W (at 5Vdc, 12Vdc)
使用環境条件	室外ユニット電気品箱内に取付 (温度 -20 ~ 60℃、湿度 90%以下 <結露なきこと>)
主要構成部品	M-NET アダプタ基板 (絶縁シート、サポート付) × 1、M-NET 端子台 (TB7) × 1、アース線 × 1 リード線 3種 (信号用・電源用・M-NET 用)
質量	0.3kg

外形図 (単位: mm)



電気配線図



室外ユニット

M-NET接続用アダプタ据付工事説明書

PAC-SJ98MA

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この安全のために必ず守ることをよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに発生する危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などにつながる可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、損傷または家庭・家財などの損害につながるもの。

- 据付工事後、試運転を行って異常がないことを確認すること、お客様に安全のために必ず守ること、および使用法、お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

改造は絶対に行わない。
●修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
●改造したり修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしないでください。
●据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。
●お買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。

据付けは、販売店または専門業者にて依頼してください。
●お客様自身で据付工事をされれば不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。
●据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
●接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。
●室内ユニットの端子露出カバー（リネール）を確実に取付ける。水等により、火災・感電の原因になります。

電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工してください。
●電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

電気工事をする前に

注意

- 電源には必ず漏電遮断器を取付ける。
- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。
- 電源配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。

試運転をする前に

注意

- ハンズルやカードを外した状態で運転をしない。
- 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
- エアフィルターを外したまま運転をしない。
- 内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。
- 必ず5分以上待つてください。
- 電源を入れたすぐ運転を開始すると、故障の原因になります。水漏れや故障の原因になります。

- 濡れた手でスイッチを操作しない。
- 感電の原因になります。
- 運転中の冷媒配管に素手で触れない。
- 運転中の冷媒配管は冷たい状態により低温と高温素手で触れると凍傷ややけどになるおそれがあります。運転を開始する12時間以上前に電源を入れる。
- 電源を入れたすぐ運転を開始すると、故障の原因になります。シーズン中は電源を切らないでください。

(本マニュアル用に変更・修正しています)

作業手順グループは電気配線図のM-NETアダプタ部分に記載しています。電気配線図は室外機またはサービスマニュアルに記載されています。

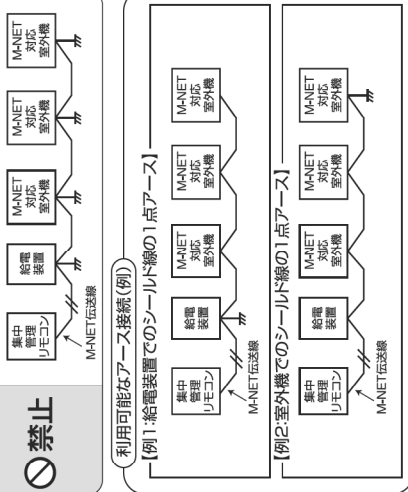
M-NET伝送線の配線について

禁止

- M-NET伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか1ヶ所に限りアース線を接続してください。
- ノイズに弱くなり通信異常になることがあります。室外機デジタル表示LED[EO]エラー集中管理リモコンに「0403」エラー

禁止

下記のようなシールド線の多点アースは行わないでください。



シールド線のアースが2点以上ある場合、アースとシールド線間に回路が形成され、アース間のインピーダンス差により電位差が生じ、シールド線にノイズが侵入することがあります。1点のみでアースした場合、回路が形成されないためにノイズが侵入しません。ノイズによる通信異常を防止するためにも、1点アースを守るようにお願いいたします。

1. 部品一覧

No.	品名	形状	数量	品名	形状	数量
①	M-NET基板 (絶縁シート、サポート付)		1	M-NET端子台		1
②	リード線 信号用(5線)		1	取付ネジ (M4x25)		1
③	リード線 電源用(3線)		1	アース線・ネジ (M4x8)		各1
④	端子台用シールド テープ		1	リード線 M-NET用(2線)		1
⑤	結束バンド		2			
⑥	M-NET端子台		1			
⑦	取付ネジ (M3x20)		1			
⑧	アース線・ネジ (M4x8)		各1			
⑨	リード線 M-NET用(2線)		1			

＜使用部品の選定について＞
●M-NET基板①および袋Aはすべてのグループ共通で使用する部品です。
●袋B、袋Cはどちらか片方を使用しますので別紙機種一覧表にてグループを選定願います。

2. M-NET基板のアドレス設定

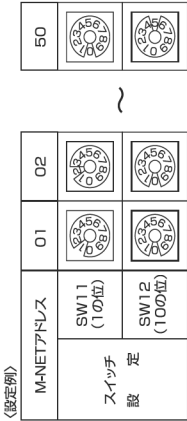
M-NETアドレス設定を、M-NET基板のロータリースイッチ SW11(1の位)、SW12(10の位)にて行ってください。
M-NETアドレスは、01～50の範囲で設定してください。
※工場出荷時は全て0(M-NETアドレス=00)となっております。

【お願い】

アドレスの設定が、M-NET基板を電気品箱に取付けた状態では作業しにくい場合、事前にM-NET基板へアドレスを設定したのち、電気品箱に取付けてください。

【注意】

M-NETアドレスは必ず01～50の範囲で設定してください。
※アドレスを重複して設定した場合エラーとなります。
また01～50以外に設定した場合エラーとなります。
(例えばM-NET基板に「アドレス=51」を誤って設定し、同一系統のM-NETシステム内に「アドレス=51」の室外ユニットが接続されている場合には、アドレスが重複することからエラーとなります)



3. M-NET基板のSW1-8設定方法

室内側に、MAUリモコンやワイヤレスリモコンが接続されているシステムの場合、SW1-8はONのままとしてください。集中コントローラダウン時、集中コントローラとの通信異常を検知しても、運転を継続します。

室内側に、MAUリモコンやワイヤレスリモコンが接続されていないシステムの場合、現地にSW1-8をOFFに設定してください。接続されている全ての集中コントローラダウン時、集中コントローラとの通信異常を検知すると異常停止します。

SW1-8 設定	機能	機能詳細	工場出荷時	電源投入時
ON 1 2 3 4 5 6 7 8 SW1	室内側にMAUリモコンやワイヤレスリモコンが接続されている場合、スイッチをONにしてください。	<機能> 室内側にMAUリモコンまたはワイヤレスリモコンが接続されているか、設定します。ON:接続有り(工場出荷) OFF:接続無し <注意> スイッチがONの場合、M-NETアダプタとM-NET系リモコン(集中コントローラ)との通信異常を検知せず、M-NETアダプタ(システム、室外)は運転を継続します。	工場出荷時はON	電源投入時
OFF 1 2 3 4 5 6 7 8 SW1	室内側にMAUリモコンやワイヤレスリモコンが接続されていない場合、スイッチをOFFにしてください。			電源投入時

※SW1-3はONのままとしてください。

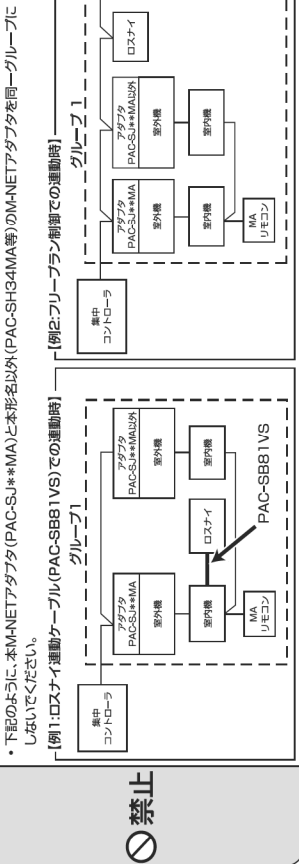
M-NETアダプタ基板



4. ロスナイ運動時の注意事項

ロスナイとスリムを運動して使用する場合は、本M-NETアダプタ(PAC-SJ**MA)と本形名以外(PAC-SH34MA等)のM-NETアダプタを同一グループにしないでください。
この場合、グループを分けるか、本M-NETアダプタ(PAC-SJ**MA)に交換してください。
・本M-NETアダプタ(PAC-SJ**MA) PAC-SJ10/18/31/68/69/98/99MA
・ロスナイ運動時に同一グループにできないアダプタ PAC-SH34MA、-SG68MA、-SH08MA、-SG40MA、-SG98MA

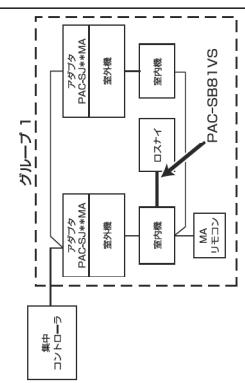
(ロスナイ運動時に同一グループにできないシステム例)



利用可能なグループの設定

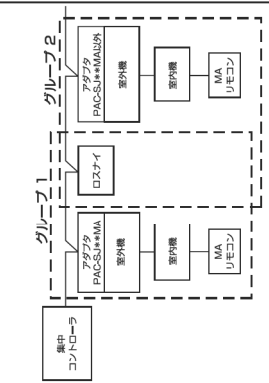
【例3:ロスナイ運動ケーブル(PAC-SBB1VS)での運動時】

・例1の場合は、PAC-SJ**MA以外のM-NETアダプタをPAC-SJ**MAに交換、または集中系から外す、またはグループをやめてください。



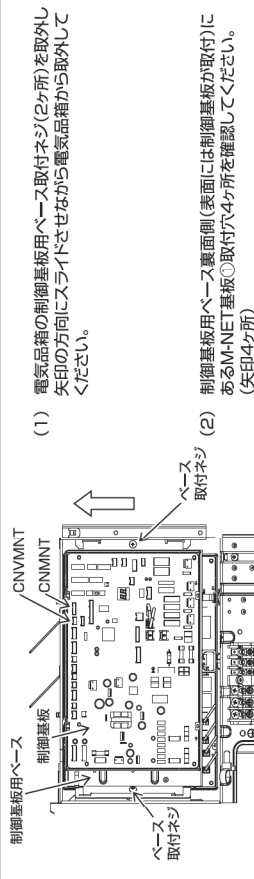
【例4:フリープラン制御での運動時】

・例2の場合は、PAC-SJ**MAとPAC-SJ**MA以外のM-NETアダプタのグループを分けてください。



5. 作業手順

[1] グループ[1]の場合(別紙の機種一覧表にて選定願います)
※袋C(グループ[3])⑩~⑬の部品は使用しません。



(1) 電気品箱の制御基板用ベース取付ネジ(2ヶ所)を外し矢印の方向にスライドさせながら電気品箱から取り外してください。

(2) 制御基板用ベース裏面側(表面には制御基板が取付)にあるM-NET基板①取付穴4ヶ所を確認してください。(矢印4ヶ所)

(3) [2.M-NET基板のアドレス設定(3ページ)を参考に、M-NET基板①のロータリースイッチ(SW11, SW12)にアドレスを設定した後、制御基板用ベース裏面、ロータリースイッチが上になるよう取付けてください。

(4) M-NET端子台⑥を取付ネジ⑦で取付けてください。
※M-NET端子台⑥には位置決め用の丸ボスがありますので、丸ボスを板金の位置決め穴にあわせてください。

(5) M-NET端子台⑥の下に端子台用シール④を貼付けてください。

(6) リード線②で、M-NET基板①のCN5と、室外制御基板のCNMNTを接続してください。

(7) リード線③で、M-NET基板①のCNDと、室外制御基板のCNVMNTを接続してください。

(8) リード線④で、M-NET基板①のCN2Mと、M-NET端子台⑥のA, B端子と接続してください。極性はありません。
※端子台のネジゆるみがないよう確実に接続してください。

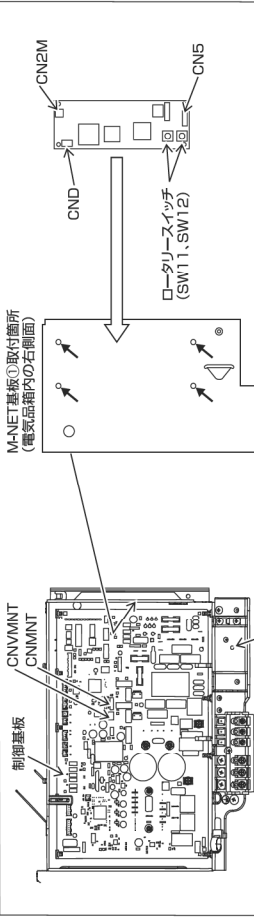
(9) (7)(8)で接続したリード線を結束バンド⑤で束ねてください。
※リード線⑤の黒チューブ部分が制御基板用ベースの上側になる位置で束ねてください。(写真参照)

(注1) 必要に応じアース線・ネジ⑥でM-NET伝送線のシールドをユニット本体に接続してください。
※「M-NET伝送線の配線について」(2ページ)参照

(注2) パネル種を取付けるとき、リード線を挟み込まないよう十分注意してください。

5

[2] グループ[2]の場合(別紙の機種一覧表にて選定願います)
※袋C(グループ[3])⑩~⑬の部品は使用しません。



(1) [2.M-NET基板のアドレス設定(3ページ)を参考に、M-NET基板①のロータリースイッチ(SW11, SW12)にアドレスを設定した後、電気品箱内の右側面に、ロータリースイッチ(SW11, SW12)が下になるよう取付けてください。(矢印部4ヶ所)

(2) M-NET端子台⑥を取付ネジ⑦で取付けてください。
※M-NET端子台⑥には位置決め用の丸ボスがありますので、丸ボスを板金の位置決め穴にあわせてください。

(3) M-NET端子台⑥の下に端子台用シール④を貼付けてください。

(4) リード線②で、M-NET基板①のCN5と、室外制御基板のCNMNTを接続してください。

(5) リード線③で、M-NET基板①のCNDと、室外制御基板のCNVMNTと接続してください。

(6) リード線④で、M-NET基板①のCN2Mと、M-NET端子台⑥のA, B端子と接続してください。極性はありません。
※端子台のネジゆるみがないよう確実に接続してください。

(7) (4)(5)(6)で接続したリード線を結束バンド⑤で束ねてください。

(注1) 必要に応じアース線・ネジ⑥でM-NET伝送線のシールドをユニット本体に接続してください。
※「M-NET伝送線の配線について」(2ページ)参照

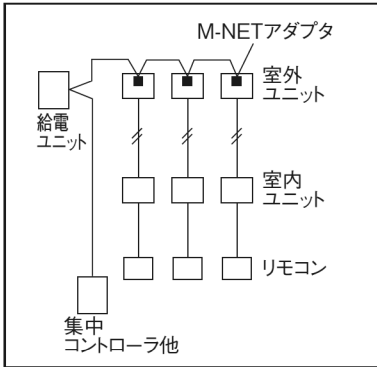
(注2) パネル種を取付けるとき、リード線を挟み込まないよう十分注意してください。

6

M-NET 接続用アダプタ

● PAC-SJ99MA

使用目的 / 用途



- “M-NET 接続用アダプタ”は、ビル内に分散した空調関連機器をネットワークし、より効率的にきめ細かく監視・制御する『MELANS』とスリムエアコン(A制御)を接続する際に使用します。
- 『MELANS』による集中制御で空調管理の効率化ができます。

注意

- ・ M-NET 伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか 1 箇所に限りアースを接続してください。

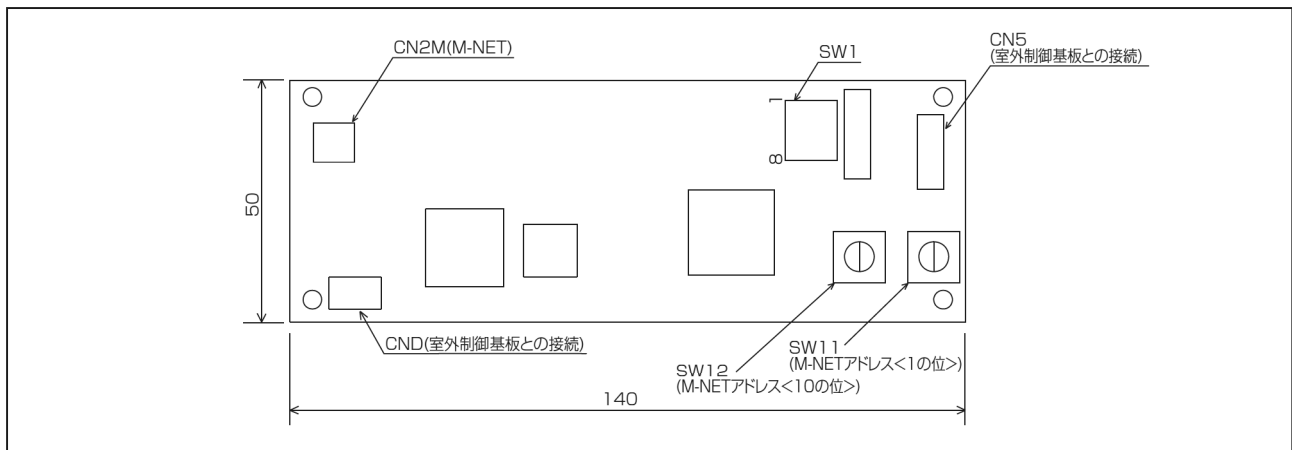
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA8
- PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA8

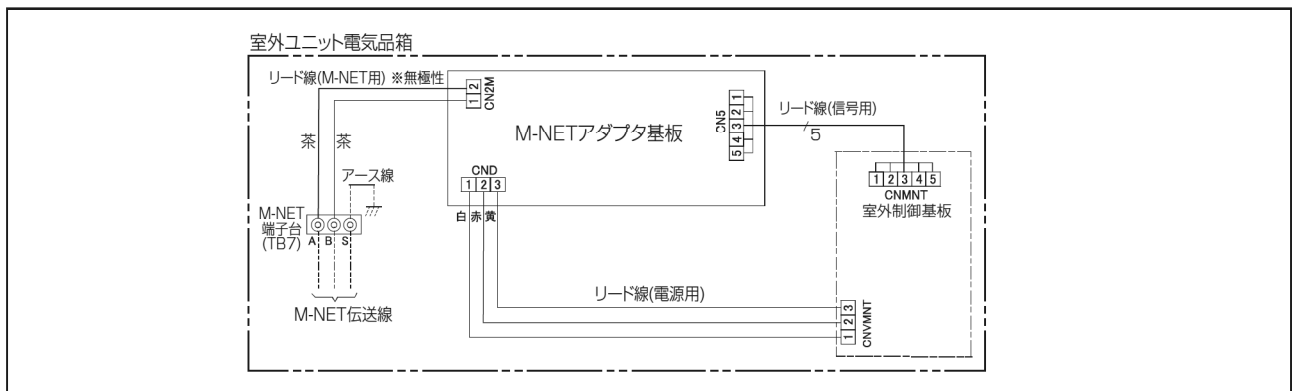
仕様

形名	PAC-SJ99MA
電源	室外制御基板より給電
消費電力	0.6W (at 5Vdc, 12Vdc)
使用環境条件	室外ユニット電気品箱内に取付 (温度 -20 ~ 60℃、湿度 90%以下 <結露なきこと>)
主要構成部品	M-NET アダプタ基板 (絶縁シート、サポート付) × 1、M-NET 端子台 (TB7) × 1、アース線 × 1 リード線 3 種 (信号用・電源用・M-NET 用)
質量	0.3kg

外形図 (単位: mm)



電気配線図



M-NET接続用アダプタ据付工事説明書

PAC-SJ99MA

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じうる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、
死傷や重傷などに結びつく
可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、
軽傷または家庭・家財などの
損害に結びつくもの。

- 据付工事後、試運転を行い異常がないことを確認すること、お客様に説明していただくこと、お客様ご自身の安全のために必ず守ること、お取り扱いの注意事項を、次の表示で区分して説明しています。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 配線は絶対に行わない。
- 修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 改修したり修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。
- 据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。
- お客様自身で移動・再据付けはしないでください。
- 据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。
- お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。
- 据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行ってください。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

電気工事をする前に

注意

- 電源には必ず漏電遮断器を取付ける。
- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。
- 電源配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。

試運転をする前に

注意

- パネルやガードを外した状態で運転をしない。
- 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
- エアフィルタを外したまま運転をしない。
- 内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。
- 必ず5分以上待ってください。
- 水濡れや故障の原因になります。

1

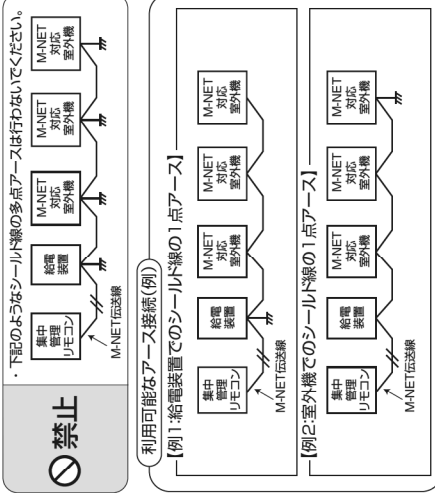
取付説明書

M-NET 接続用アダプタ : PAC-SJ99MA

(本マニュアル用に変更・修正しています)

このM-NET接続用アダプタは、別紙機種一覧表の機種に対応しています。取付け方法は機種により異なりますので、別紙機種一覧表を確認の上作業を行ってください。

対象機種は別紙 機種一覧表による



M-NET伝送線の配線について

注意

- M-NET伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか1ヶ所に限ってアース線を接続してください。
- ノイズに弱い機器は、接続する機器の室外機デジタル表示LED[Ed]エラー集中管理リモコンに「0403」エラー

シールド線のアースが2点以上ある場合、アースとシールド線間に回路が形成され、アース間のインピーダンス差により電位差が生じ、シールド線にノイズが侵入することがあります。1点のみアースした場合は、回路が形成されないためにノイズが侵入しません。ノイズによる通信異常を防止するためにも、1点アースを守るようにお願いいたします。

1. 部品一覧

No	品名	形状	数量
①	M-NET基板 (絶縁シート、サポート付き)		1
②	M-NET基板取付板		1
③	取付ネジ (M4x8)		2
④	M-NET端子台		1
⑤	取付ネジ (M3x20)		1
⑥	端子台用シールド		1
⑦	リード線 信号用(5線)		1
⑧	リード線 電源用(3線)		1
⑨	リード線 M-NET用(2線)		1
⑩	アース線-ネジ(M4x8)		各1
⑪	結束バンド		2

2

2. M-NET基板のアドレス設定

M-NETアドレス設定を、M-NET基板のロータリースイッチ SW11(1の位)、SW12(100の位)で行ってください。
M-NETアドレスは、01～50の範囲で設定してください。
※工場出荷時は全て0(M-NETアドレス=00)となっております。

お願ひ

アドレスの設定が、M-NET基板を電気品箱に取付けた状態で作業しない場合、事前にM-NET基板へアドレスを設定したのち、電気品箱に取付けてください。

注意

M-NETアドレスは必ず01～50の範囲で設定してください。
※アドレスを重複して設定した場合はエラーとなります。
また01～50以外に設定した場合もエラーとなります。
(例えばM-NET基板にアドレス=511を跨って設定し、同一系統のM-NETシステム内に「アドレス=511」の室外ユニットが接続されている場合には、アドレスが重複することからエラーとなります)

《設定例》	M-NETアドレス	01	02	50
	スイッチ設定	SW11 (1の位)	SW12 (100の位)	

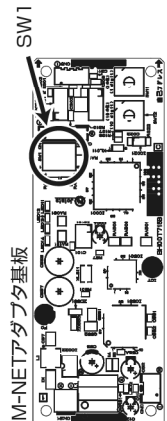
3. M-NET基板のSW1-8設定方法

室内機に、MAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されているシステムの場合、SW1-8はONのままとしてください。
集中コントローラダウン時、集中コントローラとの通信異常を検知しても、運転を継続します。

室内機に、MAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されていないシステムの場合、現地にSW1-8をOFFに設定してください。
接続されている全ての集中コントローラダウン時、集中コントローラとの通信異常を検知すると異常停止します。

SW1-8 設定	機能	機能詳細	工場出荷時	スイッチ読み込み
ON 	室内機にMAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されている場合、スイッチをONにしてください。	<p>《機能》 室内機にMAリモコンまたはワイヤレスリモコンが接続されているか、設定します。ON接続有り(工場出荷) OFF接続無し</p> <p>《注意》 スイッチがONの場合、M-NETアダプタ(M-NET系リモコン(集中コントローラ)との通信異常を検知後は、M-NETアダプタ(スリム形)は運転を継続します。</p>	ON	電源投入時
OFF 	室内機にMAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されていない場合、スイッチをOFFにしてください。			

※SW1-3はONのままとしてください。



3

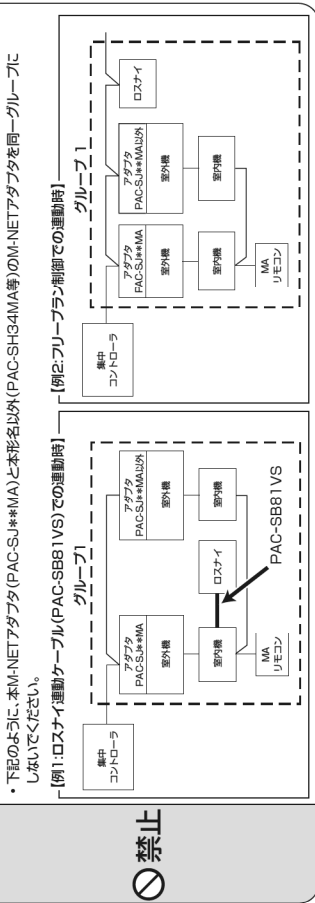
4. ロスナイ運動時の注意事項

ロスナイとスリムを連動して使用する場合、本M-NETアダプタ(PAC-SJ**MA)と本形名以外(PAC-SH34MA等)のM-NETアダプタを同一グループにしないください。

この場合、グループを分けるか、本M-NETアダプタ(PAC-SJ**MA)に交換してください。

- ・本M-NETアダプタ(PAC-SJ**MA) PAC-SJ1018/31/68/69/98/99/MA
- ・ロスナイ運動時に同一グループにできないアダプタ PAC-SH34MA、SG68MA、SH08MA、SG40MA、SG98MA

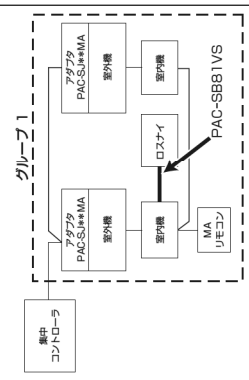
《ロスナイ運動時に同一グループにできないシステム例》



利用可能なグループの設定

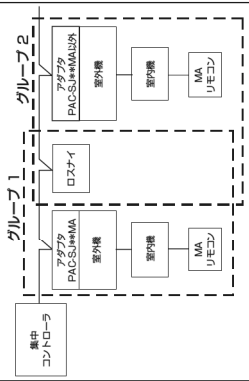
【例3:ロスナイ運動ケーブル(PAC-SB81VS)での運動時】

- ・例1の場合は、PAC-SJ**MA以外のM-NETアダプタを PAC-SJ**MAに交換、または集中系から外す、またはグループをやめてください。



【例4:フリーラン制御での運動時】

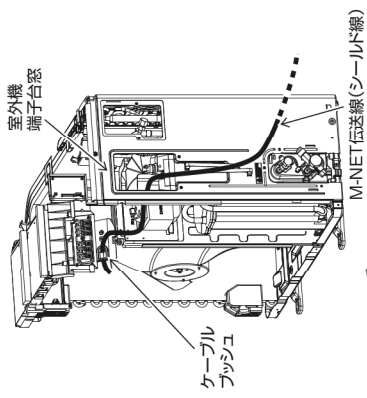
- ・例2の場合は、PAC-SJ**MAとPAC-SJ**MA以外のM-NETアダプタのグループを分けてください。



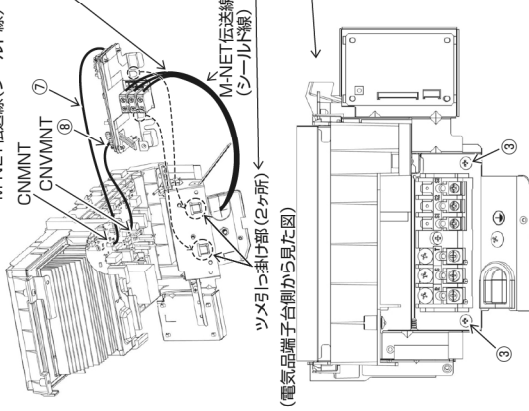
4

取付説明書

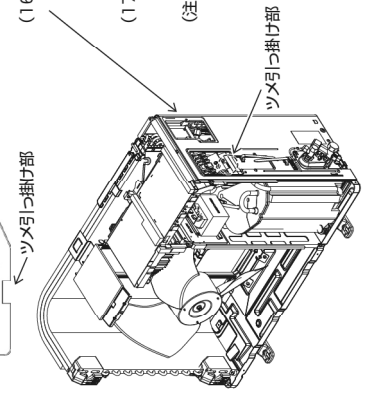
- (10) M-NET伝送線(シールド線)を室外機端子台窓および電気品端子台下のケーブルブッシュに通してください。



- (11) (10)にて取付したM-NET伝送線(シールド線)を(1)~(7)にて組立てた付属部品のM-NET端子台④に接続してください。
※端子台のネジのゆるみがないよう確実に接続してください。
- (12) (4)にてM-NET基板①のCN5に接続したリード線⑦を制御基板のCNMNTに接続してください。
- (13) (5)にてM-NET基板①のCNDIに接続したリード線⑧を制御基板のCNVMNTに接続してください。
- (14) M-NET基板取付板②のツム(2ヶ所)を電気品端子台板金裏のツム引っ掛け部に取付けてください。
- (15) (14)にて取付けたM-NET基板取付板②と電気品端子台板金を取付ネジ③(2ヶ所)で固定してください。



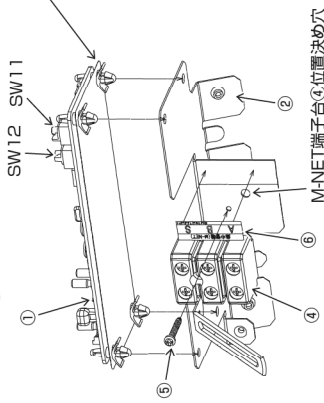
- (16) (9)にて取付した取付ネジ(3ヶ所)を使用して、電気品を室外機に取付けてください。
※電気品を室外機に取付ける際、電気品端子台板金の引っ掛け部と室外機板金ツムを確実に取付けてください。
- (17) (8)にて取付したすべての配線を室外機基板にもとどりに接続してください。
(注2) ハネル類を取付けるとき、リード線を挟み込まないように十分注意してください。



6

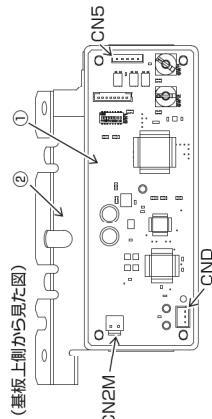
5. 作業手順

【付属部品組立図】



【付属部品組立手順】

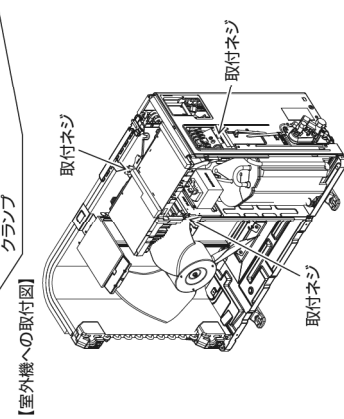
- (1) 「2.M-NET基板のアドレス設定」(3ページ)を参考に、M-NET基板①のロータリースイッチ(SW11、SW12)にアドレスを設定した後、M-NET基板取付板②に図の向きで取付けてください。
- (2) M-NET基板取付板②にM-NET端子台④を取付ネジ⑥にて取付けてください。
※M-NET端子台④には位置決め用の丸ボスがありますので、丸ボスをM-NET基板取付板②の位置決め穴にあわせてください。
- (3) M-NET端子台④の横に端子台用シール⑥を図の向きで貼付けてください。



【端子台側から見た図】

- (4) リード線⑦をM-NET基板①のCN5に接続してください。
- (5) リード線⑧をM-NET基板①のCNDIに接続してください。
- (6) リード線⑥で、M-NET基板①のCN2Mと、M-NET端子台④のA、B端子を接続してください。ゆるみはありません。
※端子台のネジのゆるみがないよう確実に接続してください。
- (7) M-NET基板取付板②のクランプでリード線⑥を固定してください。
※リード線⑥の黒キューブ凸部がM-NET端子台④側になるように固定してください。

- (注1) 必要に応じてアース線-ネジ⑩でM-NET伝送線のシールドをM-NET基板取付板②に接続してください。
※「M-NET伝送線の配線について」(2ページ)参照



【室外機への取付手順】

- (8) 室外機基板に接続されているすべての配線を取外してください。
- (9) 電気品の取付ネジ(矢印部3ヶ所)を取外し、電気品を上方向へ持ち上げて室外機から取外してください。

5

BT79G384H09

PAC-SJ99MA

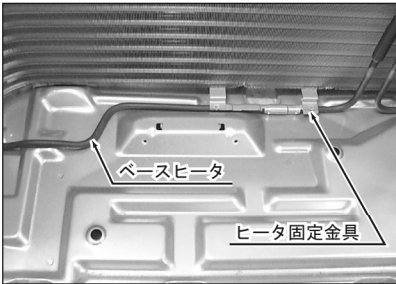
別紙機種一覧表

グループ	サービス形名	作業要領
【1】	MPUZ-ERP40 ~ 63(S)KA2	⑤~⑥ページ
	PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA3	
	PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA4	
	PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA5	
	PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA6	
	PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA7	
	PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA8	
	PUZ-ERP40 ~ 63KA41	
	PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA2	
	PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA4	
	PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA6	
	PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA3	
	PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA4	
	PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA5	
	PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA6	
	PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA7	
	PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA	
	PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA2	
	PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA4	
	PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA6	
	PU-CRP40 ~ 63(S)KA5	
	PU-CRP40 ~ 63(S)KA6	
	PU-CRP40 ~ 63(S)KA7	
	PU-CRP40 ~ 63(S)KA8	
	PU-CRMP40 ~ 63(S)KA2	
	PU-CRMP40 ~ 63(S)KA4	
	PU-CRMP40 ~ 63(S)KA6	
	PU(Z)G-MP2MKA	
	PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA42	
	MDU-P50/63B-WA	

凍結防止ヒーター

● PAC-SJ11BH

使用目的 / 用途



- “凍結防止ヒーター”は、厳冬期での室外ユニット熱交換器内側下部に発生する根氷の抑制対策、及びドレン抜穴の氷結による詰まり防止を目的とした部品です。
- 寒冷地や降雪の多い地域で活用してください。
- 降雪地域でご使用の際は、防雪ダクトとの併設をおすすめします。

注意

・ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケット及び集中排水ドレンパンとの併用はできません。

対象ユニット

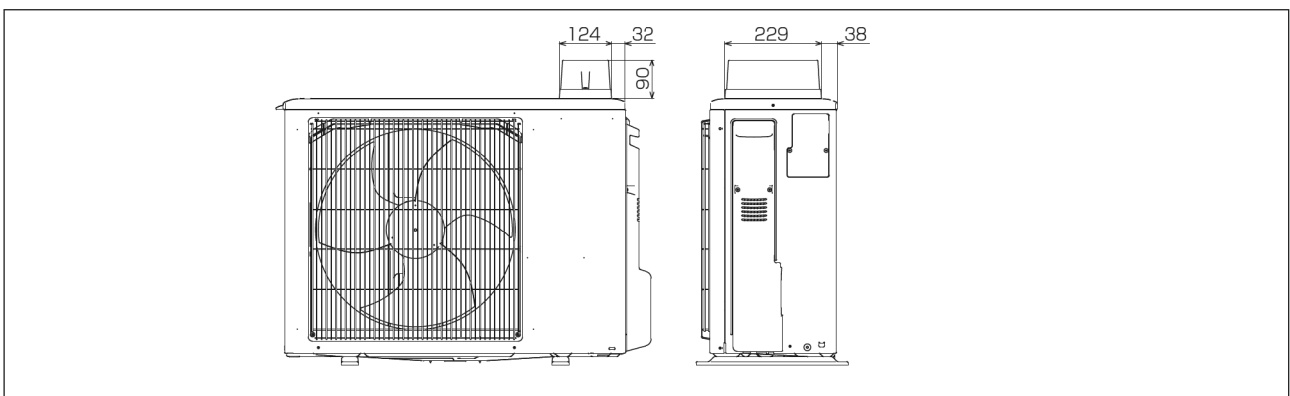
- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA10
- PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA10

仕様

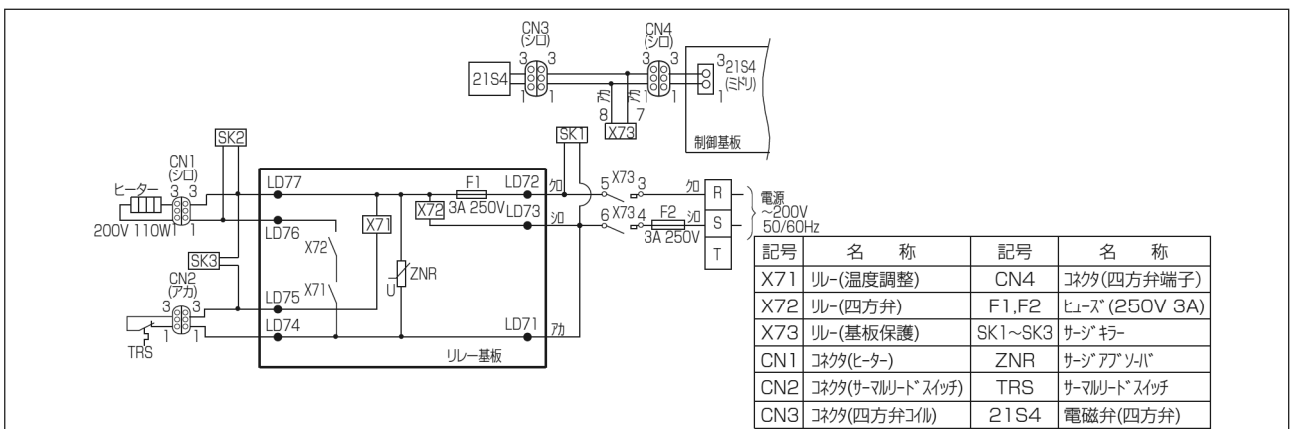
形名	PAC-SJ11BH	
凍結防止ヒーター	電源	単相 200V 50/60Hz
	容量	110W
	保護ヒューズ	3A 250V
制御部カバー	外形寸法	227 × 124 × 90mm
	外装	ホワイト
	材質	耐熱性 ABS
質量	3.0kg (トップパネル・制御部カバーも含む)	

注) 本品を取付ける際は、付属のトップパネルも交換してください。

取付図 (単位: mm)



電気配線図



BH79D185H02



三菱電機パッケージエアコン別売部品 室外機用凍結防止ヒーター 取付説明書

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

別名形名	適用機種
PAC-SJ11BH(200V,110W)	室外ユニット用インバーターKシリーズ

取付けの前に

- 本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根水の抑制対策およびドレン抜穴の水結による詰り防止を目的としたものです。
- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
- ドレン穴からの排水を確保するため、ドレン管ケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取付けをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

- △警告 誤った取付けをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。
 - △注意 誤った取付けをしたときに、傷害または家屋・家財などの損傷に結びつくもの。
- 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で取付けをされた不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 取付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
- 部品に不備があると、感電・火災・ユニット落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 配線は、所定の電線を併用して確実に接続し、端子接続部に電線の外力が伝わらないように確実に固定する。
- 接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

注意

- 可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には取付けない。
- 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまること、爆発の原因になることがあります。
- 取付けは必ず漏電遮断器を取付けてください。
- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。
- 取付けは、この説明書にしたがって確実に行う。
- 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」・「内線規定」を遵守し、取付説明書にしたがって施工してください。
- 電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 室外ユニットのサービスマネルを確実に取付ける。
- 取付けに不備があると、ほこり・水などにより感電・火災の原因になります。

取付説明書

凍結防止ヒーター：PAC-SJ11BH

(本マニュアル用に変更・修正しています)

1. 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

品名	①ベースヒーター	②ヒーター固定金具	③バンド	④外気温度センサー	⑤ベースヒーター前部部品本体	⑥ファスナー
形状						
数量	1SET	1個	2本	1SET	1SET	2本
品名	⑦配線名板	⑧フィルム	⑨アルミテープ			
形状						
数量	各1枚	1枚	3枚			

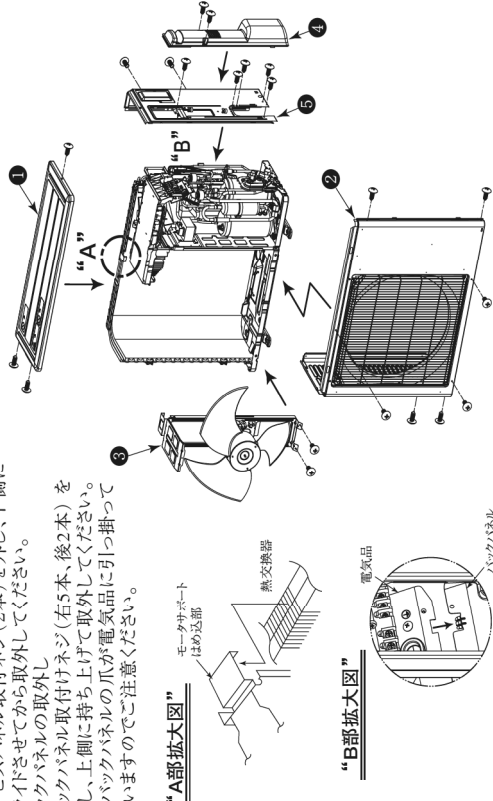
2. 取付準備

- ※ベースヒーターの組込みは室外ユニットを据付ける前に行ってください。
- 室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
 - ベースヒーター取付の為、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
 - ホコリ、ゴミ等の除去を十分に行ってください。
 - 熱交換器本体のフィン部に触れながら作業をする場合がありますので、あらかじめ軍手等の保護具を着用してください。

3. ベースヒーター組込準備

次の手順で下図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒーターの組込み準備を行います。

1. トップパネルの取外し
 2. フロントパネル取付ネジ(左2本、右1本)を外し、上側に持ち上げて取外してください。
 3. モーターポートの取外し
 4. モーターポート取付ネジ(前3本、右2本、左2本)を外し、前側に引き出し取外してください。
 5. モーターポート取付ネジ2本を外し、上側に持ち上げ熱交換器上部とのはめ合を外して前側に引出してください。取外したモーターポートには、モーターリード線が接続されていますので引張りがかからない状態でモーターポートを横置きにしてください。
 6. サービスマネルの取外し
 7. サービスマネル取付ネジ(2本)を外し、下側にスライドさせてから取外してください。
 8. バックパネルの取外し
 9. バックパネル取付ネジ(右5本、後2本)を外し、上側に持ち上げて取外してください。
- ※バックパネルの爪が電気品に引っ掛かっていますのでご注意ください。



4. ベースヒーターの取付け

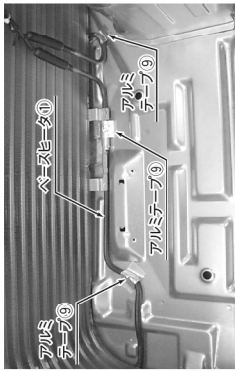
- 熱交換器本体を持ち上げながらベースの溝に沿ってベースヒーター①を下の図のように位置決めし、仮置きしてください。



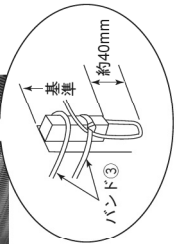
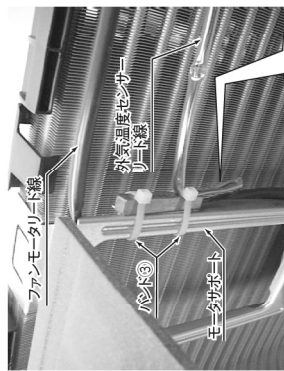
- 再び熱交換器を持ち上げ、ヒータ固定金具②の凹部を、ベースのドレン穴近傍の凸部に合わせ、下の図位置に仮固定し、熱交換器の下敷となるように位置決めをしてください。



- 左図のように、ベースヒーター①を付属のアルミテープ④で3ヶ所固定してください。



5. 外気温度センサーの取付け



- 外気温度センサー④の感知部に貼付けの画面テープ離れ紙をはがし、モーターサポートのフランジ上面を基準に、リード線を下方に向け貼り付けてください。
- 外気温度センサーのリード線を、約40mmの位置でU曲げし、上下2カ所をバンド③で固定します。下側のバンドに外気温度センサーの感知部、外気温度センサーのリード線、ファンモーターのリード線を固定し、上側は外気温度センサーの感知部、ファンモーターリード線を固定します。高、ファンモーターリード線が外気温度センサー④の感知部に触れると正確な動作が出来なくなりますので、図の様にリード線をモーターサポート裏面に沿って固定してください。

6. 各リード線の固定

- 下の図のように外気温度センサー、ベースヒーター、ファンモーターの各リード線をファスナー⑥で束ねた後、Uカット部に各リード線を通し、クランプを通して既設のリード線と一緒に固定します。

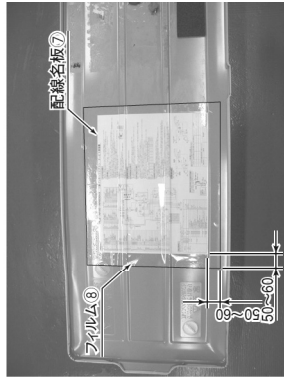
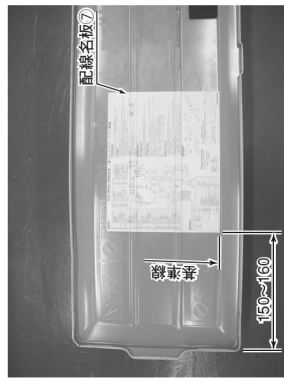


7. 配線名板の貼付け

ベースヒーター制御部本体⑤の裏面に配線名板⑦を貼付けます。尚、配線名板⑦は取外したトップパネル裏面に貼付けてある名板と同一品(同一形名品)を必ず選んでください。

※配線名板⑦上にフィルム⑧を貼付けの際は、その端部にしわが発生しない様、丁寧に貼付けてください。しわ等が発生しますと、その隙面から水が入り込み配線名板⑦、フィルム⑧がはがれやすくなります。

- 配線名板⑦は下図仕様(基準線、寸法値)にしたがい貼付けてください。



- 配線名板⑦を貼付けた後フィルム⑧を重ね貼りします。配線名板⑦の外形各辺50~60位の間隔を保つようにフィルム⑧を貼付けてください。

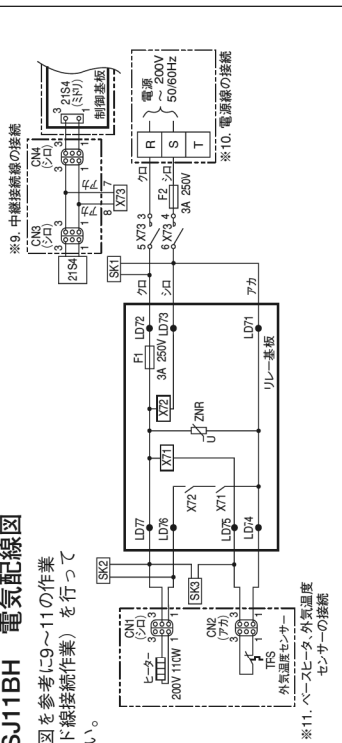
8. ベースヒータ制御部のリード線



- 図はベースヒータ制御部本体⑤を室外機本体に仮置きした状態を示します。各リード線については次の項に従い誤りのないように接続してください。

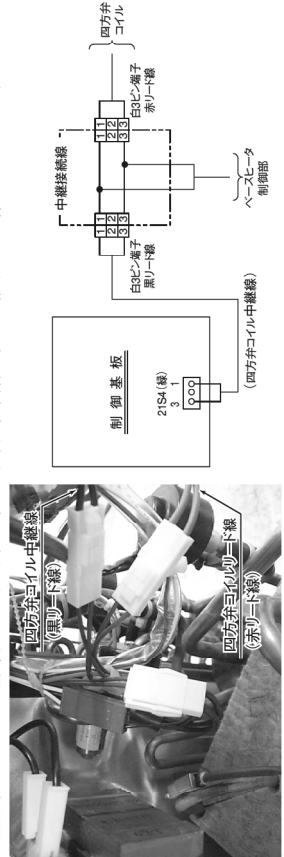
☆PAC-SJ11BH 電気配線図

右配線図を参考に9~11の作業(リード線接続作業)を行ってください。

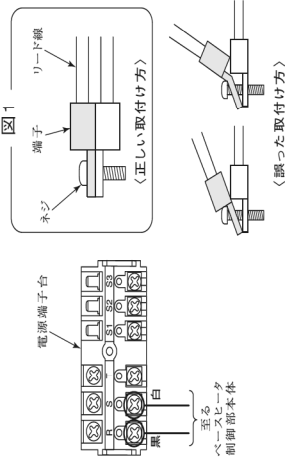


9. 中継接続線の接続

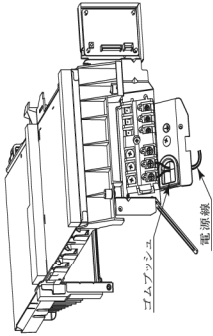
- 次の手順で作業を行ってください。
 - 四方弁コイルと四方弁コイル中継線の白コネクタを外してください。尚、四方弁コイルは白の3ピン端子に赤のリード線、四方弁コイル中継線は白の3ピン端子に黒のリード線が接続されていますので誤りのないように注意願います。
 - 四方弁コイル、四方弁コイル中継線、ベースヒータ制御部からのリード線をそれぞれ下記にしたがい接続してください。
 - ※ 下図については電気品および回路図を示します。位置関係を把握し誤りのない様にしてください。



10. 電源線の接続



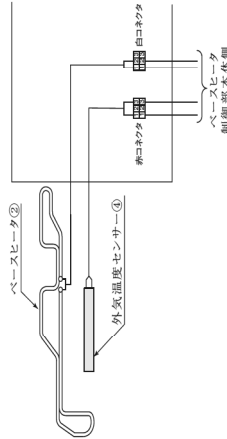
- ベースヒータ制御部リード線からの電源線(黒色、白色)をそれぞれ室外ユニット電源端子台R,S相に現地配線の端子と共締めしてください。
- ※ 端子の向きは、必ず図のように取付けてください。(図は三相機種の場合を示します)
- ※ 下図のように、電源線を接続する際は、電源線をゴムブッシュを通して接続してください。



▲ 警告
端子の取付けは、緩みがないように確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

11. ベースヒータ、外気温度センサーの接続

- 右図のとおり各品目のリード線端子部の色(ベースヒータ:白、外気温度センサー:赤)とベースヒータ制御部から出る同じ色のリード線端子を接続してください。



12. 各リード線の固定

- 各リード線の接続後に、リード線が冷媒配管等にあたらぬよう、ファスナー⑥を使い、リード線を固定してください。(11の図参照)

13. 再組立

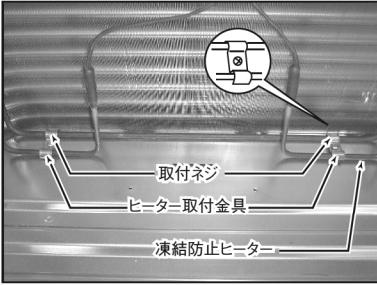
- 以上のようにベースヒータの取付および電気配線の接続が確実に実行されていることを必ず確認してください。取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。

▲ 警告
室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

凍結防止ヒーター

● PAC-SH35BH

使用目的 / 用途



- “凍結防止ヒーター” は、厳冬期での室外ユニット熱交換器内部下部に発生する根氷の抑制対策、及びドレン抜穴の氷結による詰まり防止を目的とした部品です。
- 寒冷地や降雪の多い地域で活用してください。
- 降雪地域でご使用の際は、防雪ダクトと併設してください。

注意

- ・ ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケット及び集中排水ドレンパンとの併用はできません。
- ・ 本品を取り付ける際には、付属のトップパネルも交換してください。

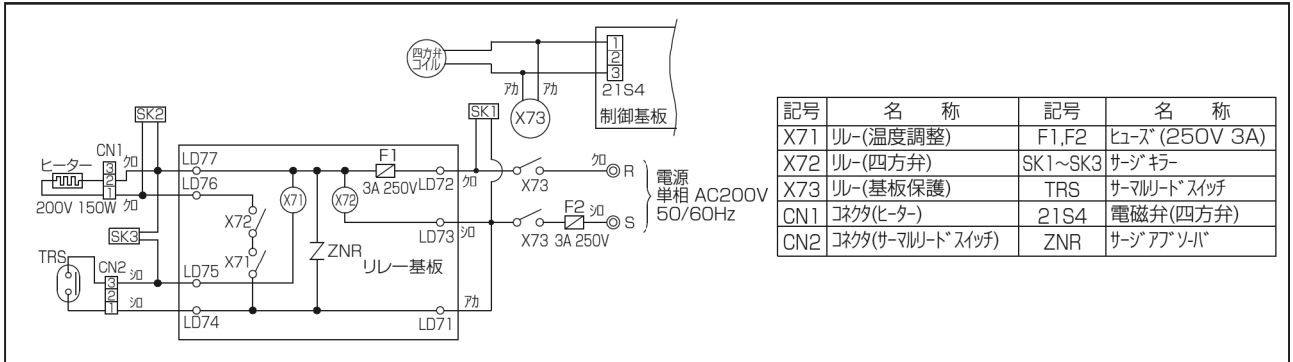
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA10
- PUZ-ERMP80(S)HA10

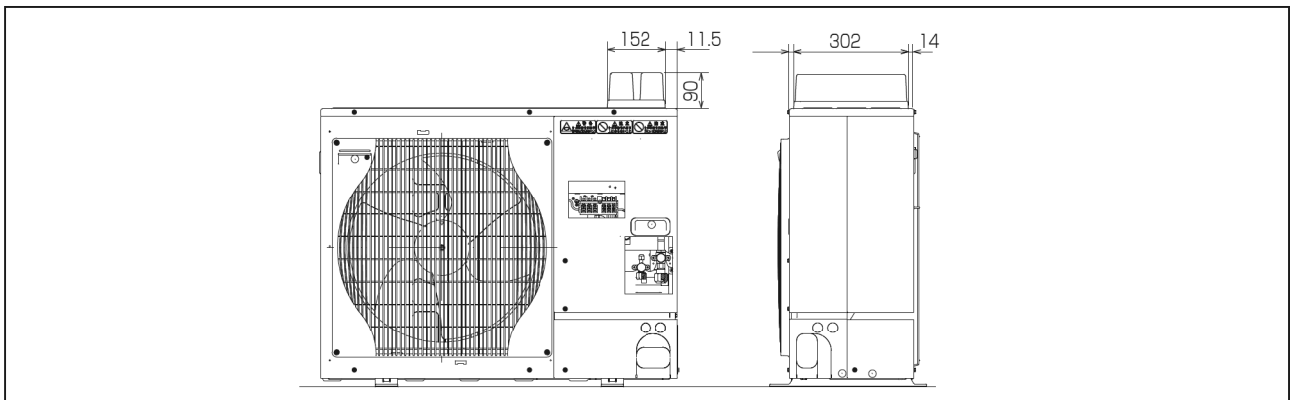
仕様

形名	PAC-SH35BH		制御部カバー	外形寸法	302 × 152 × 90mm
凍結防止ヒータ	電源	単相 200V 50/60Hz	質量	外装	ホワイト
	容量	150W		材質	耐熱性 ABS
	保護ヒューズ	3A 250V		4.0kg (トップパネル・制御部カバーも含む)	

電気配線図



取付図 (単位: mm)



RG79D170H04



三菱電機 パッケージエアコン別売部品
室外機用凍結防止ヒーター 据付工事説明書

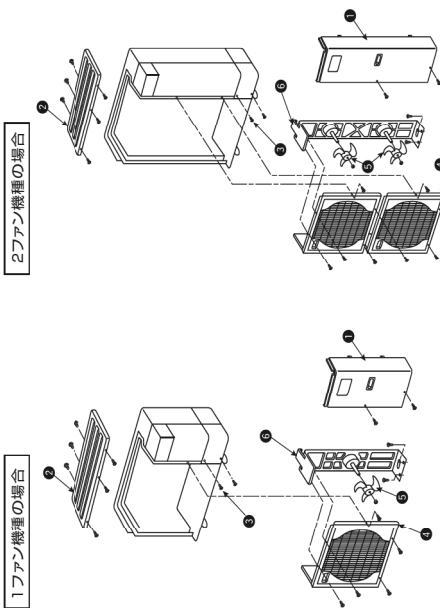
※据付け前に本説明書をよくお読みください。

別形名		適用機種	
PAC-SH35BH(200V, 150W)		室外ユニット用 インバーターシリーズ	

1. 部品の確認			
品名	①ベースヒーター	②ヒーター固定金具	③固定ネジ (4X10)
形状			
数量	1set	2個	7本
品名	④ベースヒーター制御部本体	⑤四方井中継線	⑥圧着スリーブ
形状			
数量	1set	1set	2個
品名	⑦フロントパネル	⑧ファンモーター	⑨ファンモーターケーブル
形状			
数量	1set	1set	5本

2. 取付準備 ※ベースヒーターの組込みは室外ユニットを据付ける前に行ってください。詳しくは室外機用凍結防止ヒーターの取付説明書をご覧ください。
- 室外ユニット本体の電源が、OFFであることを必ず確認してください。
 - ベースヒーター取付の為、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
 - ホコリ、ゴミなどの除去を十分に行ってください。

3. ベースヒーター組込準備
- 次の手順で下図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒーターの組込み準備を行います。



1. サービスマニュアルの取外し
- ① 前側3本のネジを取外した後、パネルを下方にスライドさせてから取外す。
- ② トップパネルの取外し(取外したトップパネルは使用しません)
- ③ 前側2本、後側3本の各ネジを取外した後、上側に持ち上げて取外す。
- ④ カバーパネルの取外し
- ⑤ カバーパネルのネジを取外す。
- ⑥ フロントパネルの取外し
- ⑦ ファンモーターは5本、2ファン機種は6本のネジをそれぞれ取外し、フロントパネルを上方にスライドさせてから前側に引き取外す。
- ⑧ ファンの取外し
- ⑨ ファンの固定ネジを取外し前側に引き出し取外す。
- ⑩ モーターケーブルの取外し
- ⑪ ファンモーターのコネクタを外した後、モーターケーブル固定ネジ2本を取外し、全体を斜め前方に持ち上げ取外す。

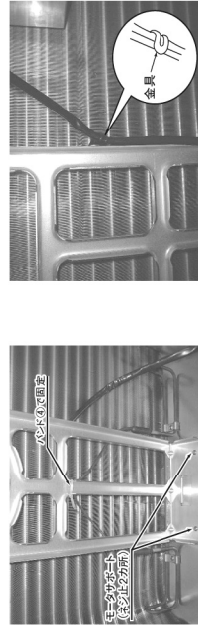
取付説明書

凍結防止ヒーター : PAC-SH35BH

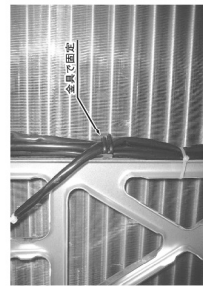
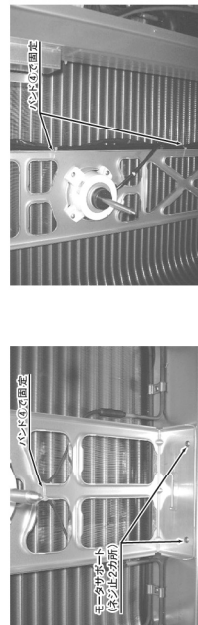
(本マニュアル用に変更・修正しています)

4. ベースヒーターの取付け
-
- モーターケーブルの角穴部中心にベースヒーター①を配置してください。(下図参照)
 - ヒーター固定金具②と固定ネジ③で、ベースヒーター①を固定してください。

5. モーターケーブルベースヒーターリード線の固定
- 1ファン機種の場合
-
- モーターケーブルにベースヒーターリード線をバンド⑥を使用して中央1ヶ所固定してください。
 - ベースヒーターリード線をファンモーター上のファンモーターリード線用固定金具の下部にバンド⑥を使い、固定してください。(1ファン機種は1ヶ所固定)



- 2ファン機種の場合
- 2ファン機種は左図の様にベースヒーターリード線を上下2ヶ所にバンド⑥のファンモーターリード線用固定金具で固定してください。



9. 電源線の接続

図1 リード線、端子、ネジの正しい取付け方

- ベースヒーター制御部リード線からの電源線 (黒色、白色) をそれぞれ別個に端子に接続してください。
※ 端子の向きは、必ず図のように取付けてください。

10. ベースヒーター外気温度センサーの接続

- 各端子のリード線端子の色とベースヒーター制御部から出る同じ色のリード線端子を電装品箱内で接続してください。

11. 各リード線の固定

- 各リード線の接続後に、フッ素テープを巻いて固定してください。なお、本別冊で使用したリード線については、全ての機種に対応できる長さの配線になっておりますので、場合によっては余る場合がありますが、適宜リード線を電装品箱内に収めてください。
- 一枚基板機種
 - 外気温度センサーのコネクタ (黄色)
- 二枚基板機種
 - 外気温度センサーのコネクタ (赤色)

12. 再組立

- 以上のようにベースヒーターの取付および電装品箱の接続が確実に完了していることを必ず確認してください。取付した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。
※ プロペラファンは必ず 5.7±0.3N・m (5.7±3kg・cm) のトルクで締付けてください。

警告 室外ユニットの外側パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり水などにより、感電・火災の原因になります。

6. 外気温度センサーの取付

- 外気温度センサー⑤の取付時に取付けの取付方向を必ず向きを正確に取付けてください。なお、下部の凸の出は必ず外気温度センサーリード線と一緒に固定してください。

7. リード線の固定

- 外気温度センサー、ベースヒーターファンモーターの各リード線を、セリールの取り付け位置のバックアップで、セリールの取り付け位置に巻き込んでください。セリールを巻き込む位置は、パネルとバックアップとの間にリード線を巻き込むようにしてください。

8. 四方井コイルリード線加工

- 次の手順で作業を行ってください。
 - 電装品箱にある制御基板内の、四方井コイル (2) のコネクタリード線を取外してください (加工前参照)。
 - 四方井コイル (1) 側のコネクタ (銅) を切断し、コネクタを廃棄し、コネクタの残部は圧着スリーブ⑧でカシメ固定するため、15mmの長さを行ってください。
 - ベースヒーター制御部本体④からの赤いリード線のコネクタ (青) も四方井コイルリード線同様切断し、コネクタを廃棄し、15mmの長さを行ってください。
 - 皮芯をひいて四方井コイルリード線、ベースヒーター制御部本体④の赤いリード線、四方井コイルをそれぞれ圧着スリーブ⑧のカシメで固定し、電装品箱内に収めます (加工後参照)。

9. 電装品箱の接続

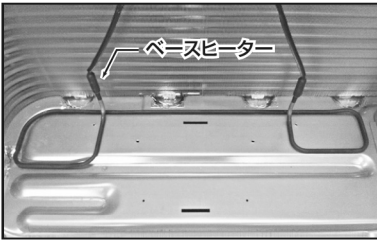
10. ベースヒーターの接続

※ 四方井コイルの取付方向についてはコネクタの取付向きを参照してください。

凍結防止ヒーター

● PAC-SK18BH

使用目的 / 用途



- “凍結防止ヒーター” は、厳冬期での室外ユニット熱交換器内部下部に発生する根氷の抑制対策、及びドレン抜穴の氷結による詰まり防止を目的とした部品です。
- 寒冷地や降雪の多い地域で活用してください。
- 降雪地域でご使用の際は、防雪ダクトと併設してください。

注 意

- ・ ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケット及び集中排水ドレンパンとの併用はできません。
- ・ 本品を取り付ける際には、付属のトップパネルも交換してください。

対象ユニット

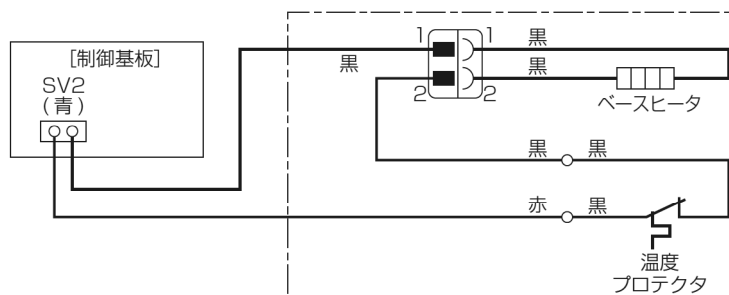
- PUZ-ZRMP112 ~ 160KA10, PUZ-ZRP224・280KA13
- PUZ-ERP224・280KA13/KAPF3
- PUZ-HRMP80 ~ 160KA4

仕 様

形 名	PAC-SK18BH	
凍結 防止ヒータ	電 源	単相 200V 50/60Hz
	容 量	150W
	質 量	0.5kg

電気配線図

下図を参考にリード線接続作業を行ってください。





三菱電機 パッケージエアコン別売部品 室外機用凍結防止ヒータ据付工事説明書

別売部品名	適用機種
PAC-SK18BH (200V・150W)	室外ユニット用 インバーター・Kシリーズ

- 据付けの前に**
- 本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根氷の抑制対策およびドレン抜穴の水結による詰り防止を目的としたものです。
 - 降雪の多い地域で使用の際は、防雪タクトを併設してください。
 - ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンノックットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

- 据付工事後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方などを説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

- 据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
- 当社指定部品を使用しないと、水漏れ、感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

- 配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
- 接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災などの原因になります。

- 据付け(移設)・電気工事をする前に

注意 電源には必ず漏電遮断器を取付ける。

- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。

- アース工事を行う。
- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

1 部品の確認

この箱の中には、この据付工事説明書の他に下記部品が入っていますので、据付前にご確認ください。

品名	個数	形状	品名	個数	形状
① ベースヒータ	1		② ヒータ固定金具	2	
③ 固定ネジ4×10	4		④ バンド	1	
⑤ アースナー	2		⑥ ベースヒータカバー(1)	1	
⑦ ベースヒータカバー(2)	1		⑧ ドリルネジ	1	
⑨ 固定金具	1				

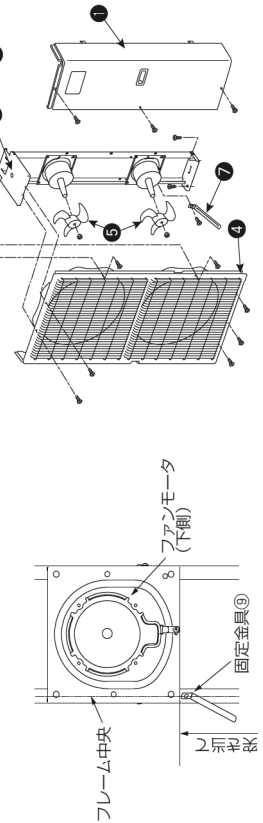
2 据付前準備

- ベースヒータの据付けは室外ユニットを据付ける前に行ってください。*
- 室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒータ据付けのため、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミなどの除去を十分に行ってください。

3 ベースヒータ据付準備

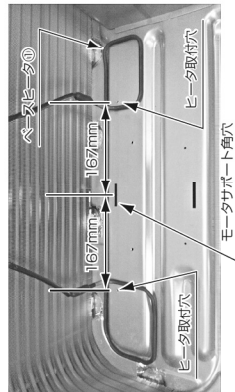
次の手順で右図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ベースヒータの据付準備を行います。

- ① サーベイスパネルの取外し
前側3本のネジを取外した後、パネルを下方にスライドさせてから取外す。
- ② トップパネルの取外し
前側2本、後側3本の各ネジを取外した後、上側に持ち上げて取外す。
- ③ カバーパネルの取外し
カバーパネルのネジ2本を取外す。
- ④ フロントパネルの取外し
前面7本のネジを取外した後、フロントパネルを上方にスライドさせてから前側に引き取外す。
- ⑤ ファン①の取外し
ファンの固定ナットを取外し前側に引き出し取外す。
- ⑥ モータサポートの取外し
ファンモータのコネクタを取外した後、モータサポート固定ネジ2本を取外し、全体を斜め前方に持ち上げて取外す。
- ⑦ 固定金具⑨の取付け
固定金具⑨を下部の位置に合わせてドリルネジ⑩を使用してモータサポートに穴をあけます。

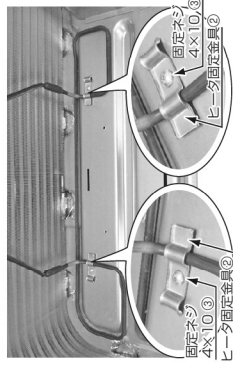


4 ベースヒーターの据付け

●モータサポートの角穴部中心にベースヒーター①を仮置きしてください。(下図参照)

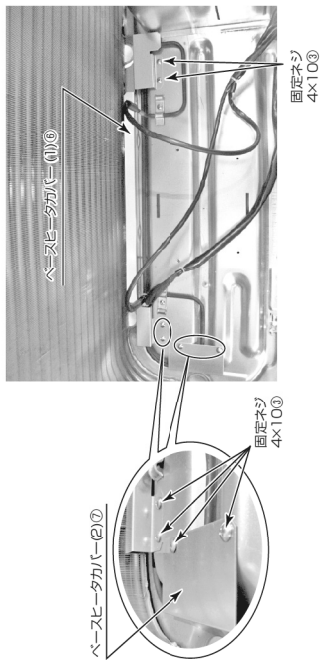


●ヒータ固定金具②と固定ネジ4×10③で、ベースヒーター①を固定してください。



5 ベースヒータカバーの据付け

2列熱交換器を搭載した室外ユニットには下の写真の位置に、ベースヒータカバー⑥とのを固定ネジ4×10③で固定してください。

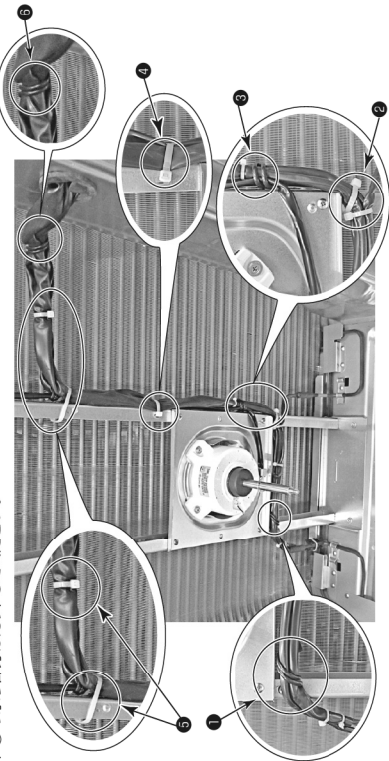


6 モータサポートの据付け

モータサポートを据付けの際は、リード線が室外ユニットのベースとモータサポートの間に挟まらないよう注意し、モータサポートの手前へくへるようしてください。

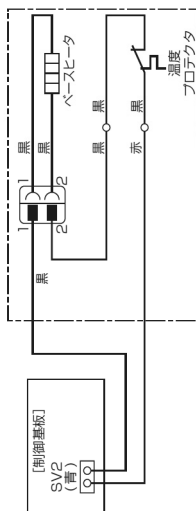
7 リード線の固定

- ベースヒーターリード線を、固定金具④でたるまないよう確実に固定してください。
 - ベースヒーターリード線を、写真の位置にバンド④でたるまないよう確実に固定してください。
 - ベースヒータとファンモータのリード線をモータサポートの固定金具でたるまないよう確実に固定してください。
 - ベースヒータとファンモータのリード線を写真の位置にバンド④でたるまないよう確実に固定してください。
 - ベースヒータとファンモータのリード線をモータサポートの固定金具と一緒に結束し、写真の位置(2ヶ所)にバンド④でたるまないよう確実に固定してください。
 - ベースヒータとファンモータのリード線をセパレータの固定金具と一緒に結束し、セパレータの丸がらから機械室に引き込んでください。
- ※リード線は、プロペラファンにあたらぬように確実に固定してください。
- ※固定金具でリード線を固定する際、固定金具エッジに接触しないようコーティング部で固定してください。
- ※ベースヒータのリード線はモータサポートの板金に沿わせて取付け、室外ユニット正面方向へたるまないよう注意してください。
- ※バンド④の余り部分はカットしてください。



電気配線図

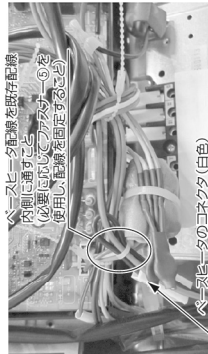
下図を参考にリード線接続作業を行ってください。



8 各リード線の固定

各リード線の接続後、必要に応じてフラスナー⑥を使い、固定してください。なお、本別売で使用したリード線については、長さの設定が全ての機種に対応出来る仕様になっておりますので余る場合がありますが、適宜リード線を余る電気品箱内に収めてください。

各リード線の端子およびコネクタ部は、必ず電気品箱内へ収めてください。



9 再組立

以上のようにベースヒータの据付けおよび電気配線の接続が確実に行われていることを必ず確認してください。

取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。

※プロペラファンには必ず5.7±0.3N・m(57±3kg・cm)のトルクで締め付けてください。

警告

室外ユニットの外郭/パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

凍結防止ヒーター

● PAC-SJ75BH

使用目的 / 用途



- “凍結防止ヒーター” は、厳冬期での室外ユニット熱交換器内部下部に発生する根氷の抑制対策、及びドレン抜穴の氷結による詰まり防止を目的とした部品です。
- 寒冷地や降雪の多い地域で活用してください。
- 降雪地域でご使用の際は、防雪ダクトと併設してください。

注意

- ・ ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケット及び集中排水ドレンパンとの併用はできません。
- ・ 本品を取り付ける際には、付属のトップパネルも交換してください。

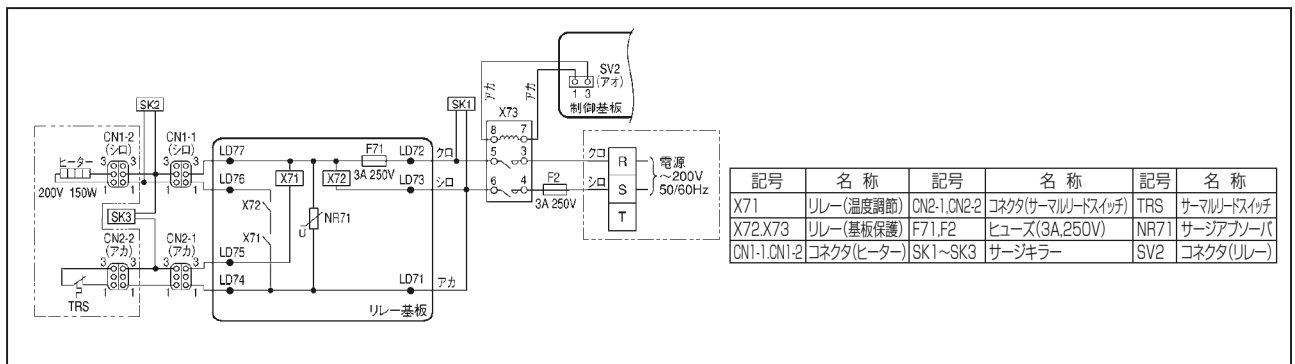
対象ユニット

- PUZ-ERMP112～160LA10

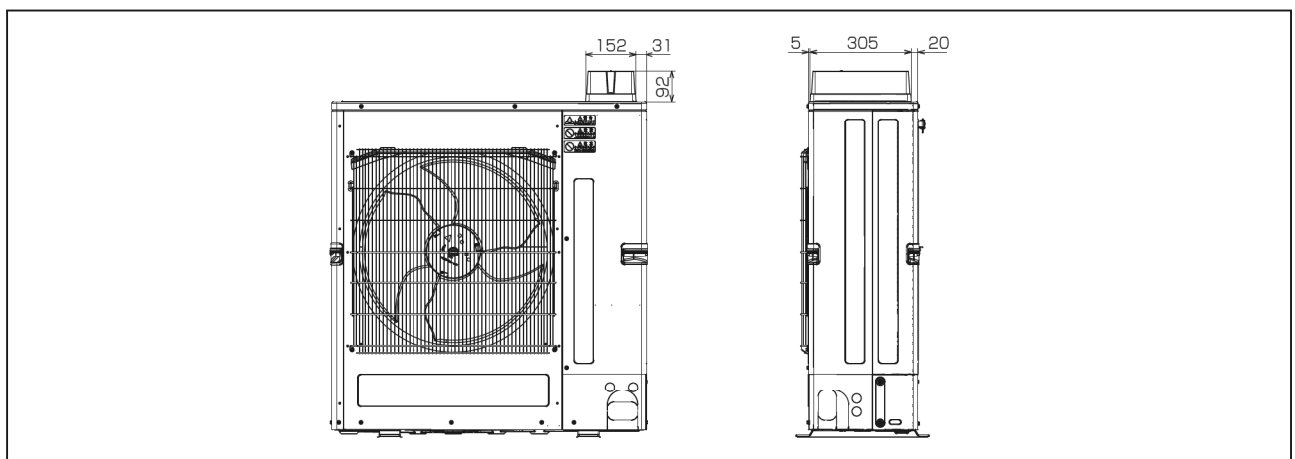
仕様

形名	PAC-SJ75BH		制御部カバー	外形寸法	302 × 152 × 90mm
凍結防止ヒーター	電源	単相 200V 50/60Hz	外形	外装	ホワイト
	容量	150W		材質	耐熱性 ABS
	保護ヒューズ	3A 250V	質量	4.1 kg (トップパネル・制御部カバーも含む)	

電気配線図



取付図 (単位: mm)



室外ユニット

RG79Y877H01

三菱電機パッケージエアコン別売部品 室外機用凍結防止ヒータ 据付工事説明書

※据付け前に本説明書をよくお読みください。



別売部品名	適用機種
PAC-SJ75BH(200V,150W)	室外ユニット用 インバータシリーズ

- 据付けの前に**
- 本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根水の抑制対策およびドレン排水の氷結による詰り防止を目的としたものです。
 - 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
 - ドレンからの排水を確保するため、ドレンノックおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
 - ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
 - 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。
- 警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などにつながる可能性があります。
- 注意** 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家産・家財などの損害を及ぼす可能性があります。
- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
 - また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事され不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
 - 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
 - 電気工事係電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
 - 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。
 - 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。
 - 室外ユニットのサーヒスタパネルを確実に取付ける。
 - サーヒスタパネルの取付けに不備があると、ほこり、水等により、感電・火災等の原因になります。

注意

- 可燃性ガスの発生・流入・漏洩・漏れのおそれがある場所へは据付けけない。
- 万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。
 - アース工事を行う。
 - アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
 - 電源には必ず漏電遮断器を取付ける。
 - 漏電遮断器が取付けられないと感電の原因になります。

取付説明書

凍結防止ヒータ : PAC-SJ75BH

(本マニュアル用に変更・修正しています)

1. 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

品名	①ベースヒータ	②ヒータ固定金具	③固定ネジ (4×10)	④バンド
形状				
数量	1 set	3個	5本	3本
品名	⑤外気温センサー	⑥ベースヒータ制御部本体	⑦ヒータ固定金具	⑧アッスナー
形状				
数量	1 set	1 set	1個	2本

2. 取付準備

- ※ベースヒータの組込みは室外ユニットを据付ける前に行ってください。
- 室外ユニット本体の電源が、OFFであることを必ず確認してください。
 - ベースヒータ取付のため、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
 - ホコリ、ゴミ等の除去を十分に行ってください。

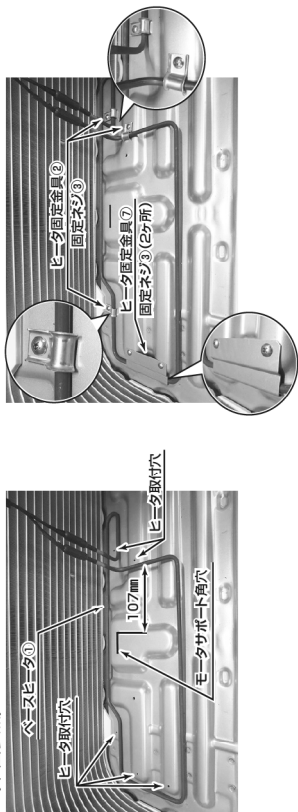
3. ベースヒータ組込準備

次の手順で右図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータの組込み準備を行います。

- ①サーヒスタパネルの取外し
前側3本のネジを取外した後、パネルを下方にスライドさせてから取外す。
- ②トップパネルの取外し(取外したトップパネルは使用しません)
前側2本、後側3本の各ネジを取外した後、上側に持ち上げて取外す。
- ③カバーパネルの取外し
カバーパネルのネジを取外す。
- ④フロントパネルの取外し
前側8本のネジを取外した後、フロントパネルを上方にスライドさせてから前側に引き取外す。
- ⑤ファン取外し
ファンの固定ネジを取外し前側に引き出し取外す。
- ⑥モータサポートの取外し
ファンモータのコネクタを取外した後、モータサポート固定ネジ2本を取外し、全体を斜め前方に持ち上げ取外す。

4. ベースヒータの取付け

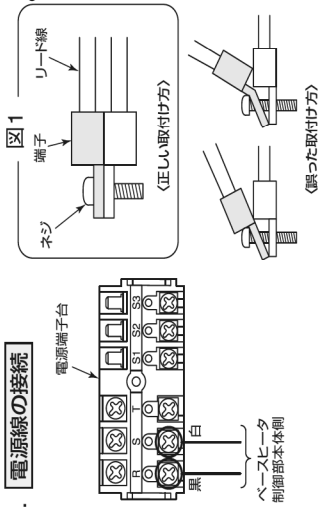
- ベースヒータ①を位置させてください。(下図参照)



- ヒータ固定金具②、⑦と固定ネジ③で、ベースヒータ①を固定してください。

7. 電源線の接続

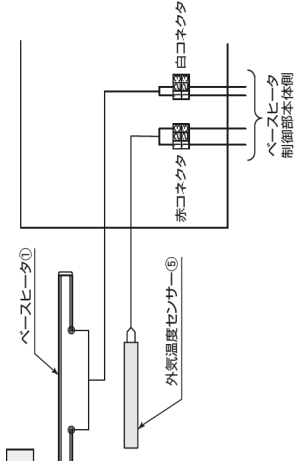
● ベースヒータ制御部本体⑥リード線からの電源線(黒色、白色)をそれぞれ室外ユニット電源端子台R、S相に既設の端子と共締めしてください。
※ 端子の向きは、必ず図のように取付けてください。



△警告
端子の取付けは、緩みがないように確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

8. ベースヒータ、外気温度センサーの接続

● 各部品のリード線端子部の色とベースヒータ制御部本体⑥から出る同じ色のリード線端子を電気品箱内で接続してください。



9. 各リード線の固定

● 各リード線の接続後に、ファスナー⑧を使い固定してください。なお、本別売で使用したリード線については、全ての機種に対応出来る長さの設定になっていきますので、場合によっては余る場合がりますが、適宜リード線を束ね電気品箱内に収めてください。
各リード線の端子およびコネクタ部は、必ず電気品箱内へ収めてください。



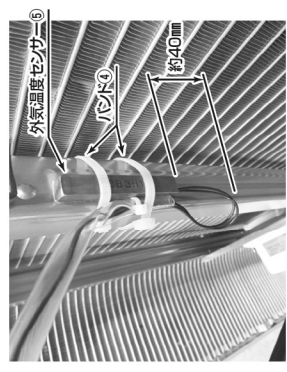
10. 再組立

● 以上のようにベースヒータの取付けおよび電気配線の接続が確実に完了していることを必ず確認してください。取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。
※ プロペラファンは緩み防止のため必ずネジ部にネジロックを塗布し、 $5.7 \pm 0.3N \cdot m$ ($57 \pm 3kg \cdot cm$) のトルクで締付けてください。
推奨品: スリーボンド製、ネジロック1401B

△警告
室外ユニットの外観パネル類を取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

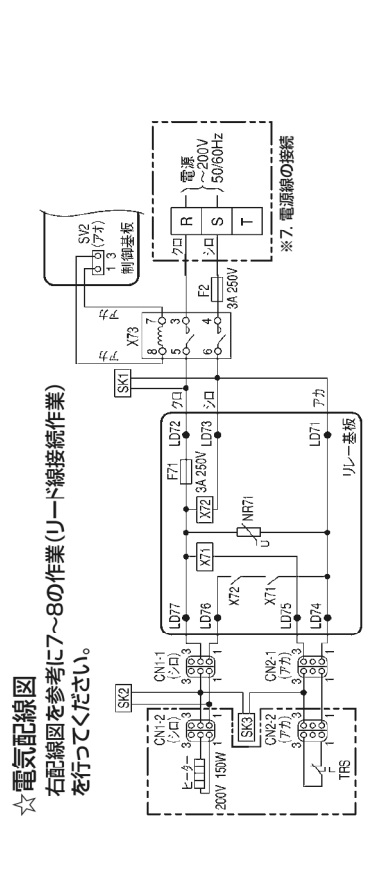
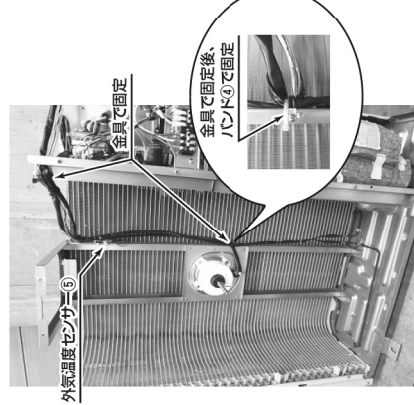
5. 外気温度センサーの取付け

● 外気温度センサー⑤の感知部に貼付けている両面テープ離れ紙をはがし、図に示すモータサポート上部にリード線を上方向に向け固定してください。
※ 外気温度センサー⑤のリード線を約40mmの位置で曲げし、上下2ヶ所をバンド④で固定してください。
(下側は外気温度センサー⑤のリード線と一緒に固定してください)



6. 各リード線の固定

● ベースヒータリード線を、モータサポートの写真的位置にバンド④で固定して、外気温度センサー⑤とファンモータのリード線と一緒に固定金具で結束し、電気品BOXから機械室に引き込んでください。

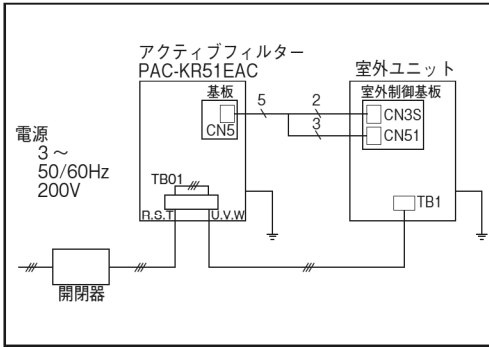


※8. ベースヒータ、外気温度センサーの接続

高調波対策用アクティブフィルター

● PAC-KR51EAC

使用目的 / 用途



- 本品は、P224,P280 形用の高調波対策用アクティブフィルターです。
- 機器から発生する高調波電流を検出し、それを打ち消す極性の電流を能動的（アクティブ）に発生させます。

注意

- ・ 本品は屋内設置構造です。水滴がかからないようご注意ください。
- ・ 本品の各面は最低 150mm は他の機器及び壁面と離してください。
- ・ 本品を複数台設置する場合には、縦方向に並べることは避けてください。

対象ユニット

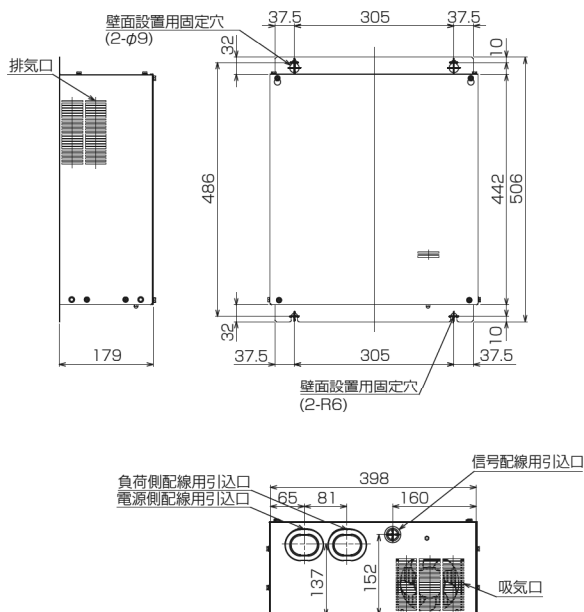
- PUZ-ZRP224 ~ 280KA13
- PUZ-ERP224 ~ 280KA13/KAPF3

仕様

形名	PAC-KR51EAC		高調波低減	5次:3.0%以下、7次:1.8%以下、 11次:1.8%以下、13次:1.3%以下、 17次:1.6%以下、19次:1.2%以下、 23次:1.4%以下、25次:1.1%以下、
電源	定格 三相 200V (50/60Hz)			
周囲温度	使用周囲温度: -20℃~45℃ 保存周囲温度: -25℃~60℃			
定格補償容量	5kVA			
損失	220W	※定格負荷時、電源環境により変動あり	質量	15kg

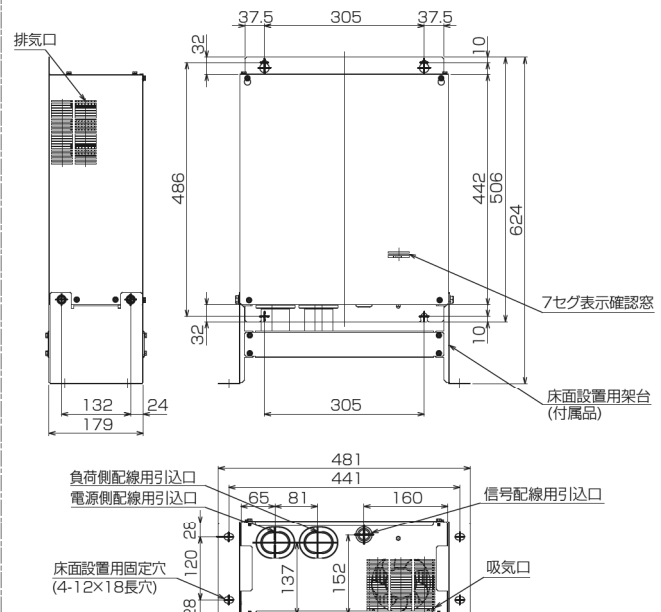
外形図 (単位: mm)

本体制御箱外形図



電源	3~200V±10% 50/60Hz
使用環境	温度: -20℃~45℃ 湿度: ~95%RH
定格補償容量	5kVA
定格負荷	特定需要家向けガイドラインの回路分類K33で13kW
高調波残存率 (定格負荷時)	5次:3.0%以下 7次:1.8%以下 11次:1.8%以下 13次:1.3%以下 17次:1.6%以下 19次:1.2%以下 23次:1.4%以下 25次:1.1%以下
製品質量	15kg

床面設置用架台使用時



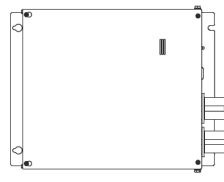

- 注1. 保守スペース(吸気・排気スペースとして、各面に150mm以上確保願います。
注2. 本品は屋内設置構造です。機械室または盤内に設置し、水がかからないようご注意ください。また結露環境には設置しないでください。
注3. 接続する電源は、電圧不平衡率3%以下(JIS C 4421)を目安としてください。不平衡率が大きい場合、機器の能力が低下します。
注4. 動作中は、ACLからのシャリシャリ音やACファンの音が発生します。騒音を懸念するような場所には据付しないようご注意ください。
注5. 据付には、M8ボルトをご使用ください。

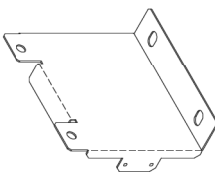
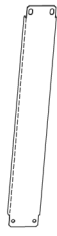
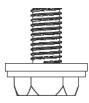
(本マニュアル用に変更・修正しています)

1. 使用部品

1-1. 同梱部品

この機器は以下の部品で構成されています。ご確認ください。

部品名	本体制御 BOX	据付・取扱説明書 (本書)	コネクター配線 (空調機間信号配線用)
概形図			6Pコネクター 5Pコネクター 3Pコネクター
個数	1	1	1

部品名	床面設置用架台板金	架台接続板金	ネジ (架台接続板金用Mネジ)
概形図			
個数	2	2	8



三菱電機 エアコン
別売部品 業務用
アクティブフィルター
形名
PAC-KR51EAC

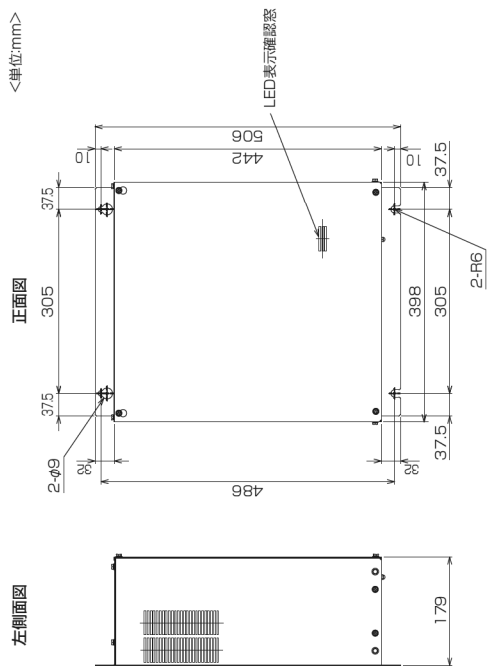
据付・取扱説明書

このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。
・ご使用前に、この据付・取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。この据付・取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要に応じてお読みください。
・「据付・取扱説明書」は大切に保管してください。
・室外ユニットに別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
・お客様自身では、据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
・この製品は国内専用です。日本国外では使用できません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

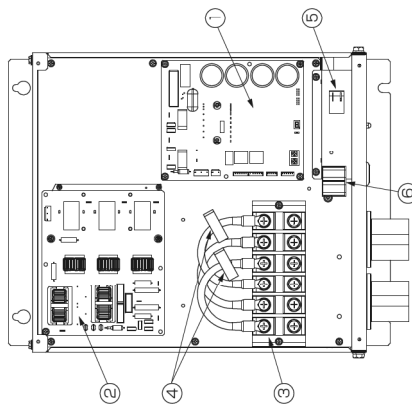
WT07394X02

1-2. 製品の外形 (各部の名称)

(1) 外形

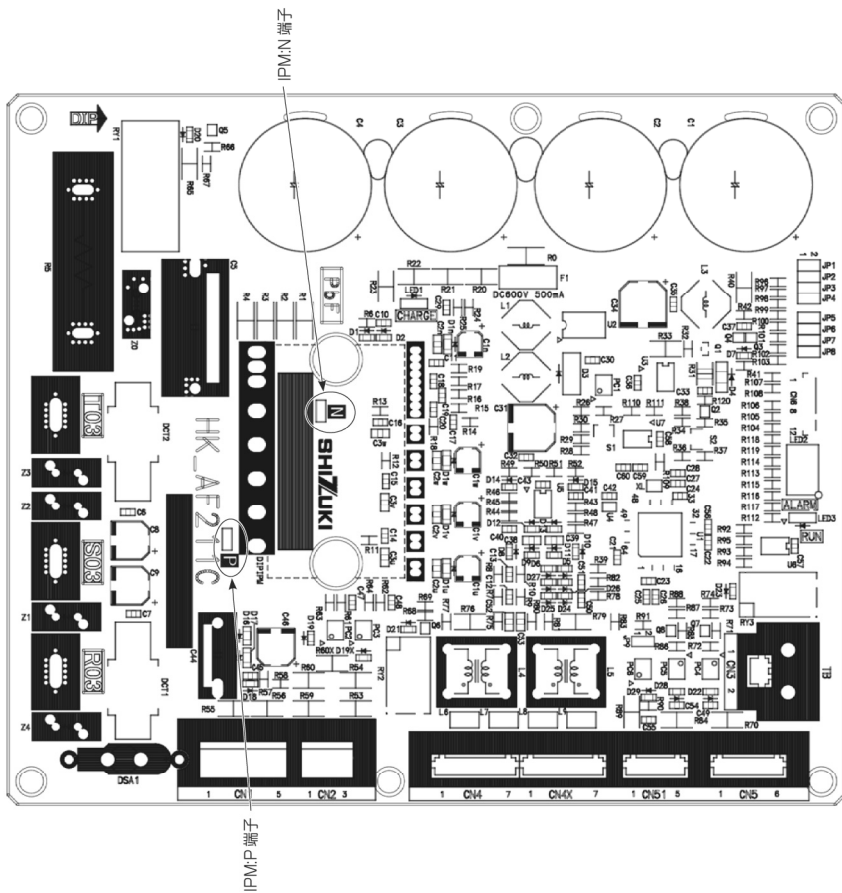


(2) 内部部品配置



部品番号	部品名	個数
①	AF基板	1
②	FL基板	1
③	電源端子台 (TB01)	1
④	ACCT	1
⑤	ACファン	1
⑥	フレイトランプ	1

(3) AF基板



3. 据付場所の選定

3-1. 法規制・条例の遵守事項

法規制、地方条例などを遵守することを配慮して据付場所を選定してください。

3-2. 公害・環境汚染への配慮事項

公害や環境に対し配慮して据付場所を選定してください。

3-3. 製品の機能性能を発揮するための事項

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところにユニットを設置しないこと。

可燃性ガスがユニットの周囲にたまると、
火災・爆発のおそれあり。

製品を可燃物に取り付けられないこと。

引火・火災のおそれあり。

専門業者以外の人が触れるおそれがあるところに機器を設置しないこと。

機器損傷・故障・感電・火災のおそれあり。

3-3-1. 据付場所の環境と制限

- ・ 本アクティブフィルターは、屋内設置構造です。
- ・ 本アクティブフィルターは、別置形式です。
室外ユニット本体への内蔵およびパネルへの取付けはできません。
- ・ 使用温度範囲は-20℃～45℃です。収納場所が温度範囲内に収まるようご検討ください。
特にアクティブフィルターは定格運転時220V以下の短突が発生し、周囲温度を上昇させる原因となりますので、注意してください。
- ・ 配線取出口の開口部は閉鎖材など（現地手配）で必ず塞いでください。
- ・ 機殻蓋または器内に設置してください。
- ・ 結露環境に設置しないでください。また水の掛からない場所に設置してください。
- ・ アクティブフィルター動作中は、ACLからのシャリシャリ音やACファンの音が発生します。騒音を懸念するような場所には取付しないようご検討ください。

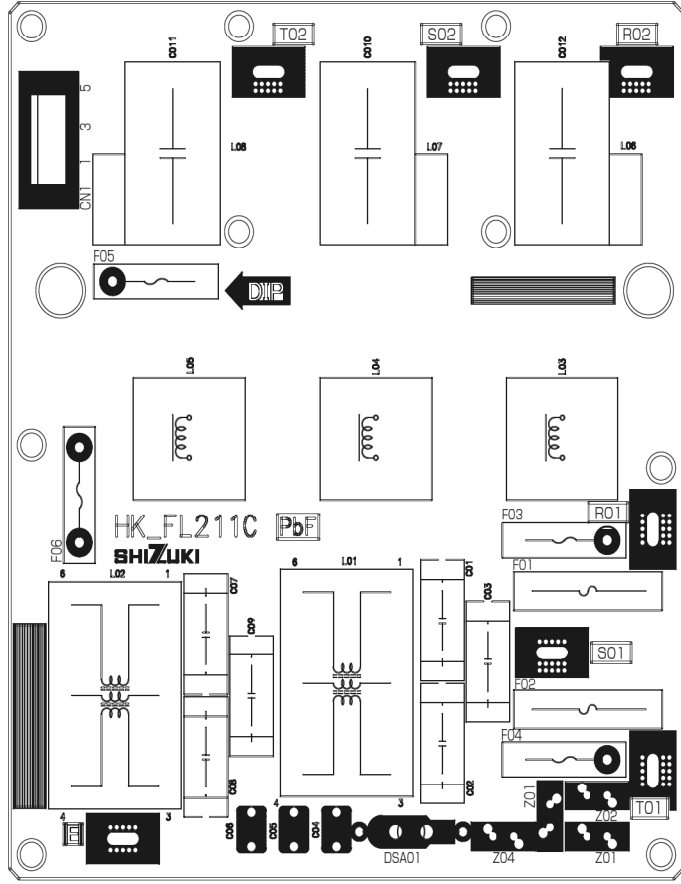
3-3-2. 必要スペース

- ・ アクティブフィルターの各面は、150mm以上他の機器および壁面と離してください。
特に高温の機器と隣接させる場合には十分な距離を確保してください。
アクティブフィルターの正面はメンテナンス用のスペースを確保してください。
- ・ アクティブフィルターを複数台設置する場合には、上記距離を確保し、設置してください。
アクティブフィルターは下部吸込み、左側面上部強制排気とるため、左側の機器が熱せられ、機器の寿命低下および破損の原因となります。

3-4. 保守・点検に関する事項

工事をされた方は、顧客と保守契約を結び、本製品を含む空調システムが安全にかつ良好な状態で運転していることを定期的に確認してください。

(4) FL基板



1-3. 製品の運搬

据付工事全際に対する注意事項

20kg以上の製品の運搬は、1人でしないこと。

- ・ けがのおそれあり。



運搬禁止

- ・ 本製品の重量は約15kgです。
- ・ 製品を運搬する際は本体をしっかりと持ち運んでください。
- ・ 製品に衝撃が加わらないようにしてください。

2. 使用箇所（据付工事の概要）

2-1. 使用部品の取付位置

壁面設置の場合、同梱部品の取付はありません。
床面設置の場合、同梱部品の「床面設置用架台板金」を取付けてください。
「床面設置用架台板金」の取付け方法は、4-1-2を参照ください。

4. 据付工事

弾風・地震に備え、所定の据付工事を行うこと。

- ・不備がある場合、ユニットが転倒・落下し、けがのおそれあり。

配線取出し口の開口部は、塞ぐこと。

- ・小動物・塵埃・雪・雨水が内部に入り、機器が損傷・故障すると、漏電・感電のおそれあり。



(1) 据付要領

据付けに際し、工具としては、以下のものが必要となります。

- + ドライバ
- その他：据付固定に必要な工具

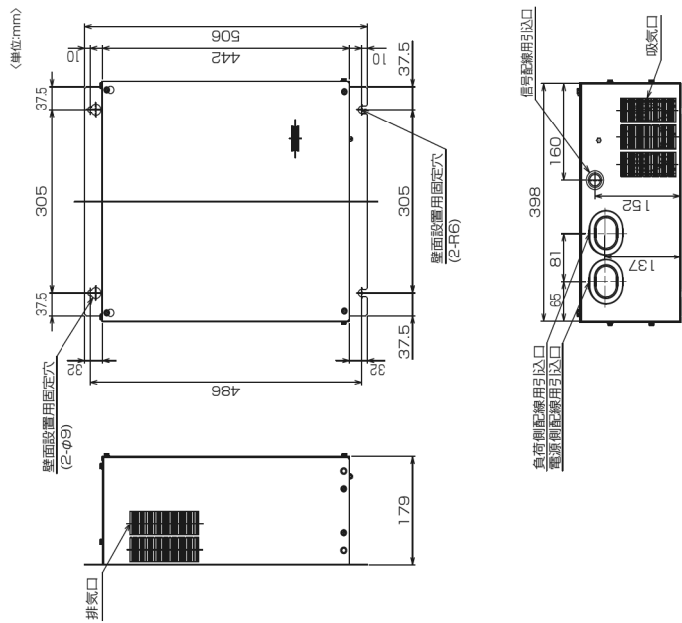
4-1-1. 建物工事の進行と施工内容

据付場所にて据付けられる状態になりましたら、据付工事を行ってください。

4-1-1. 壁面設置（壁内設置）

据付けは、次の通り行ってください。

- ・据付方向は下図のとおり縦置きとしてください。
- ・縦向き以外の取付けはできません。
- ・壁面接続には MB ボルト 4 本（現地手配）を使用してください。アクティブフィルタ－本体の重量は約 15kg です。壁面アンカーボルト等の固定基材の強度確保をしてください。（現地手配）



4-1-2. 床面設置

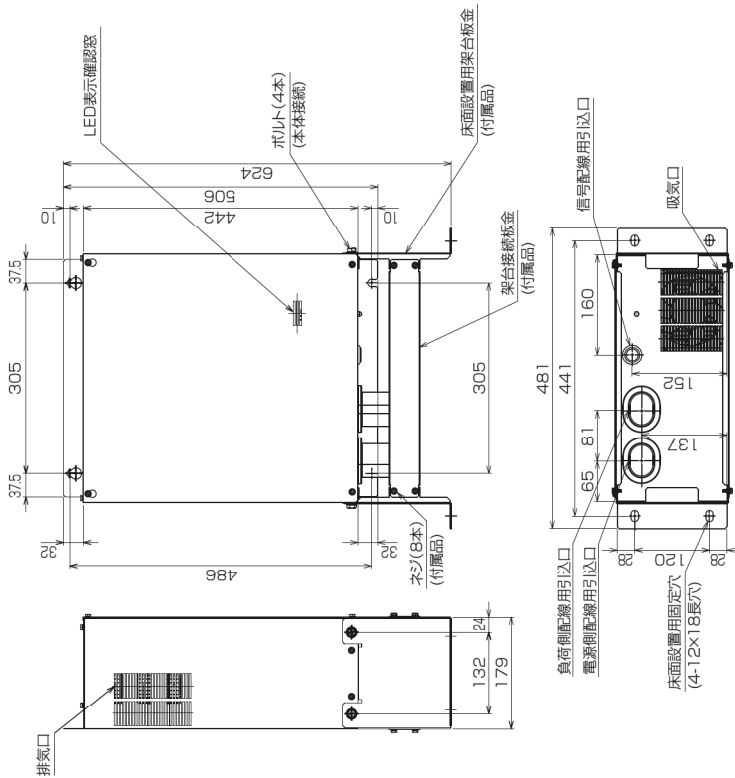
据付けは、次の通り行ってください。

- ・据付方向は下図のとおり縦置きとしてください。
- ・縦置き以外の取付けはできません。
- ・床面接続には MB ボルト 4 本（現地手配）を使用してください。アクティブフィルタ－本体の重量は約 15kg です。床面アンカーボルト等の固定基材の強度確保をしてください。（現地手配）

手順

1. 下図のとおり床面に付属の床面設置用架台板金を取付ける。
2. 架台接続板金（2 個）にて 2 個の床面設置用架台板金の正面側、背面側に付属のネジ 8 本にて接続する。
3. この状態で、床面設置用架台板金に取付歪み等がないことを確認する。
4. アクティブフィルタ－本体側面下部に付属のボルト 4 本を外す。
5. 本体制御 BOX を下図のとおり床面設置用架台板金上に設置する。
6. 先ほど外したボルト 4 本でアクティブフィルタ－本体と床面設置用架台板金を接続する。

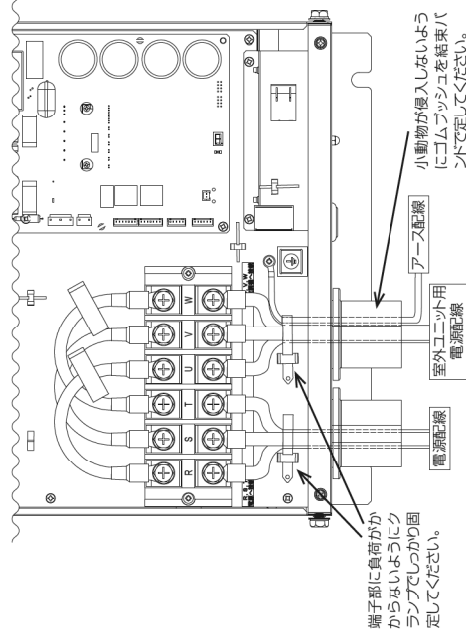
（単位:mm）



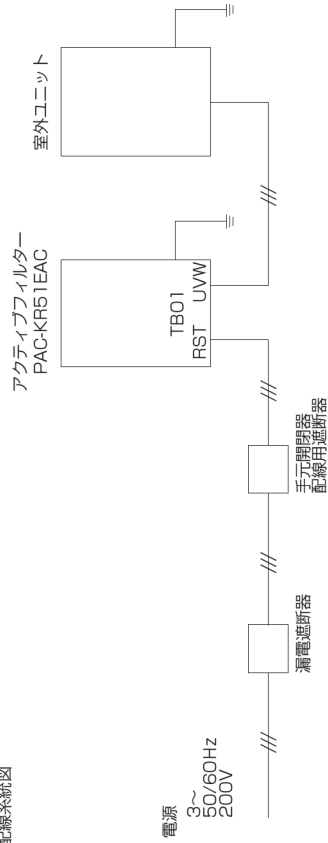
5-1-1. 電源配線方法

- ・「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付説明書に従ってください。
- ・アクティブフィルターおよび室外ユニットは、個別にD種接地工事を必ず実施ください。
- ・電源配線：端子台のR、S、Tに電源からの電源配線を接続。
端子台のU、V、Wから室外ユニット電源端子台に電源配線を接続。
D種接地工事を実施。

※ 必ず各相の相順を確認ください。



配線系統図



主電源およびアクティブフィルターと室外ユニット間の配線太さと開閉器容量
室外ユニットの据付説明書、システム設計・工事マニュアルに従ってください。
取付可能な室外ユニット台数は1台となり、また定格は13kWまでです。
規定以上の室外ユニットを取り付けた場合、アクティブフィルター一故障の要因となります。
13kW を超える室外ユニットを取り付けた場合、高調波を適切に制御できなくなります。

5. 電気工事

5-1. 電気配線工事

電気工事に対する注意事項

<p>雨天の場合、サービスはしないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。 <p>水ぬれ禁止</p>	<p>工事完了後、電源端子部で絶縁抵抗を測定し1MΩ以上あることを確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故障・漏電・火災のおそれあり。 <p>指示を執行</p>
<p>保護具を身に付けて操作すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各基版の端子には電圧がかかっている。触れると感電のおそれあり。 ・主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。 <p>感電注意</p>	<p>D種接地工事（アース工事）は第一種電気工事士の資格のある電気事業者が行うこと。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感電・ノイズによる誤動作・発煙・発火・火災・焼死のおそれあり。 <p>アース接続</p>
<p>電気工事は第一種電気工事士の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源回路容量不足や施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。 <p>指示を執行</p>	<p>配線端子のネジは規定のトルクで締めること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネジ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。 <p>発火注意</p>

【お願い】

- ・ねじ類の締め付けは、確実に実施してください。

[1] ネジ締め時、安全のために必ず守ること

配線端子のネジは規定のトルクで締めること。

- ・ネジ締め・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。



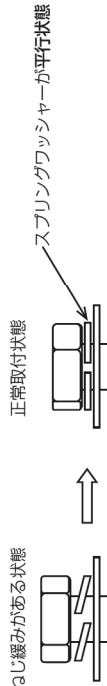
- ・アクティブフィルタ電源配線接続の際、端子台 (TB01) のネジは下記トルクで確実に締めてください。

【ネジ締めトルク】

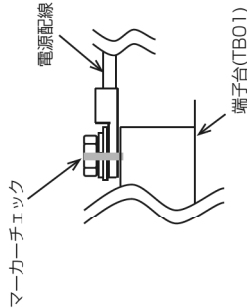
端子台 (TB01)・・・M8 ネジ：6～7N・m

また、スプリングワッシャーが平行状態となっていることを確認してください。

※ネジが咬み込んだ場合は、規定トルクでネジ締めをしただけでは正常判断できません。



- ・斜め締めによりネジ山を潰すことのないよう十分ご注意ください。
- ・仮締め後の本締めを忘れることを防止するために、本締め後に油性マジックでネジ頭、ワッシャー、端子にチェックを入れてください。



5-1-2. 駆動方法の選択

アクティブフィルタの運転/停止方法は以下の2種類から選択し、5-1-3. 項又は5-1-4. 項にて設定を裏確認ください。

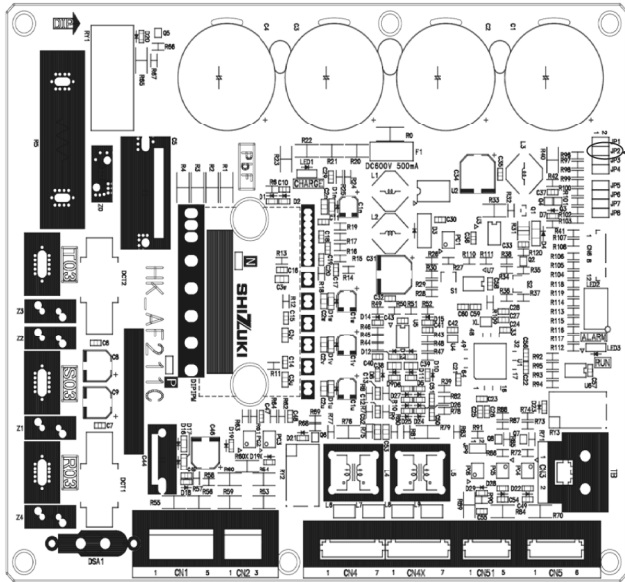
- (1) 負荷電流運動：室外ユニット側接続の電源配線に流れる電流を検知し、約8Aにて起動、運転後4A以下にて停止する。
- (2) 空機機完全運動：室外ユニットと直結信号線を接続し、圧縮機の運転に連動してアクティブフィルタの運転

*各方法には制約事項がありますので、ご注意ください。
外部に信号を出力する場合は、「5-1-5. 外部出力仕様」を確認ください。

	基本設定	室外ユニット側 信号配線	室外ユニット側 基板設定	異常表示
負荷電流運動	JP2 短絡	不要	不要	本体LEDのみ
空機機完全運動	JP2 オープン	必要 (現地手配)	必要	本体LED、 空調リモコン

5-1-3. 詳細設定：負荷電流運動を選択の場合

- (1) AF 基板設定
AF 基板上 JP2 に短絡コネクタが接続されていることを確認ください。
(出荷時、短絡コネクタ接続)



(2) 室外ユニット間信号記録

アクティブフィルタと室外ユニットを接続する信号配線はありません。

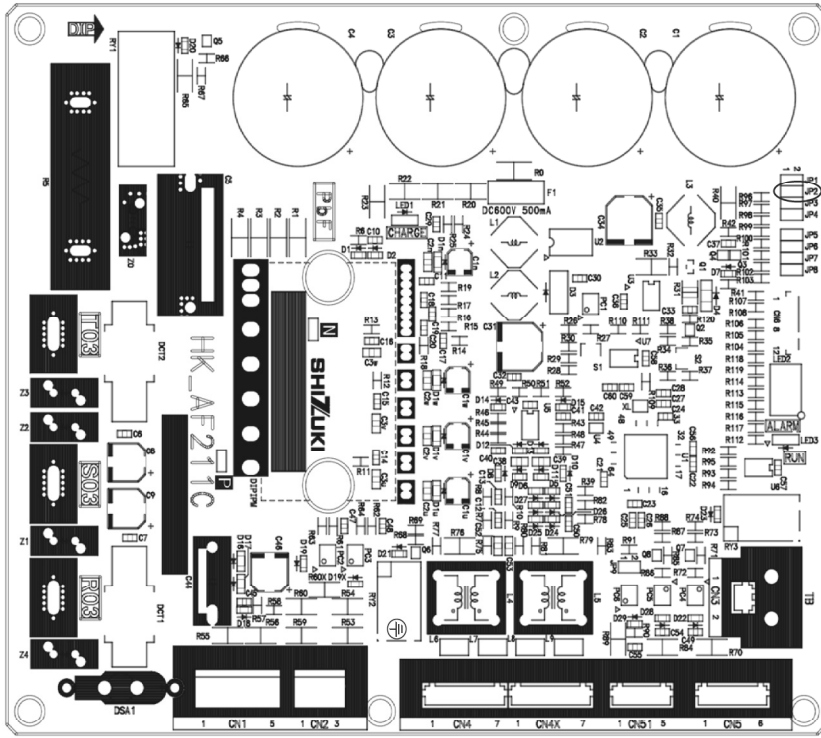
(3) 室外ユニット側基板設定

室外ユニットにおける設定は、ありません。
※ 以上のよう設定することにより、室外ユニット側接続の電源配線に流れる電流を検知し、約8Aにて起動、4A以下にて停止することができるようになります。ただし、アクティブフィルタの検知する異常は室外ユニット用リモコンに表示しません。AF 基板上LED 表示、または外部出力信号を確認ください。
また、AF 基板上LED 表示は、右に90°傾いた表示のためご注意ください。
(説明例)

- ・ 異常 LED 表示 '3' の場合、「」
- ・ 異常 LED 表示 'C' の場合、「」

5-1-4. 詳細設定：空調機完全連動を選択の場合

(1) AF基板設定
出荷時はAF基板JP2に短絡コネクタが接続されています。
室外ユニット完全連動のため、短絡コネクタを取外してください。



(2) 室外ユニット間信号配線

- 電気配線図および装置の「コネクタ接続について」を参考に配線してください。
- アクティブフィルターの空調機間信号配線は付属コネクタ配線（約15cm）を使用し、機器間の配線は現地手配としてください。（導体断面積 0.14mm²・AWG26以上、配線長 200m以下とすること）
- 各配線は付属コネクタ配線との接続部に絶縁処理を確実に実施ください。
- 室外ユニット間信号配線のAF基板側は、ユニット下部右の穴より配線し、1-2.(2) 構造の内部部品配置図に示したAF基板左下に位置するフェライトクランプにて2ターン巻き、配線クランプで固定してから、基板に接続ください。
- またノイズによる振動作防止のため、電源配線とは離して配線し、同一電線管内に入れり、沿わせてりせず、独立して配線してください。

※2ターンとは、下図のように、フェライトクランプに配線を2回通してください。



※ Mr.SLIM機種（PU（Z）-**）に本アクティブフィルターを接続する場合
室外ユニット間信号配線およびSW設定等については、別紙「Mr.SLIM接続説明書」に従って接続してください。

※コネクタ接続について

室外ユニット間信号配線の室外ユニット制御基板側の3種コネクタ配線は、スノーセンサー/ナイトモード/デマンドの3種類の入力信号の内の1つを選択することができます。

どの信号部をアクティブフィルター用として使用するかにより、下表のように接続変更してください。なお、アクティブフィルター制御に使用した入力信号部の機能は使用できなくなります。

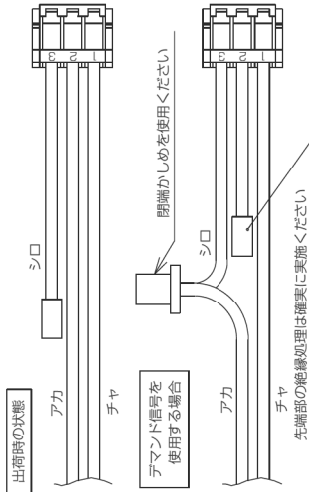
使用入力信号	コネクタ位置	使用ピン位置	ピン位置変更
スノーセンサー	CN3S	1-2ピン	なし
ナイトモード	CN3D	1-2ピン	なし
デマンド	CN3D	1-3ピン	2ピン→3ピン

デマンド入力信号を使用する際には、ピン位置の変更が必要です。ピン位置の変更は、配線のつなぎ換えにて実施ください（下図参照）。

その際、配線の接続部および先端部の絶縁（テーピング）処理は確実に実施してください。

また、CN51部の外部出力信号（圧縮機ON/OFF出力および異常出力）を従来の用途で使用する場合には、AF基板上のCN51が渡り配線構成となっていますので、室外ユニット制御基板上のCN51の代わりにAF基板上のCN51を使用してください。

*デマンド入力信号使用時：空調機間信号配線3種コネクタの配線つなぎ換え要領



(3) 室外ユニット制御基板設定

室外ユニットにおける設定は、以下のようにしてください。（必ず電源投入前に実施）

部位	設定	室外制御基板 SW	CN51	CN3D(CN3S)	接続
		3-8 ON	接続		接続

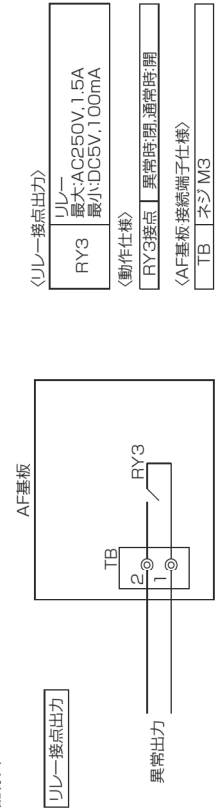
このように設定することにより、室外ユニットからの圧縮機ON/OFF信号に応じてアクティブフィルターをON/OFF制御すると共に、アクティブフィルターの検知する異常をリモコン表示できるようになります。

5-1-5. 外部出力仕様

(1) 出力仕様

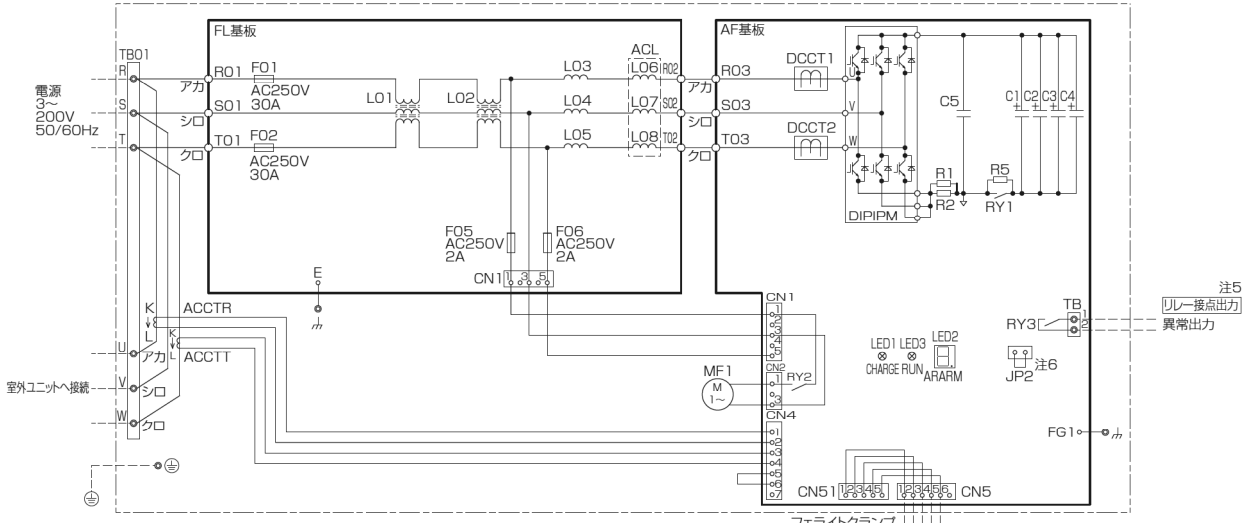
機能	使用用途
異常出力	外部へアクティブフィルター異常状態の信号が取り出せます。

(2) 配線図



5-1-6. 電気配線図

PAC-KR51EAC 電気配線図



AF基板上LED表示(LED2)と内容

LED表示	内容
0	ACCTコネクタ(AF基板-CN4)抜け
1	電源過電圧
2	電源不足電圧
3	直流母線過電圧(S/W検出)
4	直流母線過電圧(H/W検出)
5	直流母線不足電圧
7	IPMエラー(過電流、制御電源異常)
8	欠相/逆相
9	ACCT誤配線
A	瞬時停電
C	過電流
F	周波数(同期)異常
H	IPMエラー(過熱)
P	パワーリレー接点異常

- 注1 破線は現地配線を示します。
- 注2 一点鎖線は制御箱境界を示します。
- 注3 製品内には、多数の高電圧充電部がありますので、製品内の点検は、必ず電源を切り、10分以上放置後、IPMのP,N端子部の電圧が十分に下がっていること(DC20V以下)を確認してから行ってください。
- 注4 製品内には多数の高電圧部がありますので、電源遮断後十分注意してください。
- 注5 異常信号を外部出力する場合は、TBのリレー接点出力を使用してください。最大 AC250V, 1.5A 最小 DC5V, 100mA
- 注6 アクティブフィルターの起動方法による設定および接続の違いは、右表「起動方法と設定および接続」を参照してください。
- 注7 連係配線使用時は、室外ユニットの据付取扱説明書に従ってください。

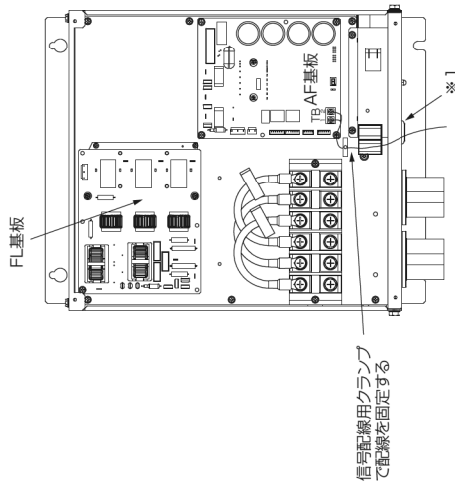
記号	名称
ACCTR,ACCTT	電流センサー
DCCT1,DCCT2	送風機用電動機(放熱板)
MF1	アース端子

＜起動方法と設定および接続＞

運転/停止方法選択	AF基板JP2	連係用配線
負荷電流連動 注8	短絡	無
空調機完全連動	オープン	有

注8 負荷電流連動の場合には、空調機接続のリレコン アクティブフィルターの異常表示はしません。

- (3) 配線方法
- AF基板の端子台TBに、使用用途に合わせてそれぞれの信号線を接続します。このとき信号線には丸端子(M3)を圧着し端子に接続してください。
- ※ 接続する配線は、電源配線と離して配線してください。
- ※ 接続するケーブル、ランプ等は、リレー接点出力を満足するものを現地手配してください。



※1 製品下部の信号配線用引込口(P.14参照)を通して外部に出します。

7. 試運転

お客様立ち会いで試運転を行ってください。

7-1. 試運転の方法

(1) 運転制御

アクティブフィルター運転中は、電源入力電流が正弦波になるように制御します。また、アクティブフィルター運転中は、AF基板上のRUN(LED3)が点灯します。

- ・ 負荷電流変動を選択した場合
アクティブフィルターは室外ユニット制御線の電流を検知し、約9Aにて起動、運転後4A以下にて停止します。
- ・ 空調機完全運動を選択した場合
運転・停止に係る信号は、以下のような状態になります。

運転指令信号 (室外ユニット制御基板CN51の圧縮機ON/OFF出力信号)

運転指令信号	AF基板CN5-3P (+), 4P (-) 間電圧
運転指令	約12V
停止指令	約0V

運転状態信号 (室外ユニット制御基板CN3D/3Sのデマンド/ナイト/スリープセンサー入力信号)

運転状態信号	AF基板CN5-1P (+), 2P (-) 間電圧
AF運転中	2~3V
AF停止中	約12V

基本的な動作状態は、以下ようになります。

部 位	室外ユニット運転中	
	正常運転中	異常リトライ待ち中
コンタクター (AF基板)	ON	ON
ACファン	ON	ON
アクティブフィルター制御動作	ON	OFF
運転状態信号 RUN (LED3)	ON	OFF

7-2. 試運転中の確認事項

7-2-1. 運転動作確認

保護具を身に付けて操作すること。

- ・ 基板の端子には電圧がかかっている。触れると感電のおそれあり。
- ・ 主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。



電源投入中には基板の他電気部品に直接手を触れないこと。触れる場合は必ず電源を遮断後10分以上待ち、AF基板上的CHARGE(LED1)が消灯していることを確認すると共に、IPMのP, N端子間 (P-8参照) の充電電圧が十分に低いこと(20V以下)を確認してから実施ください。
据付工事時に、電源相を正しく接続しており、異常発報がなくAF基板上のRUN (LED3) が点灯しアクティブフィルター本体より運転音 (シャリシャリ音) がしている場合は、正常動作と考えられますが、さらに詳細に調べる場合は、運転中に以下のような方法で行ってください。

- 1) オシロスコープにて電源端子間に線間電圧確認
波形の線間アンバランスが小さく、電圧 = 0V近傍に著しい歪みやひらぎがないこと
- 2) 電流プローブ+オシロスコープにて、電源入力電流波形確認
各相電流波形がほぼ正弦波状であること
- 3) 高調波モニター機器 (指月電機製: HM 5600等) にて電源入力電流高調波測定
各相電流とも5次高調波成分が基本波成分の10%以下であること
波形モニターにて、各相電流波形がほぼ正弦波状であること

7-2-2. 想定内動作

以下のような動きは、異常 (想定外動作) ではありません。

動作	原因
運転中シャリシャリ音が聞こえる	高調波電流により、内部のACLから音が発生します。
起動時に高調波抑制量が少ない	過渡的なストレスが発生しないように制御動作を抑制しております。
負荷変動時に高調波抑制量が減少することがある	10秒程度で通常運転となります。
LEDに異常表示されるが約5秒後に運転再開する	過渡的なストレスが発生しないように制御動作を抑制しております。内部異常検知に対し、リトライ機能を持たせています。5回連続して検知した場合、異常停止状態となります。
アクティブフィルター停止中もACファンが回り続ける	リトライ停止中 (約5秒間) は、ACファンを回し続けます

7-2-3. 異常表示

異常は、アクティブフィルターが検知するものと、室外ユニットにて異常検知および表示はしません。ただし、負荷電流変動を選択した場合、室外ユニットにて異常検知および表示はしません。

アクティブフィルターが検知する異常 (AF制御基板上LED (LED2) での詳細確認内容)

LED表示は右に90°傾いた表示となるため、確認時注意してください。

アクティブフィルター検知異常 (LED表示)	異常内容
0	ACCT コネクター (AF基板-CN4) 抜け
1	電流過電圧 (AC250V以上)
2	電流不足電圧 (AC160V以下)
3	直流母線過電圧 (S/W検出, DC390V以上)
4	直流母線過電圧 (H/W検出, DC420V以上)
5	直流母線不足電圧 (DC201V以下)
7	IPMエラー (過電流 81.8~92.7A, 制御電圧 10.3~12.5V)
8	欠相/逆相
9	ACCT 誤配線
A	即時停電
C	過電流 (S/W検出: 62.5A以上3回連続, H/W検出: 85A以上1回)
F	周波数 (同期) 異常
H	IPM 過熱エラー (95℃以上)
P	パワーリレー接点異常

アクティブフィルターにはリトライ機能 (最大4回) があります。上記異常を検知した場合、約5秒間停止した後リトライ運転を行います (この時、室外ユニットは停止しません)。リトライ運転を実施しても同種の異常が5回連続する場合は (異常発報期間は起動後90秒間)、アクティブフィルターは異常停止し、運転信号状態が「停止」 (=室外ユニットがアクティブフィルター異常検知) となります。 (室外ユニットは停止しません)
異常停止後は、不具合補修し、電源再投入してください。

室外ユニットが検知する異常 (室外ユニット完全運動を選択の場合のみ検知)

MANET 系表示異常	異常コード	異常内容
異常発報	0C-4171	アクティブフィルター異常検知 (上記)
異常	0C-4121	インターフェース異常 (運転状態信号不整合: コネクター抜け等)

1 度目の異常検知では異常発報となり、室外ユニットが一旦全停止し、3分後に再起動をします。異常発報予期間は10分で、猶予期間中に再度異常検知した場合にアクティブフィルターが異常停止となります。なお、リモコンには異常コードが表示されますが、室外ユニットは運転を継続します。
Mr.SLIM 機種の実常表示は、別紙「Mr.SLIM 接続説明書」で確認してください。

応急運転（室外ユニット完全自動を選択の場合のみ）

応急運転としては、以下の方法があります。目的に応じて、適用ください。

応急運転動作	室外ユニット制御基板	AF 基板
AF 搭載設定 SW ※	CN51	CN3S(CN3D)
AF 異常無視	SW3-8 OFF	未接続
AF 常時運転	SW3-8 OFF	未接続
AF 停止	SW3-8 OFF	未接続

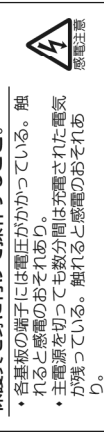
AF 異常無視では、室外ユニットの圧縮機 ON/OFF 出力信号に応じてアクティブフィルタが動作しますが、アクティブフィルタが異常停止しても室外ユニットは運転を継続します。

アクティブフィルタの異常は、通常どおり AF 基板の LED (LED2) により判定することができます。

※ Mr.SLIM 機種の設定 SWは、別紙「Mr.SLIM 接続説明書」で確認してください。

7-2-4. 異常状態とメンテナンス

保護具を身に付けて操作すること。



- 各基板の端子には電圧がかかっている。触れると感電のおそれあり。
- 主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。

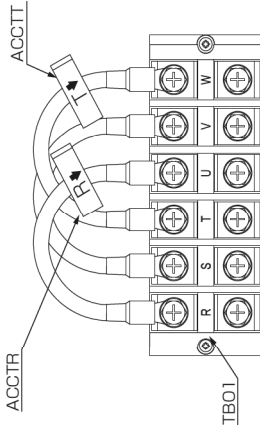
異常状態は電源を切る前に AF 基板上の LED(LED2) 表示により確認できます。以下の表により、現象別に上段から順に確認し、対応をとってください。

分解作業は、電源を切ってから 10 分以上待って、AF 基板上 CHARGE (LED1) が消灯していることを確認すると共に、IPM の P N 端子間 (P.4 参照) の充電電圧が十分低いこと (20V 以下) を確認してから行ってください。

異常現象	推定原因	調査方法	調査 NG 時対応
4121 異常 LED 表示: "0"	コネクタ一抜け・接触不良 AF 基板不良	CN4 接続確認 CN4-5P/6P 短絡確認 再運転	不具合部補修 不具合部補修 AF 基板交換
4121 異常 LED 表示: "1", "2", "3", "4", "5"	電源環境不良 配線は必ず AF 基板に接続 突入電流防止抵抗不良 AF 基板上 EMT 抵抗値 $\neq 10 \Omega$	電源電圧、路電確認 機器内の配線接続確認 AF 基板上 EMT 抵抗値 $\neq 10 \Omega$ 再運転	不具合部補修 不具合部補修 AF 基板交換
4121 LED 表示: "7"	AF 基板不良 ACCT 不良 主リアクトル不良	再運転 抵抗チエック (※1) 各リアクトルの抵抗チエック (※2) 再接確認	AF 基板交換 ACCT 交換 FL 基板交換
4121 LED 表示: "8"	誤接点・誤動作・他 AF 基板不良 電源環境不良	再運転 電源電圧確認 (※4) 電源環境確認	AF 基板交換 AF 基板交換
4121 LED 表示: "9"	電源配線の接続不良 取付位置不良 ACCT 不良	電源電圧確認 (※4) 電源配線、ACCT 接続 取付位置確認 抵抗チエック (※1)	不具合部補修 不具合部補修 ACCT 交換 (※3)
4121 異常 LED 表示: "A"	電源環境不良	電源電圧確認	AF 基板交換
4121 異常 LED 表示: "C"	LED 表示: "A" に同じ	←	←
4121 異常 LED 表示: "F"	電源環境不良	電源周波数確認 定格土 5% 以内	AF 基板交換

異常現象	推定原因	調査方法	調査 NG 時対応
4121 異常 LED 表示: "H"	AC ファン不良 風扇閉塞 接触不良 駆動回路不良 電源配線の欠損 主回路ヒューズ切れ ヒューズ切れ 信号配線コネクタ一抜け AF 基板不良・他 AF 基板不良 AF 基板不良 AC ファン不良 AC ファン、AC ファン配線地絡確認	コネクタ一はずれ確認 ロック確認 AC ファン風扇確認 GN1, CN2 確認 不具合部補修 運転時 CN2-1P/3P 間電圧なし AF 基板交換 主回路ヒューズ切れ確認 ヒューズ切れ確認 GN3D CN3S 接続確認 不具合部補修 電源再立ち上げ AF 基板交換 対地間抵抗 $> 1 M\Omega$ FL 基板上 C 膨らみ FL 基板不良 AF 基板交換	不具合部補修 AC ファン交換 不具合部補修 不具合部補修 AF 基板交換 不具合部補修 不具合部補修 AF 基板交換 AF 基板交換 AC ファン交換 FL 基板交換 不具合部補修 不具合部補修 室外ユニット側要因 個別対応 (電源) ACCT 交換 (※3) FL 基板交換
ブレーカ遮断	電源回路不良 室外ユニット側不良	対地間抵抗 $> 1 M\Omega$ アクティブフィルタの電源接続をはずして運転	FL 基板交換 不具合部補修
特性不良	電源不良 ACCT 不良 主リアクトル不良	電源電圧波形確認 抵抗チエック (※1) 各リアクトルの抵抗チエック (※2)	個別対応 (電源) ACCT 交換 (※3) FL 基板交換
騒音 (ビビリ音) (高波音)	AF 基板不良 ネジ緩み FL 基板不良 電源インピーダンス	各部締付け確認 FL 基板上 C 膨らみ 電源電圧波形確認	AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 個別対応 (電源)
ノイズ	アース接続不良 配線接続不良 FL 基板不良 電源インピーダンス	アース接続確認 配線接続確認 電源電圧波形確認	不具合部補修 不具合部補修 FL 基板交換 個別対応 (電源)

- ※ 1 ACCT 故障判定
CN4 コネクタを外し、端子間抵抗チエック: $110 \Omega \pm 20 \Omega$
1-2pin 間 (U 相)
3-4pin 間 (W 相)
- ※ 2 リアクトル抵抗チエック
FL 基板を取り外し、リアクトル側 (基板裏側) のリード部に確認。
3 つの抵抗値が (ランス) している事を確認。
- ※ 3 ACCT 交換
・ 交換時、ACCT の向きに注意してください。
・ 交換後、電源配線接続の際、端子台 (TB01) のネジは所定のトルクで確実に締めてください。(P.19 参照)



- ※ 4 電源の電圧アンバランスが 3% (JIS C 4421) を超える場合、「IPM エラー」[欠相/逆相] 異常が発生する可能性があります。
電圧アンバランス = $\frac{\text{最大線間電圧} - \text{最小線間電圧}}{\text{平均線間電圧}} \times \frac{2}{3} \times 100 [\%]$

Mr.SLIM 接続説明書

B

アクティブフィルタ(PAC-KR51EAC)を、空調機完全連動方式にて下記のMr.SLIM機種へ接続する
場合の補足説明書です。据付・取扱説明書とともによくお読みの上、取り付けを行ってください。

1 適用機種

Mr.SLIM 8/10馬力室外機
P224/280形及び、P8/10形
代表型名：MPUZ-WRP224/280HA3以降（'06年5月生産分以降 製造号機65U****以降）

※必ず上記の室外機1台に対し、アクティブフィルタ1台を接続ください。

上記以外の機器は、負荷電流連動方式で接続してください。
ご不明な点は、当社営業窓口までご照会ください。

2 注意

据付・取扱説明書に記載された「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、据付を行って
ください。

3 接続方法

注) 空調機完全連動方式の場合の接続方法です。負荷電流連動方式選択時は必要ありません。

- ①アクティブフィルタ（以下AF）基板側の設定
 - ・AF基板側のJP2の短絡コネクタを取り外してください。詳細は据付・取扱説明書を参照ください。
- ②空調機間信号配線
 - ・図1のように、室外制御基板(空調機側)のCN3S(1-3ピン)、CN51とAF基板のCN5を接続ください。
 - ・AFとの空調機間配線は付属コネクタ配線(15cm)を使用し、機器間の配線は現地手配としてください。
 - ・CN3S接続の付属3極コネクタは、図2を参考にして、つなぎ換えを行ってください。
 - ・配線は、導体断面積0.14mm²：AWG26以上、配線長10m以内としてください。
 - ・各配線は、付属コネクタ配線との接続部にて絶縁処理を確実に実施願います。
 - ・空調機間信号配線のAF基板側は、本体制御BOX下部の穴より配線し、据付・取扱説明書の「製品の外形」の内部
部品配置図に示したフェライトクランプに2ターン巻いてから、基板に接続ください。
 - ・ノイズによる誤動作防止のため、電源配線とは離して配線し、同一電線管内に入れたり、沿わせたりせず、
独立して配線してください。

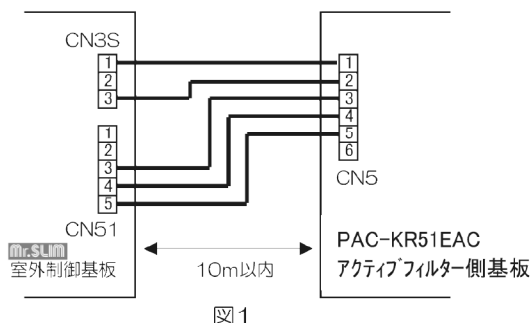


図1

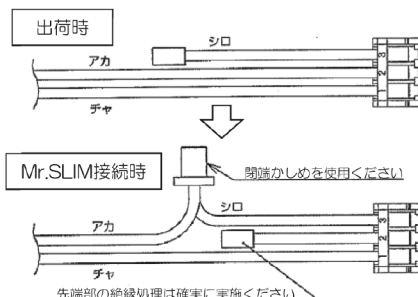


図2

- ③室外機制御基板(空調機側)設定
 - ・室外機制御基板側のSW9-2をOnしてください。

	スイッチ操作による動作	
	On	Off
SW9-2	空調機完全 連動方式	標準/ 負荷電流連動

4 異常表示

- ・AF側の異常表示および異常時の対処方法は、据付・取扱説明書の試運転を参照ください。
- ・AF異常時に、空調機側に表示される異常コード(猶予含む)は、"U9"異常となります。
- ・U9異常の詳細表示(A制御7ピン検知キット PAC-SG50ST)では"40"となります。"40"はAF異常専用コード
- ・SW9-2 Onの場合、AF基板に異常がなくても、空調機間信号配線の外れ、断線でも異常になります。

5 応急運転

- ・空調機完全連動方式を選択時、下表のような設定により応急運転が可能です。
- ・AF異常無視では、室外ユニットの圧縮機On/Off出力信号に応じてAFが動作しますが、AFが異常停止しても室外ユニットは運転を継続します。

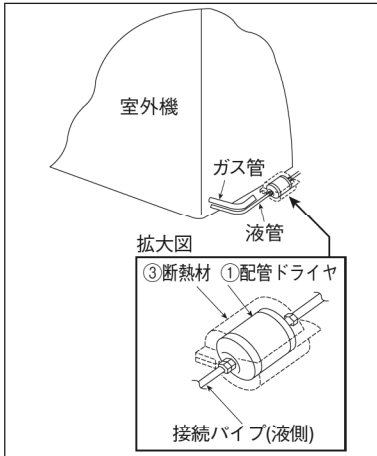
	室外ユニット制御基板			AF基板
応急運転動作	SW9-2	CN51	CN3S	JP9
AF異常無視	OFF	接続	未接続	オープン
AF常時運転	OFF	未接続	未接続	ショート
AF停止	OFF	未接続	未接続	オープン

BT79C904H01

配管用ドライヤ

- PAC-SG81DR
- PAC-SG82DR
- PAC-SG85DR

使用目的 / 用途



- “配管用ドライヤ” は、冷媒配管内の水分などを取り除き、毛细管詰まり・圧縮機の故障を防止するために取り付ける部品です。
- 水分混入量等、冷媒回路内の汚れが非常に多いと指定された場合は、1シーズン経過後ドライヤ交換が必要です。(水分吸着量は3～7cc)

注意

・本品は冷媒配管の液側(細い方)途中にフレア接続にて取り付けてください。

対象ユニット

【PAC-SG81DR : 液管φ6.35用】

【PAC-SG82DR : 液管φ9.52用】

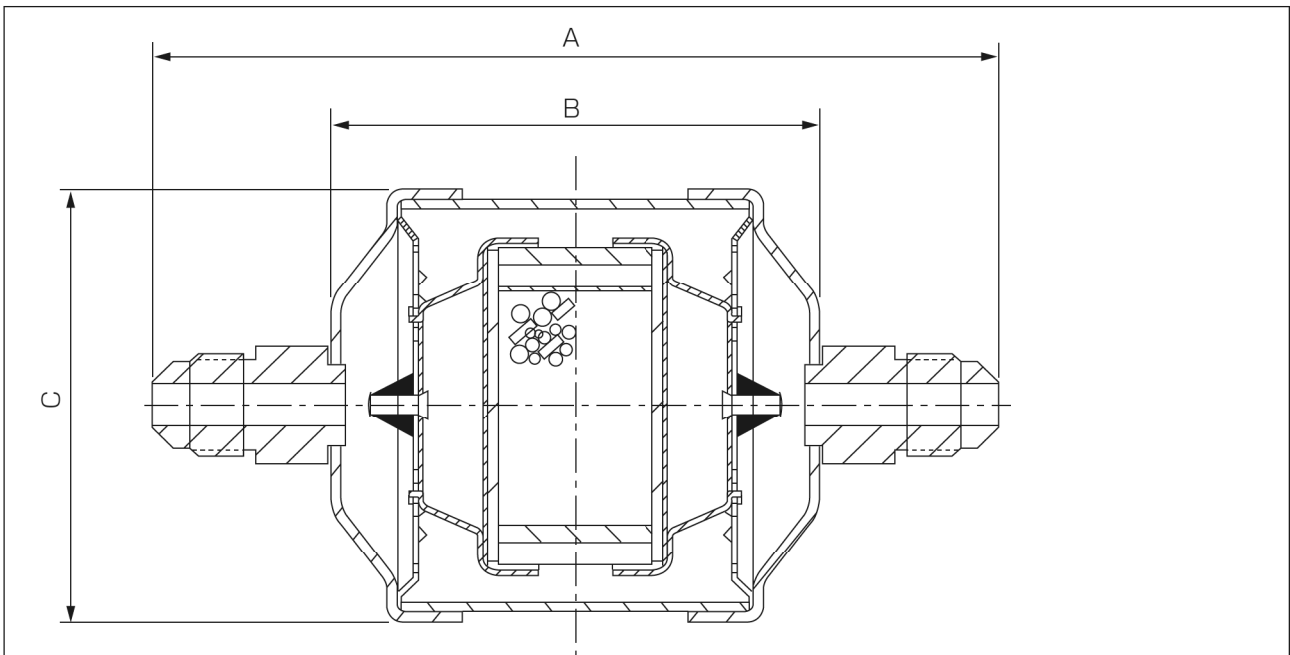
【PAC-SG85DR : 液管φ12.7用】

- PUZ-ZRMP40～63(S)KA10
- PUZ-ZRMP80(S)HA10,ZRMP112～160KA10
- PUZ-ZRP280KA13
- PUZ-ERMP40～63(S)KA10
- PUZ-ZRP224KA13
- PUZ-ERP280KA13/KAPF3
- PUZ-ERMP80(S)HA10
- PUZ-ERP112～160LA10
- PUZ-ERP224KA13/KAPF3
- PUZ-HRMP80～160KA4

仕様

形名	PAC-SG81DR	PAC-SG82DR	PAC-SG85DR
配管サイズ	液側 φ6.35 フレア	液側 φ9.52 フレア	液側 φ12.7 フレア
適用冷媒	R32 / R410A / R407C		

外形図 (組立図) (単位: mm)



形名	接続部	A	B	C
PAC-SG81DR	1/4(φ6.35)フレア	122±1.6	76±1.5	φ67±0.8
PAC-SG82DR	3/8(φ9.52)フレア	151±1.6	97±1.5	φ67±0.8
PAC-SG85DR	1/2(φ12.7)フレア	177±1.6	117±1.5	φ80±0.8



三菱電機パッケージエアコン別売部品 Mr.SLIM 配管ドライヤ(代替フロン用)据付工事説明書

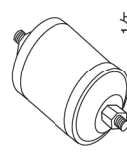

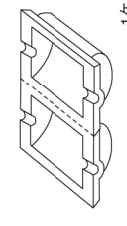
形 名
PAC-SG81DR 液管外径φ6.35用
PAC-SG82DR 液管外径φ9.52用
PAC-SG85DR 液管外径φ12.7用

(据付け前に必ず室外ユニットに付属されている
据付工事説明書の指示に従ってください。)

取付要領(下記の説明をよく読んで組み込んでください。)

- ご注意**
- この別売部品は、冷媒配管内の水分を取り除き圧縮機の故障を防止するために取付ける部品です。ただし、水分混入量等冷媒回路内の汚れが非常に多いと指定された場合は、1シーズン経過後ドライヤ交換が必要です。(水分吸着量は3~7cc)
 - 配管ドライヤは、冷媒配管の液側の途中にフレア接続にて取付けてください。
 - 配管ドライヤは、ユニット外への取付けが可能です。ユニット内への取付けの場合は、取付けスペースが確保できる場合のみ可能となります。

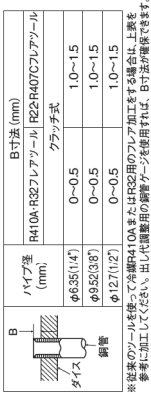
この箱の中には、この説明書他に下記の部品が入っていますのでご確認ください。

①配管ドライヤ	②接続パイプ	③断熱材
 1ヶ	 1ヶ PAC-SG81DR(φ6.35用) の場合 PAC-SG82DR(φ9.52用) の場合 または PAC-SG85DR(φ12.7用) の場合	 1ヶ

1 取付準備

- 室外機のパネル取外し、冷媒配管及び、真空引き等の要領はユニットの据付工事説明書を参照ください。
- パネル取外し
- 配管接続
 - サービスマネルとカバーを取外してください。
 - 配管を曲げる際、曲げR(R100~R150)を充分にとり、折らないように注意してください。
 - 配管は圧縮機に接触しないように施工してください。(異音、振動の原因となります)
 - 現場対応の接続パイプはフレア加工をしてください。
 - フレアシート面に冷凍機油(現場手配)を薄く塗付してください。

銅管外径(mm)	フレア加工径φA(mm)	パイプ径(mm)	B寸法(mm)
φ6.35	8.7~9.1	R410A/R32フレアツール	R2/R407Cフレアツール
φ9.52	12.8~13.2	φ6.35(1/4")	0~0.5
φ12.7	16.2~16.6	φ9.52(3/8")	0~0.5
		φ12.7(1/2")	0~0.5



銅管外径(mm)	据付力N(m)(kgf/cm)
φ6.35	14~18(140~180)
φ9.52	34~42(340~420)
φ12.7	49~61(490~610)

(トルクレンチによる適正な締付力)

*従来のパネルを壊して冷媒R410AまたはR32用のフレア加工をする場合は、上表を参考に加工してください。出し代調整用の調整カーブを使用すれば、B寸法が確保されます。

取付説明書

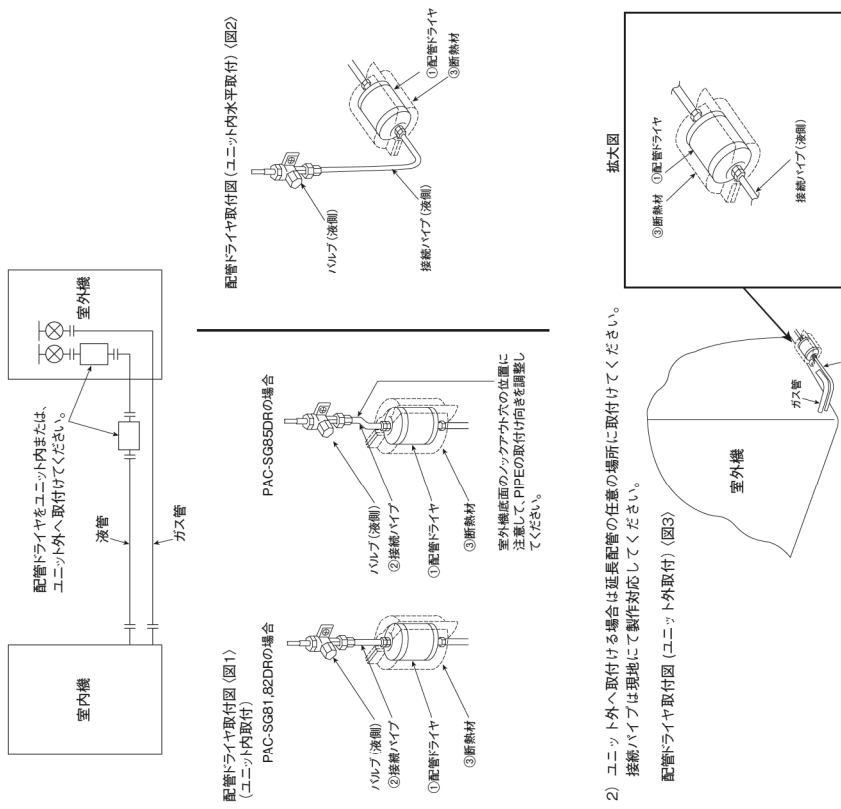
配管用ドライヤ :PAC-SG81DR, SG82DR, SG85DR

(本マニュアル用に変更・修正しています)

2 配管ドライヤの取付け

配管ドライヤは、必ず液側配管(細い方)に取付けてください。

- 配管ドライヤをユニット内に取付ける場合には、スペースに応じて(図1,図2)を参照しドライヤを取付けてください。また、ドライヤ取付けのスペースがない場所には、ユニット外の取付けとなります。(図3)



- ユニット外へ取付ける場合は延長配管の任意の場所に取付けてください。接続パイプは現地で製作対応してください。

3 断熱工事

- ドライヤ取付け後、ドライヤ部分に断熱材を巻き付けてください。
- 断熱材の縫目にはテープピンを施して隙間が生じないように施工してください。
- その他配管部分も断熱材を巻き付けてください。

- 以上で配管ドライヤの取付けは完了です。元通りにサービスマネル等を取付けてください。

4 試運転

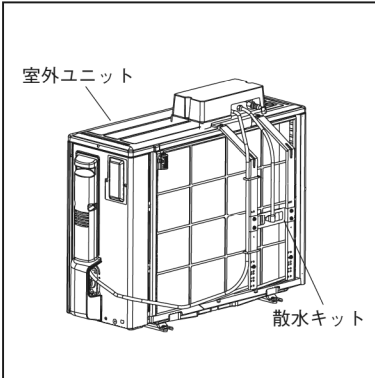
- ユニットの据付工事説明書に従って試運転を行ない、ガス洩れチェックを必ず実施してください。

RG79N505H02

散水キット

● PAC-SJ12ESS

使用目的 / 用途



- “散水キット”は、夏場の室外ユニット過負荷対策及び冷房時の省エネルギーを目的とした部品です。
- 外気温に応じ、室外ユニットの吸込口に水を噴霧し、室外ユニットの高圧カットによる冷房能力低下を解消します。
- 本品は安全ネットとの併用はできません。
- 噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィン及びケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排水穴から排水されますので地面を濡らします。

注意

- ・ 冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。
- ・ 給水は必ず水道水を使用してください。水温は 10 ～ 30℃ でご使用ください。

対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ～ 63(S)KA10
- PUZ-ERMP40 ～ 63(S)KA10

仕様

形名	PAC-SJ12ESS
電源供給	AC200V 50/60Hz
ノズル口数	1ヶ
使用可能給水範囲	水道水のみ 水圧：0.14 ～ 0.25MPa (給水管ホースの場合) /0.14 ～ 0.3MPa (硬質塩ビ管の場合) 水温：10 ～ 30℃
水道供給用接続パイプ径	軟質ホース 内径 15mm / 硬質ホース VP13

消費電力削減値

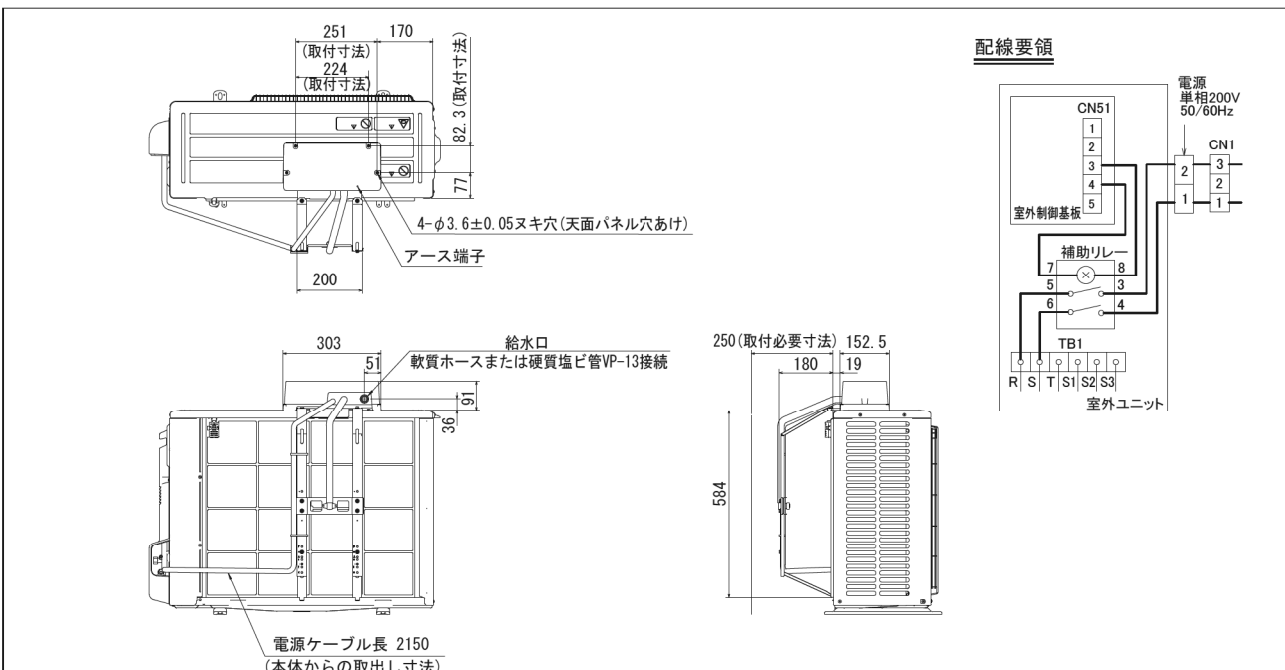
性能値は水道水、水圧0.15MPa、水温20℃、200Vでのデータ(散水時)を示します。
(室外機形名 PAC-SJ12ESS：P63形の場合)

* 消費電力削減値は周波数一定の場合を示します。

運転モード	平常モード(外気温度:32℃, ON)				過負荷モード(外気温度:40℃, ON)				
	15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル		15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル		
形名	性能値	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量		
PAC-SJ12ESS		0.17kW (12.0%)	6.6 l/h	0.19kW (13.5%)	13.2 l/h	0.20kW (14.0%)	6.6 l/h	0.25kW (17.6%)	13.2 l/h

◎平常 / 過負荷モードの切換え、および散水時間の切換えは基板上的DIPスイッチで切換えます。

外形図 (単位: mm)



BH79B224H04

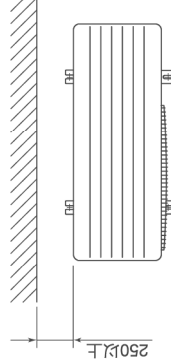
1. 部品の確認 この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番 品名	個数	形 状	②スプレー 取付アングル	③スプレー取付台	④継手管	⑤ネジ	⑥給水栓ソケット
①制御部本体 カバー	1		2	1	1	15	1
⑦バンド	3		⑧補助リレー	⑨ネジ	⑩アッスナー	⑪ケーブルストラップ	
品番 品名	個数 <td>形 状</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td>	形 状	1	2	3	1	

2. 取付手順

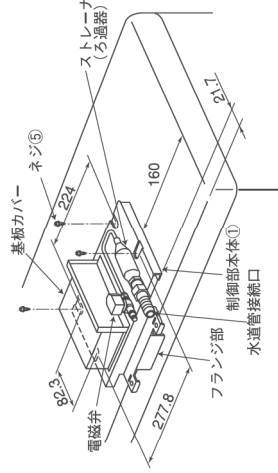
2-1 取付必要スペース

室外ユニット背面と障害物(壁など)とのクリアランスを250mm以上確保してください。



2-2 制御部本体の取付け

1. 制御部本体①のカバー(白色)を取外してください。
2. 制御部本体①のフランジ部を室外ユニット背面に突き当て、下図寸法にして置いた後ドリル等で天板に下穴(φ3.6±0.05)を3ヶ所あけてください。
3. 制御部本体付属の両面テープと、付属のネジ⑤(3ヶ所)で制御部本体を固定してください。



△ 注意

指定位置以外に取付けると、ネジ先端が内部部品に損傷を与えることがあります。また、本製品の性能を十分に発揮できないことがあります。

三菱電機パッケージエアコン別売部品
散水キット取付工事説明書

別売品名	適用機種
PAC-SJ12ESS 室外ユニット用	Kタイプ

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

取付けの前に

- 本製品は、夏場での室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的としたものです。
- 給水は必ず水道水を使用してください。水温は10~30℃で、ご使用ください。
- 噴霧時の水圧は、十分な圧力が必要です。
- 給水管にホースを使用する場合 0.14MPa~0.25MPa
給水管に硬質温び管を使用する場合 0.14MPa~0.3MPa
上記水圧の範囲内で使用してください。水圧が低いときは、市販の加圧ポンプを使用し昇圧してください。
- 本製品動作中、噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排出穴から排水されますので地面を濡らします。

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

注意
誤った取扱いをしたときに、軽傷または家具・家電など の損害に結びつくもの。

- 取付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

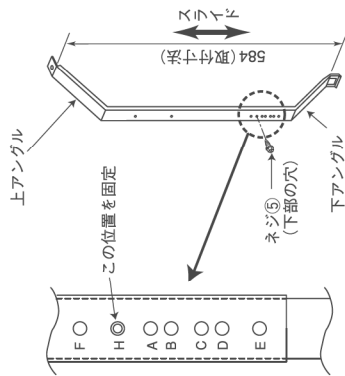
- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事され不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
- 当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニット落下によるケガの原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
- 接続や固定が不完全の場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。
- 据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 電気工事は電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。
- 室外ユニットのサービスマネルを確実に取付ける。
- サービスマネルの取付けに不備があると、ほこり、水等により、感電・火災等の原因になります。

注意

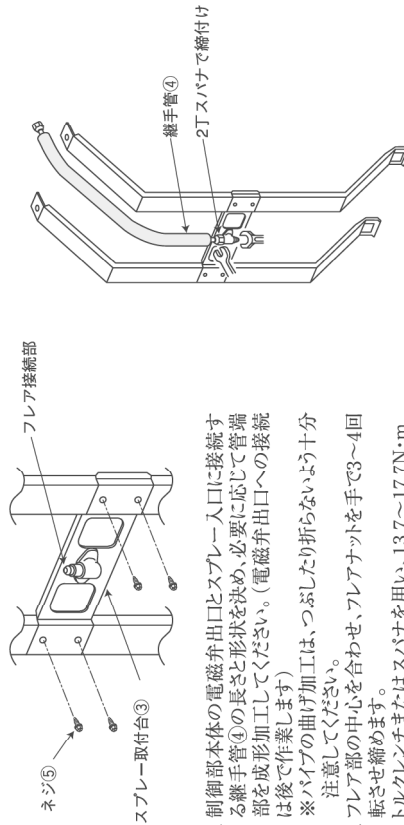
- 可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据付けない。
- 万一ガスがユニットの周囲にたまること、発火・爆発の原因になります。
- アース工事を行う。
- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないで行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

2-3 スプレー取付けアングルの取付け

- ※ユニット本体へ取付ける前に作業を実施してください。
1. スプレー取付けアングル②をスライドさせ、上アングルのアルファベットHの穴と下アングルの下部の穴をネジ⑤で固定してください。



2. スプレー取付け台③をフレア接続部が上向きになるようにセットし、スプレー取付けアングル中央部の穴にネジ⑤で固定してください。(左右2ヶ所ずつ)

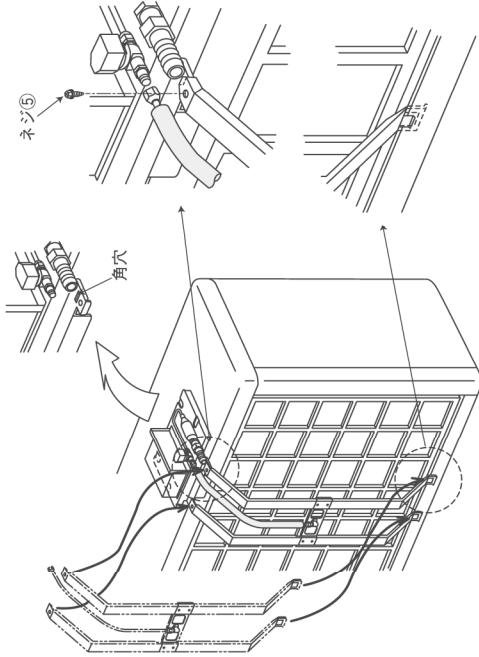


3. 制御部本体の電磁弁出口とスプレー入口に接続する継手管④の長さや形状を決め、必要に応じて管端部を成形加工してください。(電磁弁出口への接続は後で作業します)
※パイプの曲げ加工は、つぶしたり折らないよう十分注意してください。
4. フレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
5. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m (140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。
※必ず2丁スバナで締付けてください。

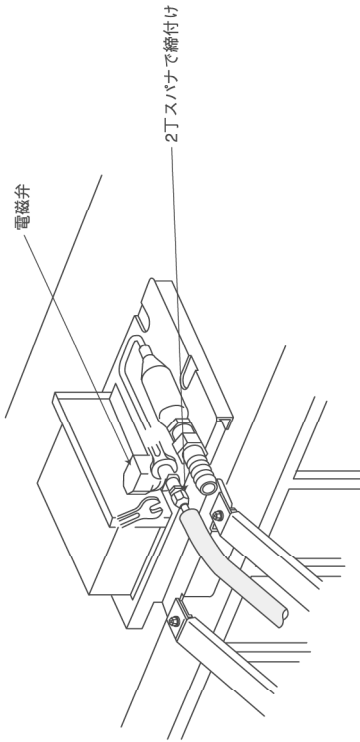
△ 注意

フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

6. スプレー取付けアングル下部を室外ユニットベースのフランジに引っ掛け、次に上部のツメを制御部本体の角穴に差し込みネジ⑤で固定します。(左右2ヶ所ずつ)



7. 制御部本体の電磁弁出口部にフレア部を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
8. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m (140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。(必ず2丁スバナで締付けてください)

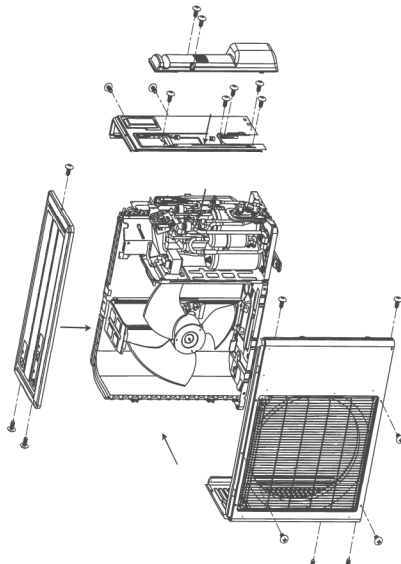


△ 注意

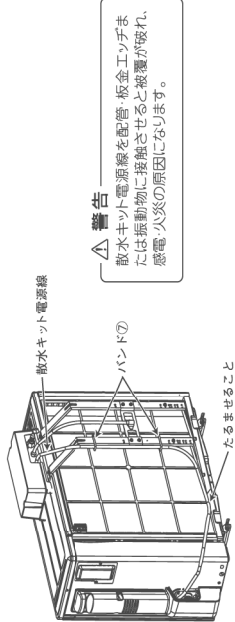
フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

3. 配線手順

3-1 室外ユニットサータービスパネルの取外し 室外ユニットのパネルを下図の通り、取外してください。



3-2 配線作業 散水キット電源線は、室外ユニット内部の近傍板金エッジおよび配管等に絶対接触しないよう下図のように取り廻し、アングルにバンド⑦で2ヶ所所結束します。

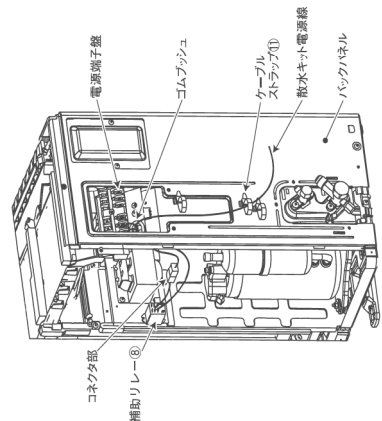


警告 散水キット電源線を配管・板金エッジまたは振動物に接触させると被覆が破れ、感電・火災の原因になります。

3-3 結露作業

散水キット電源線は、梱包材に包まれている補助リレー⑧を接続して結露してください。

1. 室外機電気品箱の指定位置(右図参照)に補助リレー⑧を付属のネジ⑨にて固定してください。
2. 制御本体部①のカバー裏面に貼付している電気配線図に従って、補助リレー⑧のリード線に対応する散水キット電源線、室外機制御基板上のコネクタ、電源端子盤に取付けてください。
※ 散水キット電源線、電源端子線に接続するリード線は、ゴムフックを通して接続してください。
3. バックパネルにケーブルストラップ⑩を右図の通り取付け、取付けたケーブルストラップ⑩に散水キット電源線を通して固定してください。
4. 各リード線を引き出す際には、ファスナー⑩を使用して電気部品や制御基板上の電子部品と接触しないようにしてください。



注意

室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。ノイズによる誤動作の原因となります。

注意

散水キット電源線と補助リレー⑧のリード線コネクタ部は室外機制御箱内に収めてください。強力によるコネクタ外れや水滴付着によるトラッキング発生の原因になります。

警告

室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

警告

端子の取付けは、ゆるみのないよう確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続が固定に不備があると、火災の原因になります。

4. 給水管の接続

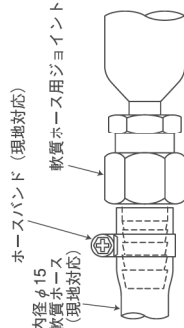
本製品は軟質ホースまたは硬質塩ビ管の接続が可能です。出荷時は軟質ホース用ジョイントを取付けてあります。
※ 複数取付ける場合は、噴霧時の水圧を確保し十分な水量が確保できる配管径を選定してください。

注意

供給水圧・水量が足りないことと噴霧状態(拡散範囲・水量・粒径)が悪く、性能を発揮できないことがあります。

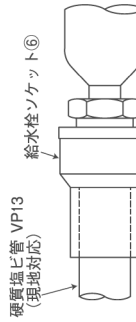
軟質ホース使用の場合

市販のホースバンドを使用し接続部を確実に固定してください。



硬質塩ビ管使用の場合

軟質ホース用ジョイントを取外し、市販のシールテープまたはシール材等でシールした後、付属の給水栓ソケット⑥を取付けてください。※軟質ホース用ジョイントを外す時は、必ず2丁スバナーで行なってください。

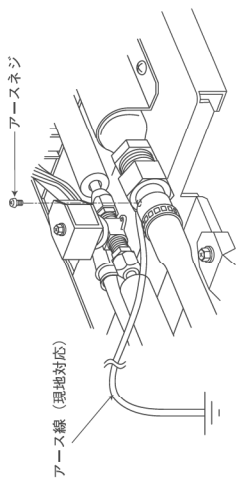


警告

給水管の接続は水圧による外れや水漏れのないよう、確実に取付けてください。不備があると電気品に水がかかり、感電・火災の原因になります。

5. アース工事

アース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事の方が実施してください。
 室外ユニットの電源回路に漏電遮断器が取り付けられているかを確認し、さらにD種接地工事を行ってください。
 このとき接地抵抗値が500Ω以下であることを確かめてください。



警告

アース工を行なう。アース線は、ガス管・水道管・遊動針・電話のアース線に接続しない。
 アース工事に不備があると、感電の原因になります。

6. 試運転

基板カバーのネジ2本を外してください。※下図において■はスイッチの位置を示します。

1. 水栓を開き本キットの接続部に水漏れのないことを確認してください。
2. エアコンを運転(圧縮機運転)し、制御部本体の基板にある試運転スイッチを押してスプレーから水を噴霧させ、ほぼ均一の粒子で広がっているかを確認してください。
 (試運転スイッチを押すと10秒間噴霧、10秒間停止を1分間繰り返して通常モードに戻ります)
3. 試運転中に再度スイッチを押すと通常モードに戻ります。



6-2 過負荷/平常切換スイッチの設定

本製品は、夏場での過負荷対策および冷房時の省エネルギー化において2種類の選択が可能です。用途に応じた設定を行なってください。(出荷時は過負荷モードに設定されています)

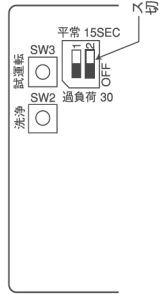
過負荷/平常切換スイッチ(DIPスイッチ:1)を操作し過負荷(外気温40℃作動)の場合はOFF側、平常(外気温32℃作動)の場合はON側に設定してください。



6-3 スプレー時間切換スイッチの設定

散水時間の設定ができます。(出荷時は散水時間30秒に設定されています)
 スプレー時間切換スイッチ(DIPスイッチ:2)を操作しますとON側で15秒間散水、OFF側で30秒間散水します。
 例えば水圧が低い時、30秒を、節水したい場合は15秒に設定してください。

使用水量の目安 (水圧:0.15MPa)	
15秒	30秒
6.6ℓ/h	13.2ℓ/h



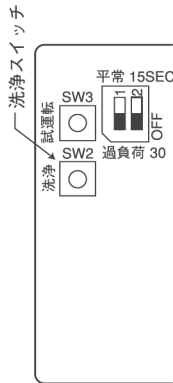
故障診断

異常により散水が停止している場合は、制御基板のLEDが以下の内容を表示しますので点検を行なってください。(正常運転時:LED点灯)

LED	項目	故障箇所	電磁弁の状態
点滅	サーミスタ異常	サーミスタ断線、短絡	OFF
消灯	マイコンエラー	制御基板不良	OFF

洗浄モード

本製品には、室外ユニットのフィン洗浄するための洗浄スイッチを認定しています。取付け時や冷房シーズン前など、フィンの洗浄に使用してください。
 (洗浄スイッチを押すと10分間噴霧し通常モードに戻ります。洗浄運転中でも、もう一度押すと通常モードに戻ります)



7. カバーの取付け

最後に基板カバーおよびカバー(白色)を取付けてください。

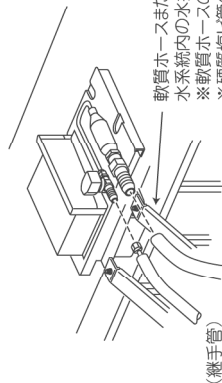
ご使用になるお客様へ

日常点検

供給水の水质によってはスプレー部分がつまり噴霧量が減少することがありますので、定期的に噴霧状態の点検およびスプレー部の清掃を行なってください。

冬期の水抜き

冬期に水系内の水が凍結し、破損する恐れがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系内の水抜きをしてください。



- ※軟質ホースまたは硬質塩ビ管および継手管をそれぞれ接続部から外し、水系内の水抜きをしてください。
- ※軟質ホースの場合、ホースバンドを外してから上記作業を行ってください。
- ※硬質塩ビ管の場合、給水径/ケットを外してから上記作業を行ってください。
- ※継手管の場合、2丁スパナでフレアナットを外してから上記作業を行ってください。

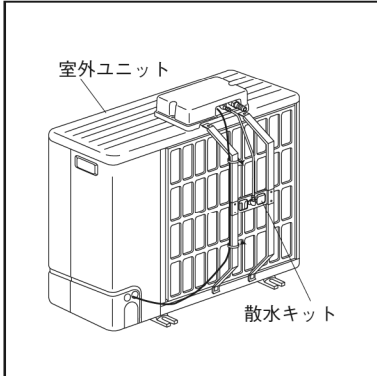
フィンの養生について

室外ユニットの周辺環境および噴霧する水质によりフィンが腐蝕したり、スケールが付着したりします。この進行は明確ではありませんが、不安のある時は販売店と相談して、フィンの防錆剤塗布および定期的なフィン洗浄等の対策を行なってください。

散水キット

● PAC-SH36ESS

使用目的 / 用途



- “散水キット”は、夏場の室外ユニット過負荷対策及び冷房時の省エネルギーを目的とした部品です。
- 外気温に応じ、室外ユニットの吸込口に水を噴霧し、室外ユニットの高圧カットによる冷房能力低下を解消します。
- 本品は安全ネットとの併用はできません。
- 噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィン及びケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排水穴から排水されますので地面を濡らします。

注意

- ・ 冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。
- ・ 給水は必ず水道水を使用してください。水温は 10 ～ 30℃ でご使用ください。

対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA10
- PUZ-ERMP80(S)HA10

仕様

形名	PAC-SH36ESS		
電源供給	AC200V 50/60Hz		
ノズル口数	1ヶ		
使用可能給水範囲	水道水のみ	水圧:0.14～0.25MPa(給水管ホースの場合) /0.14～0.3MPa(硬質塩ビ管の場合) 水温:10～30℃	
水道供給用接続パイプ径	軟質ホース 内径 15mm / 硬質ホース VP13		

消費電力削減値

性能値は水道水、水圧0.15MPa、水温20℃、200Vでのデータ(散水時)を示します。
(室外機形名 PAC-SH36ESS:PUZ-RP80HA)

運転モード	平常モード(外気温度:32℃, ON)				過負荷モード(外気温度:40℃, ON)			
	15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル		15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル	
形名	性能値	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	
PAC-SH36ESS	0.20kW (12.0%)	6.6 ℓ/h	0.22kW (13.5%)	13.2 ℓ/h	0.23kW (14.0%)	6.6 ℓ/h	0.29kW (17.6%)	13.2 ℓ/h

◎平常/過負荷モードの切換え、及び散水時間の切換えは基板上のDIPスイッチで切換えます。

外形図 (単位: mm)

変化寸法表

ユニット形態	能力クラス	A	B
PUZ-ZRMP, ERMP, CRMPタイプ	40~63	567	149
	80~112	902	183

配線要領

(一定速機種用)

(インバータ機種用 (補助リレー未使用時))

(インバータ機種用 (補助リレー使用時))

室外ユニット



三菱電機パッケージエアコン別売部品 散水キット据付工事説明書

別売部品名	適用機種
PAC-SH36ESS 室外ユニット用 Eタイプ、Fタイプ、Gタイプ、Hタイプ	

*据付け前に本説明書をよくお読みください。

据付けの前

- 本製品は、夏場の室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的としたものです。
- 給水は必ず水道水を使用してください。水温は10～30℃で、ご使用ください。
- 噴霧時の水圧は、十分な圧力が必要です。
- 給水管にホースを使用する場合は、0.14MPa～0.25MPa給水管に硬質塩ビ管を使用する場合は、0.14MPa～0.3MPa以上記水圧の範囲内で使用してください。水圧が低いときは、市販の加圧ポンプを使用し昇圧してください。
- 本製品動作中、噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排出穴から排水されますので地面を濡らします。

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この安全のために必ず守ることをよくお読みください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。

注意
誤った取扱いをしたときに、軽傷または家庭・業務などの損害に結びつく可能性があります。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方がかわる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

据付けは、販売店または専門業者にご依頼する。
●お客様自身で据付工事されたい場合は、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付工事の際は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
●当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニット落下によるケガの原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用し、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外皮が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
●接続や固定が不十分な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。

注意

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据付けない。
●万一ガスがユニットの周囲にたまる、発火・爆発の原因になります。

アース工事を行う。
●アース線は、ガス管・水道管・配電管・電話のアース線に接続しないください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

取付説明書

散水キット:PAC-SH36ESS

(本マニュアル用に変更・修正しています)

1. 部品の確認

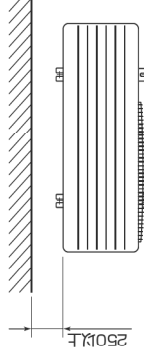
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品名	①制御部本体	②スプレー取付台	③スプレー取付台	④継手管	⑤ネジ	⑥給水栓ソケット	⑦ハブド
個数	1	2	1	1	15	1	3
形状	カバー	取付けアンクル	取付けアンクル	継手管	ネジ	給水栓ソケット	ハブド
品名	⑧リード付丸端子	⑨リード付端子	⑩補助リレー	⑪ネジ	⑫絶縁材	⑬フアスター	
個数	1	1	1	2	1	4	
形状	リード付丸端子	リード付端子	補助リレー	ネジ	絶縁材	フアスター	
形状	※インバータ以外の機種のみ使用	※インバータ機種のみのみ使用					

2. 取付手順

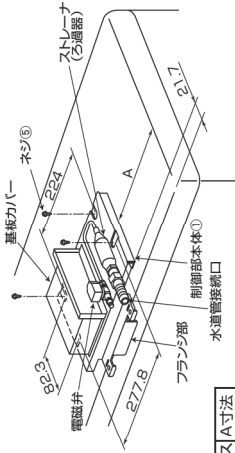
(2-1) 取付必要スペース

室外ユニット背面と障害物(壁など)とのクリアランスを250mm以上確保してください。



(2-2) 制御部本体の取付け

1. 制御部本体①のカバー(白色)を外してください。
2. 制御部本体①のフランジ部を室外ユニット背面に突き当てて置き、A寸法(変化寸法表参照)にした後ドリルなどで天板に下穴(Eタイプ...φ3.5±0.03、その他機種...φ3.6±0.05)を3ヶ所あけてください。
3. 制御部本体付属の両面テープと、付属のネジ⑤(3ヶ所)で制御部本体を固定してください。



《A寸法変化表》

ユニット形態	能力クラス	A寸法
PU(H) Eタイプ	40~80	203
PU(H) Fタイプ	40~80	202
PU(H) Gタイプ	40~80	220
(M)PUZ Gタイプ	40~80	220
MPU(H) P-HA2タイプ	40~56	220
MPUH P-HA2タイプ	40~56	220

[MPU*H*HA*タイプの場合] MPU(H)-P40~56HA MPU(H)-P40~56HA2を除く

ユニット寸法	A寸法
幅800×奥行330×高さ600	139
幅950×奥行330×高さ740	173
幅950×奥行330×高さ943	173

△ 注意

指定位置以外に取付けると、ネジ先端が内部部品に損傷を与えることがあります。また、本製品の性能を十分に発揮できないことがあります。

2-3 スプレー取付けアングルの取付け ※ユニット本体へ取付ける前に作業を実施してください。

1. スプレー取付けアングル②をスライドさせ、上アングルのアルファベット横の穴(A~F対応表参照)と下アングル(上部~下部 対応表参照)をネジ⑤で固定してください。

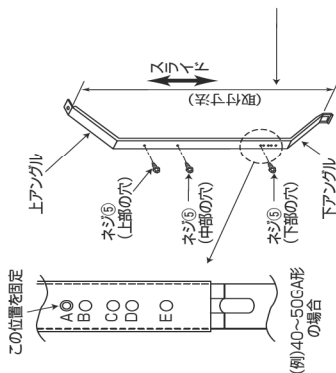
《固定位置対応表》

ユニット形態	能力クラス	固定位置
PU(H) Eタイプ	40~50	B(607) 下穴:下部
PU(H) Fタイプ	56~80	B(810) 下穴:中部
PU(H) Gタイプ	40~50	D(630) 下穴:下部
(M)PUZ Gタイプ	56~80	E(850) 下穴:中部
MPUH P-HAタイプ	40~56	A(599) 下穴:下部
MPUH P-HA2タイプ	40~56	A(802) 下穴:中部
		A(902) 下穴:上部

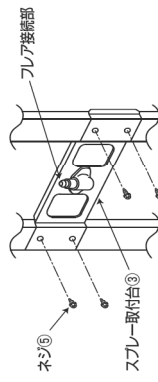
[MPU*HA*タイプの場合]
MPUH P40~56HA
MPUH P40~56HA2を除く
[PU(Z)-HA*タイプの場合]

ユニット寸法	固定位置
幅800×奥行300×高さ600	F(567) 下穴:下部
幅950×奥行330×高さ740	G(699) 下穴:上部
幅950×奥行330×高さ943	A(902) 下穴:上部

※カッコ内の数字は取付け寸法を示します。スライド調整後必ず上表寸法の確認をしてください。



2. スプレー取付け台③をフレア接続部が上向きになるようにセットし、スプレー取付けアングル中央部の穴にネジ⑤で固定してください。(左右2ヶ所ずつ)



3. 制御部本体の電磁弁出口とスプレー入口に接続する継手管④の長さや形状を決め、必要に応じて管端部を成形加工してください。(電磁弁出口への接続は後で作業します)

※パイプの曲げ加工は、つぶれたり折らないよう十分注意してください。

4. フレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。

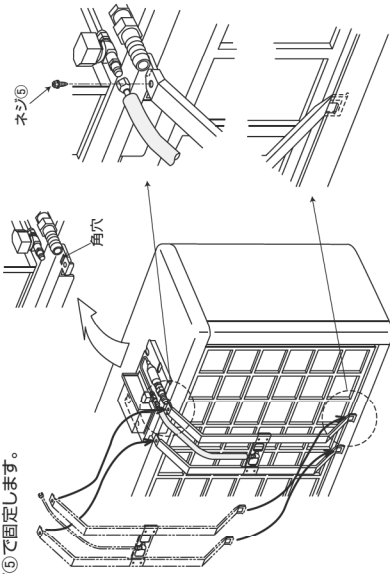
5. トリクレンチまたはスバクを用い、13.7~17.7N・m(140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。

※必ず2Jスバクで締付けてください。

△ 注意

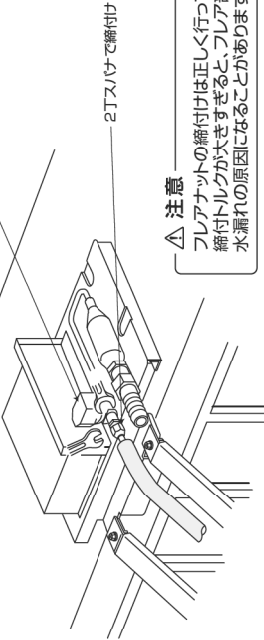
フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になることがあります。

6. スプレー取付けアングル下部を室外ユニットベースのフランジに引っ掛け、次に上部のツマを制御部本体の角穴に差し込みネジ⑤で固定します。(左右1ヶ所ずつ)



7. 制御部本体の電磁弁出口部にフレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。

8. トリクレンチまたはスバクを用い、13.7~17.7N・m(140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。(必ず2Jスバクで締付けてください)



△ 注意

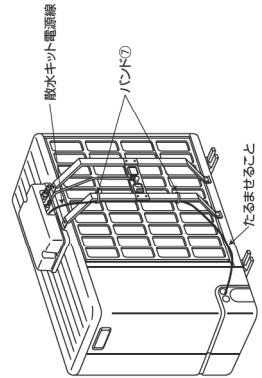
フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になることがあります。

3. 配線手順

3-1 室外ユニットサービスパネルの取外し

室外ユニットのサービスパネルを取外し、次に側面にある電源線取出穴(ノックアウト)をあけてください。
※ユニット下部の配管穴形状は機種により異なります。

3-2 配線作業 散水キット電源線は、室外ユニット内部の近傍板金エッチングおよび配管などに絶対接触しないよう取り回り下部の配管穴を通してアングルにバンドで結束します。

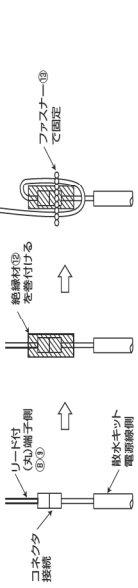


△ 警告

散水キット電源線を配管・板金エッチングまたは振動物に接触させると被覆が破れ、感電・火災の原因になります。

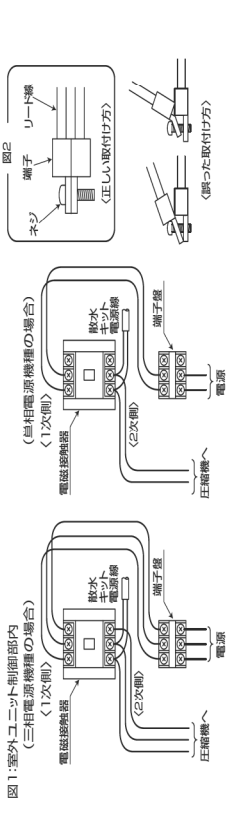
〔3-3〕 接続作業

リード付(ス)端子コネクタ⑨の接続は、下記手順にて取付けてください。



〔(M)PU(H)の場合〕

散水キット電源線は、同電源線と同梱してあるリード付端子⑩を接続して接続してください。
 (機種によっては異なりますが、一例を下記に示します)
 ※端子の向きは、必ず図2のように取付けてください。
 2. 散水キット本体の電源線と配線されているリード線をファスナー⑬を使用して束ねてください。

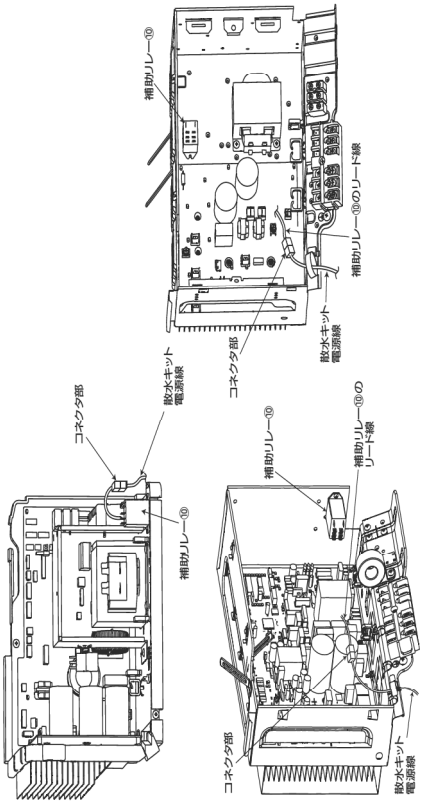


〔(M)PUZ: 室外ユニット制御基板にコネクタ"SS"(シロ)が有る機種の場合〕

散水キット電源線は、同電源線と同梱してあるリード付端子⑩を接続して接続してください。
 1. 散水キット電源線と、リード付端子⑩を接続後、リード付端子⑨の端子部を、室外機制御基板上に有るコネクタSS(シロ)と接続してください。
 2. 散水キット本体の電源線と配線されているリード線をファスナー⑬を使用して束ねてください。
 (注意) 室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。ノイズによる誤動作の原因になります。

〔(M)PUZ: 室外ユニット制御基板にコネクタ"SS"(シロ)が無い機種の場合〕

散水キット電源線は、梱包材に包まれている補助リレー⑩を接続して接続してください。
 1. 室外機電気箱の指定位置(下参照)に補助リレー⑩を付属のネジ⑭にて固定してください。



2. 制御本体①のカバー裏面に貼付けしている電気配線図に従って、補助リレー⑩のリード線に対応する散水キット電源線、室外機制御基板上的コネクタ、電源端子盤に取付けてください。
 3. 各リード線を引戻す際には、ファスナー⑬を使用して電気部品や制御基板上の電子部品と接触しないようにしてください。

▲ 注意

室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。
 ノイズによる誤動作の原因になります。

▲ 注意

散水キット電源線と補助リレー⑩のリード線コネクタ部は室外機制御箱内に収めてください。
 張力によるコネクタ外れや水滴付着によるトラッキング発生の原因になります。

▲ 警告

室外ユニットの外観パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり水などにより、感電・火災の原因になります。

▲ 警告

端子の取付けは、ゆるみのないよう確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

▲ 警告

電磁接触器への端子の接続は、図のように正しく取付けること。誤った取付けをすると接触面積不足による発火・焼損の原因になります。

4. 給水管の接続

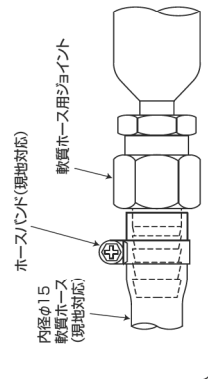
本製品は軟質ホースまたは硬質塩ビ管の接続が可能です。
 出荷時は軟質ホース用ジョイントを取付けてあります。
 ※複数取付けの場合は、噴霧時の水圧を確保し十分な水量が確保できる配管径を選定してください。

▲ 注意

供給水圧・水量が足りないと噴霧状態(拡散範囲・水量・粒径)が悪く、性能を発揮できないことがあります。

軟質ホース使用の場合

市販のホースバンドを使用し接続部を確実に固定してください。

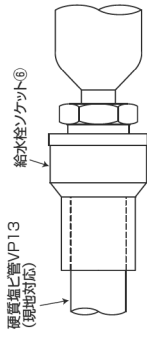


▲ 警告

給水管の接続は水圧による外れや水漏れのないよう、確実に取付けてください。不備があると電気品に水がかかり、感電・火災の原因になります。

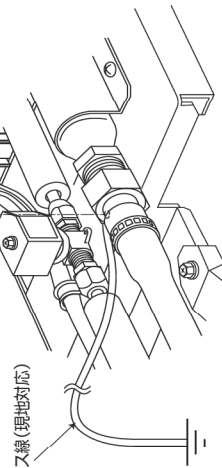
硬質塩ビ管使用の場合

軟質ホース用ジョイントを取外し、市販のシールテープまたはシール材などでシールした後、付属の給水栓ソケット⑥を取付けてください。
 ※軟質ホース用ジョイントを取外す時は、必ず2丁スリヤで行ってください。



5. アース工事

アース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事の方が実施してください。
室外ユニットの電源回路に漏電遮断器が取り付けられているかを確認し、さらにD種接地工事を行ってください。
このとき接地抵抗値が500Ω以下であることを確かめてください。



△警告
アース工事を行う。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。
アース工事に不備があると、感電の原因になります。

6. 試運転

基板カバーのネジ2本を外してください。

6-1 試運転

1. 水栓を開き本キットの接続部に水漏れのないことを確認してください。
2. エアコンを運転(圧縮機運転し、制御部本体の基板上にある試運転スイッチを押してスプレーから水を噴霧させ、ほぼ均一の粒子で広がっているかを確認してください)。(試運転スイッチを押すと10秒間噴霧、10秒間停止を1分間繰り返して通常モードに戻ります)
3. 試運転中に再度スイッチを押すと通常モードに戻ります。

6-2 過負荷/平常切換スイッチの設定

本製品は、夏場での過負荷対策および冷房時の省エネルギー化において2種類の選択が可能です。
用途に応じて下記設定を行ってください。
(出荷時は過負荷モードに設定されています)

過負荷/平常切換スイッチ(DIPスイッチ:1)を操作し過負荷(外気温40℃作動)の場合はOFF側、平常(外気温32℃作動)の場合はON側に設定してください。

6-3 スプレー時間切換スイッチの設定

散水時間の設定ができます。

(出荷時は散水時間30秒に設定されています)

スプレー時間切換スイッチ(DIPスイッチ:2)を

操作しますとON側で15秒間散水、OFF側で

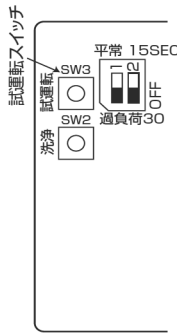
30秒間散水します。

例えば水圧が低い時、30秒を、節水したい

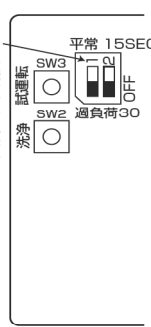
場合は15秒に設定してください。

使用水量の目安 (水圧:0.15MPa)	
15秒	30秒
6.6ℓ/h	13.2ℓ/h

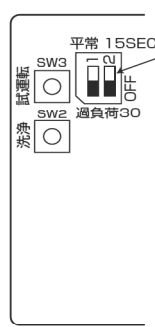
※ 下図において■はスイッチの位置を示します。



過負荷/平常切換スイッチ



スプレー時間切換スイッチ



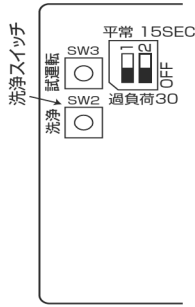
故障診断

異常により散水が停止している場合は、制御基板上のLEDが以下の内容を表示しますので点検を行ってください。
(正常運転時LED点灯)

LED	項目	故障箇所	電磁弁の状態
点滅	サーミスタ異常	サーミスタ断線、短絡	OFF
消灯	マイコンエラー	制御基板不良	OFF

洗浄モード

本製品には、室外ユニットのフィン洗浄するための洗浄スイッチを設定しています。
取付け時や冷房シーズン前など、フィンの洗浄に使用してください。
※ 洗浄スイッチを押すと10分間噴霧し通常モードに戻ります。
※ 洗浄運転中でも、もう一度押すと通常モードに戻ります。



7. カバーの取付け

最後に基板カバーおよびカバー(白色)を取付けてください。

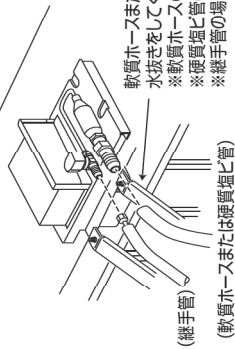
で使用になるお客様へ

日常点検

供給水の水质によってはスプレー部がつまり噴霧量が減少することがありますので、定期的に噴霧状態の点検およびスプレー部の清掃を行ってください。

冬期の水抜き

冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。



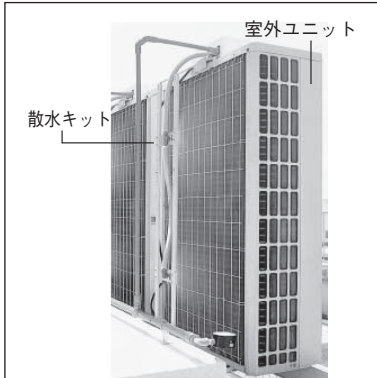
フィンの養生について

室外ユニットの周辺環境および噴霧する水质によりフィンが腐蝕したり、スケールが付着したりします。
この進行は明確ではありませんが、不安のある時は販売店と相談して、フィンの防錆剤塗布および定期的なフィン洗浄などの対策を行ってください。

散水キット

● PAC-SJ02ESS

使用目的 / 用途



- “散水キット”は、夏場の室外ユニット過負荷対策及び冷房時の省エネルギーを目的とした部品です。
- 外気温に応じ、室外ユニットの吸込口に水を噴霧し、室外ユニットの高圧カットによる冷房能力低下を解消します。
- 本品は安全ネットとの併用はできません。
- 噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィン及びケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排水穴から排水されますので地面を濡らします。

注 意

- ・ 冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。
- ・ 給水は必ず水道水を使用してください。水温は 10 ～ 30℃ でご使用ください。

対象ユニット

- PUZ-ZRMP112～160KA10
- PUZ-ZRP224・280KA13
- PUZ-ERMP112～160LA10
- PUZ-ERP224・280KA13
- PUZ-ERP224・280KAPF3

仕 様

形 名	PAC-SJ02ESS		
電源供給	AC200V 50/60Hz		
ノズル口数	2ヶ		
使用可能給水範囲	水道水のみ	水圧：0.14～0.25MPa (給水管ホースの場合) /0.14～0.3MPa (硬質塩ビ管の場合)	水温：10～30℃
水道供給用接続パイプ径	軟質ホース	内径 15mm / 硬質ホース	VP13

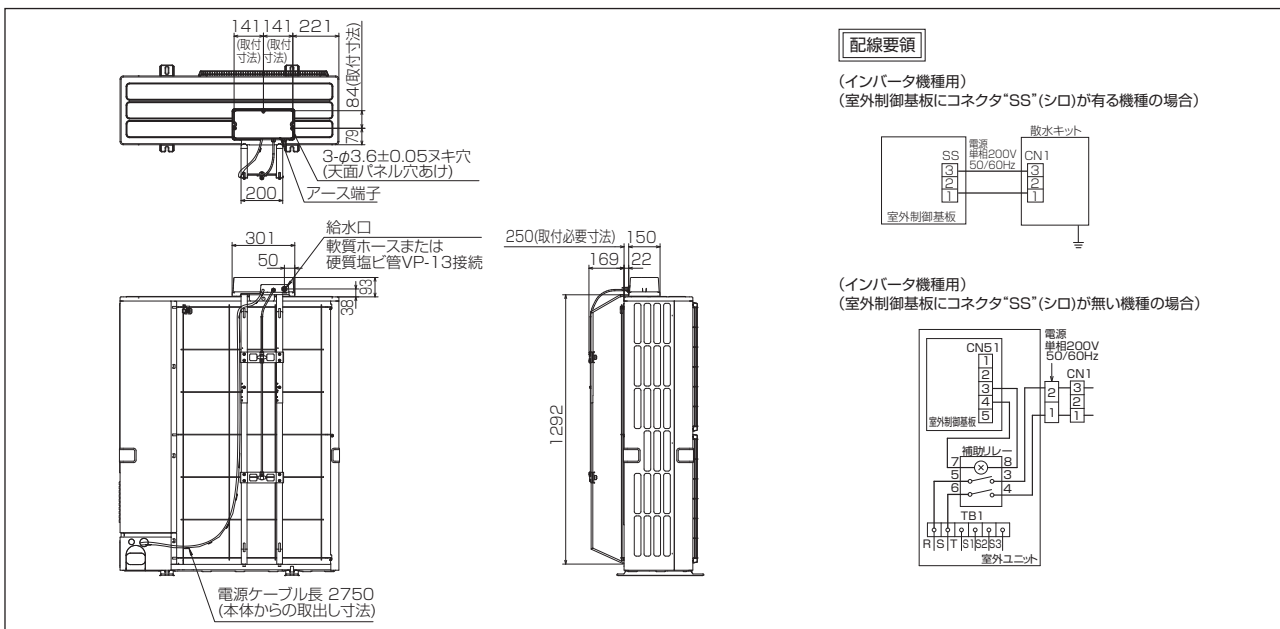
消費電力削減値

性能値は水道水、水圧0.15MPa、水温20℃、200Vでのデータ(散水時)を示します。
(参考データ P160形搭載時)

運転モード	平常モード(外気温度:32℃, ON)				過負荷モード(外気温度:40℃, ON)				
	15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル		15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル		
形 名	性能値	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	
PAC-SJ02ESS		0.41kW (10.3%)	10.5 ℓ/h	0.52kW (13.0%)	21.1 ℓ/h	0.58kW (14.5%)	10.5 ℓ/h	0.72kW (18.0%)	21.1 ℓ/h

◎平常 / 過負荷モードの切換え、および散水時間の切換えは基板上的DIPスイッチで切換えます。

外形図 (単位: mm)



室外ユニット

RG79A932H19

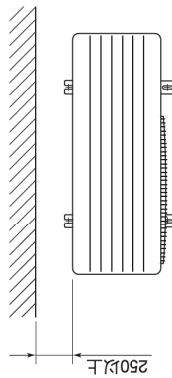
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

1. 部品の確認	
品名	①制御部本体
個数	1
形状	カバー
品名	②スプレ-ン取付けアングル
個数	2
形状	フレア接続部違いが各1個ずつ
品名	③スプレ-ン取付け台
個数	2
形状	長さ違い、各1本ずつ
品名	④継手管
個数	2
形状	長さ違い、各1本ずつ
品名	⑤ネジ
個数	15
形状	
品名	⑥給水栓/ケツ
個数	1
形状	
品名	⑦バンド
個数	3
形状	
品名	⑧リード付丸端子
個数	1
形状	※インバータ以外の機種のみ使用
品名	⑨リード付端子
個数	1
形状	※インバータ以外の機種のみ使用
品名	⑩補助リ-
個数	1
形状	
品名	⑪ネジ
個数	2
形状	
品名	⑫絶縁材
個数	1
形状	
品名	⑬ファスナー
個数	4
形状	

2. 取付手順

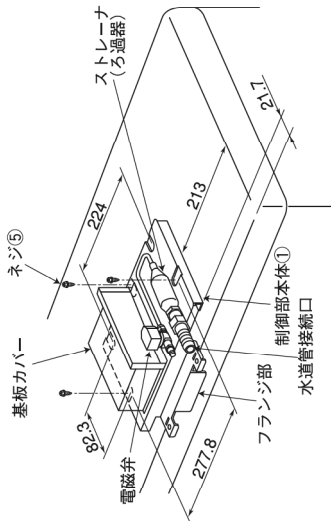
2-1 取付必要スペース

室外ユニット背面と障害物(壁など)とのクリアランスを250mm以上確保してください。



2-2 制御部本体の取付け

1. 制御部本体①のカバー(白色)を取外してください。
2. 制御部本体①のフランジ部を室外ユニット背面上に突き当てて指定の位置に仮置きした後(トル等で天板に下穴(φ3.6±0.05)を3ヶ所あけてください。(天板に下穴位置の刻印が3箇所あります。))
3. 制御部本体付属の両面テープと、付属のネジ⑤(3ヶ所)で制御部本体を固定してください。



△注意

指定位置以外に取付けると、ネジ先端が内部部品に損傷を与えることがあります。また、本製品の性能を十分に発揮できないことがあります。

MITSUBISHI ELECTRIC 三菱電機パッケージエアコン別売部品 散水キット取付工事説明書

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

別売品名	適用機種
PAC-SJ02ESS	27アン機種用 K/Lタイプ

取付けの前に

- 本製品は、夏場での室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的としたものです。
- 給水は必ず水道水を使用してください。水温は10~30℃で、ご使用ください。
- 噴霧時の水圧は、十分な圧力が必要です。
- 給水管に硬質塩ビ管を使用する場合 0.14MPa~0.3MPa
- 給水管に軟質塩ビ管を使用する場合 0.14MPa~0.25MPa
- 上記水圧の範囲内で使用してください。水圧が低いときは、市販の加圧ポンプを使用し昇圧してください。
- 本製品動作中、噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排出穴から排水されますので地面を濡らします。

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この安全のために必ず守ることをよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、死にや重傷などに結びつく可能性のあるもの。

注意
誤った取扱いをしたときに、軽傷または発熱・感電などの損傷に結びつくもの。

- 取付完了後、試運転を行ない異常がないことを確認することともに、この取付工事説明書は取扱説明書とともに、お読みいただき、必ずお守りください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で取付工事された場合、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 取付工事の際は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
- 当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災等の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
- 接続や固定が不十分な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。

警告

- 取付工事は、この取付工事説明書に従って確実に進行する。
- 取付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 電気工事は電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」(内線規程)およびこの取付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。
- 室外ユニットのサービスマニュアルを確実に取付ける。
- サービスマニュアルの取付けに不備があると、ほこり、水等により、感電・火災等の原因になります。

注意

- 製品の運搬は十分注意して行う。
- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PEバンドなど指定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
- 素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。
- 可溶性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは取付けません。
- 万一ガスがユニットの周囲にたまること、発火・爆発の原因になります。
- アース線は、ガス管・水道管・配線・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

2-3 スプレー取付けアングルの取付け ※ユニット本体へ取付ける前に作業を実施してください。

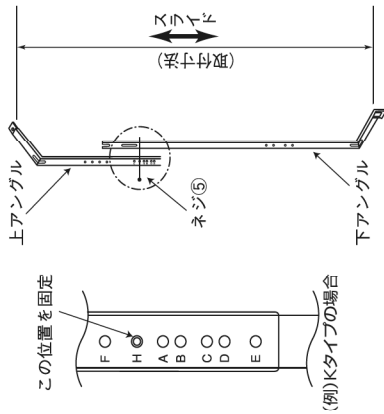
1. スプレー取付けアングル②をスライドさせ、上アングルのアルファベット横の穴(対応表参照)と下アングルの上部の穴をネジ⑤で固定してください。

《固定位置対応表》

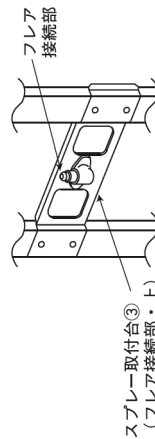
ユニット高さ	上アングル固定位置	スプレーピッチ
Kタイプ	H(1294)	577
Lタイプ	A(1309)	592

単位(mm)

※カッコ内の数字は取付寸法を示します。
スライド調整後必ず上表寸法の確認をしてください。



2. スプレー取付台③をフレア接続部が図示の向きになるようにセットし、スプレー取付けアングルにネジ⑤で固定してください。(左右2ヶ所ずつ)



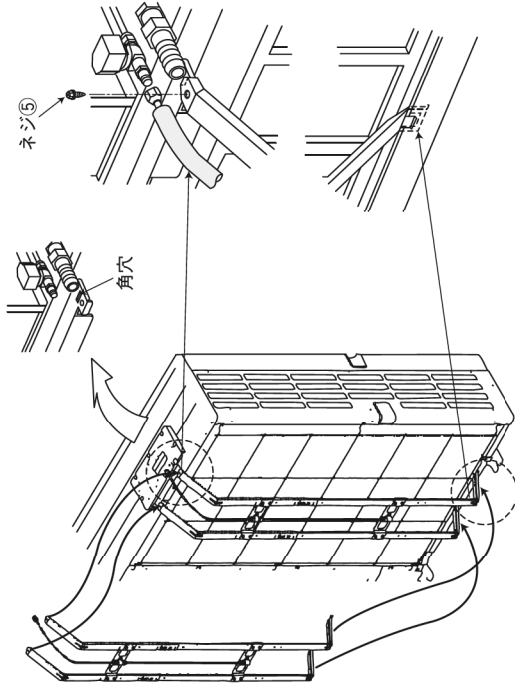
3. 制御部本体の電磁弁出口とスプレー入口に接続する継手管④の長さや形状を決め、必要に応じて管端部を成形加工してください。(電磁弁出口への接続は後で作業します)
※パイプの曲げ加工は、つぶしたり折らないよう十分注意してください。

4. フレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
5. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m(140~180Kgf・cm)のトルクで締付けてください。
※必ず2丁スパナで締付けてください。

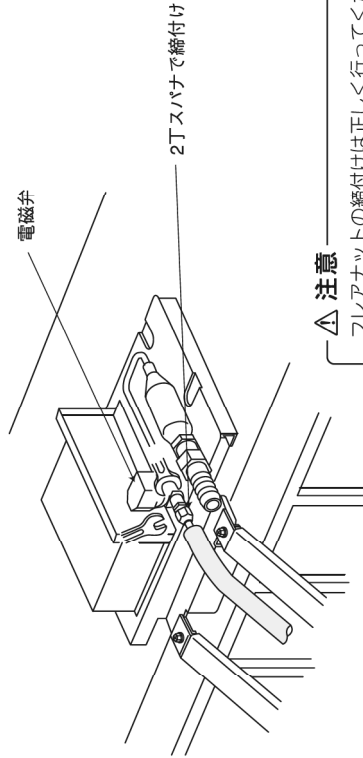
△注意

フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

6. スプレー取付けアングル下部を室外ユニットベースのフランジに引っ掛け、次に上部のツメを制御部本体の角穴に差し込みネジ⑤で固定します。(左右1ヶ所ずつ)



7. 制御部本体の電磁弁出口部にフレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
8. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m(140~180Kgf・cm)のトルクで締付けてください。(必ず2丁スパナで締付けてください)



△注意

フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

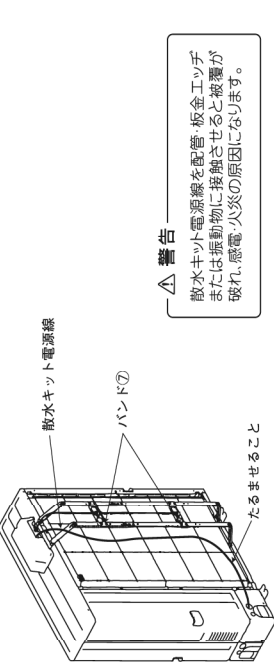
3. 配線手順

3-1 室外ユニットサートビースパネルの取外し

室外ユニットのサートビースパネルを外し、次に側面にある電源線取出穴(ソケットアウト)をあけてください。
※ユニット下部の配管穴形状は機種により異なります。

3-2 配線作業

散水キット電源線は、室外ユニット内部の近傍板金エッジおよび配管等に絶対接触しないよう細心の注意を払ってアンクルに通した配管穴に通して結束します。

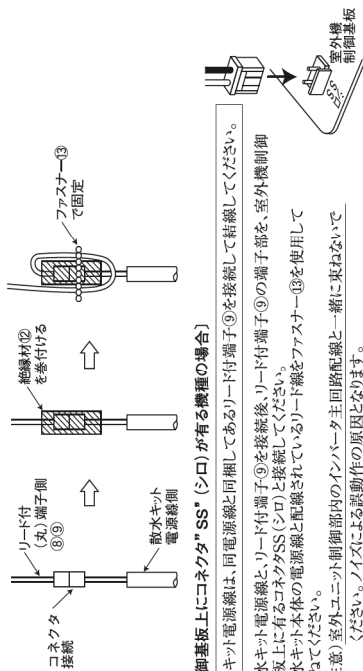


警告

散水キット電源線を配管・板金エッジまたは振動物に接触させると被覆が破れ、感電・火災の原因となります。

3-3 結線作業

リード付(丸)端子コネクタ⑧⑨の接続は、下記手順にて取付けてください。



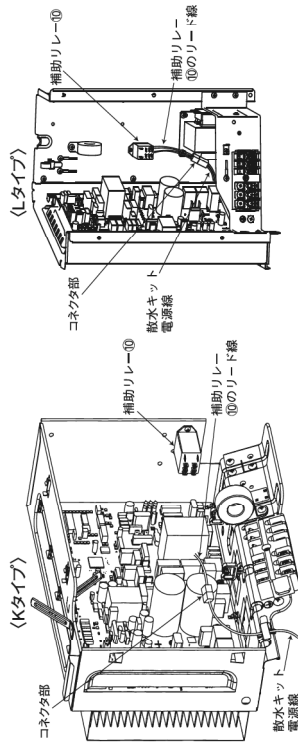
【室外機制御基板にコネクタSS*(シロ)が有る機種の場合】

散水キット電源線は、同電源線と同梱してあるリード付端子⑨を接続して結線してください。

1. 散水キット電源線と、リード付端子⑨を接続後、リード付端子⑨の端子部を、室外機制御基板に有るコネクタSS*(シロ)と接続してください。
2. 散水キット本体の電源線と配線されているリード線を、ファスナー⑩を使用して束ねてください。
(注意) 室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。ノイズによる誤動作の原因となります。

【室外機制御基板にコネクタSS*(シロ)が無い機種の場合】

散水キット電源線は、梱包材に包まれている補助リレー⑩を接続して結線してください。
1. 室外機電気品箱の指定位置(下図参照)に補助リレー⑩を付属のネジ⑪にて固定してください。



2. 制御本体部①のカバー裏面に貼付している電気配線図に従って、補助リレー⑩のリード線に対応する散水キット電源線、室外機制御基板上のコネクタ、電源端子盤に取り付けてください。
3. 各リード線を引き回す際には、ファスナー⑩を使用して電気部品や制御基板上の電子部品と接触しないようにしてください。

注意

室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。
ノイズによる誤動作の原因となります。

注意

散水キット電源線と補助リレー⑩のリード線コネクタ部は室外機制御箱内にて収めてください。
張力によるコネクタ外れや水滴付着によるトラッキング発生の原因となります。

警告

室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり水などにより、感電・火災の原因となります。

警告

端子の取付けは、ゆるみのないよう確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因となります。

4. 給水管の接続

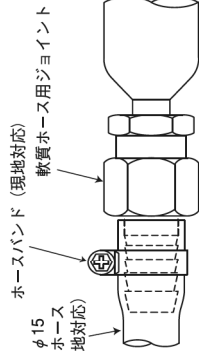
本製品は軟質ホースまたは硬質塩ビ管の接続が可能です。出荷時は軟質ホース用ジョイントを取付けてあります。
※複製台取付ける場合は、噴霧時の水圧を確保し十分な水量が確保できる配管径を選定してください。

注意

供給水圧・水量が足りないと噴霧状態(拡散範囲・水量・粒径)が悪く、性能を発揮できないことがあります。

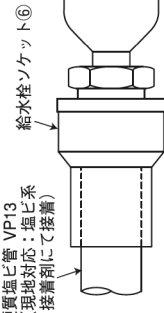
軟質ホース使用の場合

市販のホースバンドを使用し接続部を確実に固定してください。



硬質塩ビ管使用の場合

軟質ホース用ジョイントを取外し、市販のシールテープまたはシール材等でシールした後、付属の給水栓ソケット⑥を取付けてください。※軟質ホース用ジョイントを外す時は、必ず2丁スプAnaで行なってください。

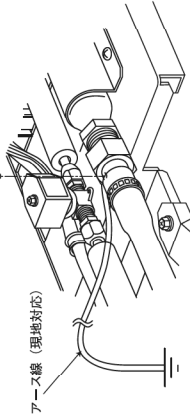


警告

給水管の接続は水圧による外れや水漏れのないよう、確実に取付けてください。不備があると電気品に水がかかり、感電・火災の原因となります。

5. アース工事

アース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事士の方が実施してください。



室外ユニットの電源回路に漏電遮断器が取り付けられているかを確認し、さらにD種接地工事を行ってください。このとき接地抵抗値が500Ω以下であることを確かめてください。

警告

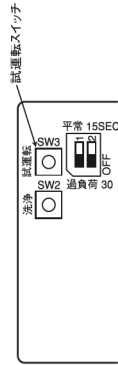
アース工事を行なう。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。アース工事に不備があるか、感電の原因になることがあります。

6. 試運転

基板カバーのネジ2本を外してください。※下図において■はスイッチの位置を示します。

6-1 試運転

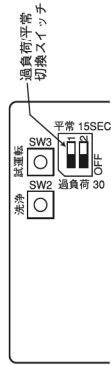
1. 水栓を開き本キットの接続部に水漏れのないことを確認してください。
2. エアコンを運転（圧縮機運転）し、制御部本体の基板上にある試運転スイッチを押しスプレーから水を噴霧させ、ほほま均一の粒子で広がるかを確認してください。（試運転スイッチを押すと10秒間噴霧、10秒間停止を1分間繰り返して通常モードに戻ります）
3. 試運転中に再度スイッチを押すと通常モードに戻ります。



6-2 過負荷/平常切換スイッチの設定

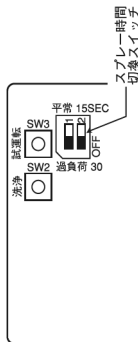
本製品は、夏場での過負荷対策および冷房時の省エネルギー化において2種類の選択が可能です。用途に応じた設定を行なってください。（出荷時は過負荷モードに設定されています）

過負荷/平常切換スイッチ（DIPスイッチ：1）を操作し過負荷（外気温40℃作動）の場合はOFF側、平常（外気温32℃作動）の場合はON側に設定してください。



6-3 スプレー時間切換スイッチの設定

散水時間の設定ができます。（出荷時は散水時間30秒に設定されています）スプレー時間切換スイッチ（DIPスイッチ2）を操作しますとON側で15秒間散水、OFF側で30秒間散水します。例えば水圧が低い時、30秒を、節水したい場合は15秒に設定してください。



使用水量の目安（水圧：0.15MPa）

形名	15秒	30秒
PAC-SJ02ESS	10.5 ㎖ / h	21.1 ㎖ / h

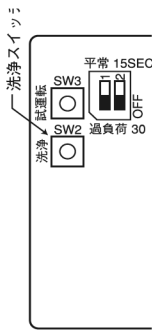
故障診断

異常により散水が停止している場合は、制御基板上的LEDが以下の内容を表示しますので点検を行なってください。（正常運転時：LED点灯）

LED	項目	故障箇所	電磁弁の状態
点滅	サーミスタ異常	サーミスタ断線、短絡	OFF
消灯	マイコンエラー	制御基板不良	OFF

洗浄モード

本製品には、室外ユニットのフィン洗浄するための洗浄スイッチを設計しています。取付け時や冷房シーズン前など、フィンの洗浄に使用してください。（洗浄スイッチを押すと10分間噴霧し通常モードに戻ります。洗浄運転中でも、もう一度押すと通常モードに戻ります）



7. カバーの取付け

最後に基板カバーおよびカバー（白色）を取付けてください。

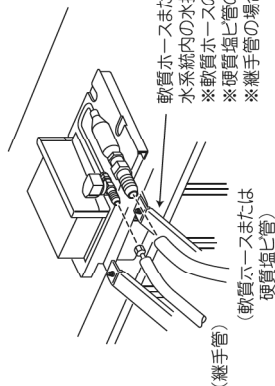
ご使用になるお客様へ

日常点検

供給水の水质によってはスプレー部がつまり噴霧量が減少することがありますので、定期的に噴霧状態の点検およびスプレー部の清掃を行なってください。

冬期の水抜き

冬期に水系内の水が凍結し、破損する恐れがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系内の水抜きをしてください。



- ※軟質ホースまたは硬質塩ビ管および継手管をそれぞれ接続部から外し、水系内の水抜きをしてください。
- ※軟質ホースの場合、ホースバンドを外してから上記作業を行ってください。
- ※硬質塩ビ管の場合、給水キットを外してから上記作業を行ってください。
- ※継手管の場合、2口スリーブでフレアナットを外してから上記作業を行ってください。

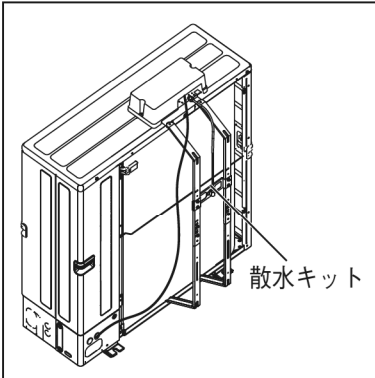
フィンの養生について

室外ユニットの周辺環境および噴霧する水质によりフィンが腐蝕したり、スケールが付着したりします。この進行は明確ではありませんが、不安のある時は販売店と相談して、フィンの防錆剤塗布および定期的なフィン洗浄等の対策を行なってください。

散水キット

● PAC-SJ77ESS

使用目的 / 用途



- “散水キット”は、夏場の室外ユニット過負荷対策及び冷房時の省エネルギーを目的とした部品です。
- 外気温に応じ、室外ユニットの吸込口に水を噴霧し、室外ユニットの高圧カットによる冷房能力低下を解消します。
- 本品は安全ネットとの併用はできません。
- 噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィン及びケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排水穴から排水されますので地面を濡らします。

注意

- ・ 冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。
- ・ 給水は必ず水道水を使用してください。水温は 10 ～ 30℃ でご使用ください。

対象ユニット

- PUZ-ERMP112 ～ 160LA10

仕様

形名	PAC-SJ77ESS
電源供給	AC200V 50/60Hz
ノズル口数	1ヶ
使用可能給水範囲	水道水のみ 水圧：0.14 ～ 0.25MPa（給水管ホースの場合） /0.14 ～ 0.3MPa（硬質塩ビ管の場合） 水温：10 ～ 30℃
水道供給用接続パイプ径	軟質ホース 内径 15mm / 硬質ホース VP13

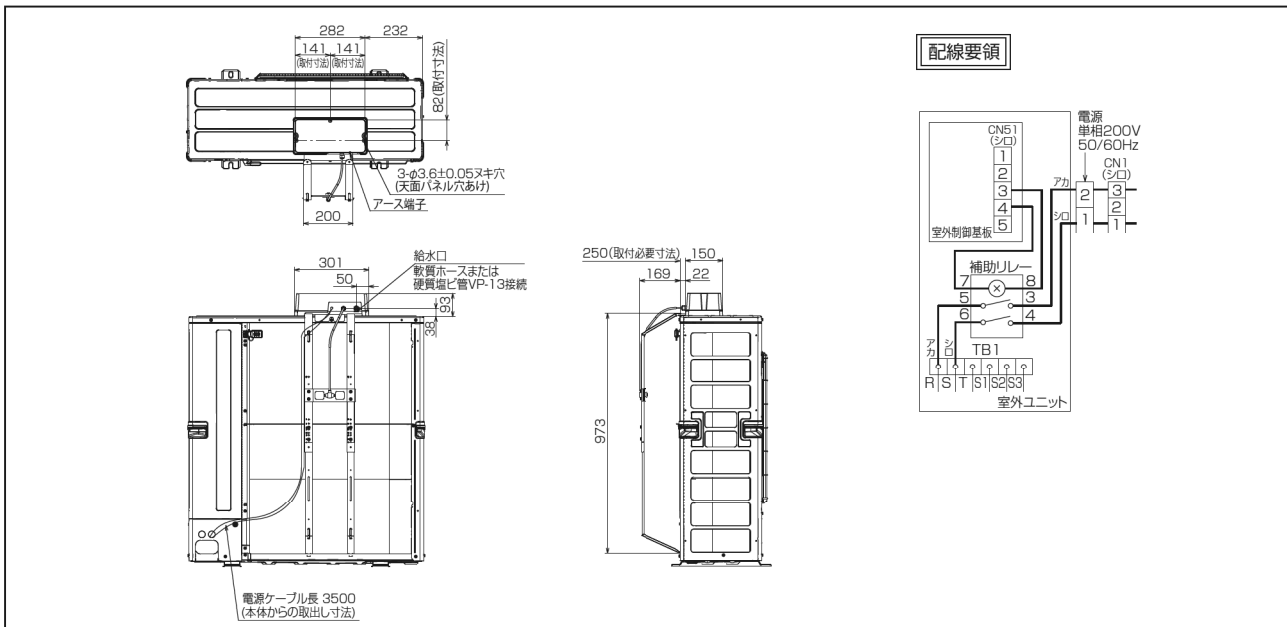
消費電力削減値

性能値は水道水、水圧0.15MPa、水温20℃、200Vでのデータ（散水時）を示します。
（参考データ P112形搭載時）

運転モード	平常モード（外気温度：32℃、ON）				過負荷モード（外気温度：40℃、ON）				
	15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル		15秒/5分サイクル		30秒/5分サイクル		
形名	性能値	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量	消費電力削減値 ()は率を示す	使用水量		
PAC-SJ77ESS		0.27kW (12.0%)	6.6 l/h	0.31kW (13.5%)	13.2 l/h	0.32kW (14.0%)	6.6 l/h	0.40kW (17.6%)	13.2 l/h

◎平常 / 過負荷モードの切換え、および散水時間の切換えは基板上的DIPスイッチで切換えます。

外形図（単位：mm）





三菱電機パナケージエエアコン別売部品 散水キット据付工事説明書

※据付け前に本説明書をよくお読みください。

別売品名	適用機種
PAC-SJ77ESS	室外ユニット1ファン機種用 Lタイプ

据付けの前に

- 本製品は、夏場の室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的としたものです。
- 給水は必ず水道水を使用してください。水温は10～30℃で、ご使用ください。
- 噴霧時の水圧は、十分な圧力が必要です。
- 給水管にホースを使用する場合は、0.14MPa～0.25MPa 給水管に硬質塩ビ管を使用する場合は、0.14MPa～0.3MPa 上記水圧の範囲内で使用してください。水圧が低いときは、市販の加圧ポンプを使用し昇圧してください。
- 本製品動作中、噴霧した水がケージングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケージングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排出穴から排水されますので地面を濡らします。

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、
死亡や重傷なけがに結びつく
可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、
軽傷またははげ傷・発汗など
の損傷に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事された不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。

- 当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニット落下によるケガの原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。

- 接続や固定が不完全の場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。

注意

製品の運搬は十分注意して行う。

- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
- 素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据付しない。

- 万一ガスがユニットの周囲にたまったと、発火・爆発の原因になります。

アース工事を行う。

- アース線は、ガス管・水道管・通信管・電線のアース線に接続しないで行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

RG79A932H23

1

2

取付説明書

散水キット:PAC-SJ77ESS

(本マニュアル用に変更・修正しています)

1. 部品の確認

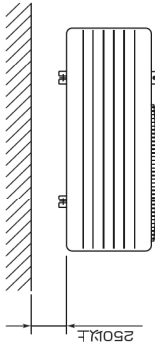
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

①制御部本体	②スプレー 取付けアングル	③スプレー取付台	④継手管	⑤ネジ	⑥給水径ノケット
個数 1	2	1	1	15	1
形状	カバ				
⑦バンド	⑧リード付端子	⑨補助リレー	⑩ネジ	⑪絶縁材	⑫フラスター
個数 3	1	1	2	1	4
形状					

2. 取付手順

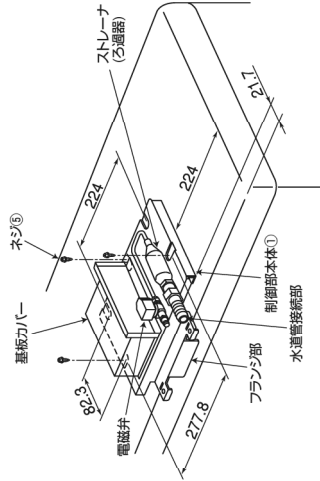
2-1 取付必要スペース

室外ユニット背面と障害物(壁など)とのクリアランスを250mm以上確保してください。



2-2 制御部本体の取付け

1. 制御部本体①のカバー(白色)を取外してください。
2. 制御部本体①のフレンジ部を室外ユニット背面に突き当てて指定の位置に仮置きした後ドリル等で天板に下穴(φ3.6±0.05)を3ヶ所あけてください。(天板に下穴位置の刻印が3ヶ所あります)
3. 制御部本体付属の両面テープと、付属のネジ⑤(3ヶ所)で制御部本体①を固定してください。

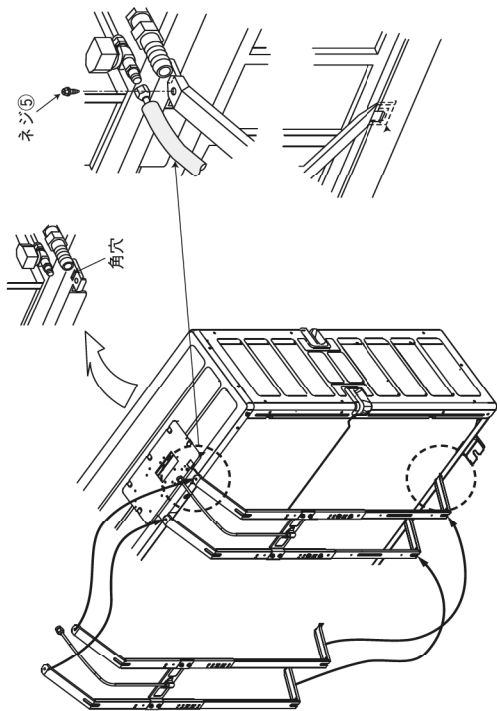


注意

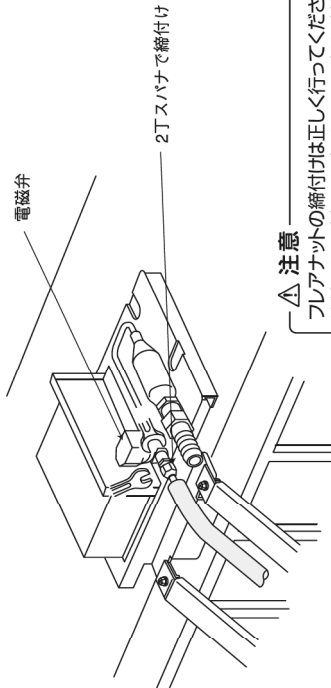
指定位置以外に取付けると、ネジ先端が内部部品に損傷を与えることがあります。また、本製品の性能を十分に発揮できないことがあります。

注意
 フレアナットの締付けは正しく行ってください。
 締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、
 水漏れの原因になります。

6. スプレー取付けアングル下部を室外ユニットベースのフランジに引っ掛け、次に上部のソメを
 制御部本体の角穴に差し込みネジ⑤で固定します。(左右1ヶ所ずつ)

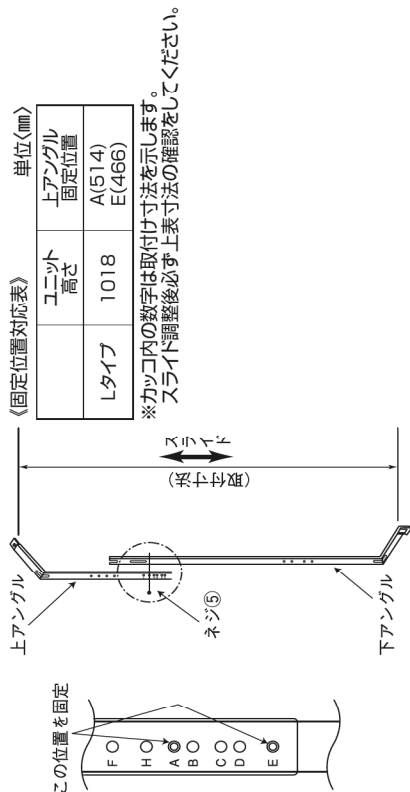


7 制御部本体の電磁弁出口部にフレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
 8.トルクレンチまたはスパイクを用い、13.7~17.7N・m(140~180Kgf・cm)のトルクで
 締付けてください。(必ず2丁スパイクで締付けてください)

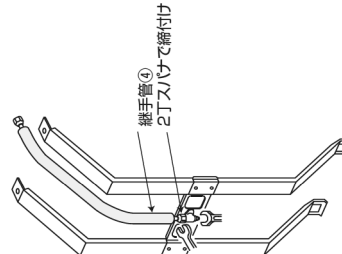
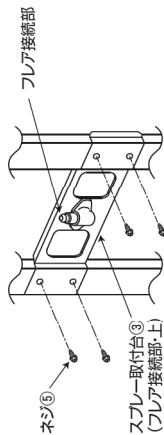


注意
 フレアナットの締付けは正しく行ってください。
 締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、
 水漏れの原因になります。

2.3 スプレー取付けアングルの取付け ※ユニット本体へ取付ける前に作業を実施してください。
 1. スプレー取付けアングル②をスライドさせ、上アングルのアルファベット横の穴(対応表参照)と
 下アングルの上部の穴をネジ⑤で固定してください。



2. スプレー取付台③をフレア接続部が図示の向きになるようにセットし、スプレー取付けアングルに
 ネジ⑤で固定してください。(左右2ヶ所ずつ)



3. 制御部本体の電磁弁出口とスプレー入口に接続する
 継手管④の長さや形状を決め、必要に応じて管端部を
 成形加工してください。
 ※パイプの曲げ加工は、つぶれたり折らないよう十分
 注意してください。
 4. フレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で
 3~4回転させ締めます。
 5. トルクレンチまたはスパイクを用い、13.7~17.7N・m
 (140~180Kgf・cm)のトルクで締付けてください。
 ※必ず2丁スパイクで締付けてください。

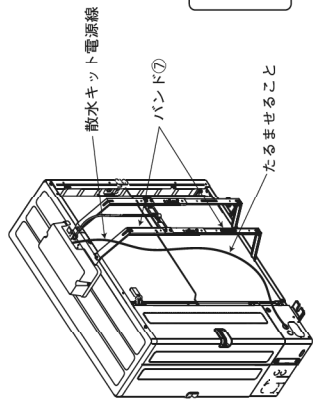
3. 配線手順

3-1 室外ユニットサービスパネルの取外し

室外ユニットサービスパネルを取外し、次に側面にある電源取出口(ノックアウト)をあけてください。
 ※ユニット下部の配管穴形状は機種により異なります。

3-2 配線作業

散水キット電源線は、室外ユニット内部の近傍板金エッジおよび配管等に絶対接触しないよう取り回し下部の配管穴を通してアンダグリにバンドで結束します。

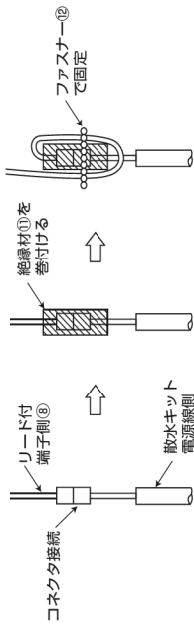


警告

散水キット電源線を配管・板金エッジまたは振動物に接触させると被覆が破れ、感電・火災の原因になります。

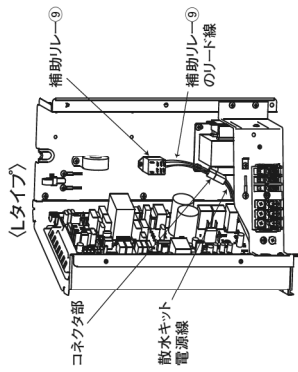
3-3 結線作業

リード付端子コネクタ④の接続は、下記手順にて取付けてください。



散水キット電源線は、梱包材に包まれている補助リレー⑨を接続して結線してください。

1. 室外機電気品箱の指定位置(下図参照)に補助リレー⑨を付属のネジ⑩にて固定してください。



2. 制御本体部①のカバー裏面に貼付している電気配線図に従って、補助リレー⑨のリード線に対応する散水キット電源線、室外機制御基板上的コネクタ、電源端子盤に取付けてください。
 3. 各リード線を引き回す際には、ファスナー⑫を使用して電気部品や制御基板上の電子部品と接触しないようにしてください。

注意

室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。ノイズによる誤動作の原因になります。

注意

散水キット電源線と補助リレー⑨のリード線コネクタ部は室外機制御箱内に収めてください。張力によるコネクタ外れや水滴付着によるトラッキング発生の原因になります。

警告

室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付けてください。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

警告

端子の取付けは、ゆるみのないよう確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

4. 給水管の接続

本製品は軟質ホースまたは硬質塩ビ管の接続が可能です。出荷時は軟質ホース用ジョイントを取付けてあります。

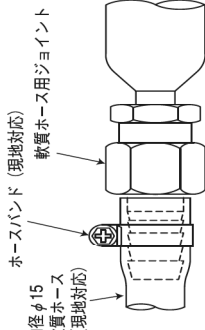
※複数台取付ける場合は、噴霧時の水圧を確保し十分な水量が確保できる配管径を選定してください。

注意

供給水圧・水量が足りないと噴霧状態(拡散範囲・水量・粒径)が悪く、性能を発揮できないことがあります。

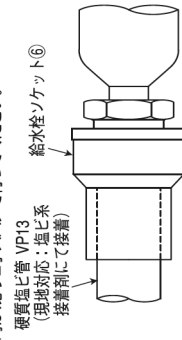
軟質ホース使用の場合

市販のホースバンドを使用し接続部を確実に固定してください。



硬質塩ビ管使用の場合

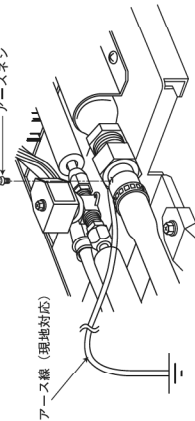
軟質ホース用ジョイントを取外し、市販のシールテープまたはシール材等でシールした後、付属の給水栓キット⑥を取付けてください。※軟質ホース用ジョイントを取外す時は、必ず2丁ノブで行ってください。



警告

給水管の接続は水圧による外れや水漏れのないよう、確実に取付けてください。不備があると電気品に水がかかり、感電・火災の原因になります。

5. アース工事 アース工事は、「電気設備に関する技術基準」に従って電気工事士の方が実施してください。

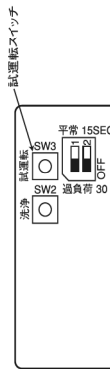


室外ユニットの電源回路に漏電遮断機が取り付けられているかを確認し、さらにD種接地工事を行ってください。このとき接地抵抗値が500Ω以下であることを確かめてください。

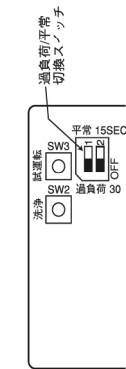
△警告 アース工を行う。アース線は、ガス管・水道管・波留針・電話のアース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になります。

6. 試運転 基板カバーのネジ2本を取外してください。※下図において■はスイッチの位置を示します。

- (6-1 試運転)**
- 1.水栓を開き本キットの接続部に水漏れのないことを確認してください。
 - 2.エアコンを運転(圧縮機運転)し、制御部本体の基板にある試運転スイッチを押し、スプレーから水を噴霧させ、ほほ均一の粒子で広がっているかを確認してください。(試運転スイッチを押すと10秒間噴霧し、10秒間停止を1分間繰り返して通常モードに戻ります)
 - 3.試運転中に再度スイッチを押すと通常モードに戻ります。



(6-2 過負荷/平常切換スイッチの設定) 本製品は、夏場での過負荷対策および冷房時の省エネルギー化において2種類の選択が可能です。用途に応じた設定を行ってください。(出荷時は過負荷モードに設定されています)



(6-3 スプレー時間切換スイッチの設定) 散水時間の設定ができます。(出荷時は散水時間30秒に設定されています) スプレー時間切換スイッチ(DIPスイッチ:2)を操作しますとON側で15秒間散水、OFF側で30秒間散水します。例えば水圧が低い時、30秒を、節水したい場合は15秒に設定してください。



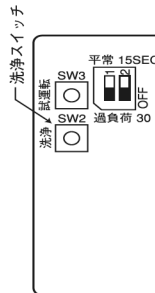
故障診断

異常により散水が停止している場合は、制御基板上的LEDが以下の内容を表示しますので点検を行ってください。(正常運転時:LED点灯)

LED	項目	故障箇所	電磁弁の状態
点滅	サーミスタ異常	サーミスタ断線・短絡	OFF
消灯	マイコンエラー	制御基板不良	OFF

洗浄モード

本製品には、室外ユニットのフィン洗浄するための洗浄スイッチを設定しています。取付け時や冷房シーズン前等、フィンの洗浄に使用してください。(洗浄スイッチを押すと10分間噴霧し、通常モードに戻ります) (洗浄運転中でも、もう一度押すと通常モードに戻ります)



7. カバーの取付け

最後に基板カバーおよびカバー(白色)を取付けてください。

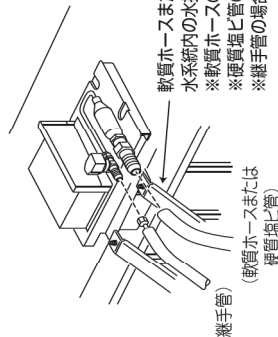
ご使用になるお客様へ

(日常点検)

給水の水质によってはスプレー部がつまり噴霧量が減少することがありますので、定期的に噴霧状態の点検およびスプレー部の清掃を行ってください。

(冬期の水抜き)

冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きを行ってください。



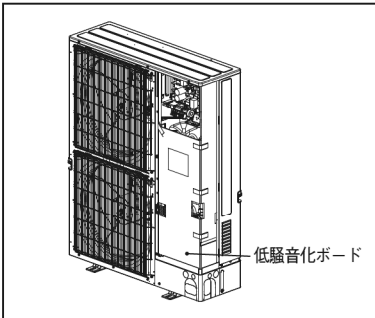
フィンの養生について

室外ユニットの周辺環境および噴霧する水质によりフィンが腐蝕したり、スケールが付着したりします。この進行は明確ではありませんが、不安のある時は販売店と相談して、フィンの防錆剤塗布および定期的なフィン洗浄等の対策を行ってください。

低騒音化ボード

● PAC-SK33TSB

使用目的 / 用途



- “低騒音化ボード” は、室外ユニット騒音を低減するために、室外ユニット機械室内に取り付ける防音材です。

注意

- ・ 室外ユニット制御基板のディップスイッチ変更による仕様変更が必要です。詳細は据付工事説明書をご覧ください。
- ・ P224・P280 形の場合、エアガイドとの併用が必要です。低騒音化セット（エアガイド（2 個使い）+低騒音化ボード）を手配してください。

対象ユニット

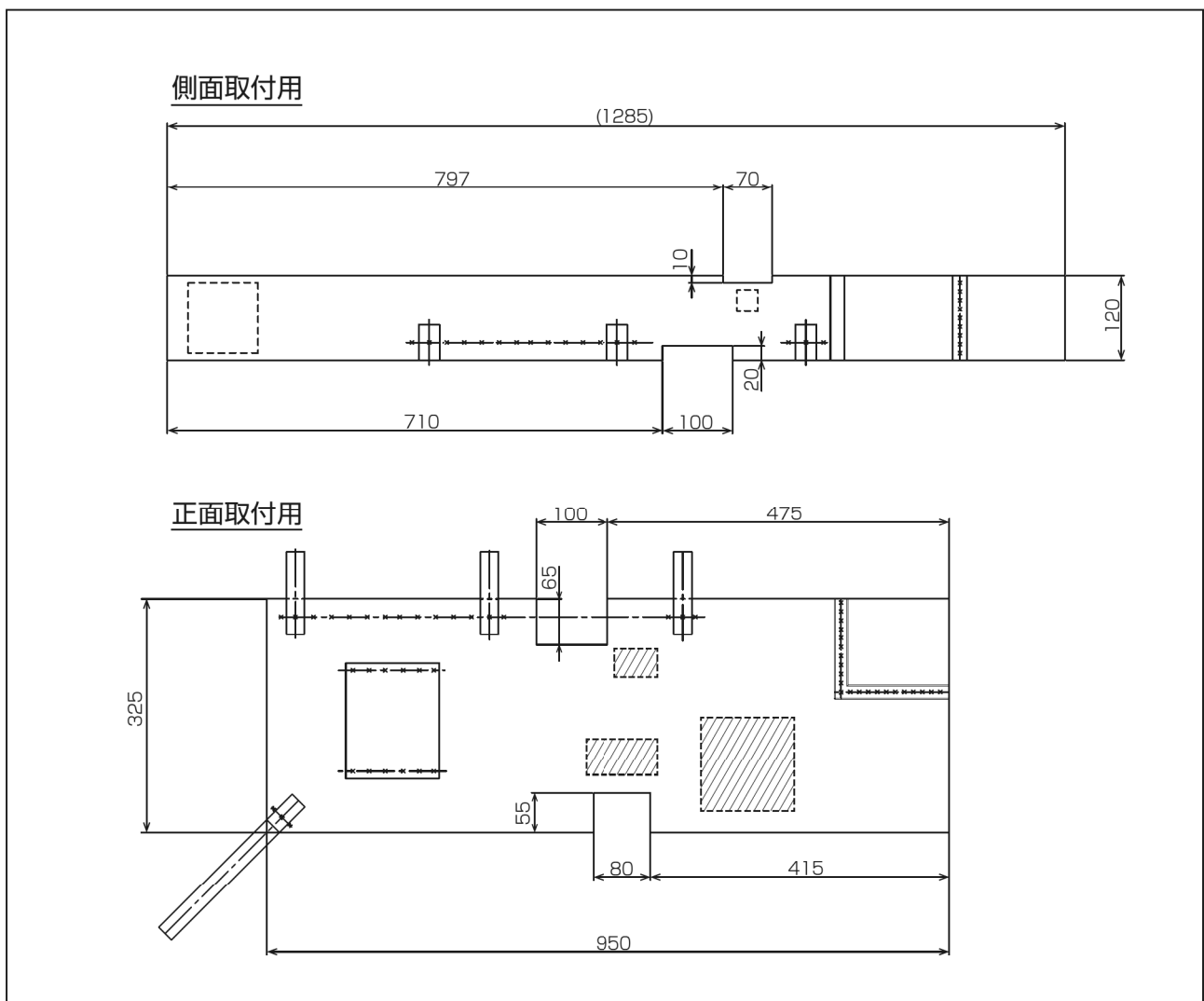
- PUZ-ZRMP112～160KA10
- PUZ-HRMP80～160KA4

仕様

形名	PAC-SK33TSB
材質	アルミガラスクロス（表面）厚み 0.12mm、ゴム厚み 1mm、フェルト厚み 5mm

※室外ユニット制御基板のディップスイッチ変更による仕様変更が必要です。詳細は据付工事説明書をご覧ください。

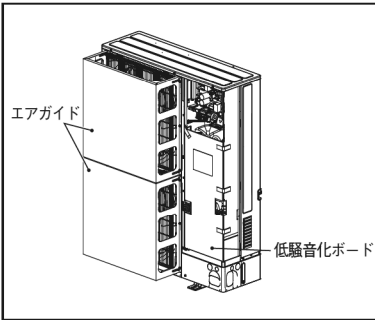
外形図（単位：mm）



低騒音化セット

● PAC-SK30TS-ST

使用目的 / 用途



●“低騒音化セット”は、室外ユニット騒音を低減するために取り付ける、低騒音化ボード及びエアガイドのセット品です。

注意

・ 室外ユニット制御基板のディップスイッチ変更による仕様変更が必要です。詳細は据付工事説明書をご覧ください。

対象ユニット

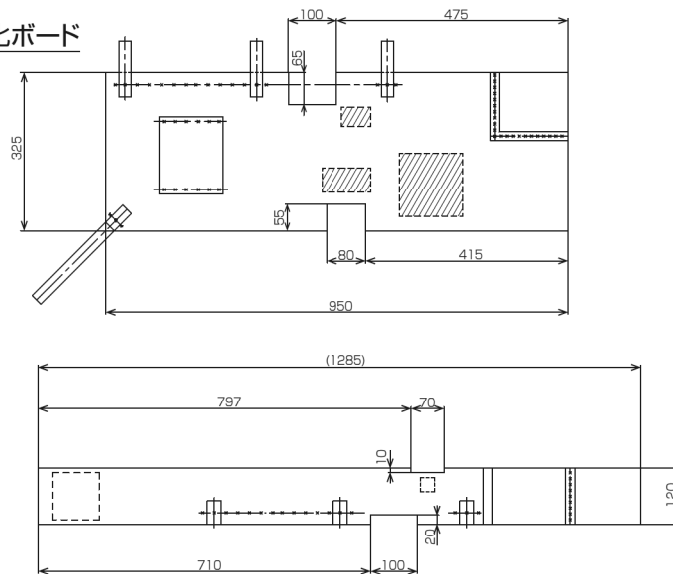
- PUZ-ZRP224,280KA13
- PUZ-ERP224,280KA13/KAPF3

仕様

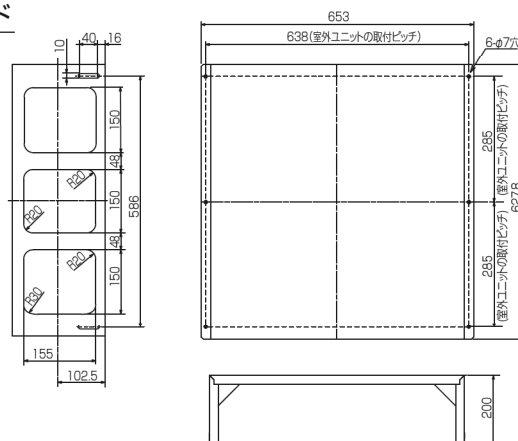
形名	PAC-SK30TS-ST
セット構成部品	PAC-SK33TSB(低騒音化ボード) × 1、PAC-SH95AG(エアガイド) × 2

外形図 (単位: mm)

低騒音化ボード



エアガイド





三菱電機パッケージエアコン別売部品
低騒音化ボード 据付工事説明書

※据付け前に本説明書をよくお読みください。

別売形名	適用機種
PAC-SK33TSB	室外ユニット用 インバーターKシリーズ

- 据付けの前に**
- 本製品を使用する前に対象機種の確認が必要です。対象機種の場合には室外ユニット-電気配線図に低騒音化ボードのスイッチ設定の記載があります。
 - 本製品は室外ユニットより発生する騒音の低減を目的としたものです。
 - 224/280形機種でご使用の場合は別売エアガイド(PAC-SH95AG)との併用が必要のため、別売エアガイド(PAC-SH95AG)2個をご用意ください。

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に關する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその種別を、次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。

注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷又は財産・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書を取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が変更する場合は、前しとお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

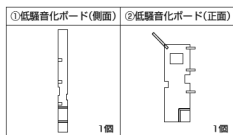
警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事され不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
- 据付工事は、必ず当社付属部品及び指定の部品を使用する。
- 当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニット落下によるケガの原因になります。
- 据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
- 室外ユニットのサービスパネルを確実に取り付ける。
- サービスパネルの取付けに不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災などの原因になります。

注意

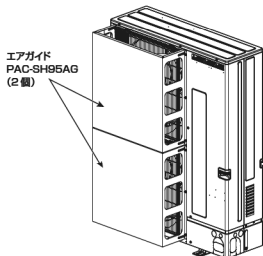
- 可燃性ガスの発生・流入・滞留・流れのおそれがある場所へは据付けない。
- 万一ガスがユニットの周囲にたまる、発火・爆発の原因になります。

1. **部品の確認** この箱の中には、本説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。



(ご使用にあたっての注意点)

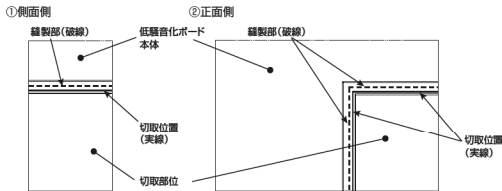
- 室外ユニットの制御基板にある DIP SW5-6 を必ず ON にしてください。
- ※設定をしなかった場合、室外ユニット故障が発生するおそれがあります。
- 224/280 形機種でご使用の場合は別売エアガイド (PAC-SH95AG) (2 個) との併用が必要となります。別売エアガイドの取付けにつきましては、別売エアガイドに同梱のエアガイド据付工事説明書をご参照ください。



2. **取付準備**

低騒音化ボードを取付ける前に室外ユニットに接続される配管の向きを確認してください。右側面から接続する場合は①、正面から接続する場合は②の一部を切り取ってください。

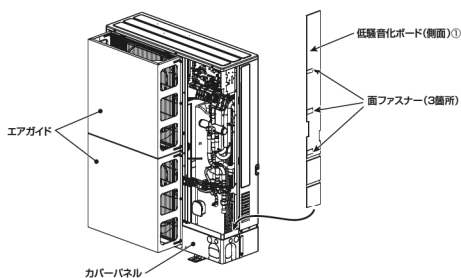
※切り取り部には縫製が施されています。切り取る際には縫製部が低騒音化ボード本体に残るように注意して切り取ってください。



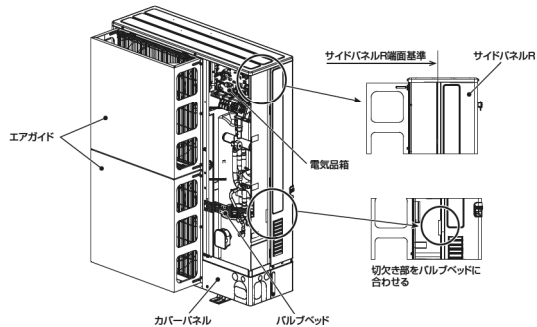
3. **取付方法**

- サービスパネルをとりはずしてください。
- 低騒音化ボード(側面)①を組み込みます。面ファスナー(3箇所)が室外ユニット正面にくるように、低騒音化ボード(側面)①の下部はカバーパネルの内側に入れて組み付けてください。

※本図は 224/280 形用、160 形以下はエアガイド無し。



- 低騒音化ボード(側面)①の位置合わせを行います。下記基準位置に合わせてください。
- ※本図は 224/280 形用、160 形以下はエアガイド無し。

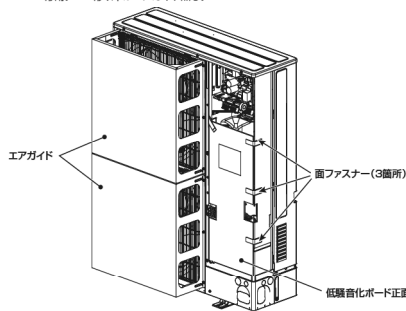


- 低騒音化ボード(側面)①の位置合わせ後、裏側の両面テープの剥離紙(2箇所)をはがしそれぞれ電気品箱及びバルブベッドに貼り付け、固定してください。
- ※サービスなどで低騒音化ボードを再組み付けする場合には、お手持ちの両面テープで低騒音化ボードを固定してください。

- 低騒音化ボード(正面)②を組み込みます。室外ユニットを正面側から見て、面ファスナー(3箇所)が右側にくるように、低騒音化ボード(正面)②の下部はカバーパネルの内側に入れて組み付けてください。

- 低騒音化ボード(正面)②をベースに突き当たるまで挿入すると、低騒音化ボード(側面)①と面ファスナー及び切欠き位置が合いますので、面ファスナー(3箇所)にて①と②を固定してください。

※本図は 224/280 形用、160 形以下はエアガイド無し。



- 低騒音化ボード(正面)②をベースに突き当たるまで挿入すると、低騒音化ボード(側面)①と面ファスナー及び切欠き位置が合いますので、面ファスナー(3箇所)にて①と②を固定してください。



- サービスパネルを取り付けてください。

警告

室外ユニットの外装パネル類を確実に取り付け。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。